

東戸塚駅自転車駐車場設計

設計図

昭和60年 月

横浜市道路局街路課

八千代エンジニアリング株式会社

NO.	図面名称	縮尺	NO.	図面名称	縮尺	NO.	図面名称	縮尺
01	設計概要	—	38	A棟 鉄骨詳細図(4)	S=1:30			
02	特記仕様書(建築工事) ㊟1	—	39	、 X・Y角詳細図	S=1:20 S=1:50	74	特記仕様書(電気設備)	—
03	、 ㊟2	—	40	、 斜路・階段詳細図(1)	S=1:20	75	電気設備 凡例・配置図	S=1:300
04	配置図	S=1:300	41	、 斜路詳細図(2)	S=1:20	76	A棟 電気設備 地階・1階平面図	S=1:100
05	A棟 面積表	S=1:200	42	、 通路橋梁、鉄骨詳細図	S=1:10 S=1:20	77	、 電気設備 2階・R階平面図	S=1:100
06	、 仕上表	—	43	、 平面詳細図・展開図	S=1:30	78	、 電気設備 1階話所平面図	S=1:30
07	、 フロア平面図・凡例	S=1:100	44	B棟 基礎図・面積表	S=1:200	79	通路橋 電気設備 平面図	S=1:100
08	、 地階・1階平面図	S=1:100	45	、 平面図	S=1:200	80	B棟 電気設備 平面図(1)	S=1:200
09	、 2階・R階平面図	S=1:100	46	、 立面図	S=1:200	81	分電盤 結線図	—
10	、 PH屋根伏図	S=1:100	47	、 断面図	S=1:200	82	照明器具 姿図	—
11	、 北・面立面図	S=1:100	48	、 短計図	S=1:50	83	自動火災報知設備系統図・凡例	—
12	、 南・東立面図	S=1:100	49-1,2,3	、 斜路詳細図 A,B,C	S=1:50	84	自動火災報知設備 地階・1階平面図	S=1:100
13	、 東西断面図	S=1:100	50	、 階段詳細図	S=1:50 S=1:10	85	自動火災報知設備 2階・R階平面図	S=1:100
14	、 南北断面図	S=1:100	51	、 部分詳細図	S=1:20	86-1,2	B棟 電気設備平面図(2), B棟 管理小屋平面図	S=1:200, 1:30
15	、 短計図	S=1:50	52	、 有効開口面積計算	S=1:200 S=1:50			
16	、 斜路 A・B 平面図	S=1:50	53	、 伏図(1)	S=1:200	87	通路橋 一般図	S=1:100
17	、 斜路 A・B 立面図	S=1:50	54	、 伏図(2)	S=1:200	88-1,2	、 床版(㊟1),(㊟2)	S=1:30
18	、 斜路 C 平面図・断面図	S=1:50	55	、 軸組図	S=1:200	89-1,2,3,4,5	、 主桁(㊟1),(㊟2),(㊟3),(㊟4),(㊟5)	S=1:20
19	、 階段平面図・断面図	S=1:50	56	、 杭・基礎・スラブリスト・柱状図	S=1:30	90-1,2	、 高欄(㊟1),(㊟2)	S=1:20
20	、 外壁廻り詳細図	S=1:20	57	、 場所打ち杭配筋図	S=1:50	91	、 支柱 杏	図示
21	、 建具表(1)	S=1:50	58	、 地中梁リスト	S=1:30	92	、 排水装置	S=1:20
22	、 建具表(2)	S=1:50	59	、 梁・スラブリスト	—	93	、 伸縮装置・地覆	図示
23	、 部分詳細図(1)	S=1:10	60	、 部分詳細図	S=1:30	94	、 落橋防止装置	S=1:5
24	、 部分詳細図(2)	S=1:10	61-1,2	、 部分詳細図、通路橋梁鉄骨詳細図	S=1:30 S=1:10	95	、 杭・根巻き	図示
25	、 部分詳細図(3)	S=1:10 S=1:20	62	、 部分詳細図	S=1:20	96	、 照明受台詳細	—
26	、 部分詳細図(4)	S=1:10 S=1:20	63	、 部分詳細図	S=1:20	97	、 給排水管受台	—
27	、 有効開口面積計算	S=1:100	64-1	A・B棟 鉄骨構造標準図	—	64-2	B棟 管理小屋	S=1:50, 20
28-1,2	、 伏図(1)	S=1:100 S=1:200				64-3	山留計画図	S=1:100
29	、 伏図(2)	S=1:200	65	特記仕様書(給排水・換気設備)	—	64-4	A棟 外壁平面図、立面図	S=1:100
30	、 X通り軸組図	S=1:200	66	器具表・機器表	—	64-5	、 側溝詳細図	S=1:30
31	、 Y通り軸組図	S=1:200	67	ドレンキャ-設備系統図	—	64-6	、 部分詳細図	S=1:30, 10
32	、 基礎リスト・柱状図・杭図補強	S=1:20 S=1:30	68	A棟 地階・1階平面図	S=1:100	64-7	B棟 駅舎間通路 取合詳細図	S=1:20, 10
33	、 地中梁リスト・擁壁配筋図	S=1:30	69	、 2階・R階平面図	S=1:100	64-8	、 鉄骨詳細図	S=1:20, 10
34	、 柱・梁リスト表	—	70	通路橋 給水設備平面図	S=1:100	64-9	A棟 軒天伏図、断面図	S=1:50
35	、 鉄骨詳細図(1)	S=1:10 S=1:30	71	B棟 給水設備平面図	S=1:200			
36	、 鉄骨詳細図(2)	S=1:30	72	ドレンキャ-ポンプ制御盤結線図他	S=1:200			
37	、 鉄骨詳細図(3)	S=1:30	73	給排水設備系統図	—			—

設計概要

1. 地名地番 横浜市戸塚区品濃町 515-2 他

2. 用途地域 住居地域 商業地域

防火地域 防火地域 準防火地域

3. 主要用途 自転車駐車場

4. 建ぺい率・容積率 62.7% ・ 157.8%

5. 構造 A棟 B棟

躯体 鉄骨造 鉄骨造

基礎 杭基礎 杭基礎

杭 P H C 杭 A種 (プレホーリング工法) 現場造成杭 (ベント工法)

6. 面積

1) 敷地面積 1200 m²

2) 建築面積 A棟 423.376m² B棟 328.963m² 計752.339m²

3) 延床面積

	B1階	1階	2階	R階	合計
A棟	351.063	347.073	423.376	52.554	1,174.07 m ²
B棟		307.211	307.211	105.282	719.71 m ²
合計	351.063	654.284	730.587	157.836	1,893.78 m ²

件名	横浜駅自転車駐車場設計		
図面名	設計概要		
縮尺	図面番号	1/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 7 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

特記仕様書（建築工事）

1 一般共通事項

1. 総則

- 1 適用範囲 本仕様書に記載されていない事項は、全て建設大臣官庁官庁営繕部監修の「建築工事共通仕様書」、横浜市建築局の「横浜市建築工事特記仕様書」（昭和60年度版）に依る。
- 2 工期 工期は契約工期を厳守する。
- 3 工程表・施工計画書 着工に先立ち工程表とともに施工計画書を作成し係員の承認を受ける。
- 4 施工図 施工上必要な図面は遅滞なく作成し係員の承認を受ける。
- 5 施工の検査 着工時検査：地盤高低図・各種施工図・敷地測量図・建物位置の確認及び検査
中間検査：杭製品検査、杭芯検査、杭打検査、根切検査、アンカーボルト検査、鉄骨現寸検査、鉄骨製品検査、鉄骨建方検査、スラブ配筋検査。
竣工検査：竣工期日前に両者（市・施工者）立会にて検査を行ない手直し、残工事完了の上再検査を竣工日までに行う。
- 6 官公署その他の手続 本工事に必要な諸官公署その他の許可申請手続は、施工者に行う。
- 7 養生その他 工事中各工事に明示したもののほか、係員の必要と認められた場合には隣接歩道その他に対し損傷を生じないように養生を施す。又万一損傷部分に付ては現況に復旧する。
- 8 軽微な変更 現場のおおまり、取合わせなどの関係で材料の寸法、取付位置、取付け工法を多少変えるいはこれらにより取付け数をいくぶん増減するなどの軽微な変更は係員の指示により行う。
- 9 工事に関する報告 許可申請（手続）、障害物、着工、根切、鉄骨現寸、建方施工等の写真と工事進行状況を文章にて提出する。
- 10 工事写真 各工事毎の写真をフリーアルバムに整理し提出する。
- 11 竣工図書 竣工検査時に竣工図作成の上、3部提出する。
- 12 契約 市指定による。
- 13 保険 労災保険：各建設場所毎に付けること。火災保険についてはその限りにあらず。
- 14 発生物件 現場において発生した有価物件は一定の場所に止め、係員の指示により処理する。又、工事中支障となる物件は係員の指示により処理する。
- 15 使用材料 特記なき限り市の指定材料とし、特記ある場合は係員の承認を得るものとする。又、特に係員の指定する材料については見本品提出の上決定する。
- 16 工事範囲 建築工事、電気設備工事、給排水衛生設備、外構工事
- 17 工事規模 A棟 鉄骨造 地下1階 地上2階 延床面積 1,174.07 m²
B棟 鉄骨造 地上3階 延床面積 719.71 m²
合計 1,893.78 m²
- 18 工事用看板 工事用看板を設置すること。

2. 仮設工事

- 1 敷地測量 建物の位置及びFLに付いての決定は、係員立会の上行う。
- 2 仮囲い 敷地の周囲には適当な材料で仮囲いを設置する。尚、方法、材料等は係員の指示による。

3. 土工事

- 1 堀削 歩道に隣接する部分の工事に際しては、係員の指示により適当な養生を要する。
- 2 残土処分 残土は場外搬出とし、搬出場所は係員の指示による。指示なき場合も係員の承認を得るものとする。
- 3 埋戻し 埋戻土は係員の指示する場所へ置く。
- 4 土留工事 掘削 オープンカット 山留壁 シートパイル 支保工 井型切梁

4. 地業及び基礎スラブ工事

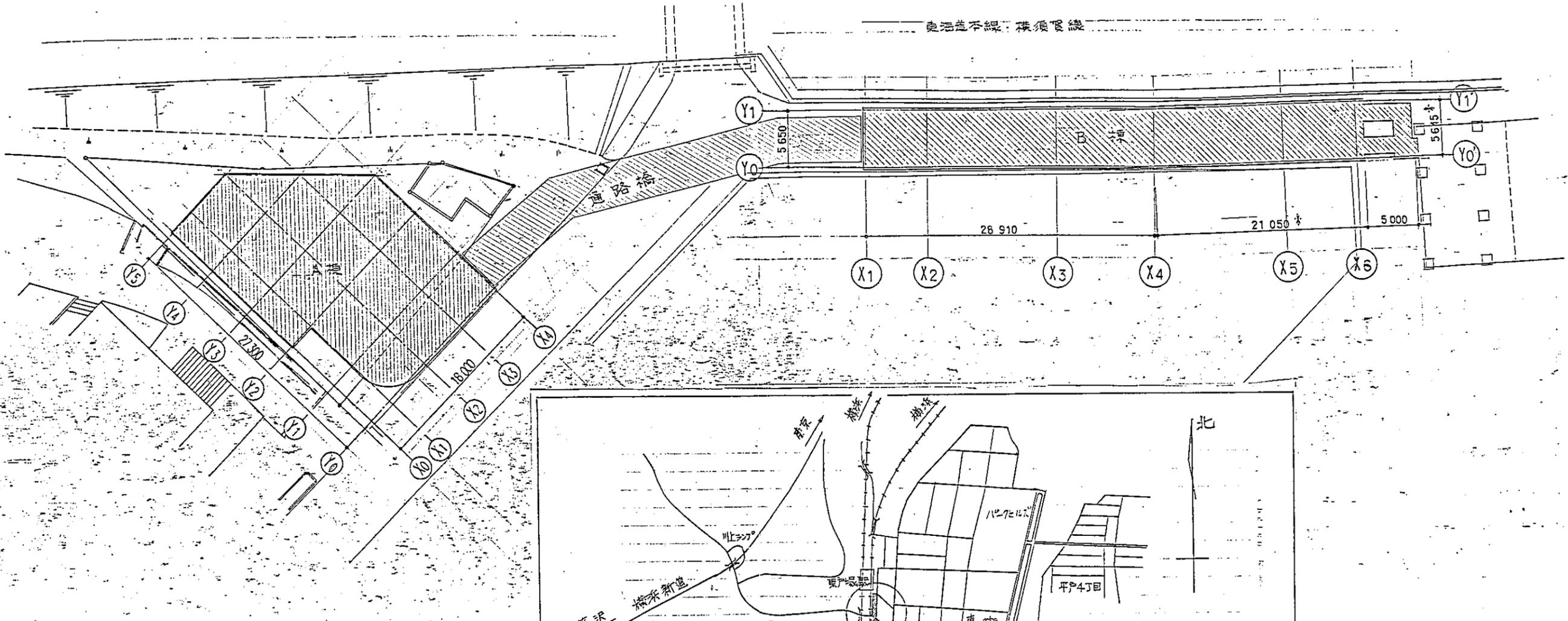
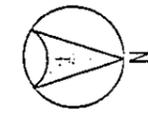
- 1 杭 A棟 PHC杭 B棟 場所打コンクリート杭
- 2 工法 プレボリング工法(A棟)及び、オルケーシング・ベント工法(B棟)とし、施工計画書提出の上係員の承認を得る。
- 3 砂利材料 砂利は大きき40~0mmの切込砂利または碎石とする。
- 4 割り石材料 割り石はJIS A5006に適合する硬質のものまたは硬質の割玉石とする。
- 5 捨コンクリート 捨コンクリートの圧縮強度はFc = 150 kg/cm²以上とし、7-カビリティーのよいものとする。

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	特記仕様書(建築工事) その1		
縮尺	図面番号	2 /	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 29 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

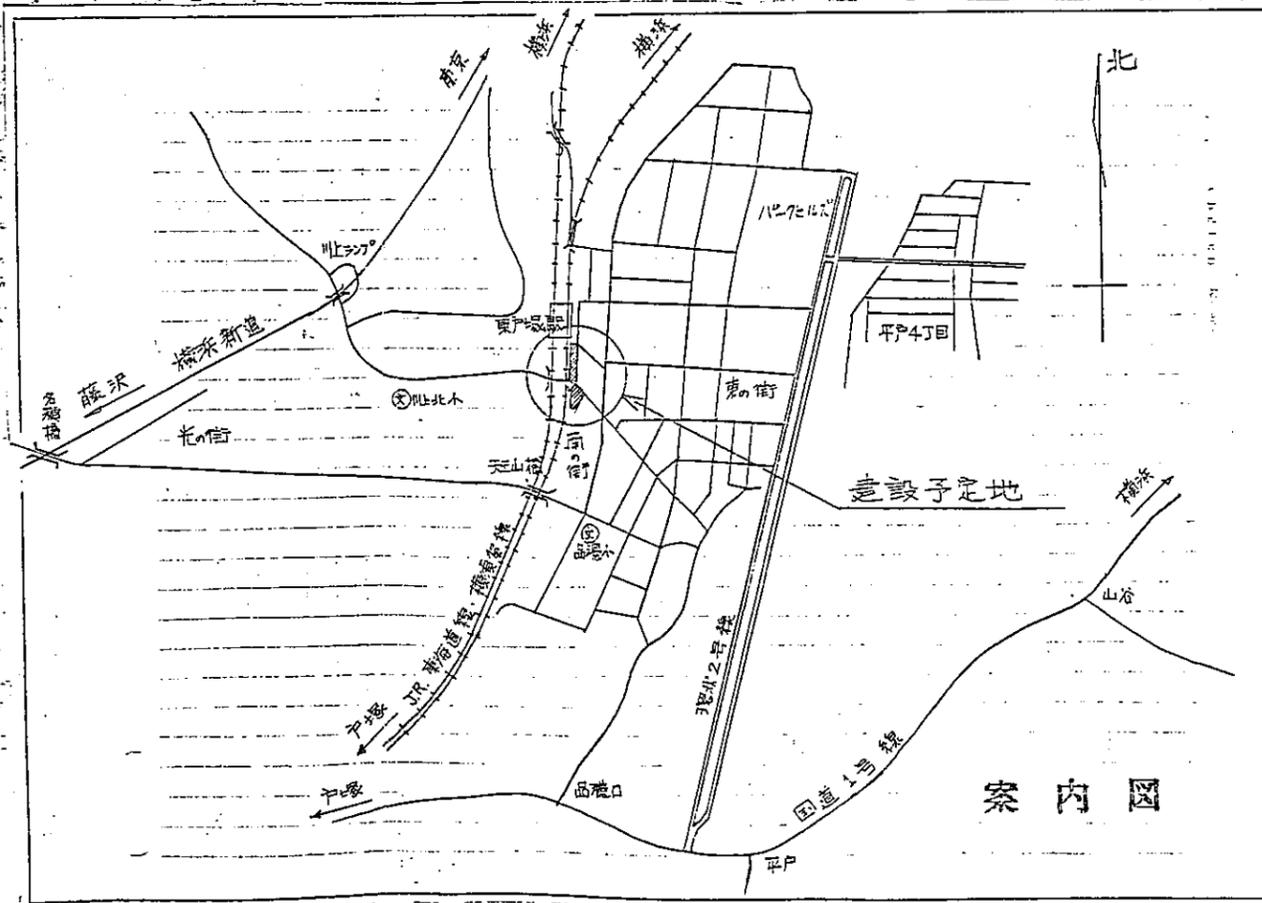
5. コンクリート工事	
1. セメント材料	普通ポルトランドセメントを用いる。
2. 設計基準強度	コンクリートの圧縮強度は $F_c 28 = 210 \text{ kg/cm}^2$ 以上とする。
3. 所要スランプ	コンクリートの所要スランプは 15cm 以下とする。
4. 製造	レタミクスFコンクリートとし、調合表を前もって提出し、係員の承認を得るものとする。
5. 鉄筋	D16以下はSD30、D19以上はSD35とする。
6. 圧縮試験	各工事箇所テストピースを採取し、1週及び4週、圧縮強度試験を行う。試験表を提出する事。 テストピースの本数は係員の指示による。
6. 鉄骨工事	
1. 品名	SS41 (形鋼鋼板)・SS41 (軽量形鋼)・ボルト：中ボルト・高張力ボルト：F10T ワッシャーはダブルナット締めとする。
2. 塗装	素地処理は C種素地処理とし、仕上げ塗料は JIS K 5622 (鉛丹仕上げペイント)とする。
7. 防水工事	
1. 種別	アスファルト保護防水 B-1種とする。
8. 金属工事	
1. 手摺類	一般構造用炭素鋼 鋼管 (SGP) 各所別に製作図を作成の上、係員の承認を得た後、加工製作する。
9. 建具工事	
1. アルミサッシ建具	アルミ製サッシは一般用及びALC用 (シルバーサッシ見込 70%、木切幅 50%) とする。
2. 鋼製建具	鋼製建具は、甲種防戸 (常時閉鎖型) とする。
3. 木製建具	木製建具の表面板は、指合板 $\phi 40 \text{ mm}$ とする。
4. 重量シャッター	シャッターは防火シャッターとし、煙感知器又は熱感知器と連動させる。
10. ガラス工事	
1. ガラス取付材料	ガラス取付は、ポリサルファイド系コーキング材を使用する。

11. 塗装工事	
1. 調合ペイント	一般鉄部 屋外・屋内共に 17.4.4.表による (F塗2回、中塗1回、上塗1回)。 亜鉛めっき面 屋外・屋内共に塗料種別はC種とする (F塗2回、中塗1回、上塗1回)。 仕上塗装色は係員の指示により、塗り見本を提出の上決定する。
2. 通路等標識塗装	白線マーキングは、トラフィックペイント同等品以上、仕上厚は 0.2mm 以上とする。
12. その他工事	
a. マーク・サイン	製作図を提出し、係員の承認後、製作する。尚、色彩は係員の指示により見本品を提出し、承認を得ること。
b. 白線マーキング	墨出しの際は、自転直立位置を確認し、係員立会いの上、決定する事。
c. エポキシ樹脂系塗料	ノリソープ工法
d. 外構	敷地内で工事に支障のある樹木は係員の指示により処分する。 工事中損傷した歩道部分は、現状に復旧する。
e. 軽量型コンクリート板	50mm、100mm (平板) および、100+25mm (7'サインパネル) とし、割付は施工図を提出し、係員の承認を得ること。
f. ホーロー鋼板パネル工事	鋼板は $\phi 1.6 \text{ mm}$ とし、裏打ち材 A種は吹付ロックウール $\phi 30$ 、B種は吹付ロックウール $\phi 30$ 。 ホーローの厚さは $0.1 \sim 0.6 \text{ mm}$ とする。 表面の色調・光沢、仕上は見本品を提出し、係員の承認を得ること。 パネルの割付及び工法は施工図を提出し、係員の承認を得ること。

件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	特記仕様書 (建築工事) その2		
縮尺	図面番号	3 /	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 29 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

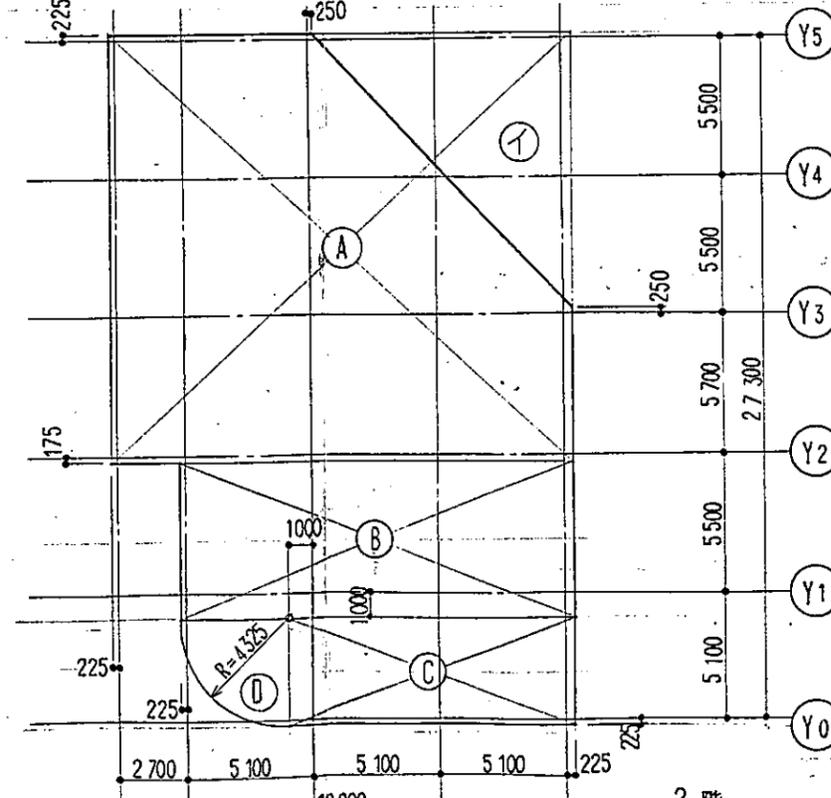
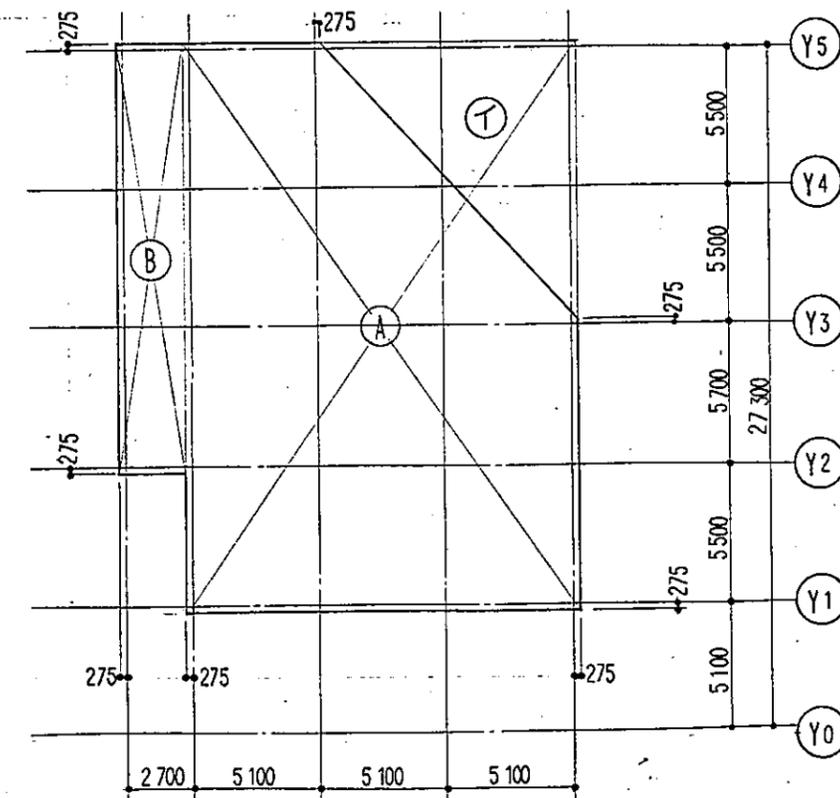
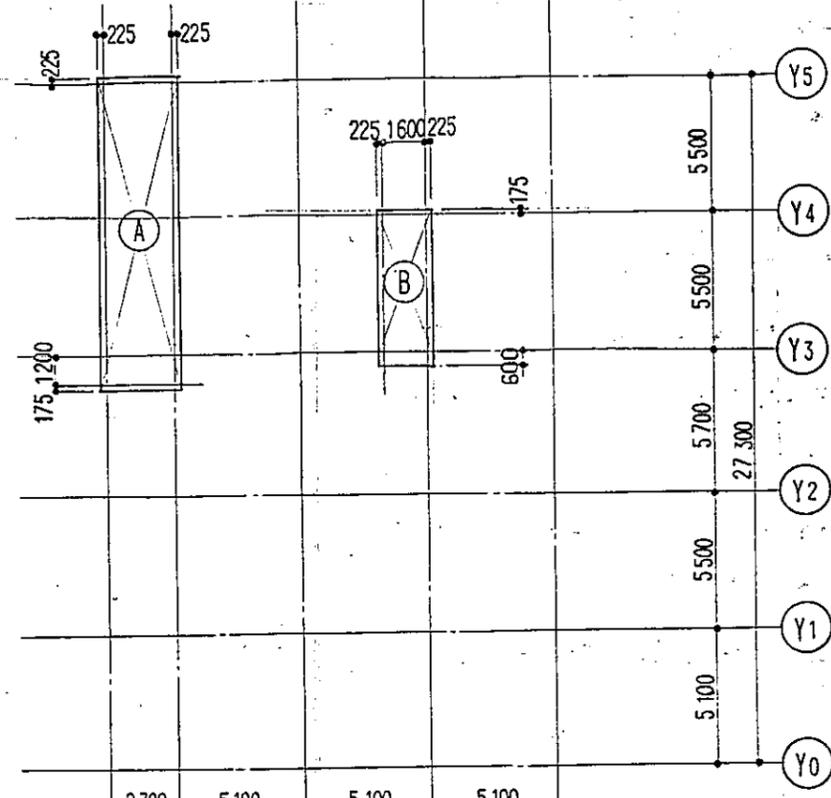
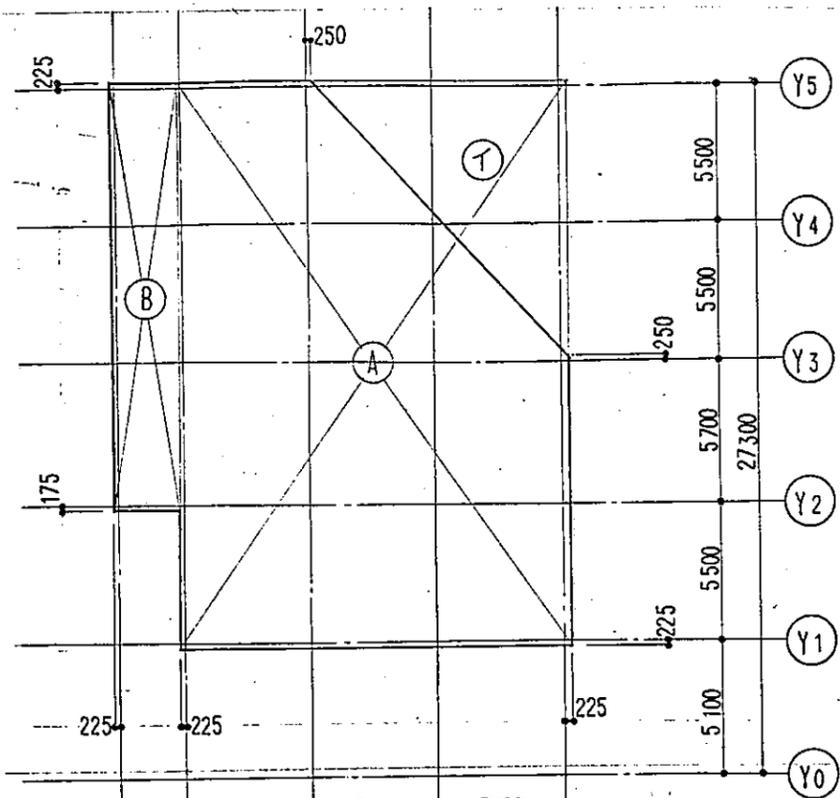


配置図 S=1:300

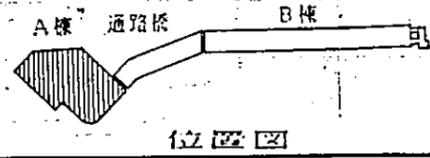


案内図

件名	泉戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	配置図		
縮尺	1/300	図面番号	4/
設計年月日	昭和 62 年 8 月 5 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



面積表		
地階床面積		
Ⓐ	15,850 x 22,750	360,588
Ⓑ	2,700 x 17,250	46,575
Ⓘ	10,200 x 11,000 x 1/2	56,100
Ⓐ+Ⓑ-Ⓘ		351,063
1階床面積		
Ⓐ	15,750 x 22,650	356,738
Ⓑ	2,700 x 17,100	46,170
Ⓘ	10,175 x 10,975 x 1/2	55,835
Ⓐ+Ⓑ-Ⓘ		347,073
2階床面積		
Ⓐ	18,450 x 17,100	315,495
Ⓑ	15,750 x 6,325	99,619
Ⓒ	11,425 x 4,325	49,413
Ⓓ	4,325 x 4,325 x 3.14 x 1/4	14,684
Ⓘ	10,175 x 10,975 x 1/2	55,835
Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ+Ⓓ-Ⓘ		423,376
R階床面積		
Ⓐ	3,150 x 12,600	39,690
Ⓑ	2,050 x 6,275	12,864
Ⓐ+Ⓑ		52,554
延床面積		1174,066^{m²}



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟面積表		
縮尺	1/200	図面番号	5/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 6 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

外部仕上表

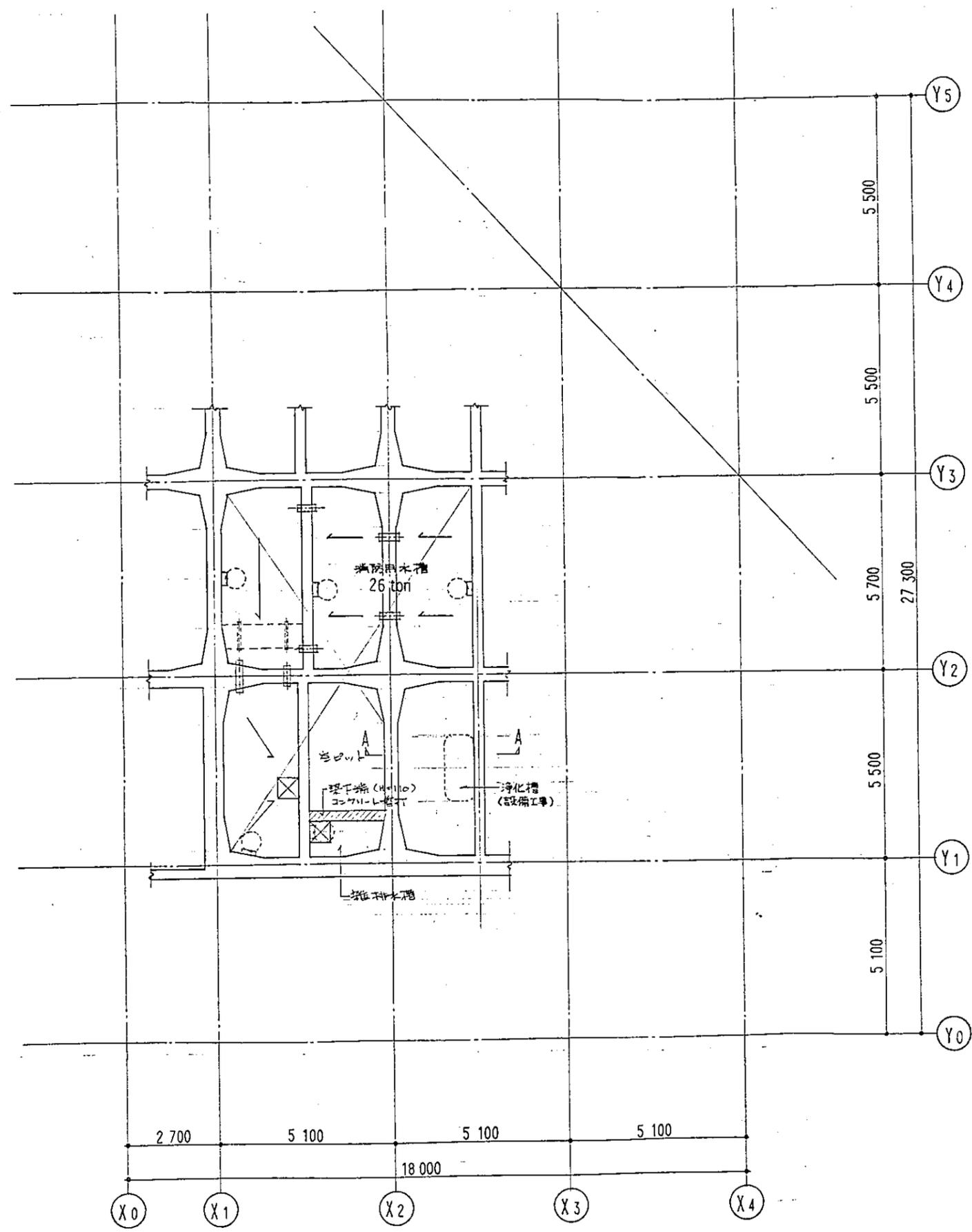
部 位	仕 上	備 考	部 位	仕 上	備 考
屋 上	コンクリート金ゴテ押+アスファルト防水(B-1)+押=コンクリート@60~140金ゴテ押=フェロコンハード仕上(溶接金網#6 @100);伸縮目地:W25	転倒防止柵:スチールパイプ OP	フェ ンス	スチール FB-9x50 B0 FB-6x40 OP	
屋上手摺	外面:外壁と同い 内面(H=500以上):軽鉄下地 ALCパネル@50 アクリル系吹付タイル 扉木:ホロー鋼板パネル;水切:ガラ-鉄板@0.8曲げ加工	目かくしフェンス(アルミ既製品)	外 中 木	コンクリート打放し補修	
塔屋屋根	コンクリート金ゴテ押+アスファルト露出防水(D-1)	消火水槽基礎 配管取出用孔あり			
ベランダ壁木	アルミ(既製品)アルマイト処理		EXP.ジョイント (屋上のみ)	コーティング: L-65x65x6 BWR-6x10 タイル焼付 ジョイントカバー: C.花-6 タイル焼付 軒樋: スチール@0.9 HL W:125 H:250;ドレインカバー: スチール金網	
外 壁	ホロー鋼板パネル張り又は ALCパネル@100x25 アクリル系吹付タイル;目地(共通):シリコン(B種) <small>(10x10) (15x10) (20x10)</small>	ALCパネル出隅部(一部): ガラ-鉄板@0.8曲げ加工 2F ALC 継ぎ目:ガラ-鉄板@0.6加工			
開口部	アルミサッシ(ALC用専用)アルマイト処理;ガラス:網入遮熱ガラス@6.8	木切皿板:アルミ既製品			
通気口	鉄製ルーフトライン(種別型)φ80,100 B0 150 タイル焼付 硬質塩ビパイプ φ80,100 B0 150 VP		側 溝	現場打ちコンクリート打放し補修(天端のみ金ゴテ仕上);U字溝既製品 U-180, U-240	
軒 裏	軽鉄下地 アルミスパンドレル張り		受水槽基礎	天端:コンクリート金ゴテ仕上 側面:コンクリート打放し補修	
			桌椅用階段	踏面・蹴上:モルタル金ゴテ仕上 側面:コンクリート打放し補修 手摺:スチールパイプ OP 柱:スチール製 10x211x70	
外部斜路 (斜路A)	スロープ:コンクリート金ゴテ押+上 エポキシ樹脂系塗布(10x211x70仕上) 蹴上:鋼板表わし OP 2面塗;踏面:10x211x70付コンクリート平板700x700x300 スロープ:鋼板表わし OP 2面塗;手摺:スチールパイプ OP				

内部仕上表

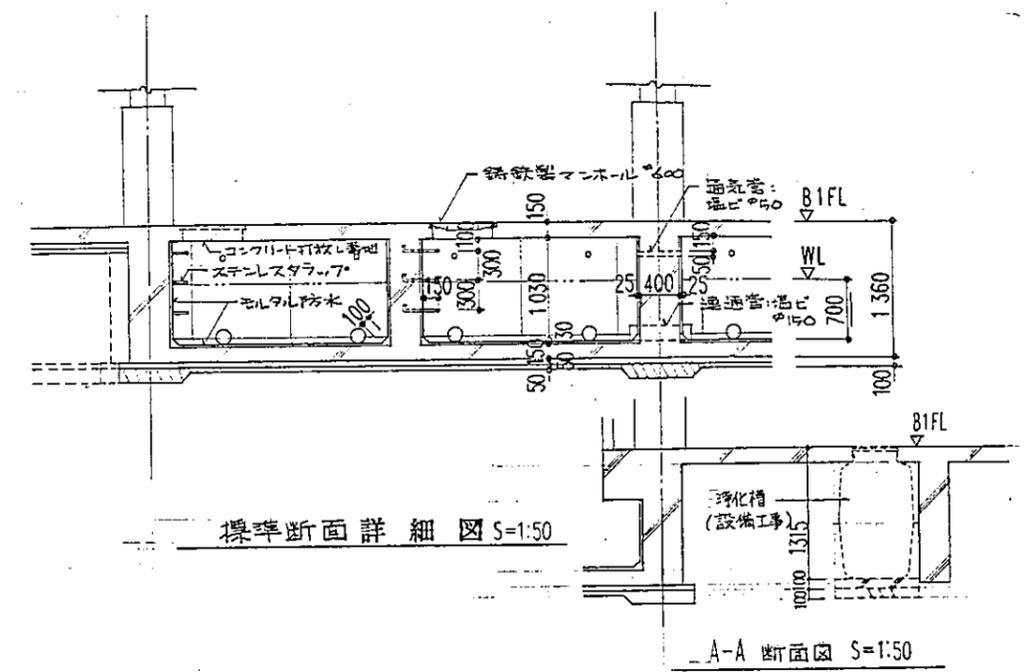
階	室 名	床	巾 木	高 さ	壁	天 井	高 さ	柱・梁	備 考
B1階	ミニバイク置場	コンクリート金ゴテ押+フェロコンハード仕上			コンクリート打放し補修	デッキフロート E12 表わし		耐火被覆: H≦FL+1200 ALC@507711吹付タイル H≦FL+1200 鉄骨丸棒@25 AEP	排水水溝:W=100,H=10x40 コンクリート金ゴテ 床下鉄骨マンホール:鉄骨製φ600 床下鉄骨マンホール:スチール既製品 ネットフェンス ポンプ基礎 床下鉄骨マンホールφ900:全上
	ドレンホース室	コンクリート金ゴテ仕上			コンクリートアロウ@120化粧板	全 上			
1階	ミニバイク置場	コンクリート金ゴテ押+フェロコンハード仕上			外壁ホロー鋼板パネル部: ALCパネル@50 アクリル系吹付タイル 外壁 ALCパネル部:アクリル系吹付タイル ALCパネル@100 アクリル系吹付タイル一部(軽鉄下地 吹付) 鉄板アルミパネル@12 AEP	デッキフロート E12 表わし		耐火被覆: H≦FL+1200 ALC@507711吹付タイル H≦FL+1200 鉄骨丸棒@25 AEP	排水水溝:W=100,H=10x40 コンクリート金ゴテ ネットフェンス
	管理人詰所	コンクリート金ゴテ押+長尺塩ビシート貼	ビニル巾木	60		7Lキミアルボード@4	2 350	全 上	透け付 受付カウンター:メラミン化粧板貼 スチール流し台φ=1500 吊戸棚φ=900 スチール支柱φ=900
	廊下	全 上	全 上	60	全 上	全 上	2 200	全 上	
2階	自転車置場	コンクリート金ゴテ押+フェロコンハード仕上			外壁ホロー鋼板パネル部: ALCパネル@50 アクリル系吹付タイル 外壁 ALCパネル部:アクリル系吹付タイル	デッキフロート E12 表わし		鉄骨表わし OP 2面塗	排水水溝:W=100,H=10x30 コンクリート金ゴテ 転倒防止柵:スチールパイプ OP
	階段室	コンクリート金ゴテ押+フェロコンハード仕上			外壁(ALCパネル) アクリル系吹付タイル	デッキフロート E12 表わし		鉄骨表わし OP 2面塗	
各階 共通	斜路 B,C	スロープ:コンクリート金ゴテ エポキシ樹脂系塗布 (10x211x70仕上) 踏面:10x211x70付コンクリート平板700x700x300 OP						段差:鉄骨表わし OP 2面塗	手摺:スチールパイプ OP
	階段 A,B	踏面:モルタル金ゴテ仕上(70x70x2750用) 蹴上:鋼板表わし OP						全 上	10x211x70:スチール製

材料記号番号 7Lキミアルボード 不燃 1001号
 硬質塩ビ板 1061号

件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	A棟仕上表		
縮 尺		図面番号	6 /
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部 長	課 長	係 長	担 当
横浜市道路局			

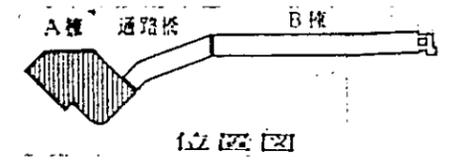


ピット平面図 S=1:100

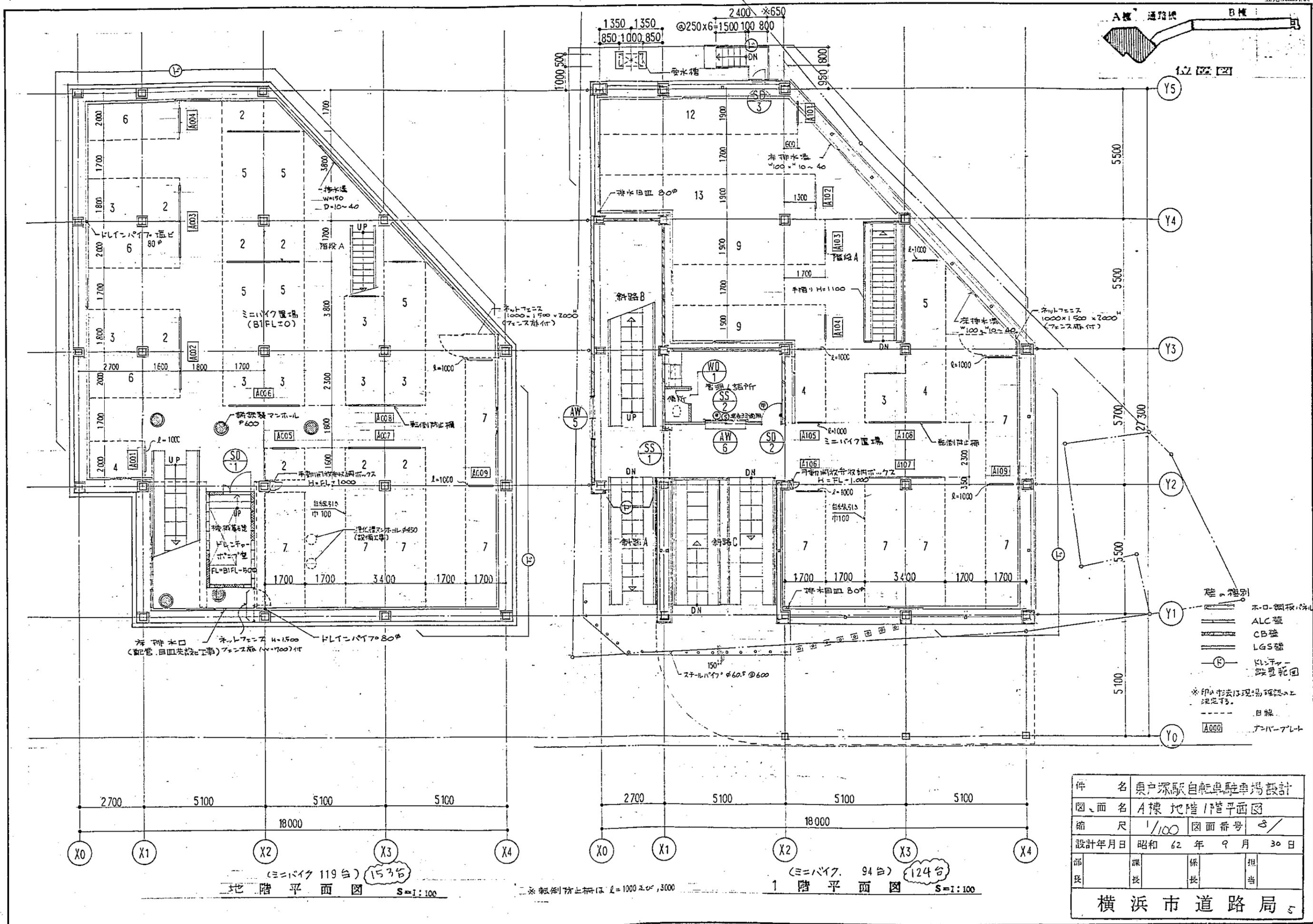


凡例

記号	記号
	上部:通気管 塩ビパイプ 50φ
	下部:通気管 150φ
	通気管・塩ビパイプ 25φ
	管端: 600 ^φ × 600 ^H
	ステンレスダフ (既製品)
	上部 鉄製マンホール 600



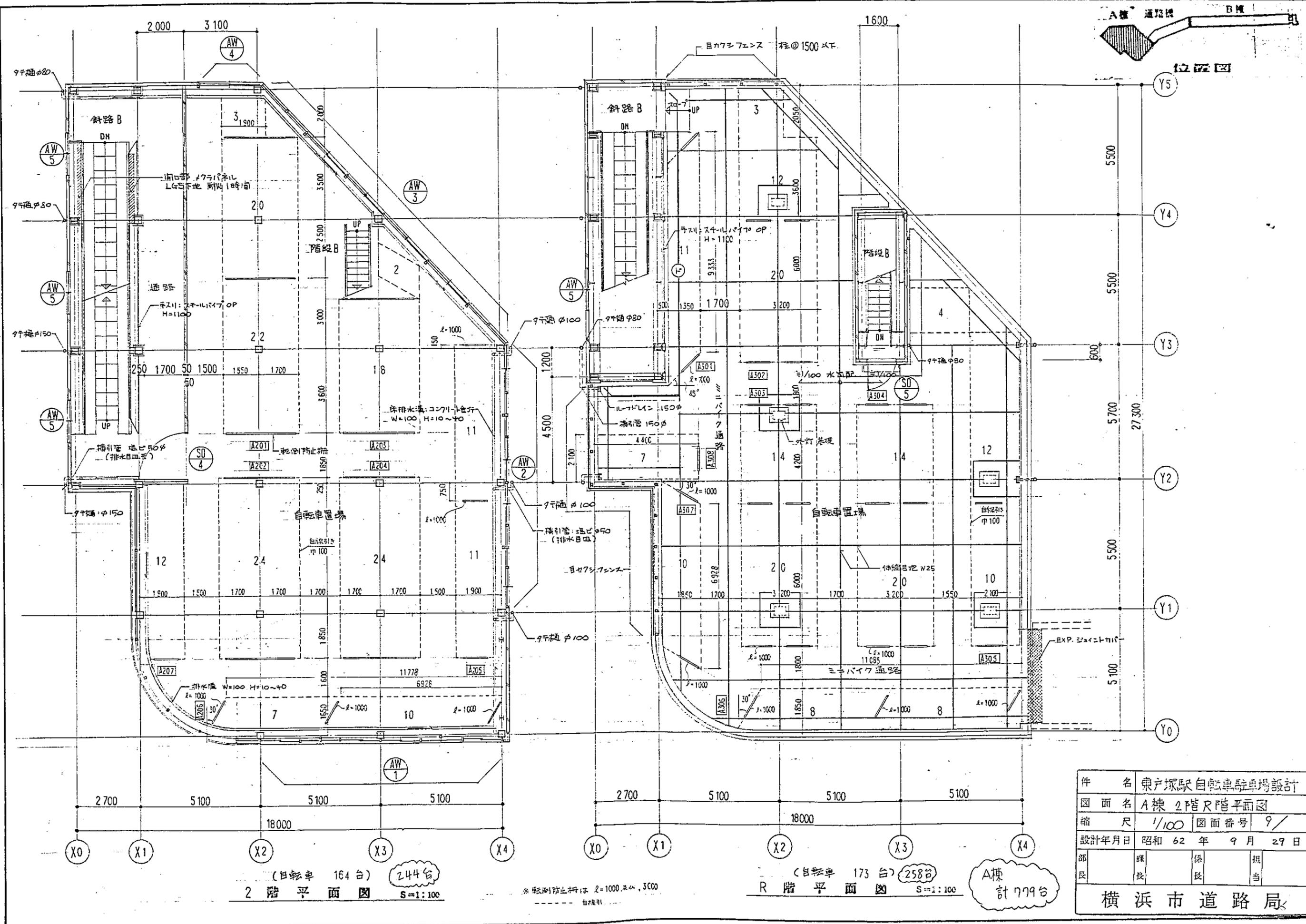
件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	A棟ピット平面図・凡例		
縮尺	1/100	図面番号	7/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



(ミニバイク 119台) 153台
地階平面図 S=1:100

(ミニバイク 94台) 124台
1階平面図 S=1:100

※転倒防止柵は L=1000及び、3000



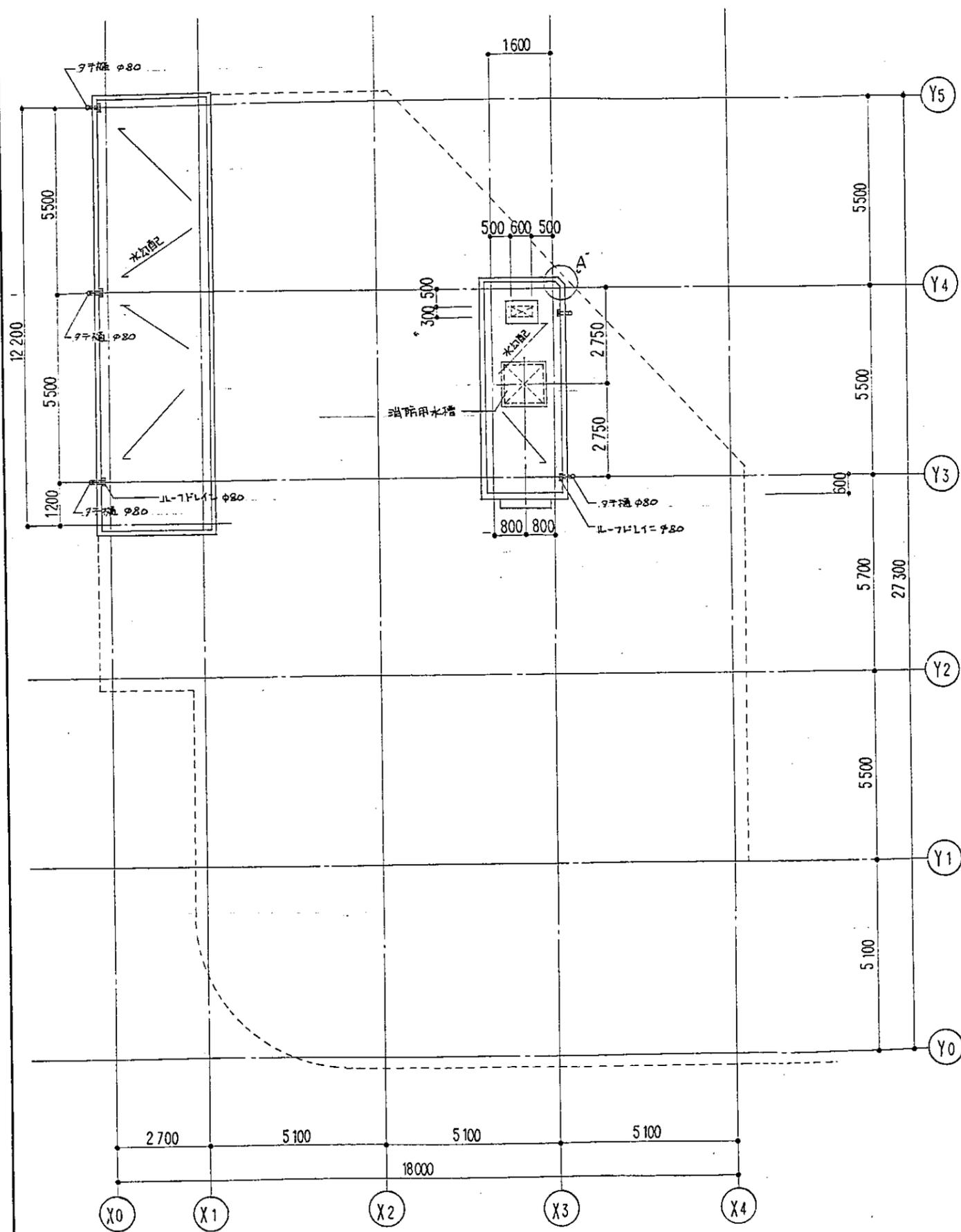
(自転車 164台) 244台
2階平面図 S=1:100

* 転倒防止柵は 2=1000, 3=1500, 3000
白線引

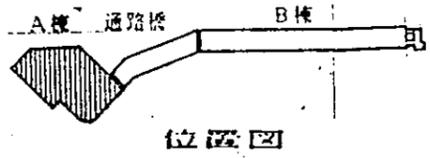
(自転車 173台) 258台
R階平面図 S=1:100

A棟 計779台

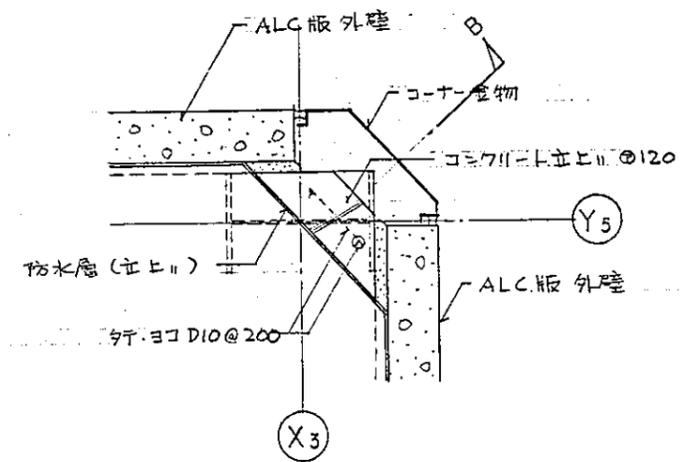
件名	東戸塚駅自転車駐留場設計		
図面名	A棟 2階R階平面図		
縮尺	1/100	図面番号	9/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 29 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



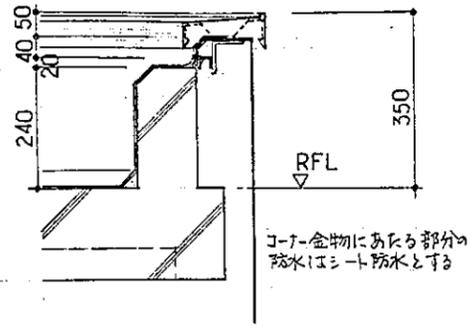
PH屋根伏図 S=1:100



位置図

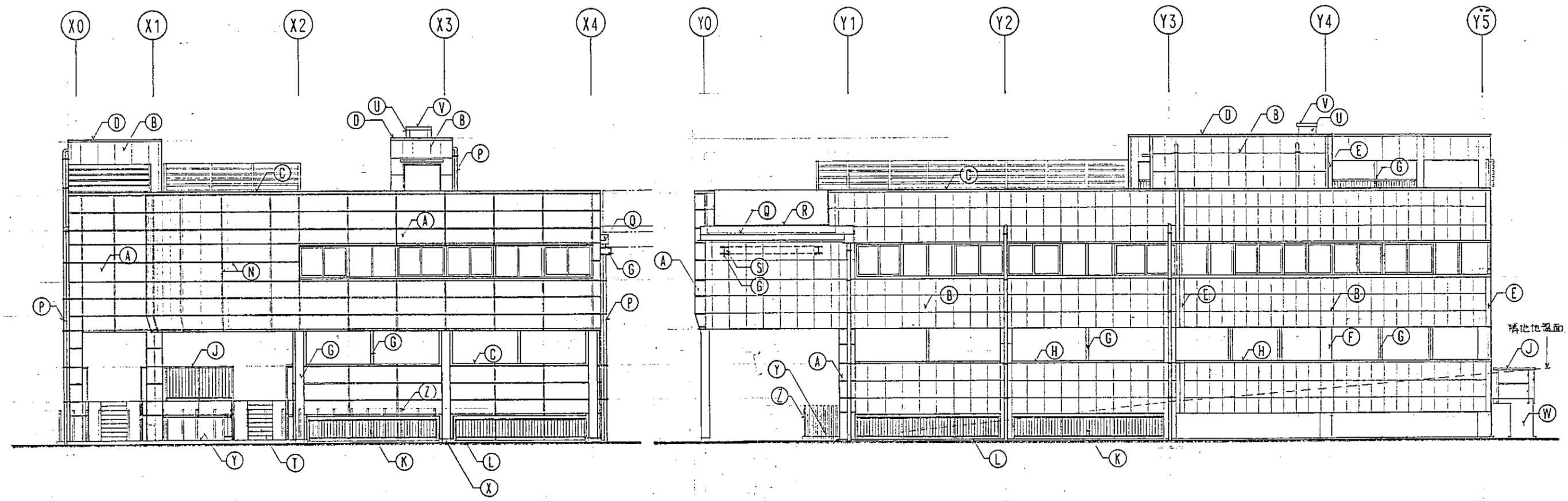
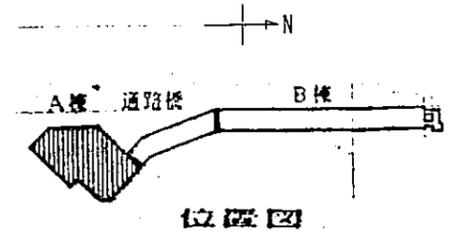


A部詳細図 S=1/10



B断面詳細図 S=1/10

件名	京戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 PH屋根伏図		
縮尺	1/100	図面番号	10/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

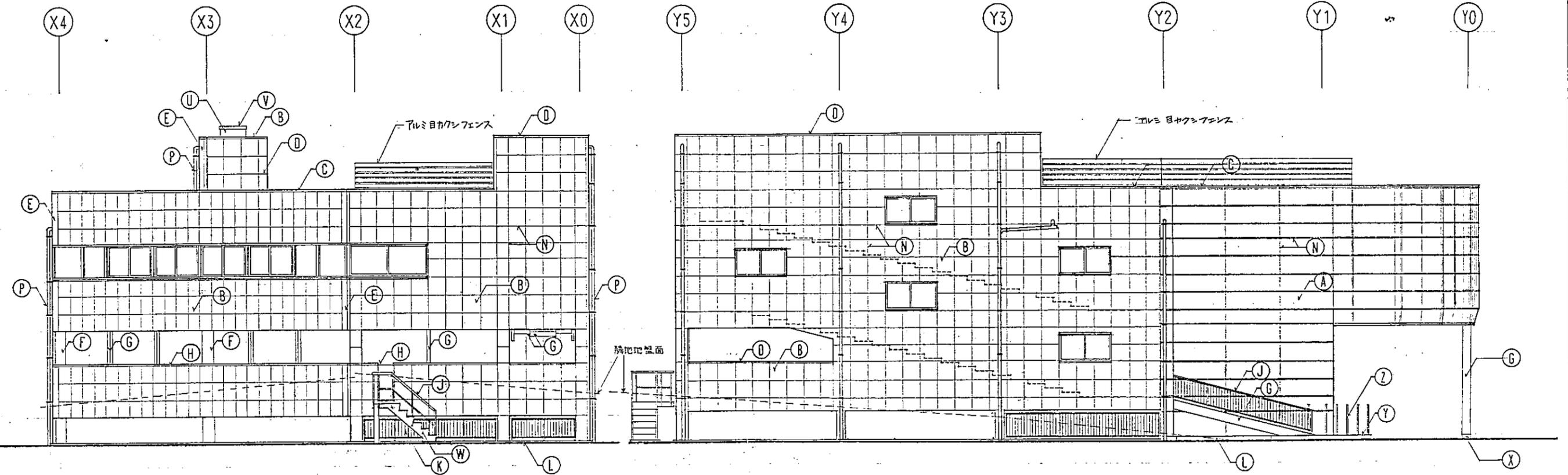
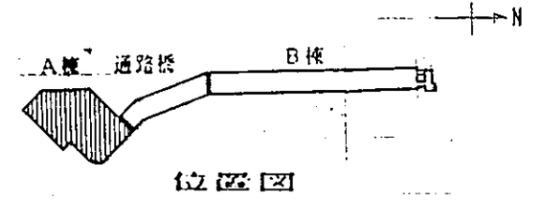


北立面図 S=1:100

西立面図 S=1:100

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
A	外壁面仕様: F-0-鋼板パネル	J	手摺面仕様: スチールパイプφ43 ^b , 42 ⁷ , 34 ^b , 21 ⁷ OP	S	屋根仕様: F-0-鋼板の0.5加工OP
B	外壁: ALCパネルφ100+25 アクリル系吹付タイル	K	フェンス: スチールFB-9x50 2x FB-6x40 OP	T	階段面仕様: 鉄骨製 OP 鉄骨製 OP コンクリート打放し補修
C	手摺面仕様: F-0-鋼板パネル	L	外壁面仕様: コンクリート打放し補修	U	配管上り仕様: コンクリート打放し補修 アクリル系吹付タイル
D	パラペット面仕様: アルミ既製品 タルマイル処理	N	外壁面仕様: 木目調サイディング	V	配管上り仕様: 防水処理タイル金ゴテ工
E	コーティング仕様: ガラス鉄板φ0.5加工	P	壁面仕様: 硬質塩ビパイプφ80, 100及び150 VP	W	基礎仕様: コンクリート打放し補修
F	耐火仕様: 珪藻土サイディングφ25 アクリル系吹付タイル	Q	軒樋 (Exp. ジョイント部): 鋼板φ3.2加工 (X+LXφ0.5 HL内貼)	X	根巻: スチールφ1.0 Aライン
G	鉄骨製 OP 2面垂れ	R	コーティング仕様: L-65x65x6 タール焼付	Y	コンクリート金ゴテ押え
H	手摺面仕様: ガラス鉄板φ0.5加工			Z	スチールパイプφ60.5 OP

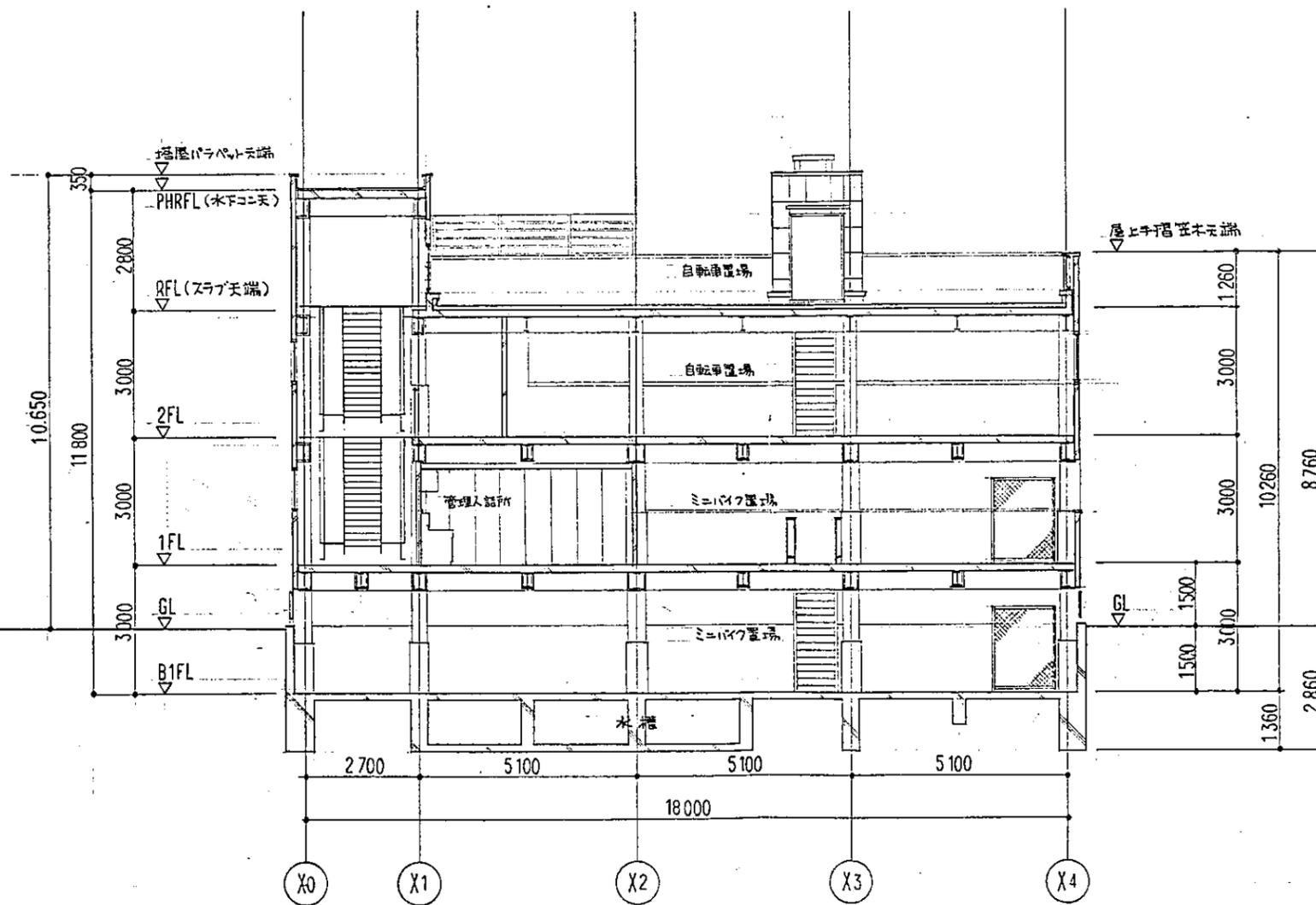
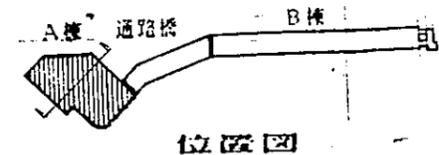
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟北西立面図		
縮尺	1/100	図面番号	11/
設計年月日	昭和62年9月30日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



南立面図 S=1:100

東立面図 S=1:100

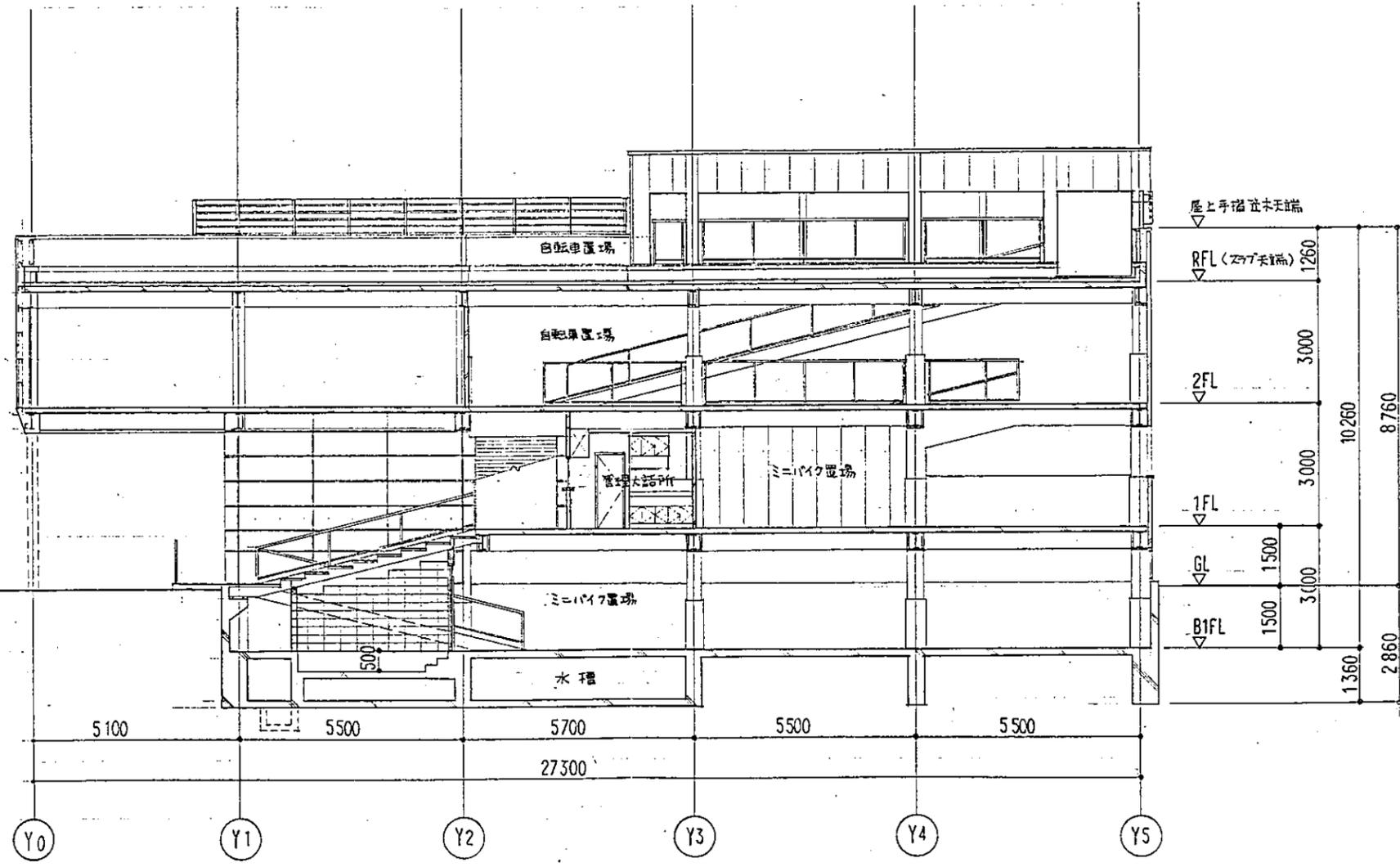
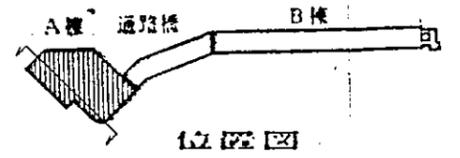
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟南東立面図		
縮尺	1/100	図面番号	12/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



東西断面図 S=1:100

Y2 ~ Y3 間

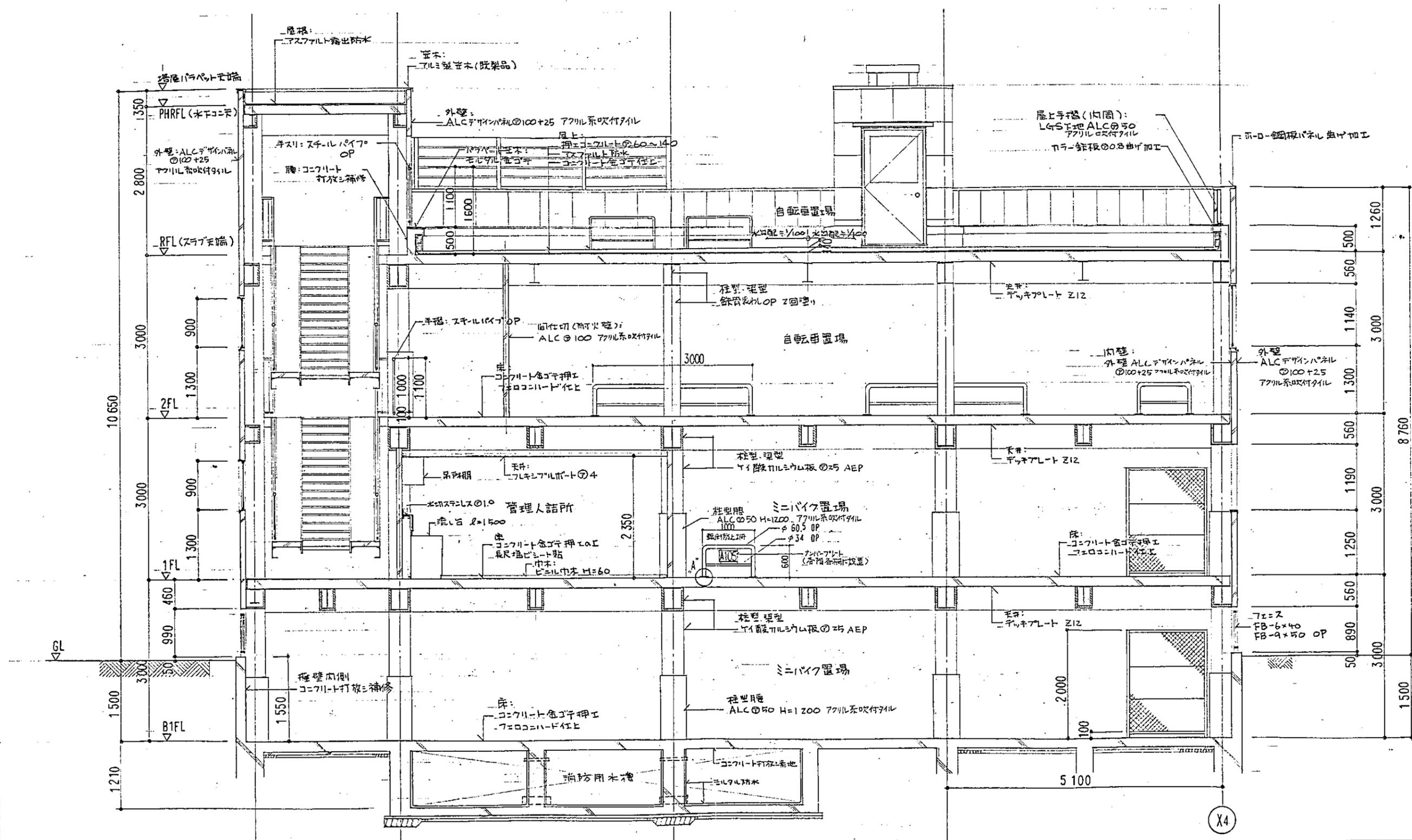
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟東西断面図		
縮尺	1/100	図面番号	13/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



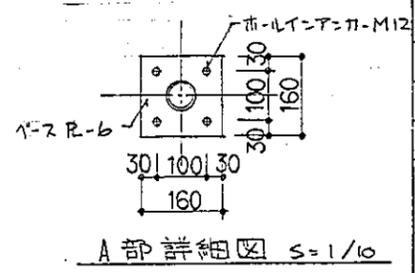
南北断面図 S=1:100

(X1)~(X2) 向

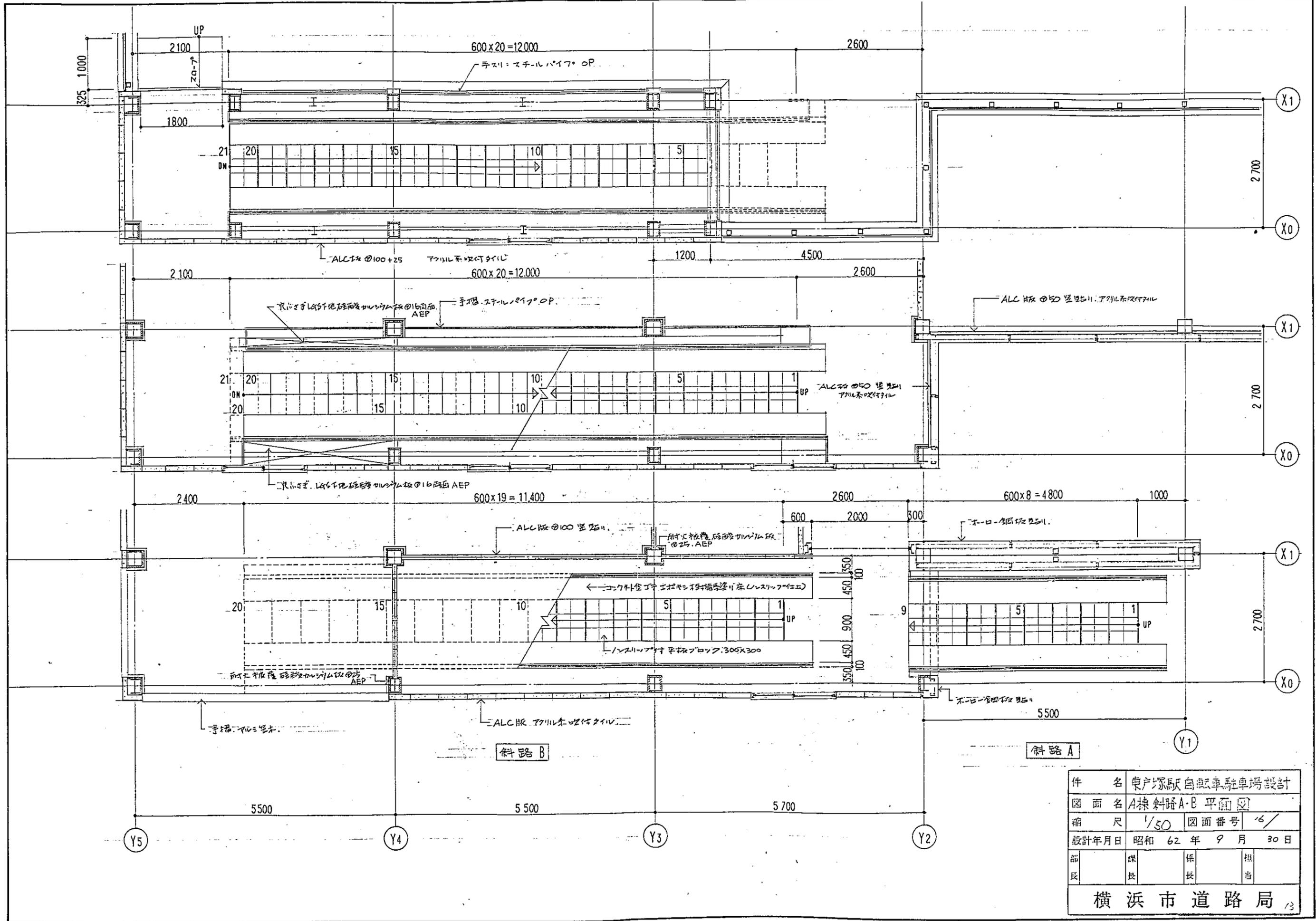
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟南北断面図		
縮尺	1/100	図面番号	14/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



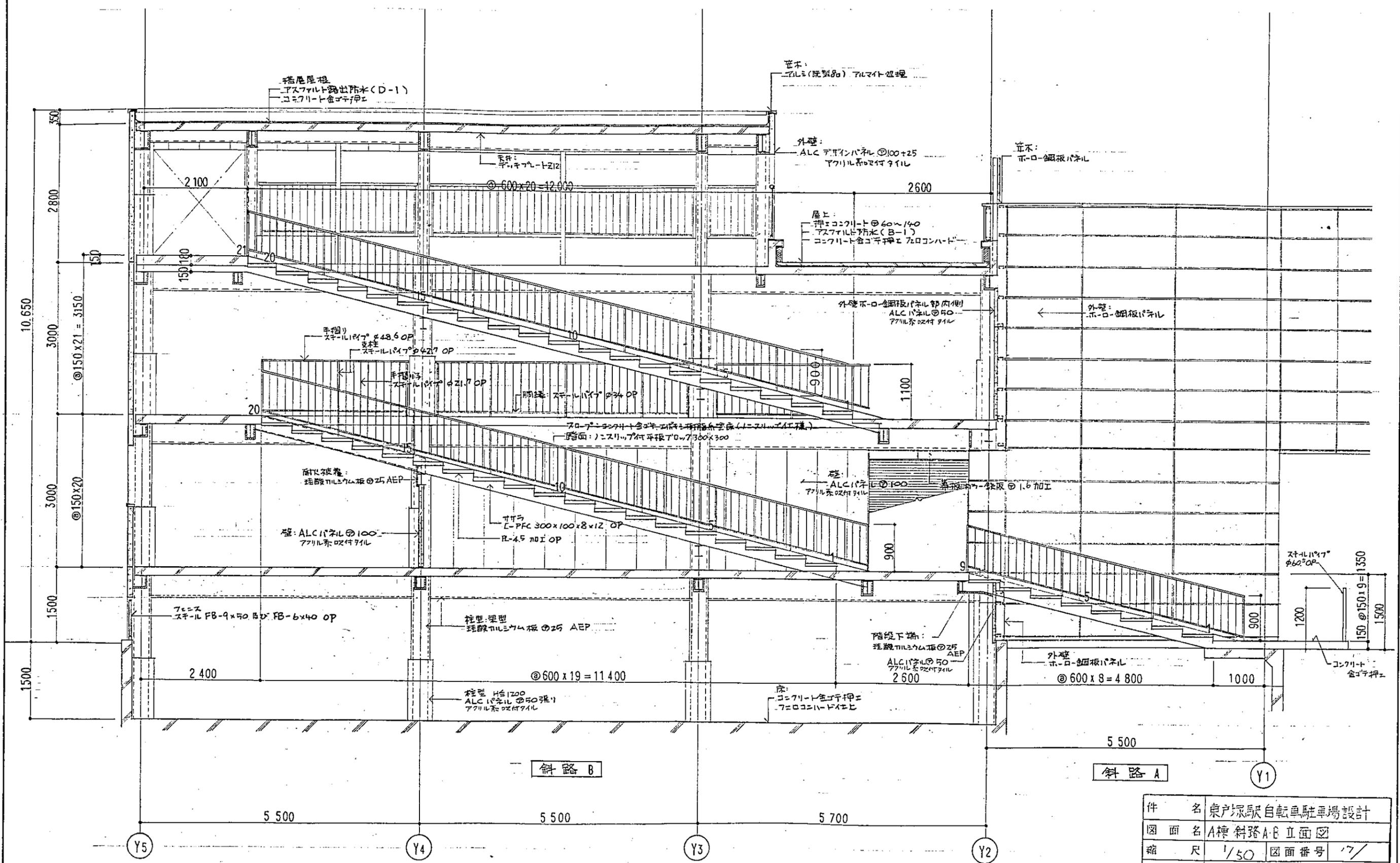
矩計図 S=1:50

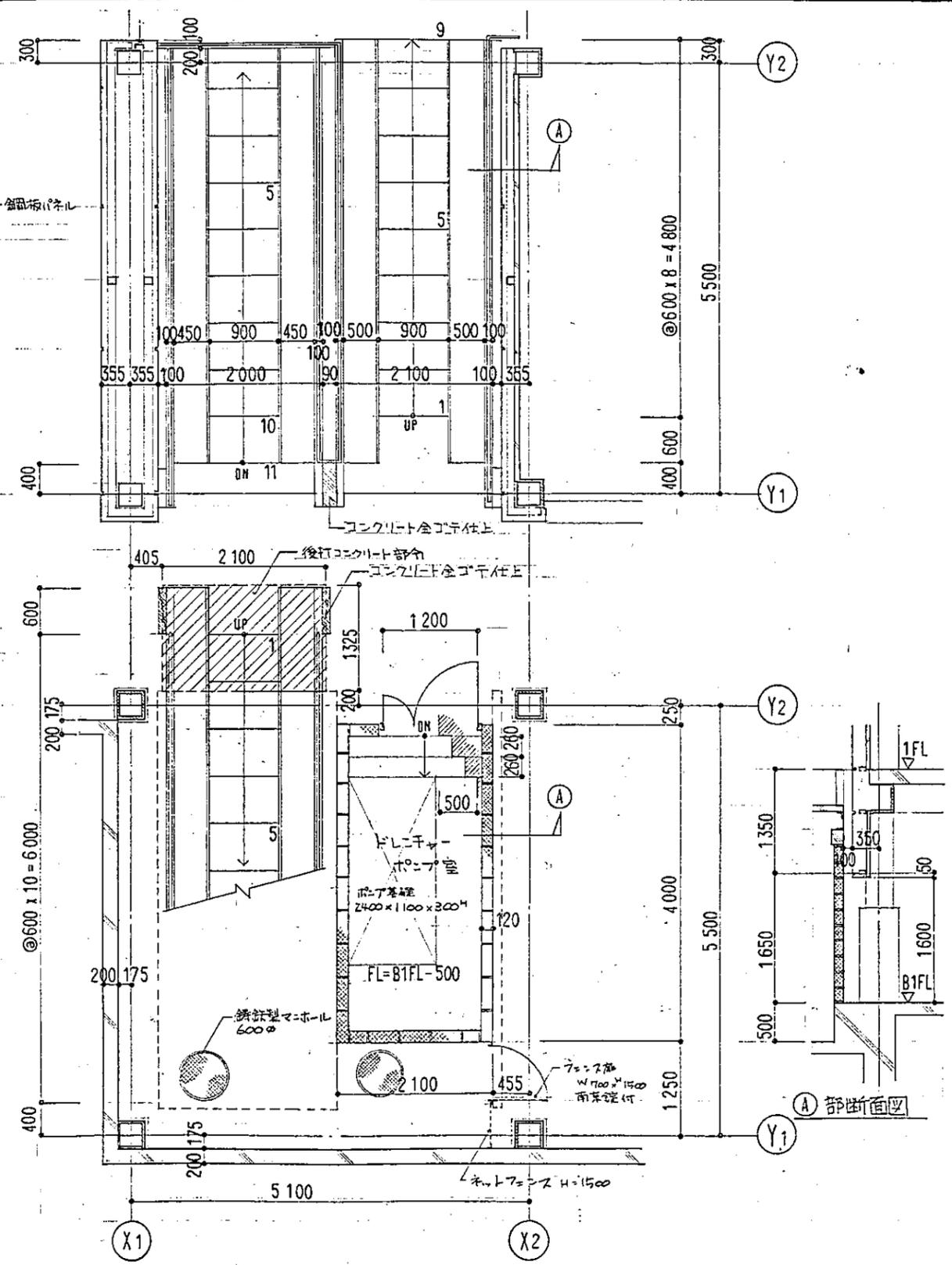
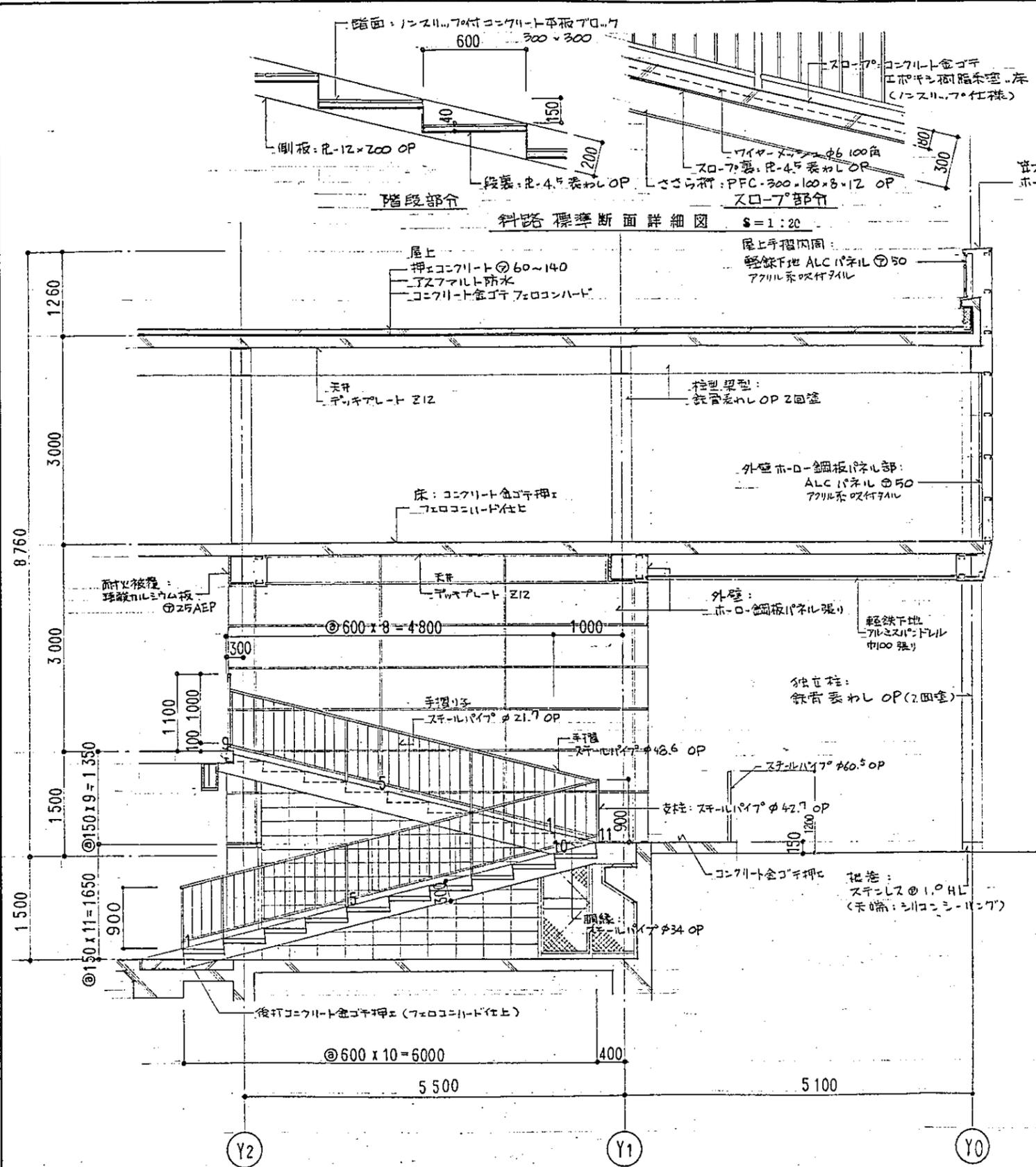


件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟矩計図		
縮尺	1/50	図面番号	15/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局 12			



件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	A棟斜路A・B平面図		
縮尺	1/50	図面番号	16
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

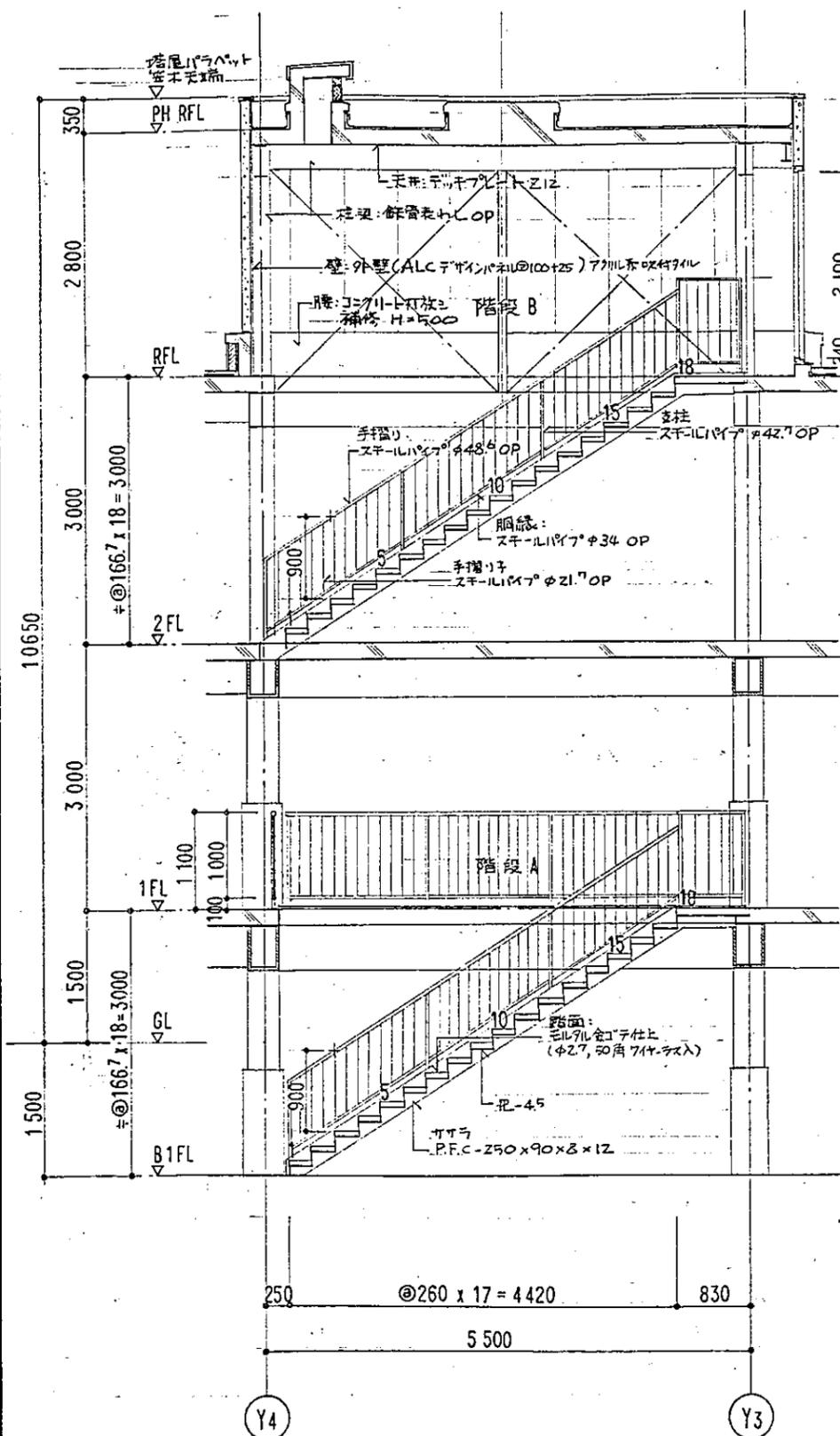




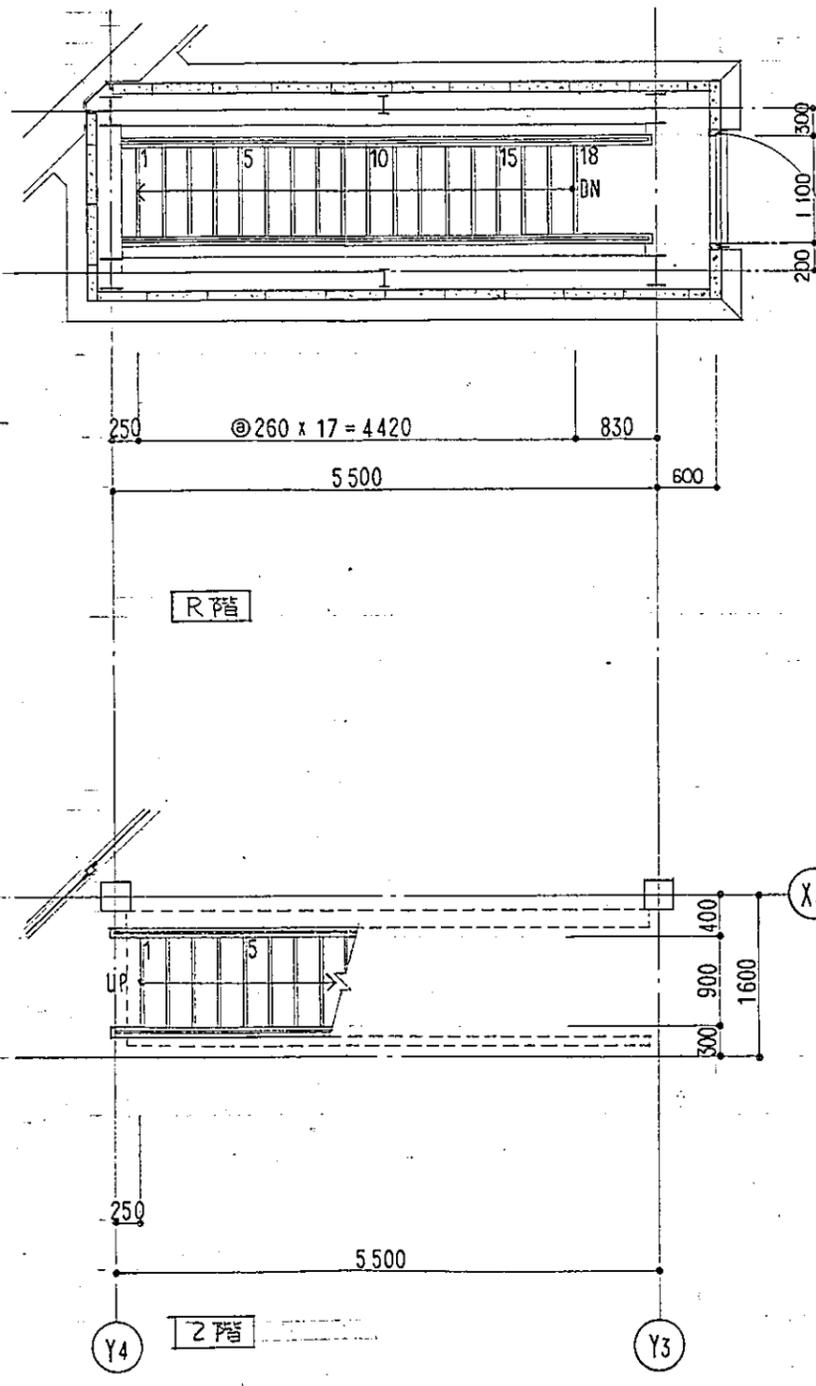
斜路C断面詳細図 S=1:50

斜路C平面詳細図 S=1:50

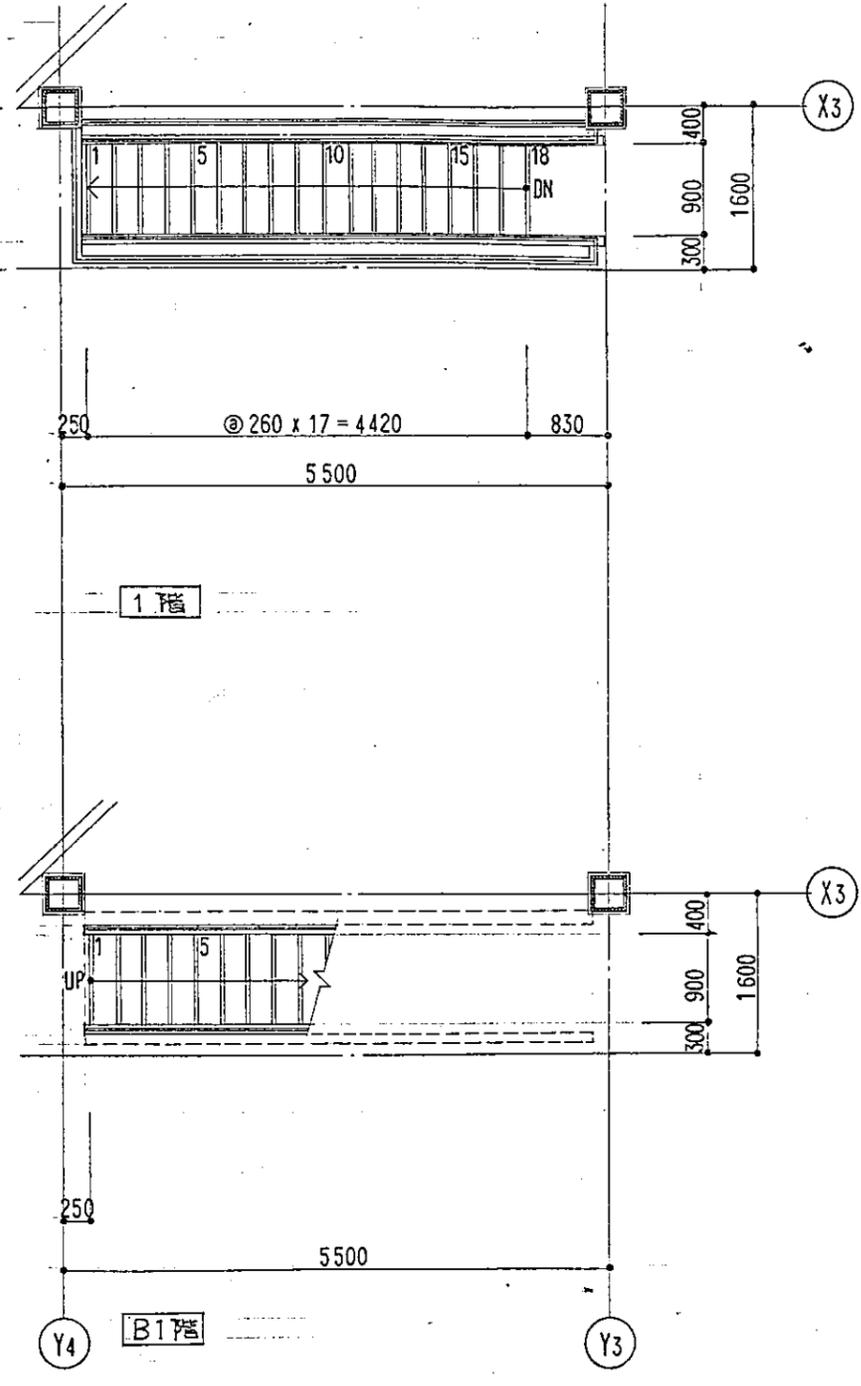
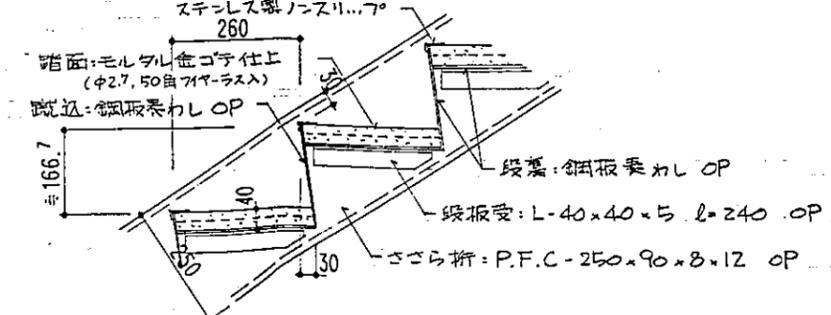
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟斜路C平面図・断面図		
縮尺	1/50	図面番号	13
設計年月日	昭和62年9月30日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



断面詳細図 S=1:50

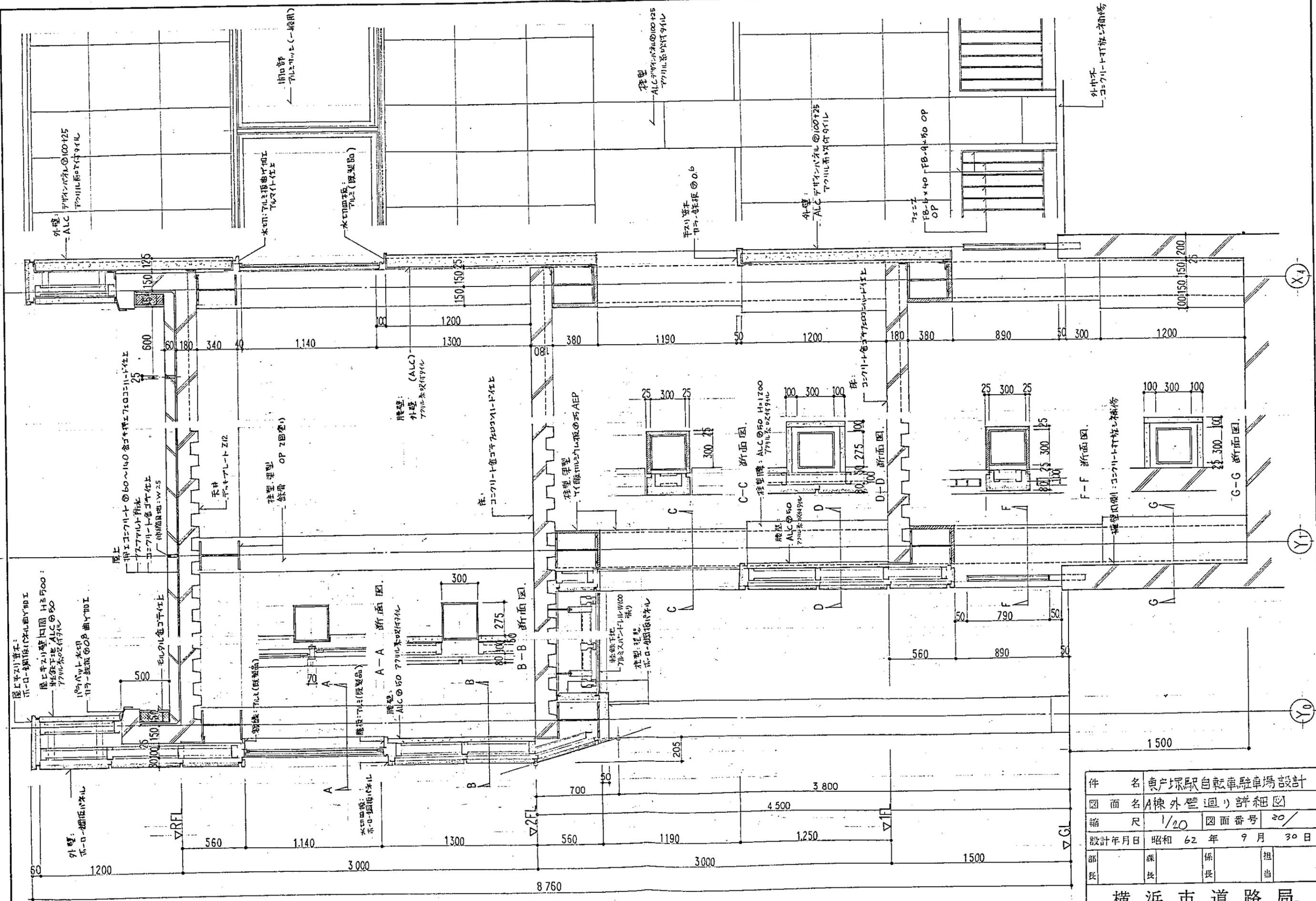


階段B平面詳細図 S=1:50



階段A平面詳細図 S=1:50

件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計			
図面名	A棟 階段平面図・断面図			
縮尺	1/50	図面番号	19/	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	A棟外壁廻り詳細図		
縮尺	1/20	図面番号	20/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当

横浜市道路局

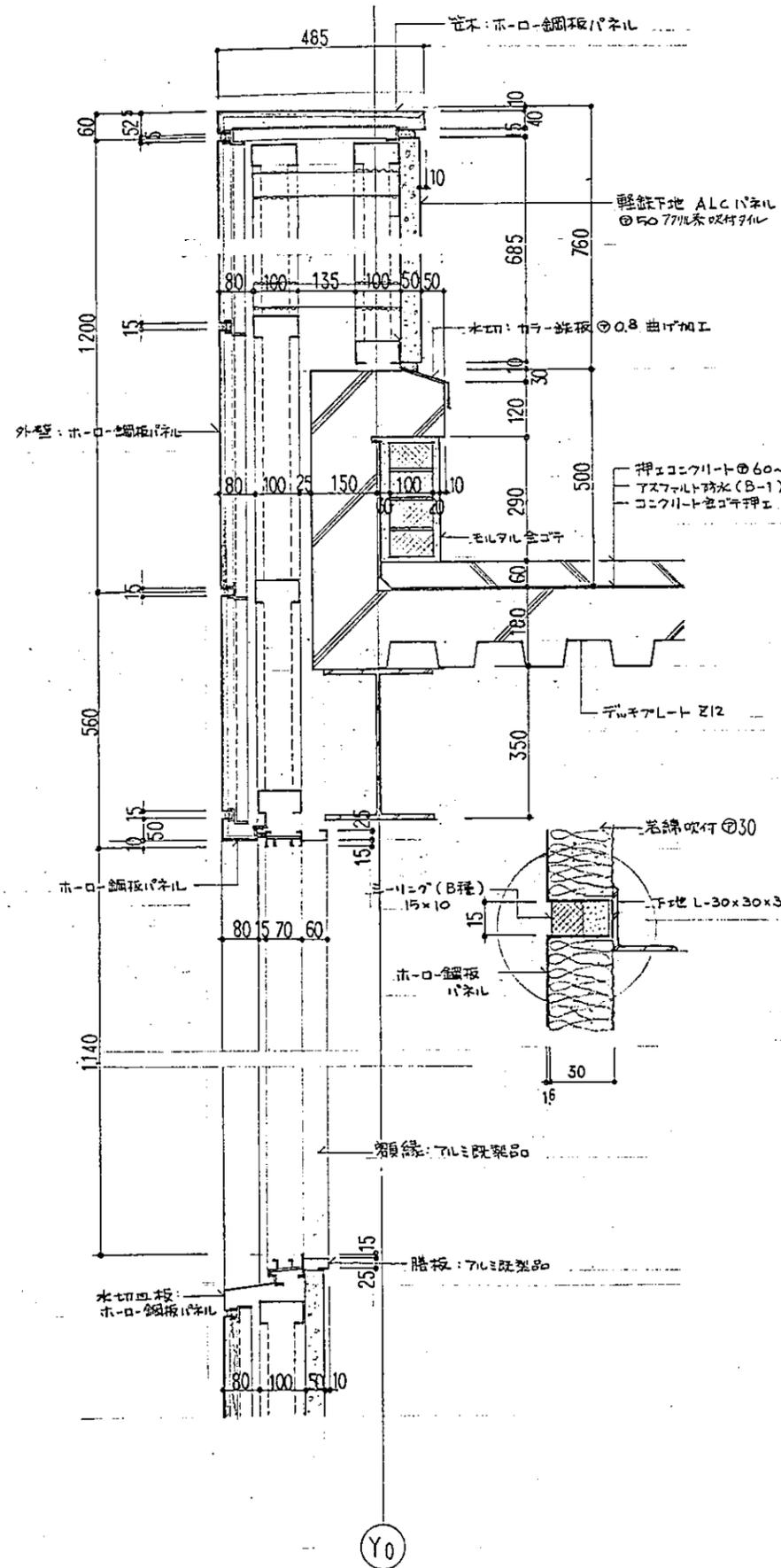
記号 形状	AW 1 アルミ製引違い及び散り殺し窓 (一般用)		AW 2 アルミ製引違い及び散り殺し窓 (一般用)	
型式 (寸法)				
数量 (見込)	1 (70)		1 (70)	
仕上	アルミアルマイト仕上		アルミアルマイト仕上	
ガラス	網入塵キ板ガラス 6.8		網入塵キ板ガラス 6.8	
付属金物	付属金物一式 額縁及び格柵: アルミ既製品		付属金物一式 水切皿板: アルミ既製品	
備考	乙防		乙防 外部 アルミ水切 (三方)	
記号 形状	AW 3 アルミ製引違い及び散り殺し窓 (一般用)		AW 4 アルミ製引違い及び散り殺し窓 (一般用)	
型式 (寸法)				
数量 (見込)	1 (70)		1 (70)	
仕上	アルミアルマイト仕上		アルミアルマイト仕上	
ガラス	網入塵キ板ガラス 6.8		網入塵キ板ガラス 6.8	
付属金物	付属金物一式 水切皿板: アルミ既製品		付属金物一式 水切皿板: アルミ既製品	
備考	乙防 外部: アルミ水切 (三方)		乙防 外部: アルミ水切 (三方)	
記号 形状	AW 5 アルミ製引違い窓 (一般用)	AW 6 アルミ製引違い窓 (ALC用)		
型式 (寸法)				
数量 (見込)	5 (70)	1 (70)		
仕上	アルミアルマイト仕上	アルミアルマイト仕上		
ガラス	網入塵キ板ガラス 6.8	上-メイ板ガラス 5.0		
付属金物	付属金物一式	付属金物一式		
備考	乙防	下柵付クワ-埋込		

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 建具表 (1)		
縮尺	1/50	図面番号	21/
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

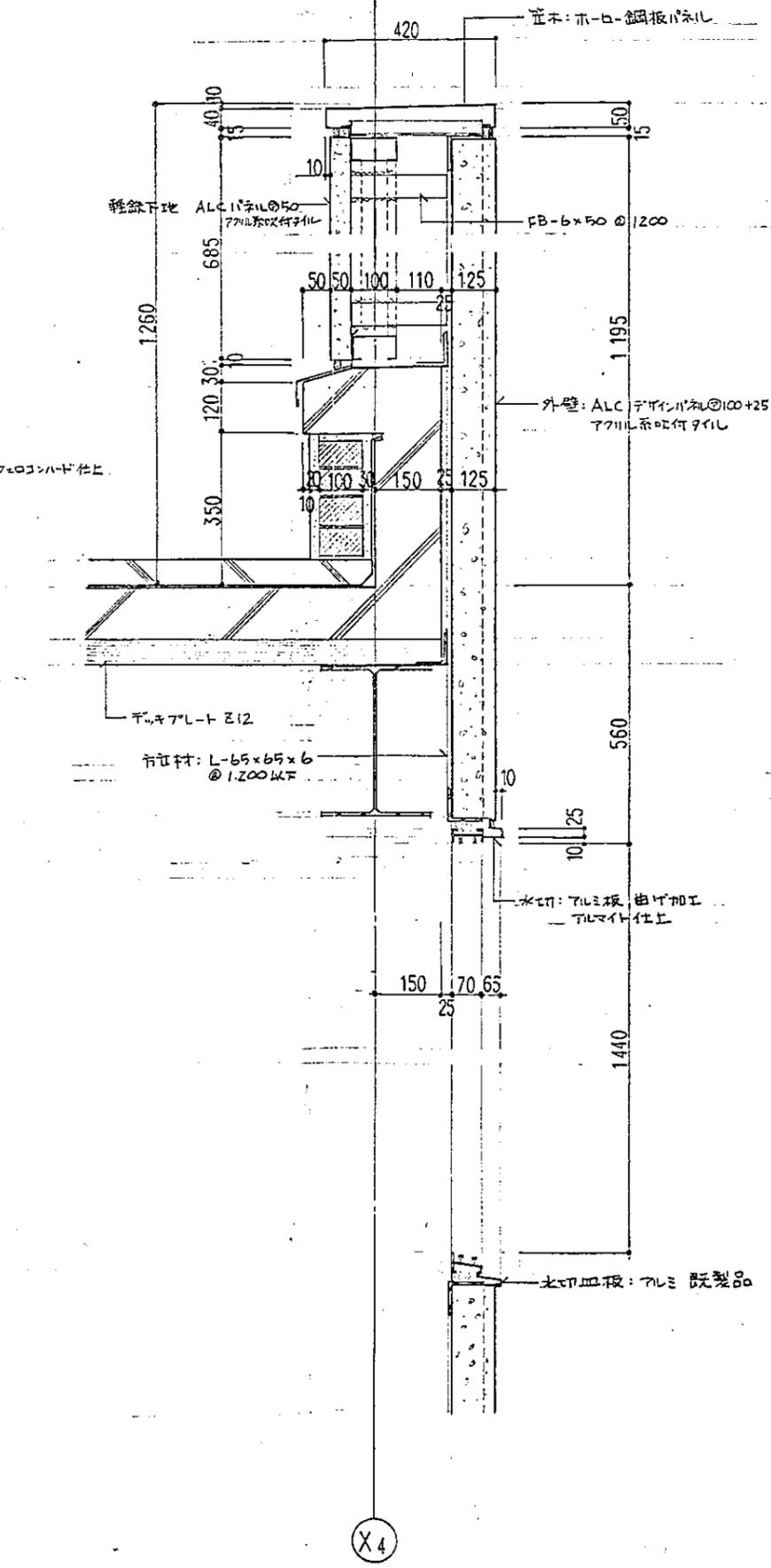
記号 形状	SD1 鋼製親引開キフラッシュ扉	SD2 鋼製片開キフラッシュ扉	SD3 鋼製片開キフラッシュ扉	SD4 鋼製片開キフラッシュ扉 (埋込型)	SD5 鋼製片開キフラッシュ扉 (額付)	WD1 木製片開キフラッシュ扉 (額付)
型式 (寸法)						
数量(見込)	1 (40)	1 (40)	1 (40)	1 (40)	1 (40)	1 (36)
仕上	OP	OP	OP	OP	OP	榻ベンヤ OP
ガラス					細入型板ガラス 6 ³	型板ガラス 4 ⁰
付属金物	T番・握り玉付本錠錠	T番・握り玉付本錠錠(両側付)	T番・握り玉付本錠錠	T番・キーハンドル付錠錠	T番・握り玉付錠錠	T番・握り玉付錠錠
	ドアクロージャー(ストッパー付)	ドアクロージャー(ストッパー付) 付		ドアクロージャー(ストッパー付)	ドアクロージャー(ストッパー付)	
備考	甲種防火戸(常開)	甲種防火戸(常開)	上付なし 付付 ステンレス 2 ⁰	甲種防火戸(くくり付)	乙種防火戸(常開)	
記号 形状	SS1 警報チャイム (埋込型用設置量付) (電動)	SS2 警報チャイム (埋込型用設置量付) (電動)				
型式 (寸法)						
数量(見込)	1	1				
仕上	OP	OP				
ガラス						
付属金物	付属金物一式 (ハンドル、よこさ及び座板は ステンレス製とする)	付属金物一式 (ハンドル、よこさ及び座板は ステンレス製とする)				
備考	甲種防火戸 手動巻上げ機(チェーン式)	甲種防火戸 手動巻上げ機(チェーン式)				
記号 形状						
型式 (寸法)						
数量(見込)						
仕上						
ガラス						
付属金物						
備考						

件名	泉戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 建具表(2)		
縮尺	1/50	図面番号	22/
設計年月日	昭和 62年 2月 14日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

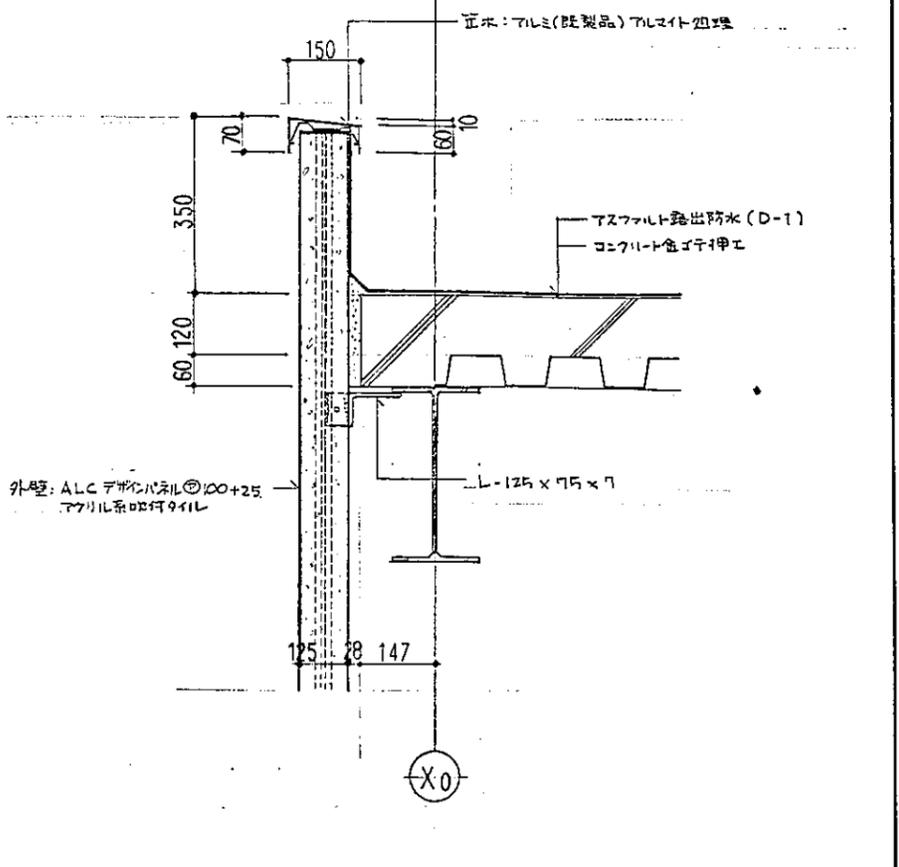
0-1 屋上手摺り廻り詳細図(外壁ホ-ロ-鋼板パネル部分) S=1:10



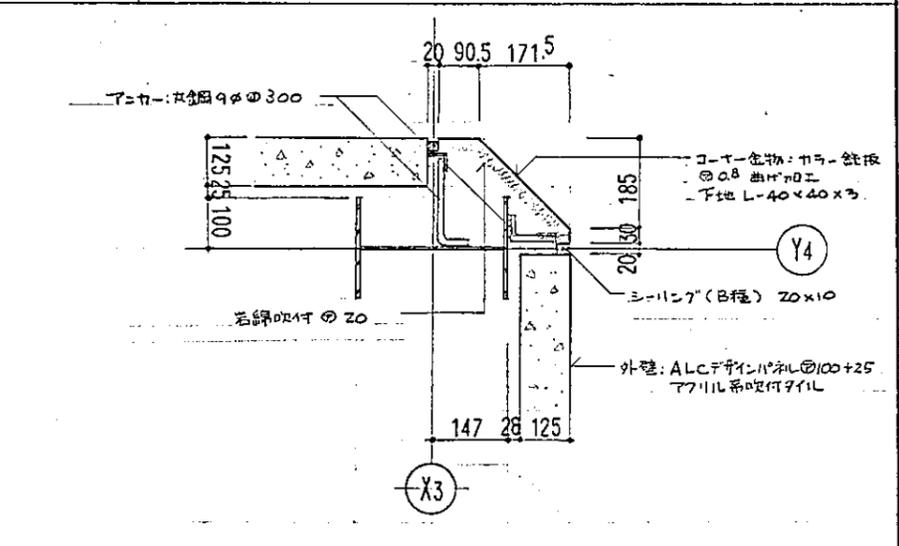
0-2 屋上手摺り廻り詳細図(外壁 ALCパネル部分) S=1:10



0-3 塔屋パラペット廻り詳細図 S=1:10

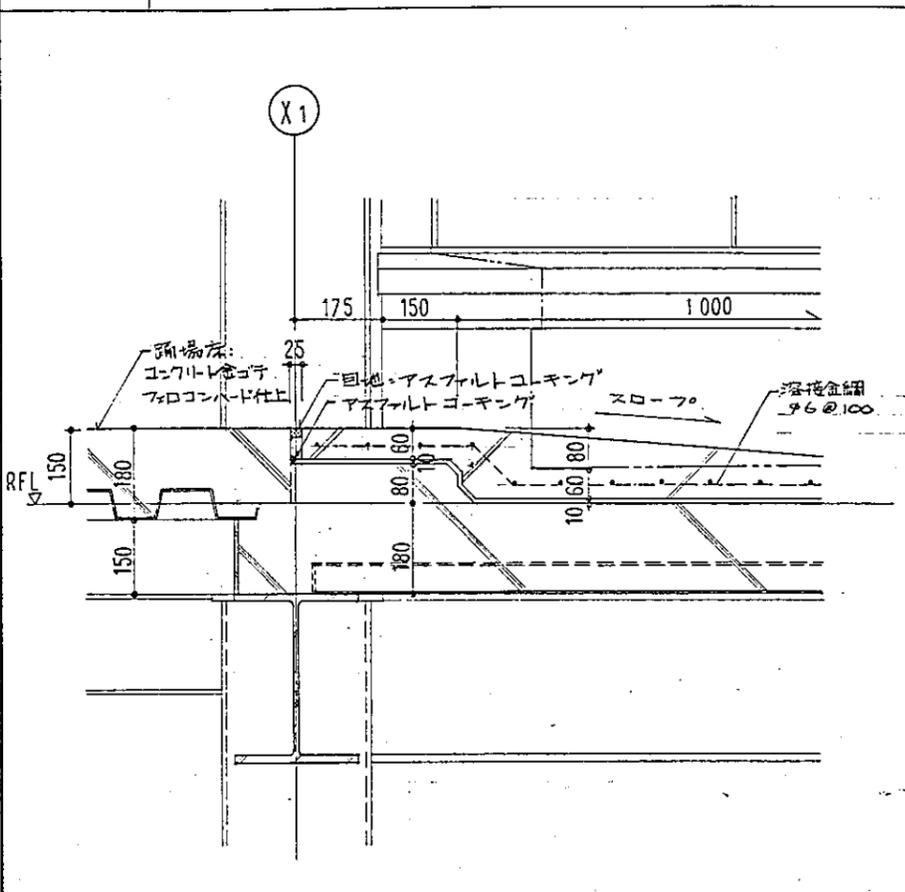


0-4 塔屋出隅部分詳細図 S=1:10

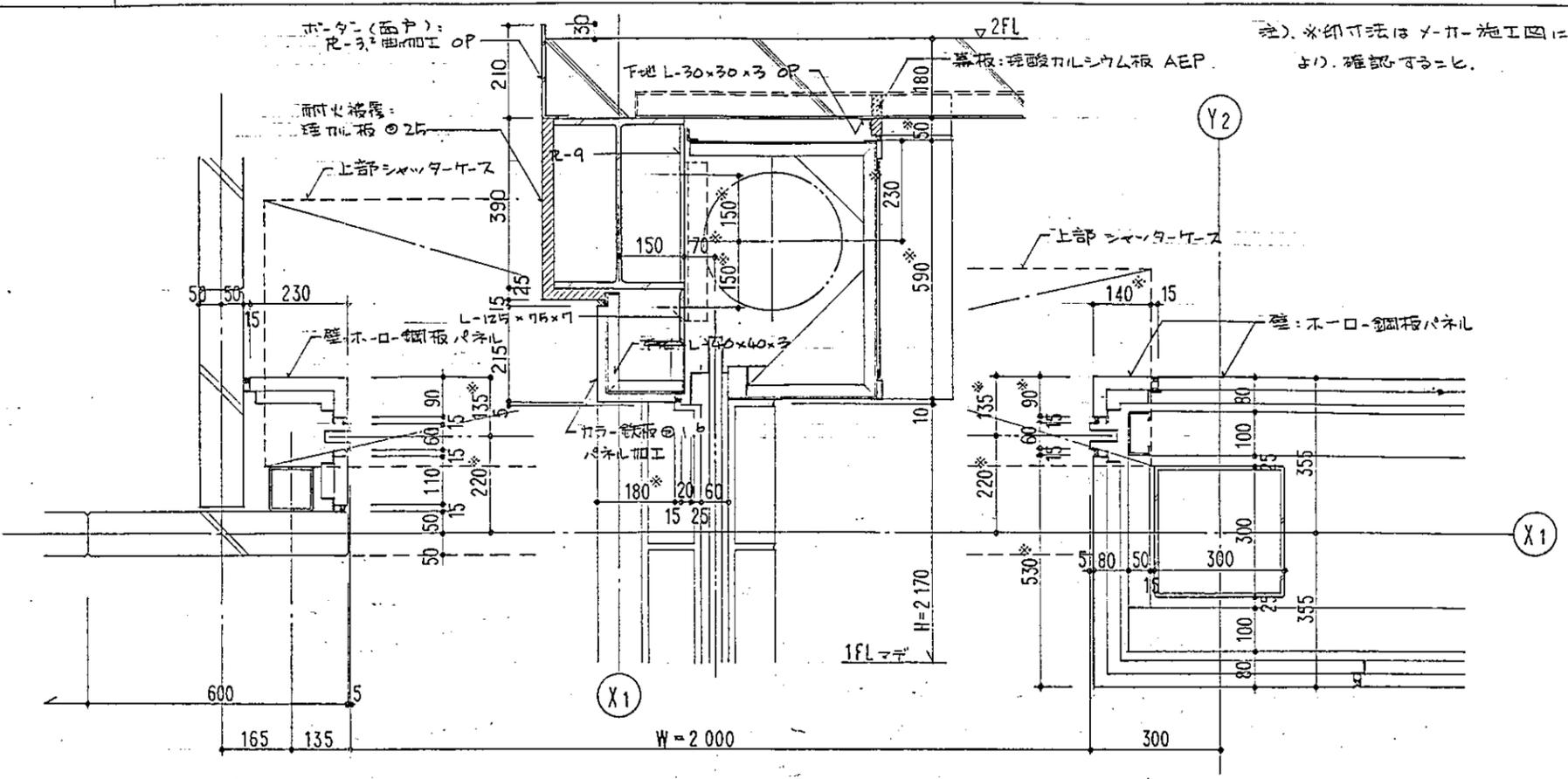


件名	東産塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟部分詳細図(1)		
縮尺	1/10	図面番号	23
設計年月日	昭和 62 年 4 月 2 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

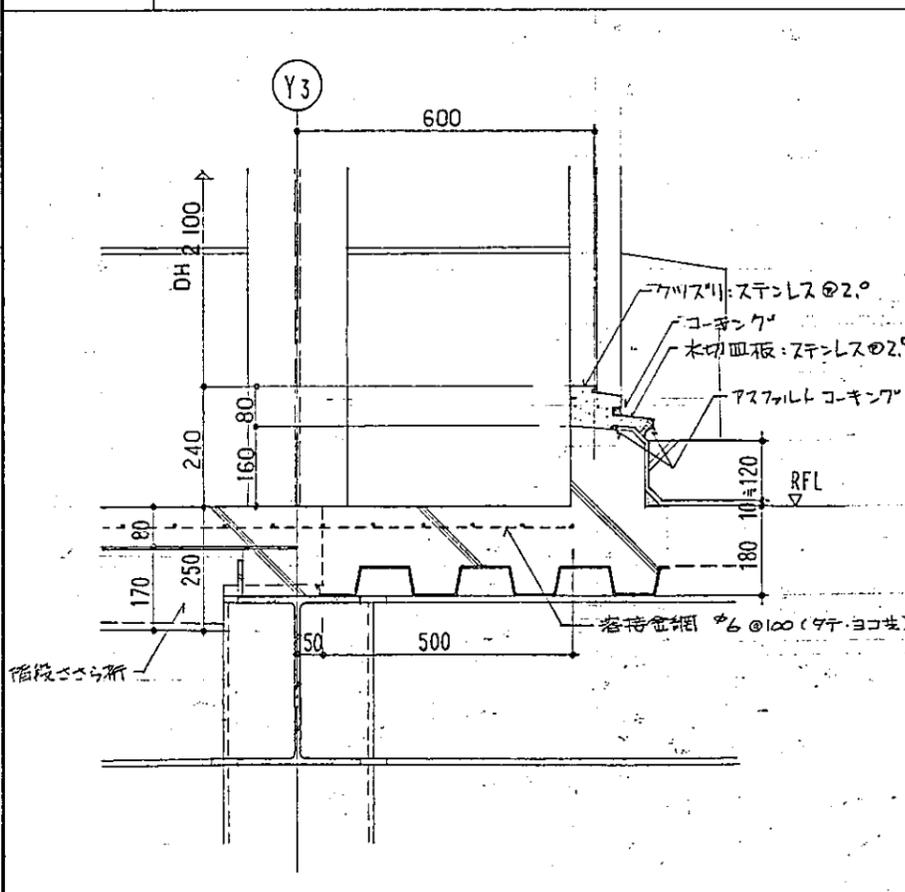
D-5 斜路B 屋上出入口廻り詳細図 S=1:10



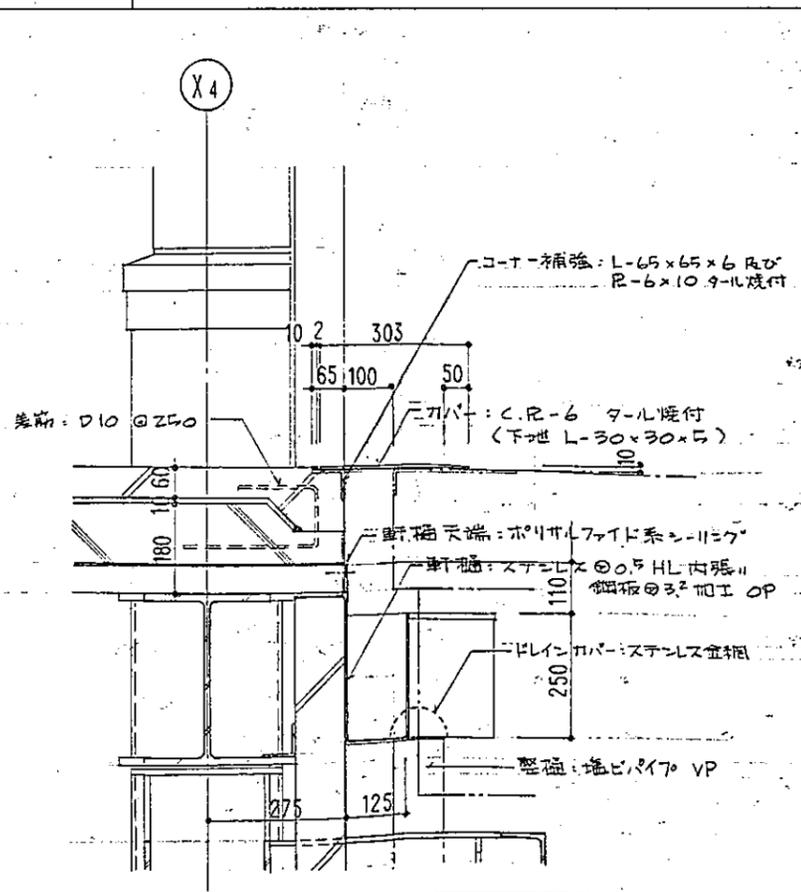
D-6 防火シャッター(SS-1)廻り詳細図 S=1:10



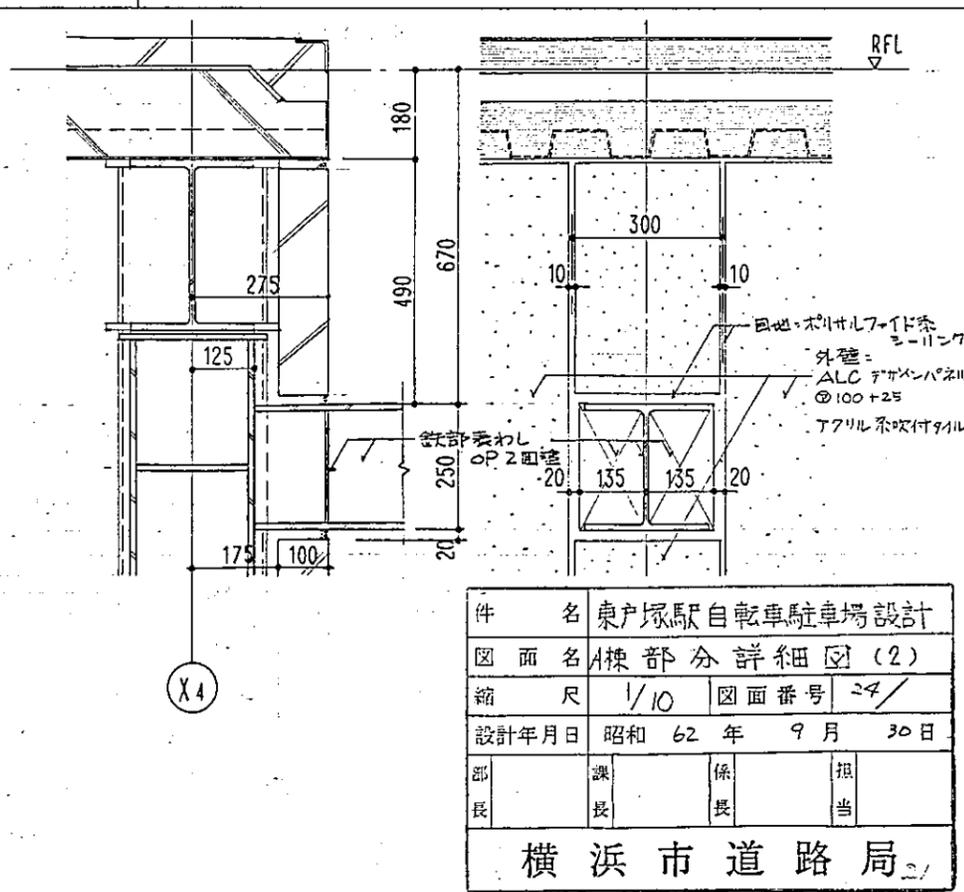
D-7 階段B 屋上出入口廻り詳細図 S=1:10



D-8 屋上EXP.ジョイント廻り詳細図 S=1:10

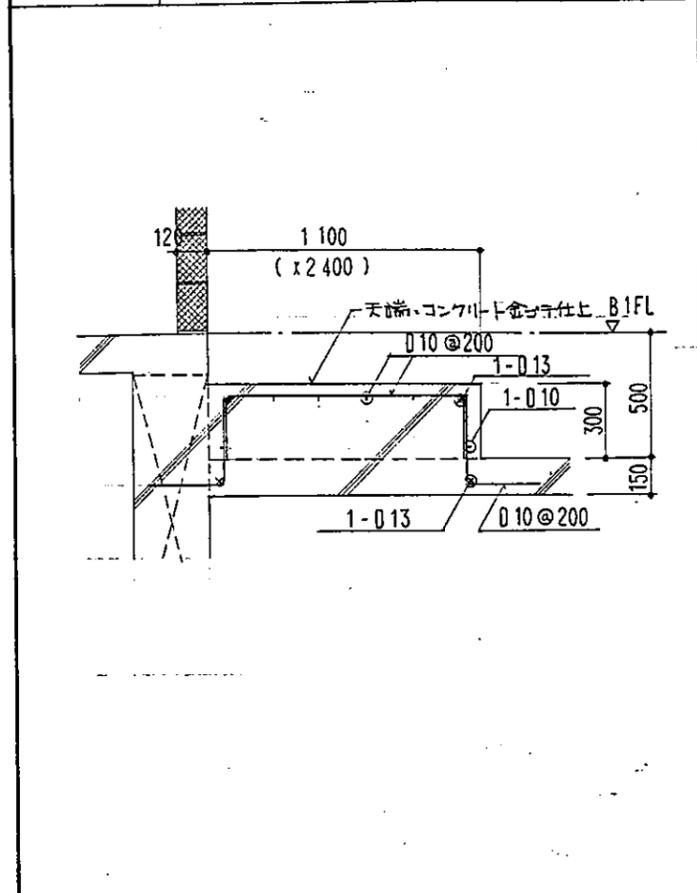


D-9 外壁 鉄骨片持梁廻り詳細図 S=1:10

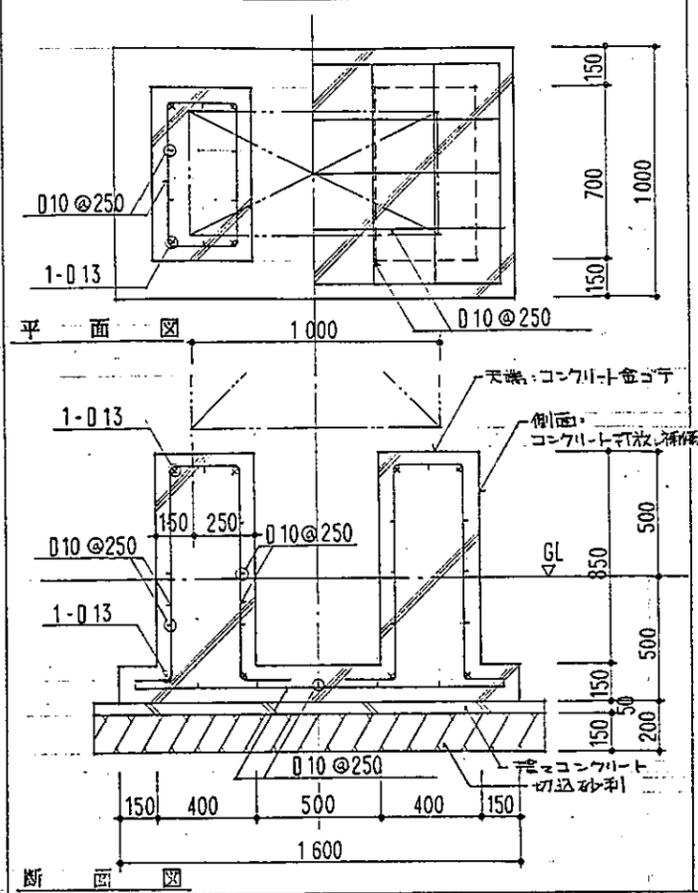


件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	A棟部分詳細図(2)			
縮尺	1/10	図面番号	24/	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				

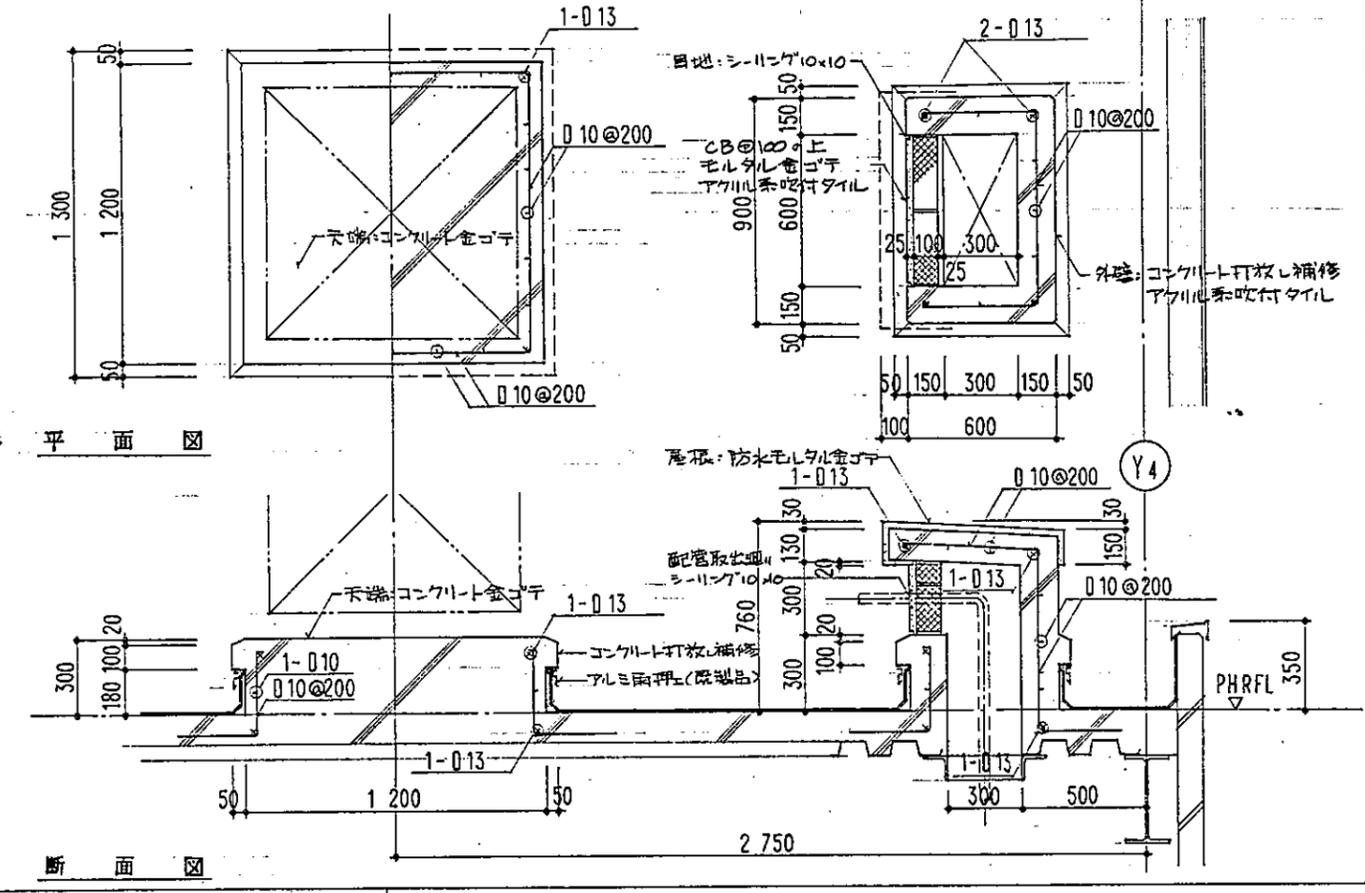
D-10 トレンチャーポンプ基礎詳細図 S=1:20



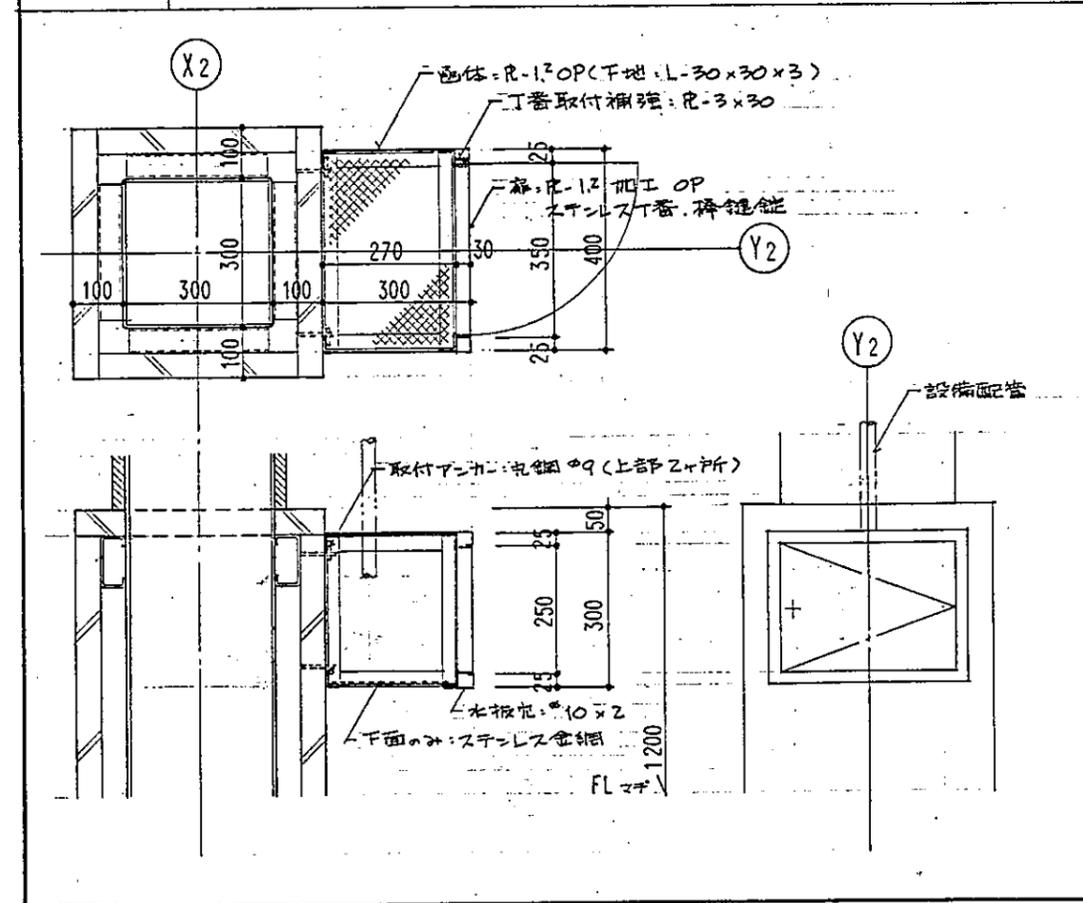
D-11 屋外受水槽基礎詳細図 S=1:20



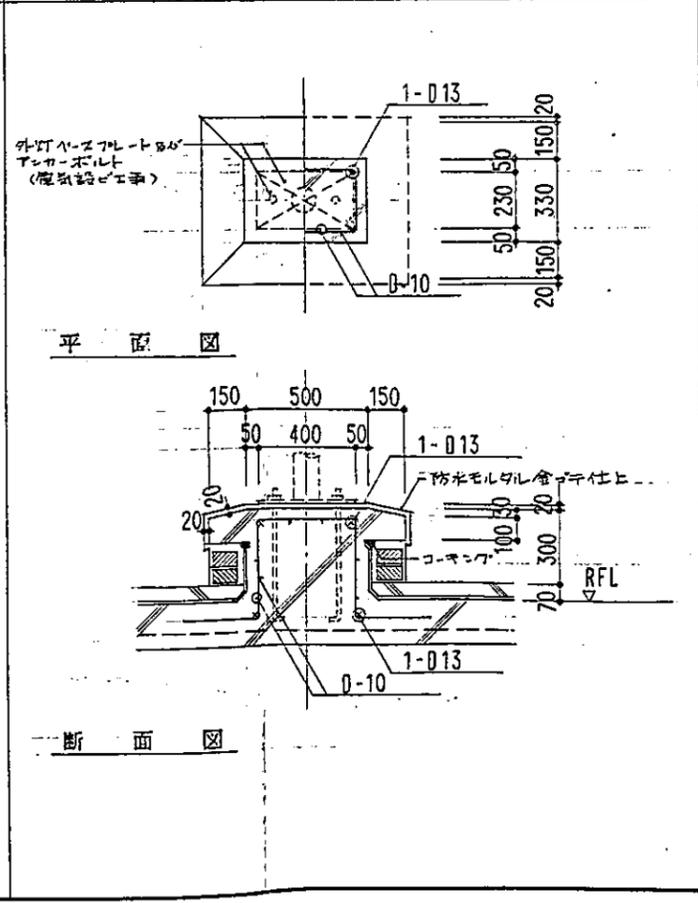
D-12 塔屋屋根消火水槽基礎及び配管取出用土留詳細図 S=1:20



D-13 手動開放弁ボックス詳細図 S=1:10



D-14 屋上外灯基礎詳細図 S=1:20

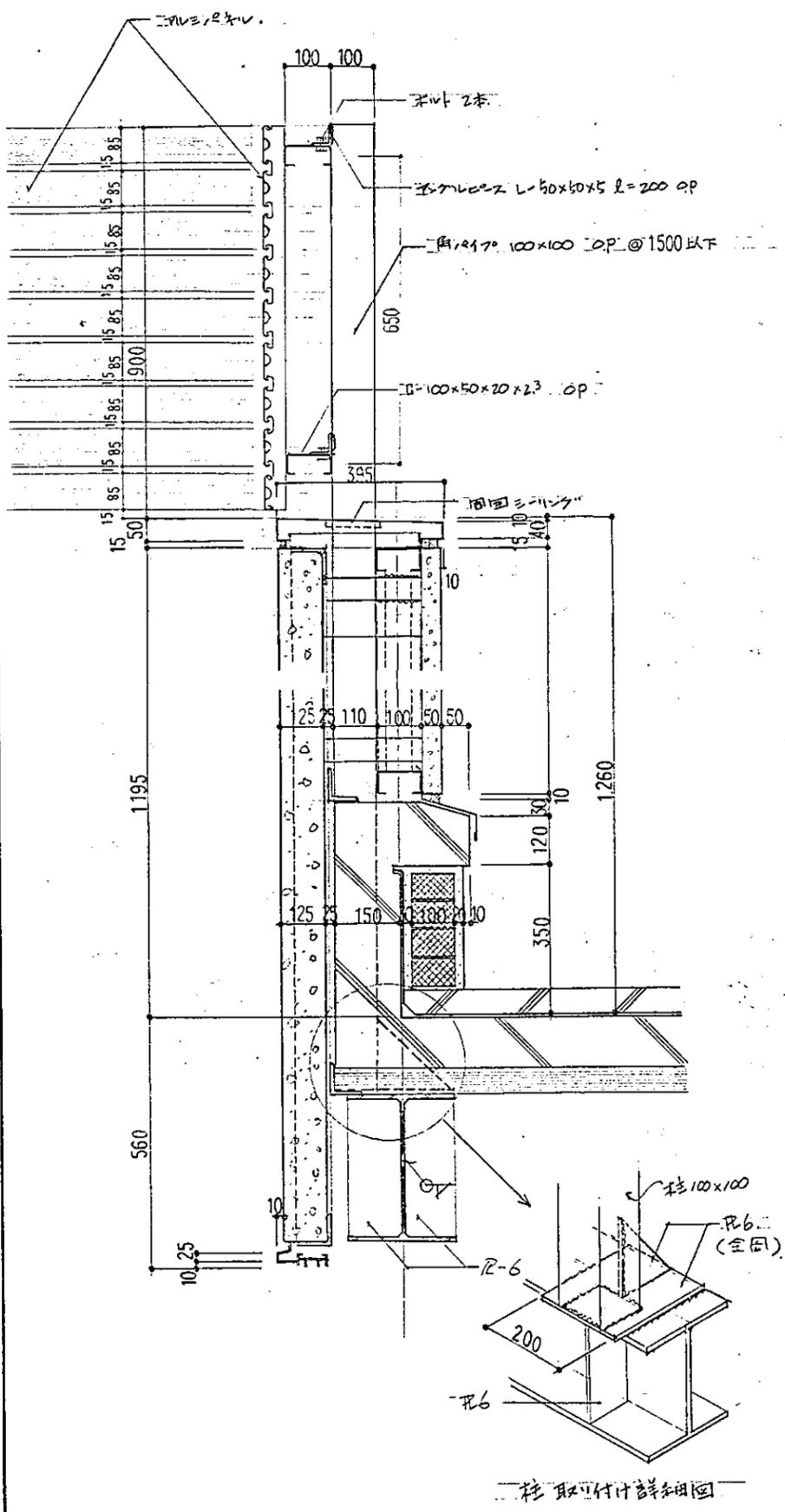


件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	A棟部分詳細図(3)		
縮尺	1/10, 1/20	図面番号	25
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

0-15

屋上目隠しスクリーン

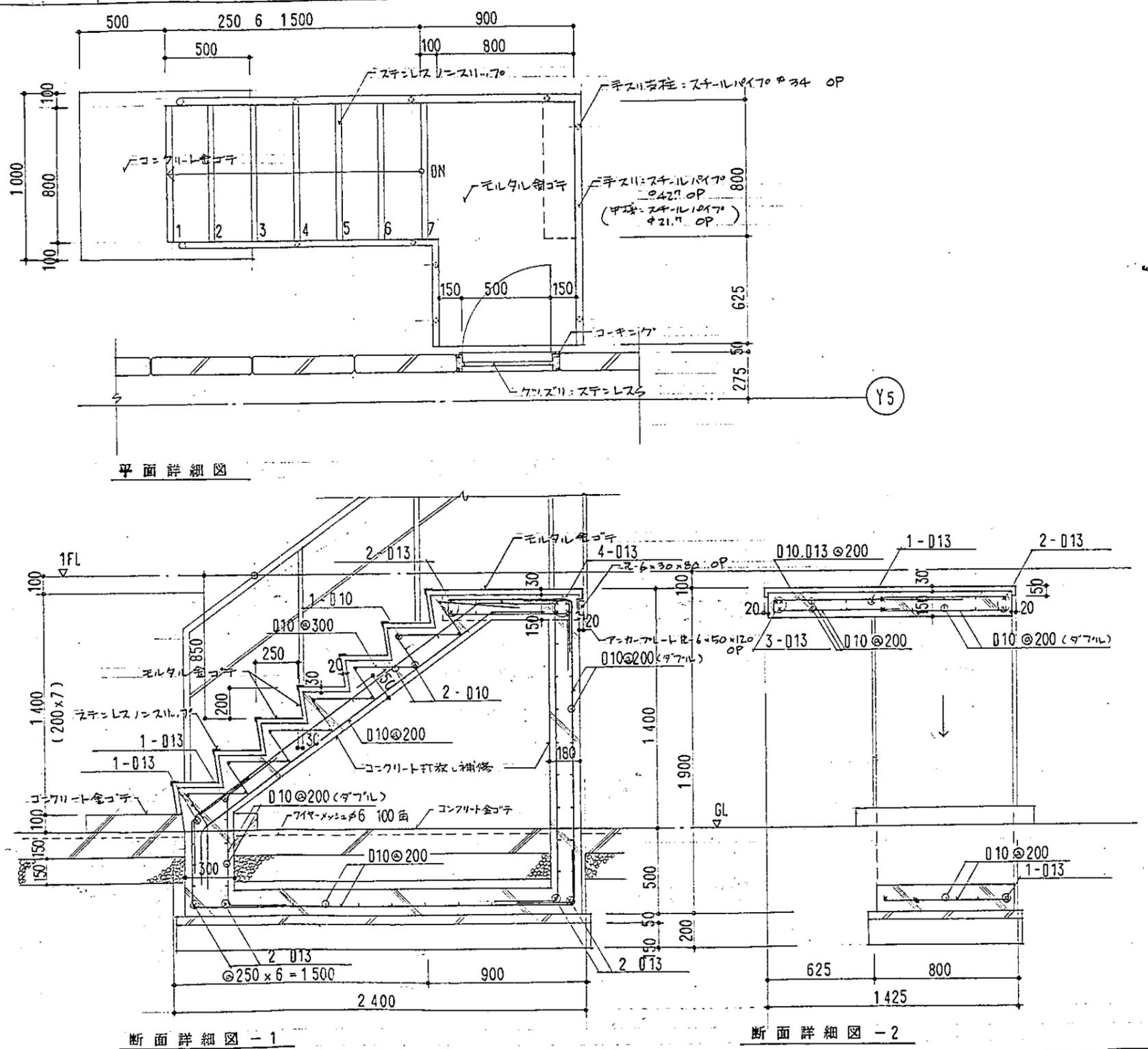
S=1:10



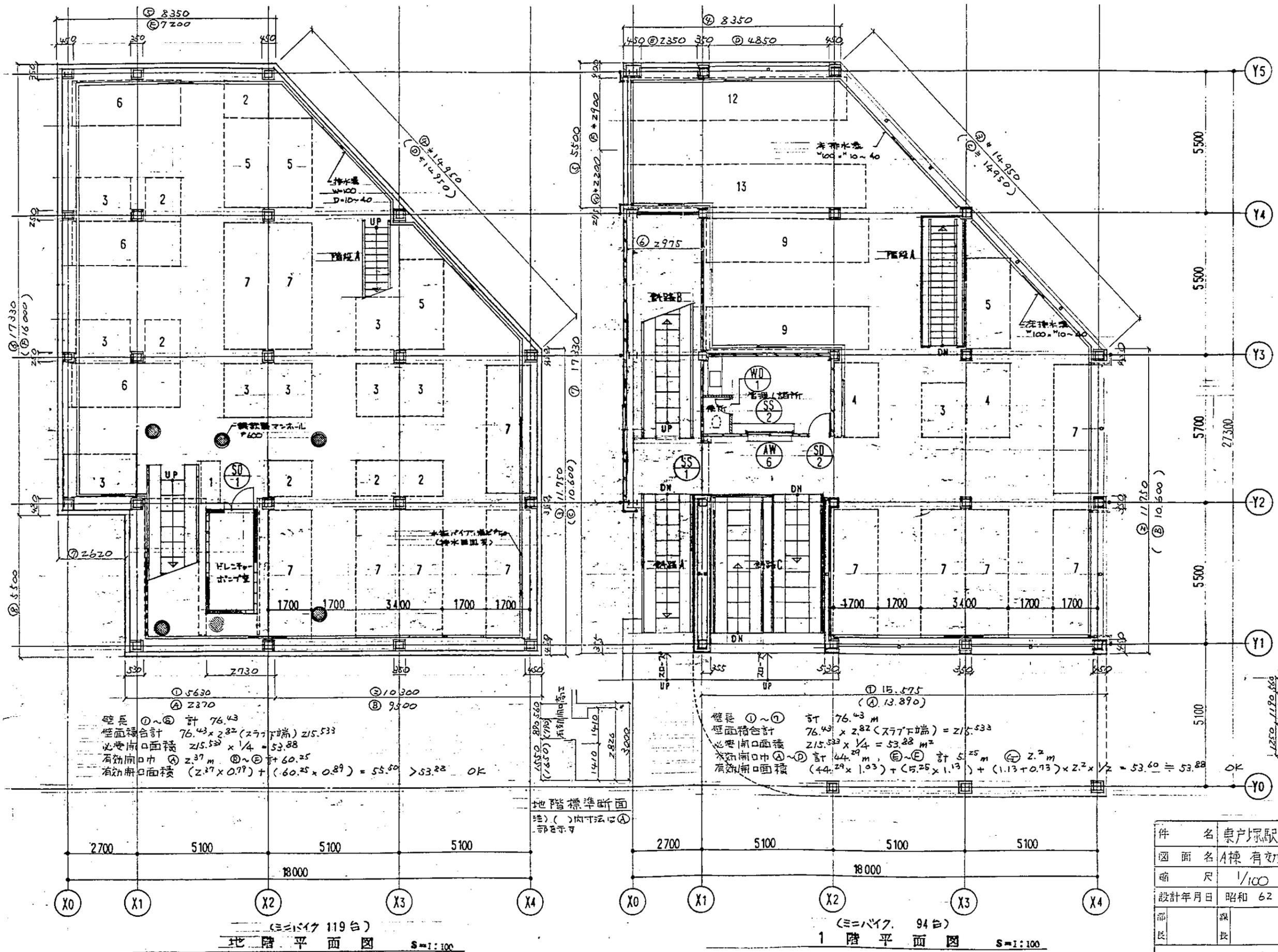
0-16

受水槽卓検用階段

S=1:20

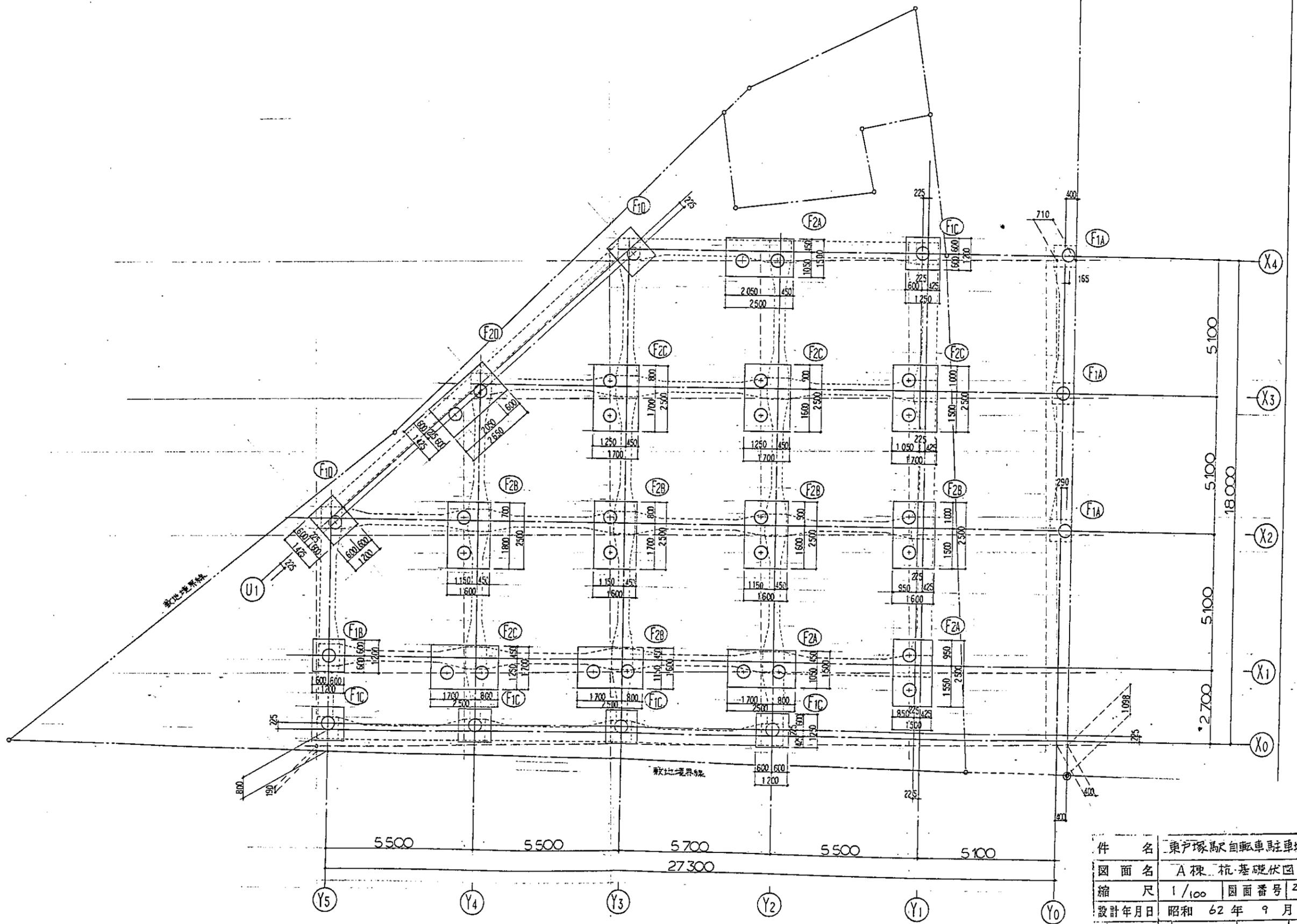


件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	A種部分詳細図(4)		
縮尺	1/10, 1/20	図面番号	26/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



(=バイ7 119台)
 地階平面図 S=1:100

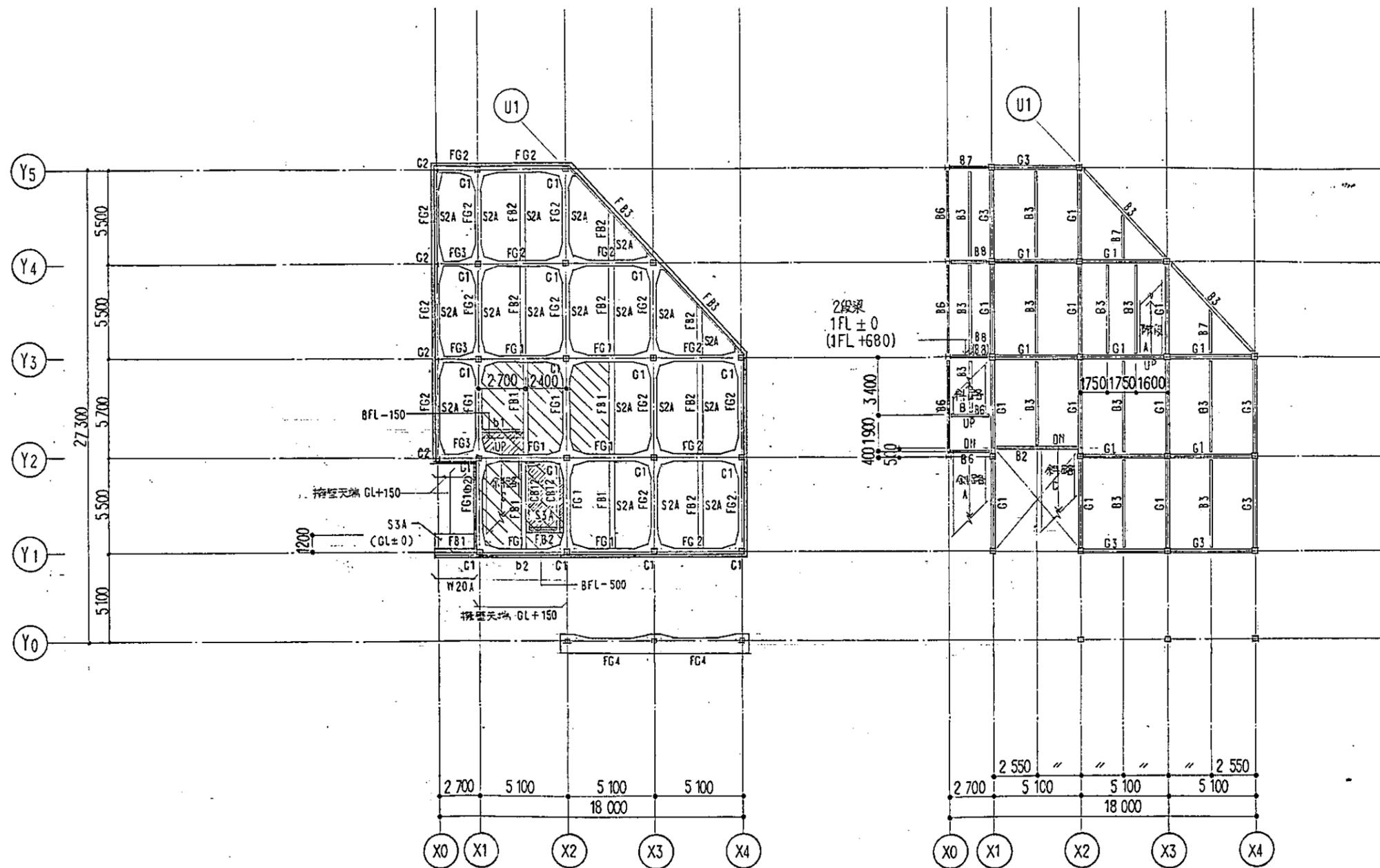
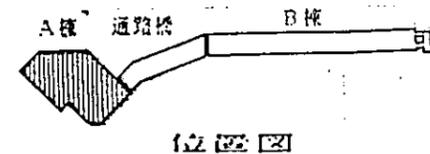
(=バイ7 94台)
 1階平面図 S=1:100



杭種・杭径 PHC杭 A種 500φ
 杭工法 フレホーリンフ工法
 設計杭長(打設長) F1B, F1C, F1D: $l=16.0m (7.0m + 9.0m)$ $n=8$ 本
 及び杭本数 F2A, F2B, F2C, F2D: $l=16.0m (7.0m + 9.0m)$ $n=26$ 本
 F1A: $l=15.0m (7.0m + 8.0m)$ $n=3$ 本

杭・基礎伏図 S=1:100

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟杭基礎伏図		
縮尺	1/100	図面番号	28-1/
設計年月日	昭和 62年 9月 29日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



地階伏図 S=1/200

1階伏図 S=1/200

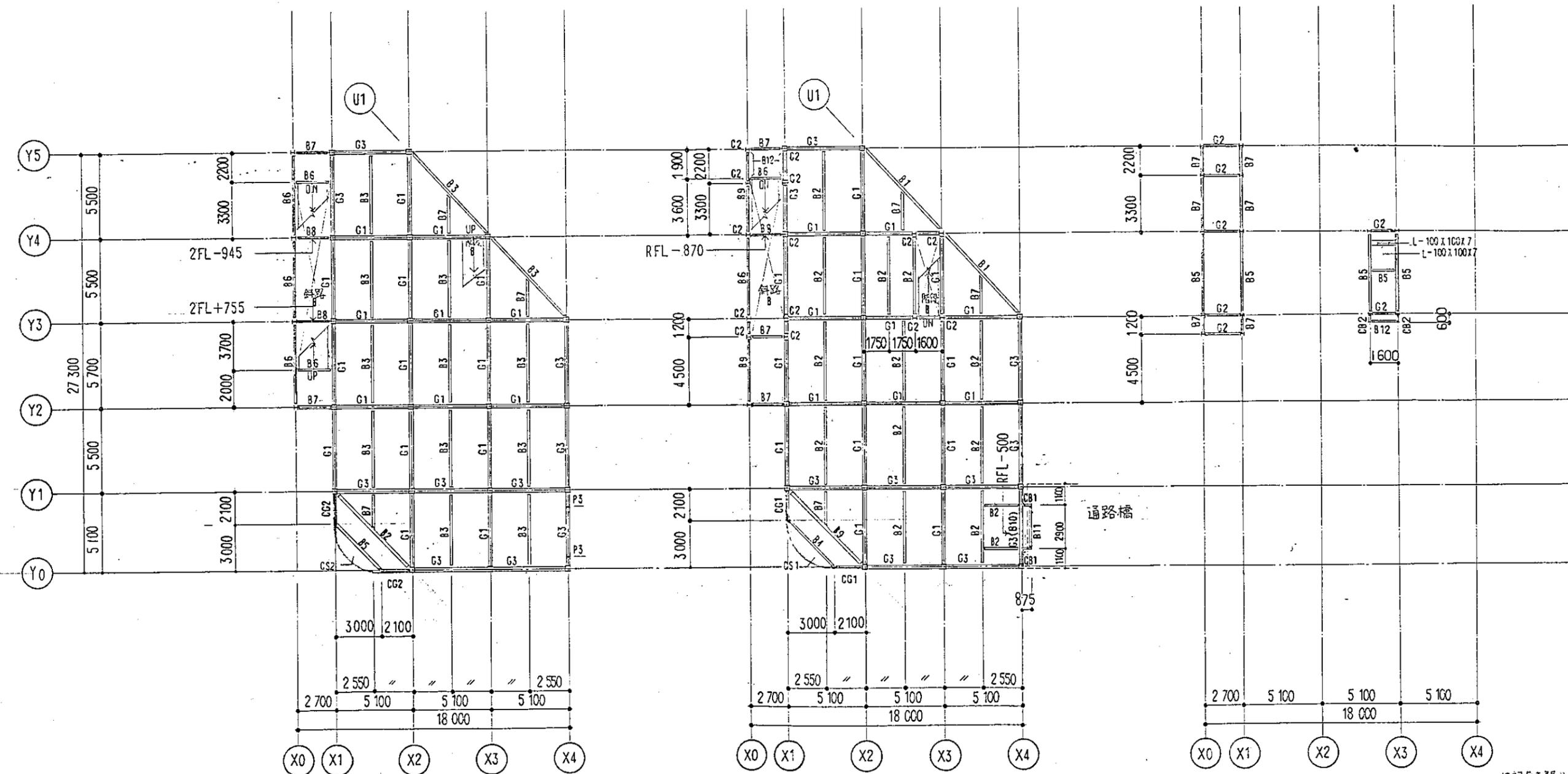
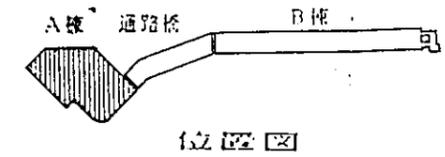
特記なき限り

- 1. 二重スラブ S1A FS. 斜線表示
- 2. 換気 W20 点線表示
- 3. BFL=GL-1660 (天端 GL+50)

特記なき限り

- 1. スラブ S1
- 2. レベルは梁天端を示す
- 3. 1FLは1階梁天端を示す

件名	泉戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟伏図(1)		
縮尺	1/200	図面番号	28-2/
設計年月日	昭和62年8月5日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



2階伏図 S=1/200

- 特記なき限り
- 1 スラフ S1
 - 2 レベルは梁天端を示す。
 - 3 2FLは2階梁天端を示す。

R階伏図 S=1/200

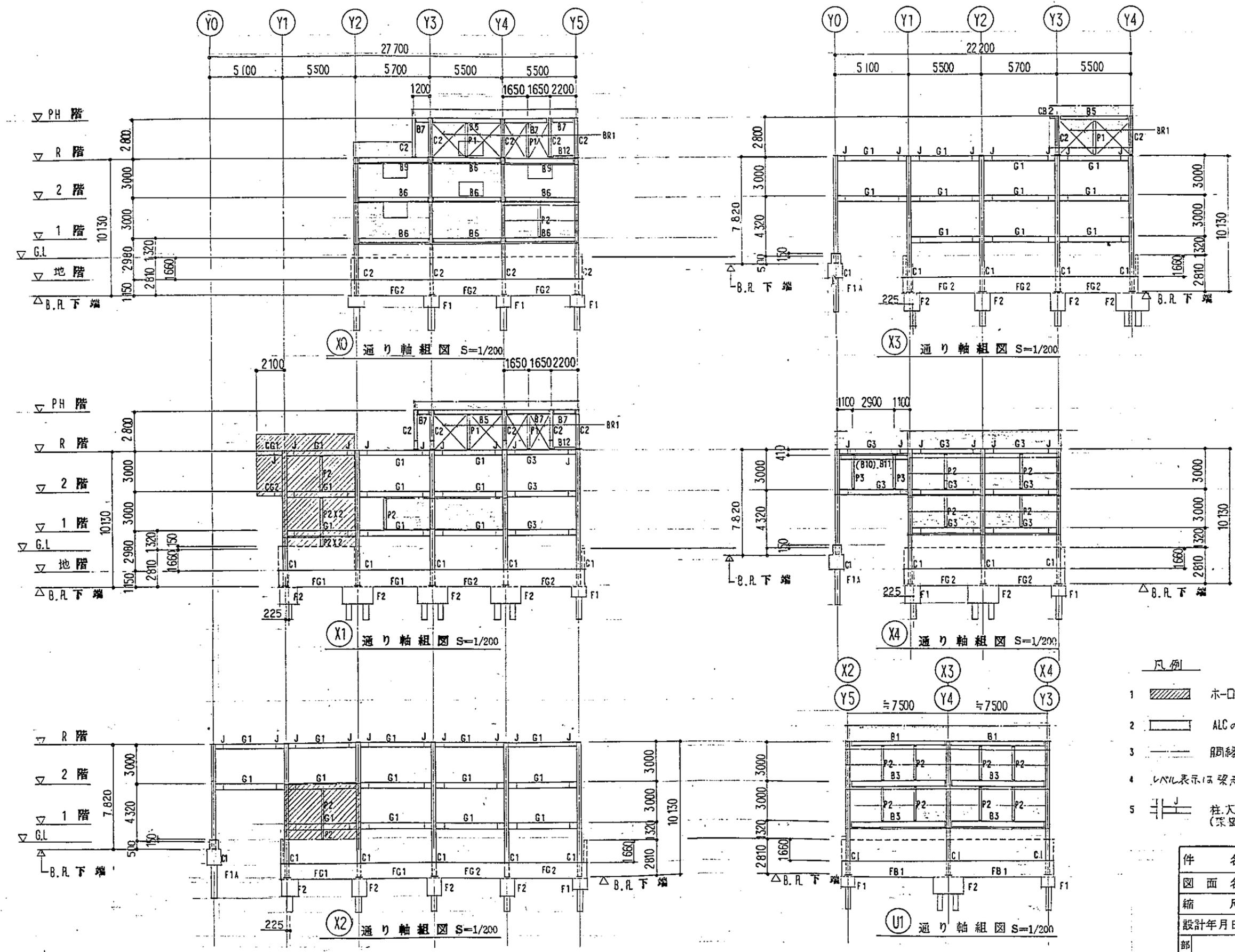
- 特記なき限り
- 1 スラフ S2
 - 2 レベルは梁天端を示す。
 - 3 RFLはR階梁天端を示す。

PH階伏図 S=1/200

件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	A棟 伏図 (2)		
縮尺	1/200	図面番号	29/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 8 日		
部長	課長	係長	担当

横浜市道路局

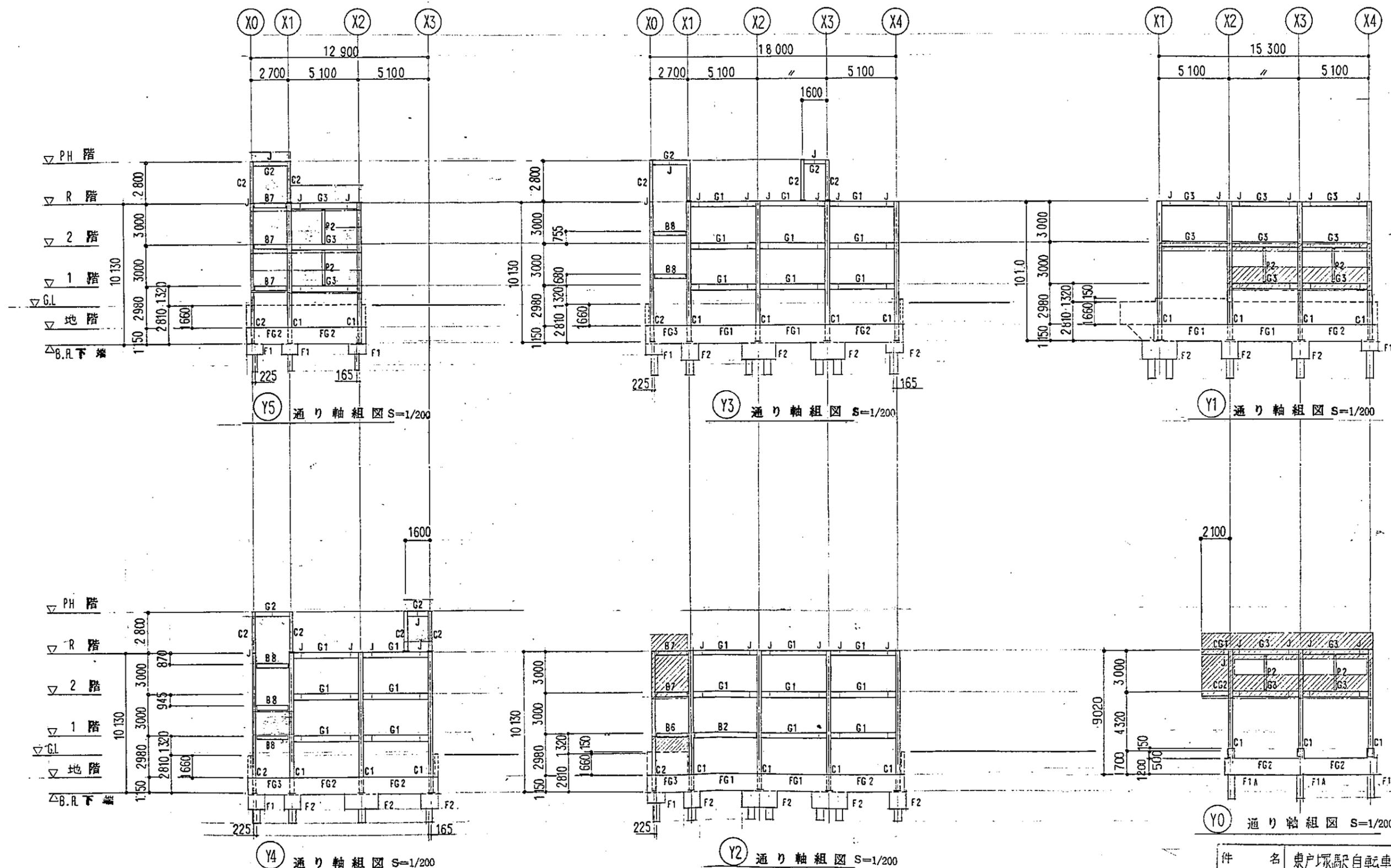
特記なき限り
1 スラフ S3



凡例

- 1 ホ-口-鉄板の範囲を示す 胴縁 01
- 2 ALCの範囲を示す 胴縁 02
- 3 胴縁を示す
- 4 レベル表示は梁天端による。
- 5 柱-大梁の継手図法を付 (梁端詳細図参照)

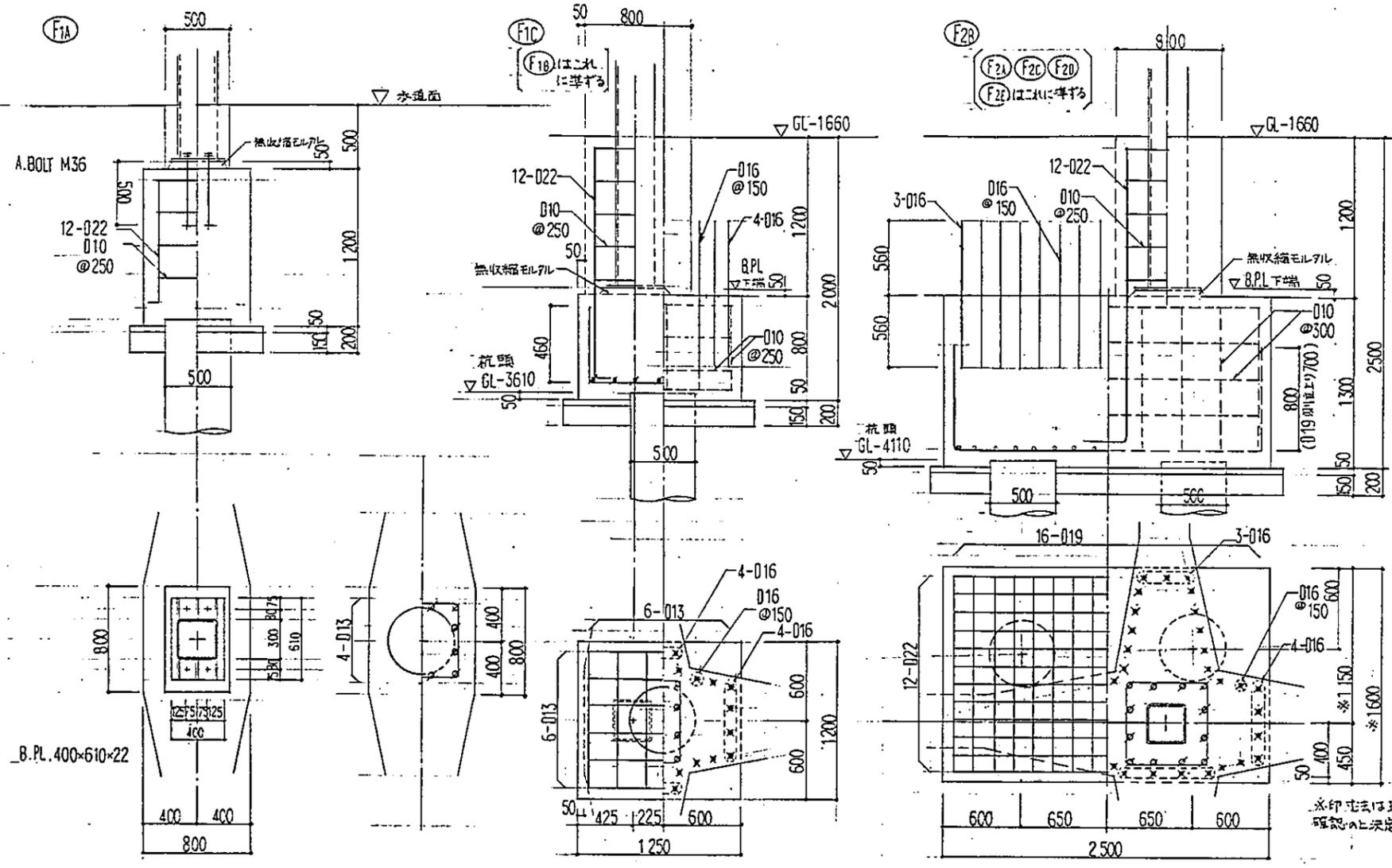
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 X 通り軸組図		
縮尺	1/200	図面番号	30/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 8 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



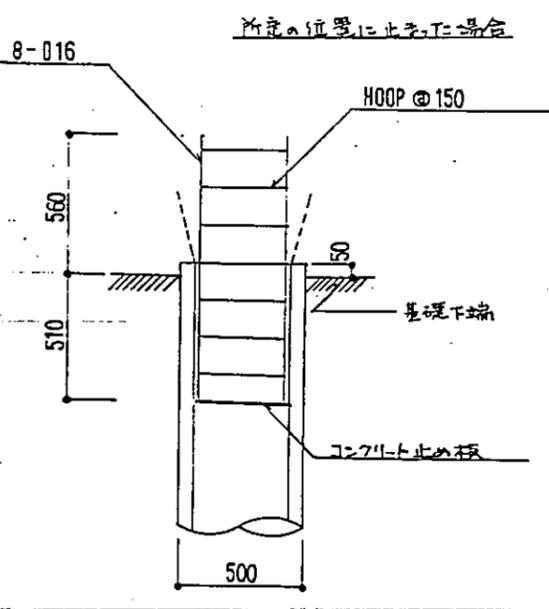
- 凡例
- 1 ホ-口-鉄板の範囲を示す 附録D1
 - 2 ALCの範囲を示す 附録D2
 - 3 間線を示す
 - 4 レベル表示は梁天端による
 - 5 柱、大梁の継手箇所を示す (梁接詳細図参照)

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 Y通り軸組図		
縮尺	1/200	図面番号	31/
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局 4			

杭頭補強 S=1/20



符号	FG4	
位置	端部	中央
断面		
上端筋	6-022	5-022
下端筋	6-022	5-022
スタラップ	D13@100	D13@100
腹筋	4-019	4-019



柱状図 針入り管高 GL±0=TP 23.60

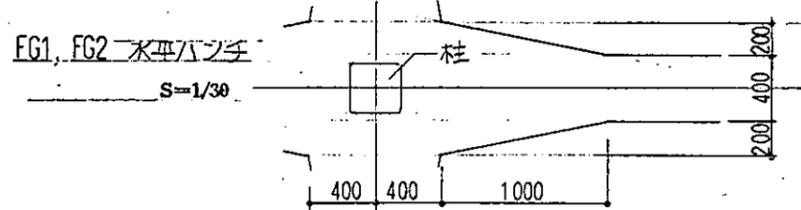
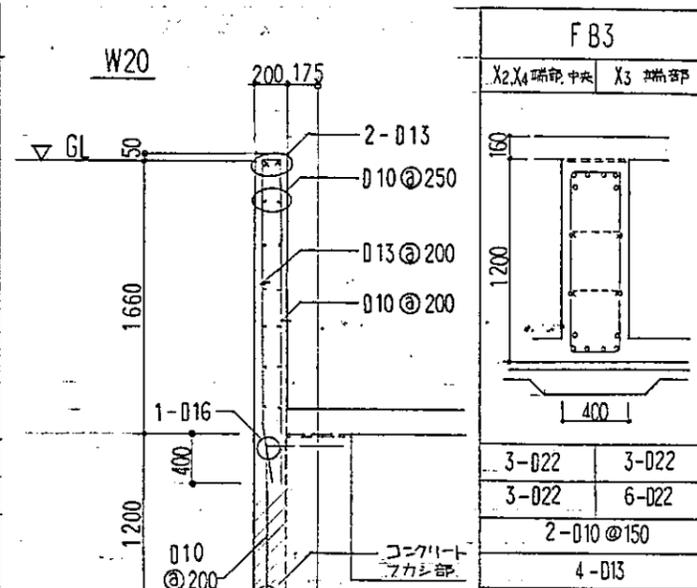
層	土質	層厚	標準貫入試験値 (N)	注
1	埋立土	0.00~0.50	10~20	埋立土
2	埋立土	0.50~1.00	15~25	埋立土
3	埋立土	1.00~1.50	20~30	埋立土
4	埋立土	1.50~2.00	25~35	埋立土
5	埋立土	2.00~2.50	30~40	埋立土
6	埋立土	2.50~3.00	35~45	埋立土
7	埋立土	3.00~3.50	40~50	埋立土
8	埋立土	3.50~4.00	45~55	埋立土
9	埋立土	4.00~4.50	50~60	埋立土
10	埋立土	4.50~5.00	55~65	埋立土
11	埋立土	5.00~5.50	60~70	埋立土
12	埋立土	5.50~6.00	65~75	埋立土
13	埋立土	6.00~6.50	70~80	埋立土
14	埋立土	6.50~7.00	75~85	埋立土
15	埋立土	7.00~7.50	80~90	埋立土
16	埋立土	7.50~8.00	85~95	埋立土
17	埋立土	8.00~8.50	90~100	埋立土
18	埋立土	8.50~9.00	95~105	埋立土
19	埋立土	9.00~9.50	100~110	埋立土
20	埋立土	9.50~10.00	105~115	埋立土
21	埋立土	10.00~10.50	110~120	埋立土
22	埋立土	10.50~11.00	115~125	埋立土
23	埋立土	11.00~11.50	120~130	埋立土
24	埋立土	11.50~12.00	125~135	埋立土
25	埋立土	12.00~12.50	130~140	埋立土
26	埋立土	12.50~13.00	135~145	埋立土
27	埋立土	13.00~13.50	140~150	埋立土
28	埋立土	13.50~14.00	145~155	埋立土
29	埋立土	14.00~14.50	150~160	埋立土
30	埋立土	14.50~15.00	155~165	埋立土
31	埋立土	15.00~15.50	160~170	埋立土
32	埋立土	15.50~16.00	165~175	埋立土
33	埋立土	16.00~16.50	170~180	埋立土
34	埋立土	16.50~17.00	175~185	埋立土
35	埋立土	17.00~17.50	180~190	埋立土
36	埋立土	17.50~18.00	185~195	埋立土
37	埋立土	18.00~18.50	190~200	埋立土
38	埋立土	18.50~19.00	195~205	埋立土
39	埋立土	19.00~19.50	200~210	埋立土
40	埋立土	19.50~20.00	205~215	埋立土
41	埋立土	20.00~20.50	210~220	埋立土
42	埋立土	20.50~21.00	215~225	埋立土
43	埋立土	21.00~21.50	220~230	埋立土
44	埋立土	21.50~22.00	225~235	埋立土
45	埋立土	22.00~22.50	230~240	埋立土
46	埋立土	22.50~23.00	235~245	埋立土
47	埋立土	23.00~23.50	240~250	埋立土
48	埋立土	23.50~24.00	245~255	埋立土
49	埋立土	24.00~24.50	250~260	埋立土
50	埋立土	24.50~25.00	255~265	埋立土
51	埋立土	25.00~25.50	260~270	埋立土
52	埋立土	25.50~26.00	265~275	埋立土
53	埋立土	26.00~26.50	270~280	埋立土
54	埋立土	26.50~27.00	275~285	埋立土
55	埋立土	27.00~27.50	280~290	埋立土
56	埋立土	27.50~28.00	285~295	埋立土
57	埋立土	28.00~28.50	290~300	埋立土
58	埋立土	28.50~29.00	295~305	埋立土
59	埋立土	29.00~29.50	300~310	埋立土
60	埋立土	29.50~30.00	305~315	埋立土
61	埋立土	30.00~30.50	310~320	埋立土
62	埋立土	30.50~31.00	315~325	埋立土
63	埋立土	31.00~31.50	320~330	埋立土
64	埋立土	31.50~32.00	325~335	埋立土
65	埋立土	32.00~32.50	330~340	埋立土
66	埋立土	32.50~33.00	335~345	埋立土
67	埋立土	33.00~33.50	340~350	埋立土
68	埋立土	33.50~34.00	345~355	埋立土
69	埋立土	34.00~34.50	350~360	埋立土
70	埋立土	34.50~35.00	355~365	埋立土
71	埋立土	35.00~35.50	360~370	埋立土
72	埋立土	35.50~36.00	365~375	埋立土
73	埋立土	36.00~36.50	370~380	埋立土
74	埋立土	36.50~37.00	375~385	埋立土
75	埋立土	37.00~37.50	380~390	埋立土
76	埋立土	37.50~38.00	385~395	埋立土
77	埋立土	38.00~38.50	390~400	埋立土
78	埋立土	38.50~39.00	395~405	埋立土
79	埋立土	39.00~39.50	400~410	埋立土
80	埋立土	39.50~40.00	405~415	埋立土
81	埋立土	40.00~40.50	410~420	埋立土
82	埋立土	40.50~41.00	415~425	埋立土
83	埋立土	41.00~41.50	420~430	埋立土
84	埋立土	41.50~42.00	425~435	埋立土
85	埋立土	42.00~42.50	430~440	埋立土
86	埋立土	42.50~43.00	435~445	埋立土
87	埋立土	43.00~43.50	440~450	埋立土
88	埋立土	43.50~44.00	445~455	埋立土
89	埋立土	44.00~44.50	450~460	埋立土
90	埋立土	44.50~45.00	455~465	埋立土
91	埋立土	45.00~45.50	460~470	埋立土
92	埋立土	45.50~46.00	465~475	埋立土
93	埋立土	46.00~46.50	470~480	埋立土
94	埋立土	46.50~47.00	475~485	埋立土
95	埋立土	47.00~47.50	480~490	埋立土
96	埋立土	47.50~48.00	485~495	埋立土
97	埋立土	48.00~48.50	490~500	埋立土
98	埋立土	48.50~49.00	495~505	埋立土
99	埋立土	49.00~49.50	500~510	埋立土
100	埋立土	49.50~50.00	505~515	埋立土

層	土質	層厚	標準貫入試験値 (N)	注
1	埋立土	0.00~0.50	10~20	埋立土
2	埋立土	0.50~1.00	15~25	埋立土
3	埋立土	1.00~1.50	20~30	埋立土
4	埋立土	1.50~2.00	25~35	埋立土
5	埋立土	2.00~2.50	30~40	埋立土
6	埋立土	2.50~3.00	35~45	埋立土
7	埋立土	3.00~3.50	40~50	埋立土
8	埋立土	3.50~4.00	45~55	埋立土
9	埋立土	4.00~4.50	50~60	埋立土
10	埋立土	4.50~5.00	55~65	埋立土
11	埋立土	5.00~5.50	60~70	埋立土
12	埋立土	5.50~6.00	65~75	埋立土
13	埋立土	6.00~6.50	70~80	埋立土
14	埋立土	6.50~7.00	75~85	埋立土
15	埋立土	7.00~7.50	80~90	埋立土
16	埋立土	7.50~8.00	85~95	埋立土
17	埋立土	8.00~8.50	90~100	埋立土
18	埋立土	8.50~9.00	95~105	埋立土
19	埋立土	9.00~9.50	100~110	埋立土
20	埋立土	9.50~10.00	105~115	埋立土
21	埋立土	10.00~10.50	110~120	埋立土
22	埋立土	10.50~11.00	115~125	埋立土
23	埋立土	11.00~11.50	120~130	埋立土
24	埋立土	11.50~12.00	125~135	埋立土
25	埋立土	12.00~12.50	130~140	埋立土
26	埋立土	12.50~13.00	135~145	埋立土
27	埋立土	13.00~13.50	140~150	埋立土
28	埋立土	13.50~14.00	145~155	埋立土
29	埋立土	14.00~14.50	150~160	埋立土
30	埋立土	14.50~15.00	155~165	埋立土
31	埋立土	15.00~15.50	160~170	埋立土
32	埋立土	15.50~16.00	165~175	埋立土
33	埋立土	16.00~16.50	170~180	埋立土
34	埋立土	16.50~17.00	175~185	埋立土
35	埋立土	17.00~17.50	180~190	埋立土
36	埋立土	17.50~18.00	185~195	埋立土
37	埋立土	18.00~18.50	190~200	埋立土
38	埋立土	18.50~19.00	195~205	埋立土
39	埋立土	19.00~19.50	200~210	埋立土
40	埋立土	19.50~20.00	205~215	埋立土
41	埋立土	20.00~20.50	210~220	埋立土
42	埋立土	20.50~21.00	215~225	埋立土
43	埋立土	21.00~21.50	220~230	埋立土
44	埋立土	21.50~22.00	225~235	埋立土
45	埋立土	22.00~22.50	230~240	埋立土
46	埋立土	22.50~23.00	235~245	埋立土
47	埋立土	23.00~23.50	240~250	埋立土
48	埋立土	23.50~24.00	245~255	埋立土
49	埋立土	24.00~24.50	250~260	埋立土
50	埋立土	24.50~25.00	255~265	埋立土
51	埋立土	25.00~25.50	260~270	埋立土
52	埋立土	25.50~26.00	265~275	埋立土
53	埋立土	26.00~26.50	270~280	埋立土
54	埋立土	26.50~27.00	275~285	埋立土
55	埋立土	27.00~27.50	280~290	埋立土
56	埋立土	27.50~28.00	285~295	埋立土
57	埋立土	28.00~28.50	290~300	埋立土
58	埋立土	28.50~29.00	295~305	埋立土
59	埋立土	29.00~29.50	300~310	埋立土
60	埋立土	29.50~30.00	305~315	埋立土
61	埋立土	30.00~30.50	310~320	埋立土
62	埋立土	30.50~31.00	315~325	埋立土
63	埋立土	31.00~31.50	320~330	埋立土
64	埋立土	31.50~32.00	325~335	埋立土
65	埋立土	32.00~32.50	330~340	埋立土
66	埋立土	32.50~33.00	335~345	埋立土
67	埋立土	33.00~33.50	340~350	埋立土
68	埋立土	33.50~34.00	345~355	埋立土
69	埋立土	34.00~34.50	350~360	埋立土
70	埋立土	34.50~35.00	355~365	埋立土
71	埋立土	35.00~35.50	360~370	埋立土
72	埋立土	35.50~36.00	365~375	埋立土
73	埋立土	36.00~36.50	370~380	埋立土
74	埋立土	36.50~37.00	375~385	埋立土
75	埋立土	37.00~37.50	380~390	埋立土
76	埋立土	37.50~38.00	385~395	埋立土
77	埋立土	38.00~38.50	390~400	埋立土
78	埋立土	38.50~39.00	395~405	埋立土
79	埋立土	39.00~39.50	400~410	埋立土
80	埋立土	39.50~40.00	405~415	埋立土
81	埋立土	40.00~40.50	410~420	埋立土
82	埋立土	40.50~41.00	415~425	埋立土
83	埋立土	41.00~41.50	420~430	埋立土
84	埋立土	41.50~42.		

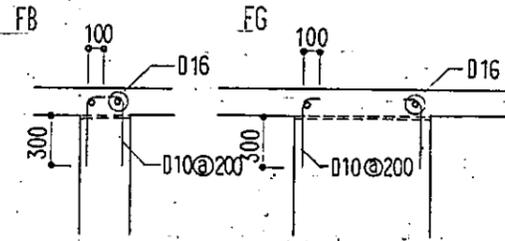
特記なき限り
 1. 巾止筋 D10@1000
 ≤D16 - S030 とする
 ≥D19 - S035 とする

符号	FG1 (FG3)		FG2		b1	FB1	FB2	
	位置	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	
▽地階		(X1端)	(X0端, 中央)					
断面								
上端筋		2-D25 + 6-D22	4-D22	2D-25 + 6-D22	4-D22	5-D16	4-D19	3-D19
下端筋		6-D22	5-D22	6-D22	4-D22	5-D16	4-D19	3-D19
スタラップ		2-D13@100	D13@125	2-D13@100	D13@125	3-D10@200	D10@200	D10@200
腹筋		4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	-	4-D10	2-D10

擁壁配筋図 S=1/30



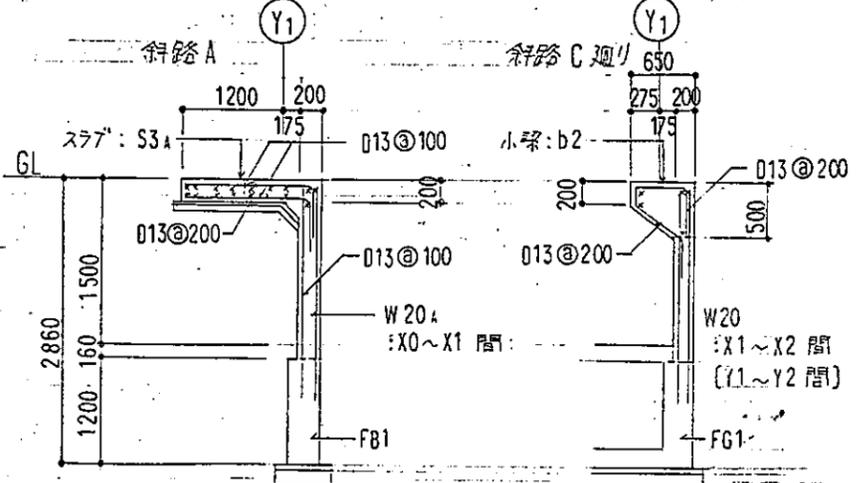
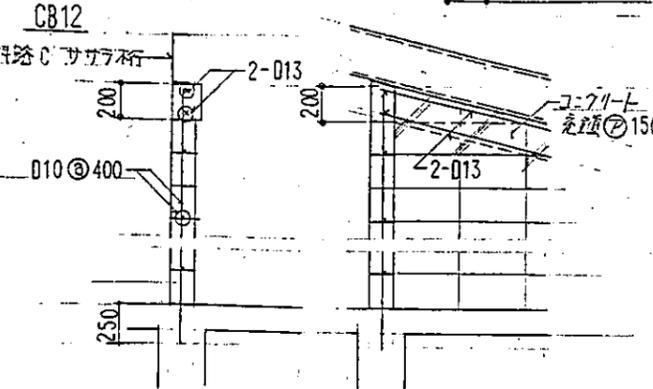
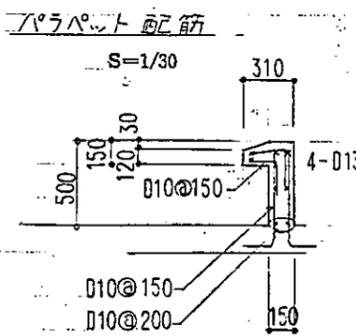
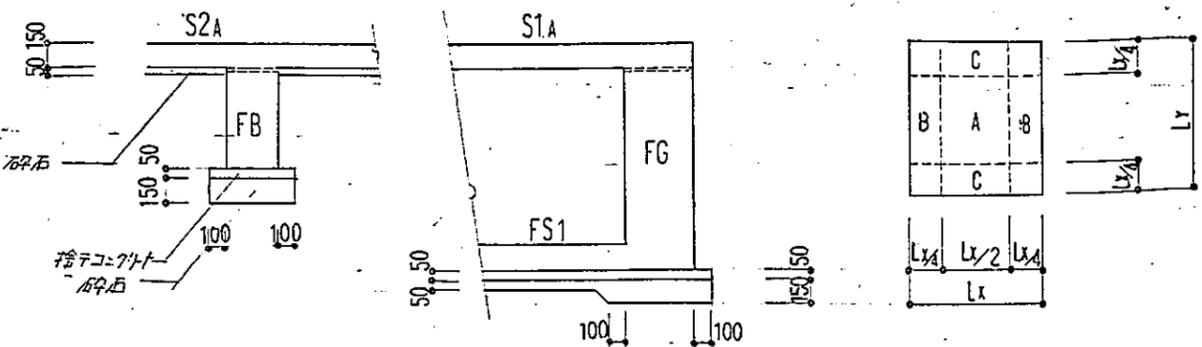
地中梁 フラッシュ等



b2 斜路受配筋等

符号	版厚	位置	短辺方向			長辺方向			備考
			中央部		端部	中央部		端部	
			端部(B)	中央(A)	全断面	端部(C)	中央(A)	全断面	
S1A	150	上端	D10 D13@200	D10@400	D10@200	D10@250	D10@500	D10@250	排水溝部補強筋
		下端	D10@200	D10@200	D10@200	D10@250	D10@250	D10@250	D10@200
FS1, S2A	150	上端	D10 D13@200	D10 D13@200	D10@200	D10@250	D10@250	D10@250	
		下端	D10@400	D10@200	D10@200	D10@500	D10@250	D10@250	
S3A	150	上端	← D13@100 →			← D13@200 →			
		下端							

S2A, FS1 及び FG, FB の地業



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 地中梁リスト・擁壁配筋図		
縮尺	1/30	図面番号	33
設計年月日	昭和 62 年 7 月 29 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

柱リスト

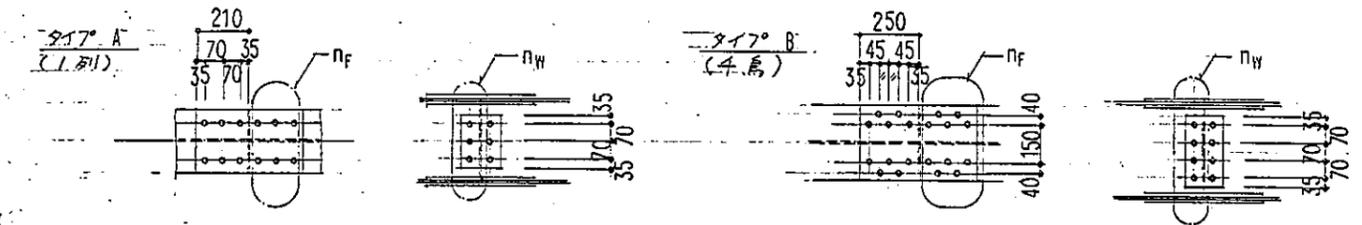
符号	階	主材	柱頭・柱脚	備考
C1	2	□-300 X 300 X 9	TOP PL-16X350X350	
	1	□-300 X 300 X 12		
C2	地	□-300 X 300 X 12	BPL-19X400X400 A.B.4-M20 (L=700)	スタッドボルト M16
		H-294 X 200 X 8 X 12	BPL-16X250X400 A.B.4-M20 (L=700)	基礎土建方の場合
			GPL-16 HTB.4-M20	梁大梁上建方の場合
			TOP PL-12	
P1		H-175 X 90 X 5 X 8		
P2		□-100 X 100 X 2 ³		
P3		H-250 X 250 X 9 X 14	TOP PL-12X300X300 HTB.4-M20	
			B.PL-12X300X300 HTB.4-M20	

大梁リスト

符号	階	主材	フランジ				ウェブ			備考
			タイプ	HTB. n _F -φ	S.PL (外側)	S.PL (内側)	タイプ	HTB. n _W -φ	S.PL	
G1	R	H-340 X 250 X 9 X 14	A	6-M20	PL-12 X 250	2 PL-12 X 100	A	3-M20	2 PL-9 X 210	スタッドボルト M16@200(h=75) 全ての梁上に打 (シールド)
	2	H-390 X 300 X 10 X 16	B	10-M20	PL-12 X 300	2 PL-12 X 115	B	4-M20	2 PL-9 X 280	
1	H-390 X 300 X 10 X 16	B	10-M20	PL-12 X 300	2 PL-12 X 115	B	4-M20	2 PL-9 X 280		
G2	PH	H-350 X 175 X 7 X 11	A	6-M20	PL-9 X 175	2 PL-9 X 75	A	3-M20	2 PL-6 X 210	
G3	R	H-340 X 250 X 9 X 14	A	6-M20	PL-12 X 250	2 PL-12 X 100	A	3-M20	2 PL-9 X 210	
	2	BH-350 X 300 X 9 X 19	B	10-M20	PL-12 X 300	2 PL-12 X 115	B	4-M20	2 PL-9 X 280	
1	BH-350 X 300 X 9 X 19	B	10-M20	PL-12 X 300	2 PL-12 X 115	B	4-M20	2 PL-9 X 280		
CG1	R	H-340 X 250 X 9 X 14	A	6-M20	PL-12 X 250	2 PL-12 X 100	A	3-M20	2 PL-9 X 210	
CG2	2	H-350 X 175 X 7 X 11	A	6-M20	PL-9 X 175	2 PL-9 X 75	A	3-M20	2 PL-6 X 210	

小梁リスト

符号	主材	仕口及び継手	備考
B1	H-396 X 199 X 7 X 11	HTB. 4-M20 GPL-9X340	
B2	H-350 X 175 X 7 X 11	" "	
B3	H-346 X 174 X 6 X 9	" "	
B4	H-300 X 150 X 6 ⁵ X 9	HTB. 3-M20 GPL-9X270	
B5	H-298 X 149 X 5 ⁵ X 8	" "	
B6	H-244 X 175 X 7 X 11	" GPL-9X210	
B7	H-200 X 100 X 5 ⁵ X 8	HTB 2-M20 GPL-9X200	
B8	H-194 X 150 X 6 X 9	HTB 4-M20 GPL-12X200	HTB 並列2本
B9	H-340 X 250 X 9 X 14	" GPL-12X340	
B10, CB1	H-250 X 250 X 9 X 14	HTB 3-M20 GPL-9X210	
B11	C-250 X 90 X 9 X 13	" "	
B12 CB2	C-150 X 75 X 6 ⁵ X 10	HTB 2-M20 GPL-9	R階床高上げ

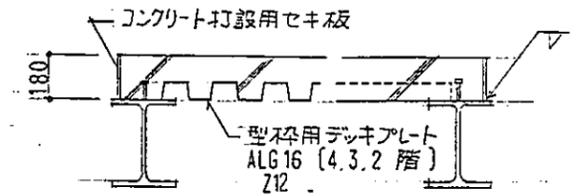
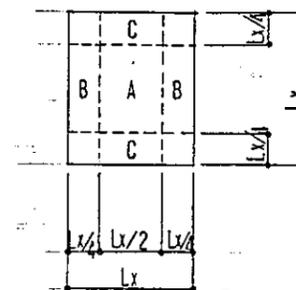
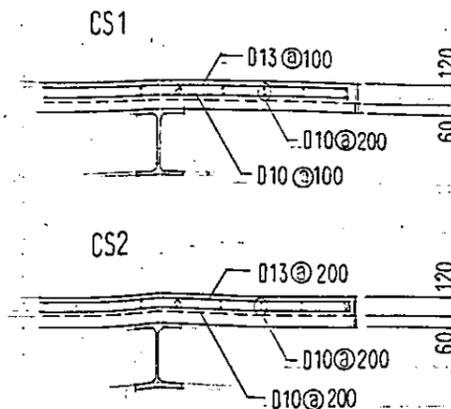
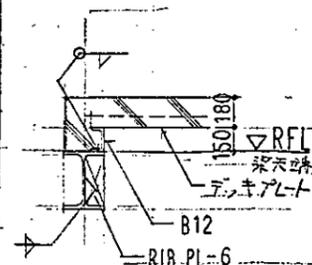


スラブリスト

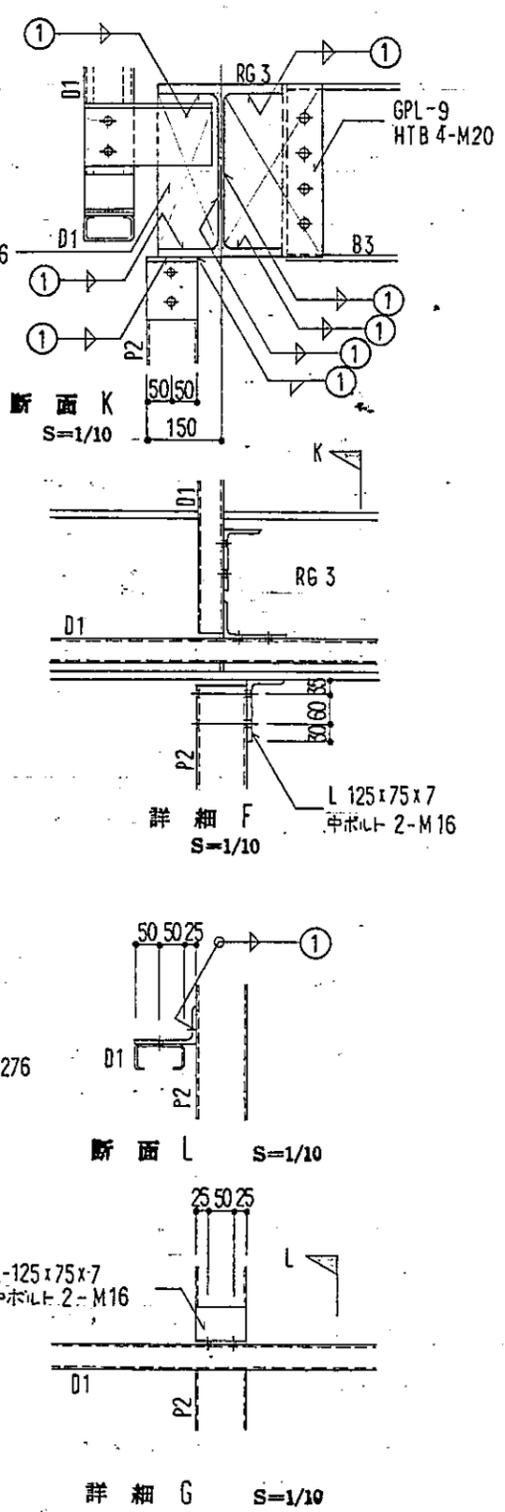
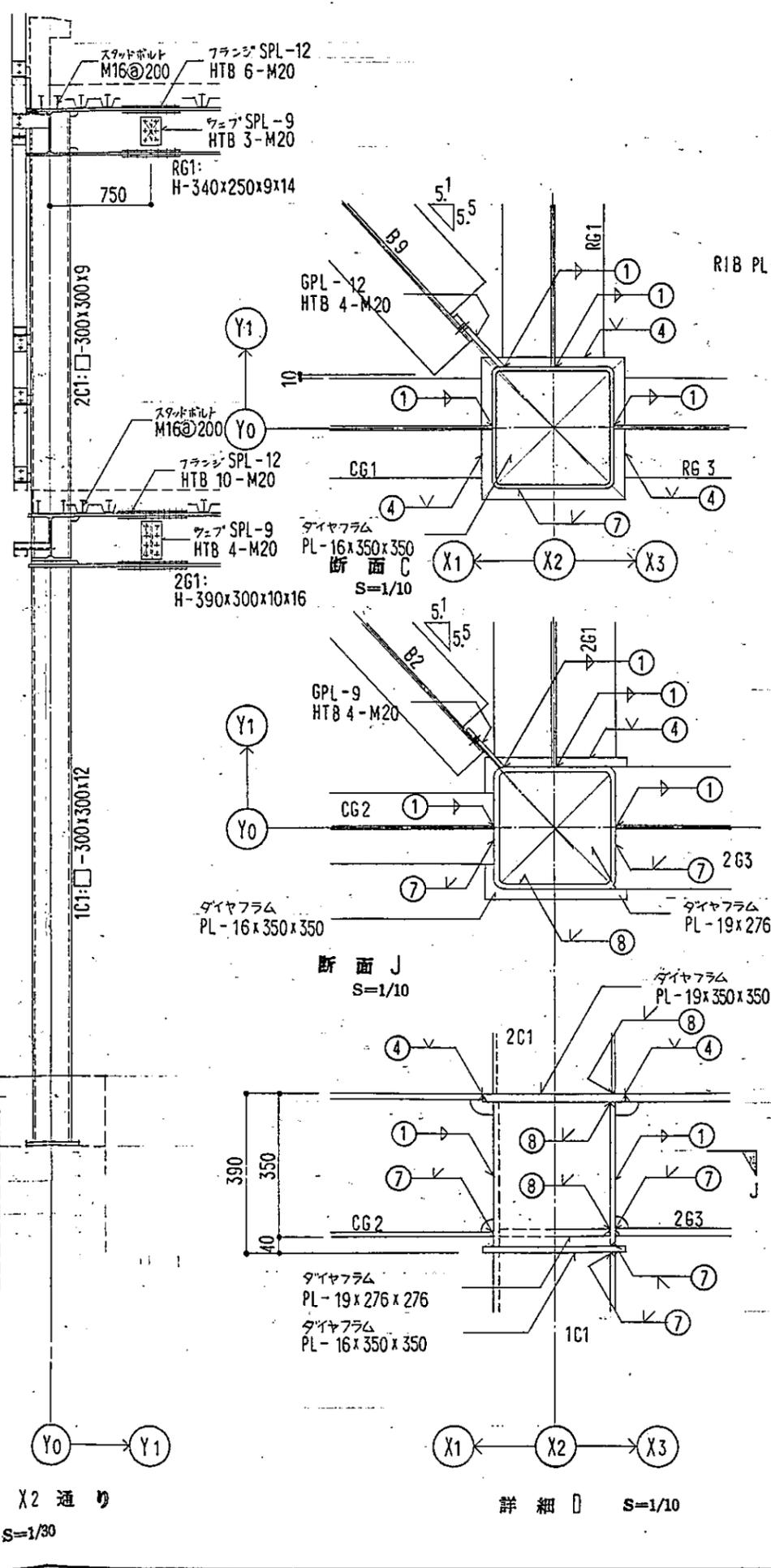
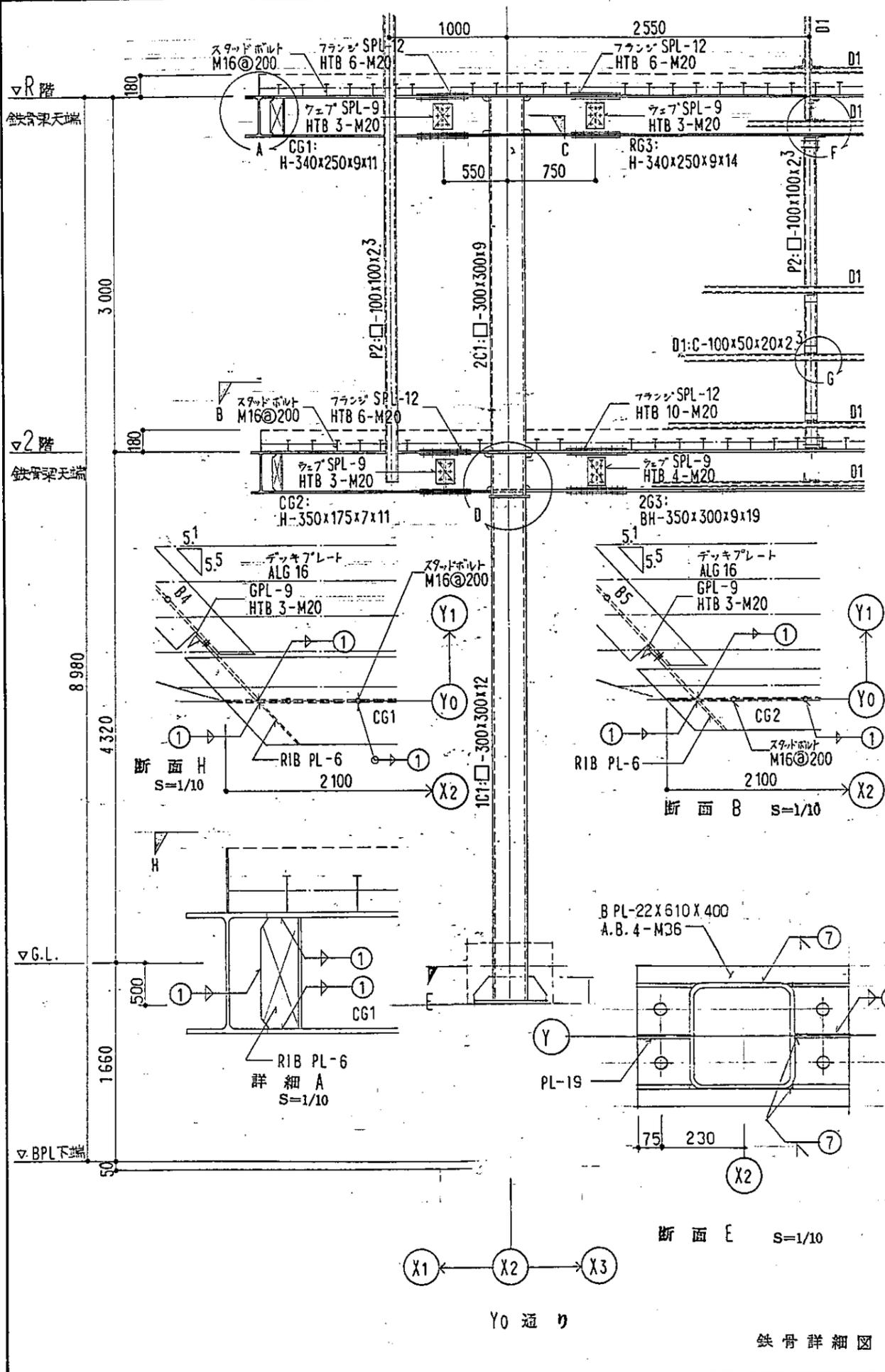
符号	版厚	位置	短辺方向			長辺方向			備考
			中央部		端部	中央部		端部	
			端部(B)	中央(A)	全断面	端部(C)	中央(A)	全断面	
S1	120	上端	D10 D13@200	D10@400	D10@200	D10@250	D10@500	D10@250	
		下端	D10@400	D10@200	D10@200	D10@500	D10@250	D10@250	
S2	120	上端	D10 D13@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	
		下端	D10@400	D10@200	D10@200	D10@400	D10@200	D10@200	
S3	120	上端	D10@200	D10@200	D10@200	D10@250	D10@250	D10@250	正立端床高上げ
		下端							
		上端							
		下端							

ブレース
脚 継 リ ス ト

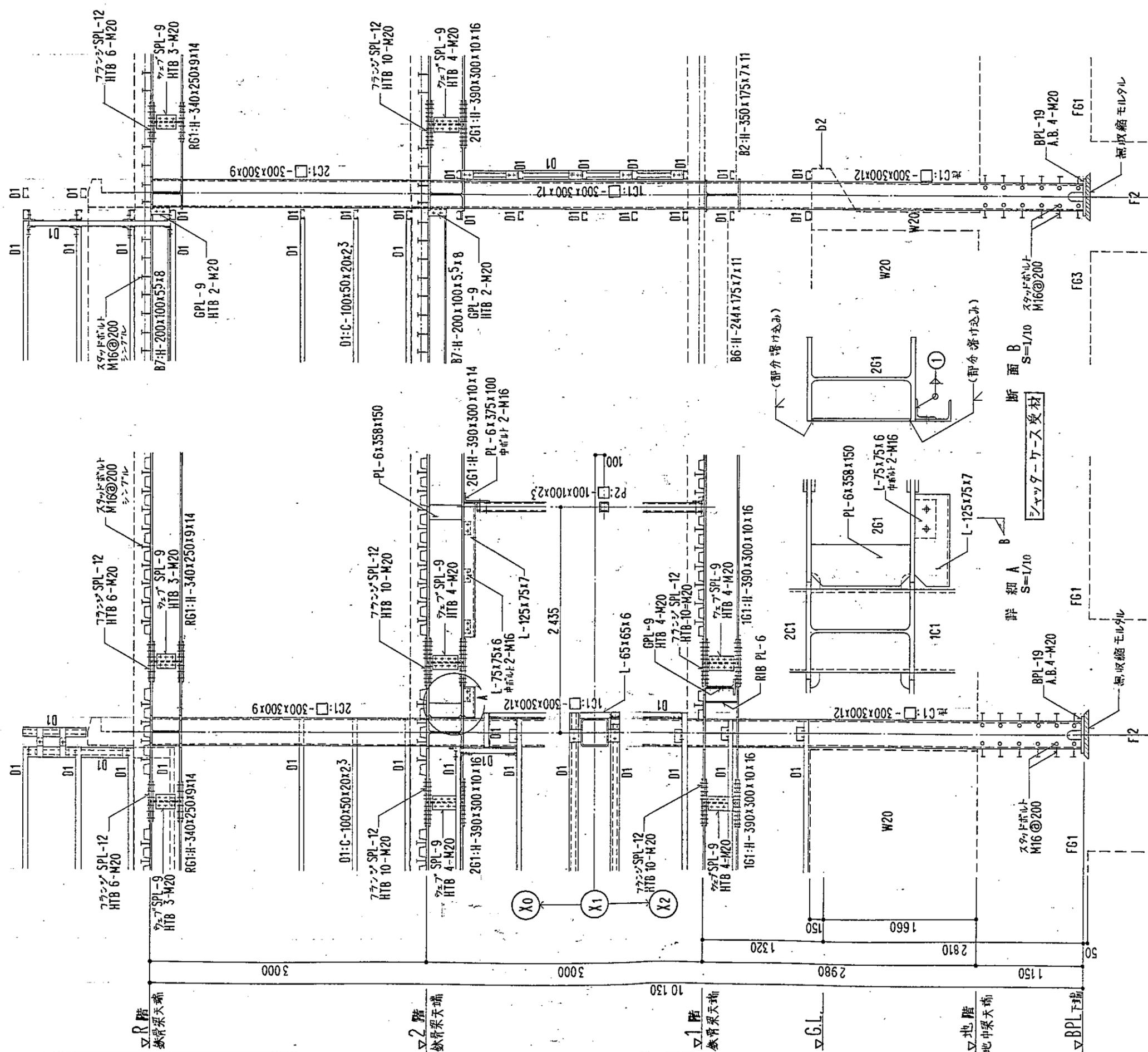
符号	主材	仕口及び継手	備考
D1	C-100 X 50 X 20 X 2 ³	L-125 X 75 X 7 中継 2-M16	
D2	L-65 X 65 X 6	L-125 X 75 X 7 HTB 2-M16	
BR1	FB-65 X 9	G.PL-9 HTB 3-M16	鉛直ブレース



件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	A棟 柱梁リスト表		
縮尺		図面番号	34
設計年月日	昭和 62 年 7 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	A棟鉄骨詳細図(1)		
縮尺	1/10, 1/30	図面番号	35
設計年月日	昭和 62 年 7 月 29 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 鉄骨詳細図 (2)		
縮尺	1/30	図面番号	36
設計年月日	昭和 29 年 2 月 14 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

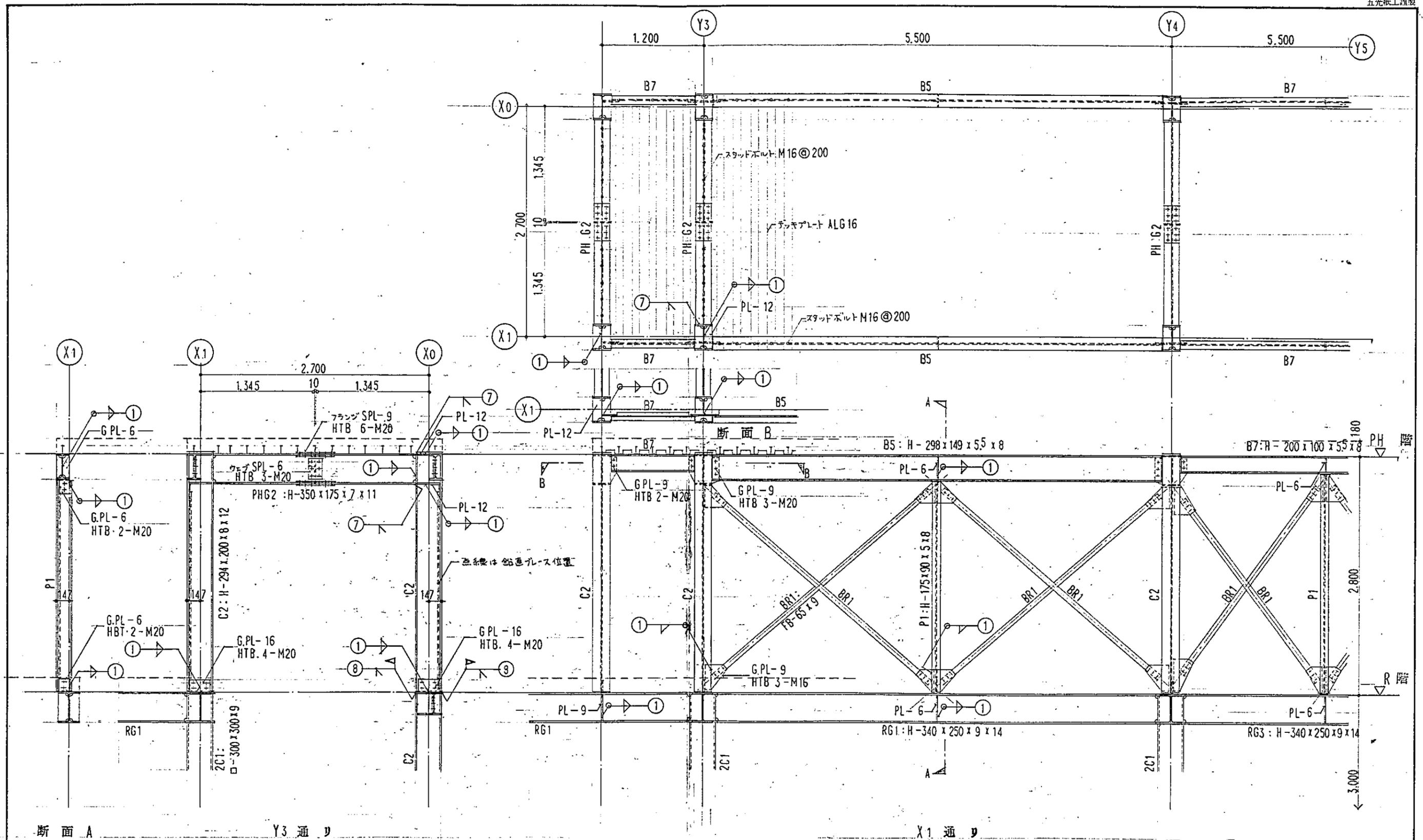
Y2 通り

X0 → X1 → X2

X1 通り

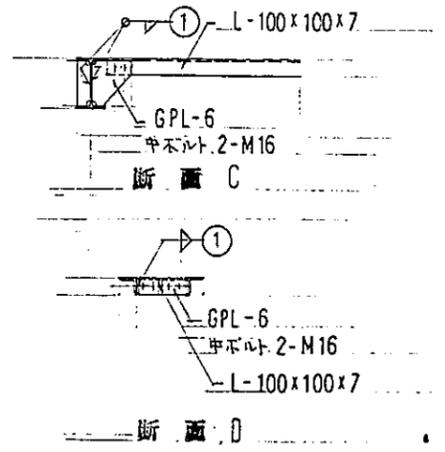
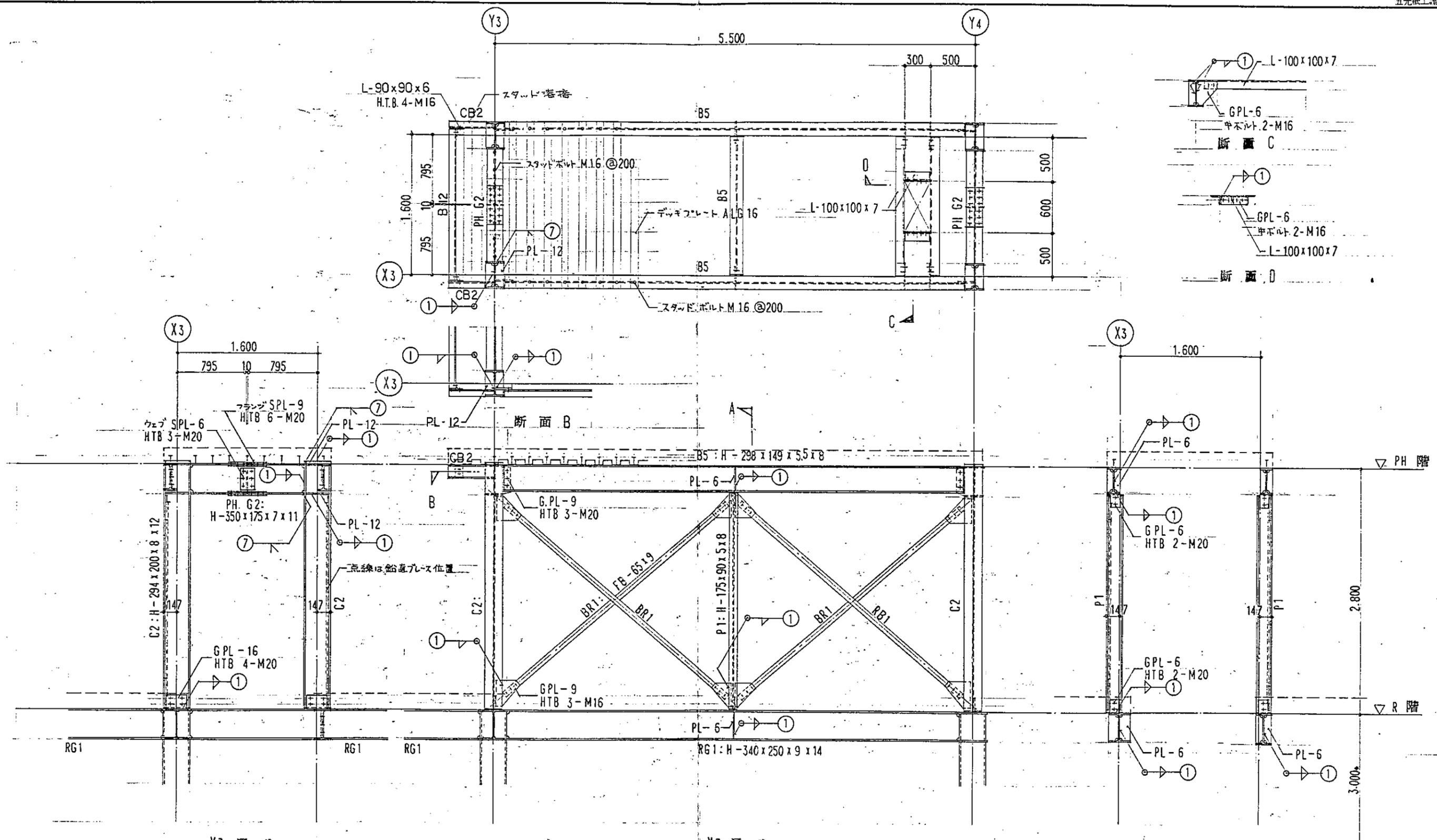
Y1 → Y2 → Y3

鉄骨詳細図 S=1/30



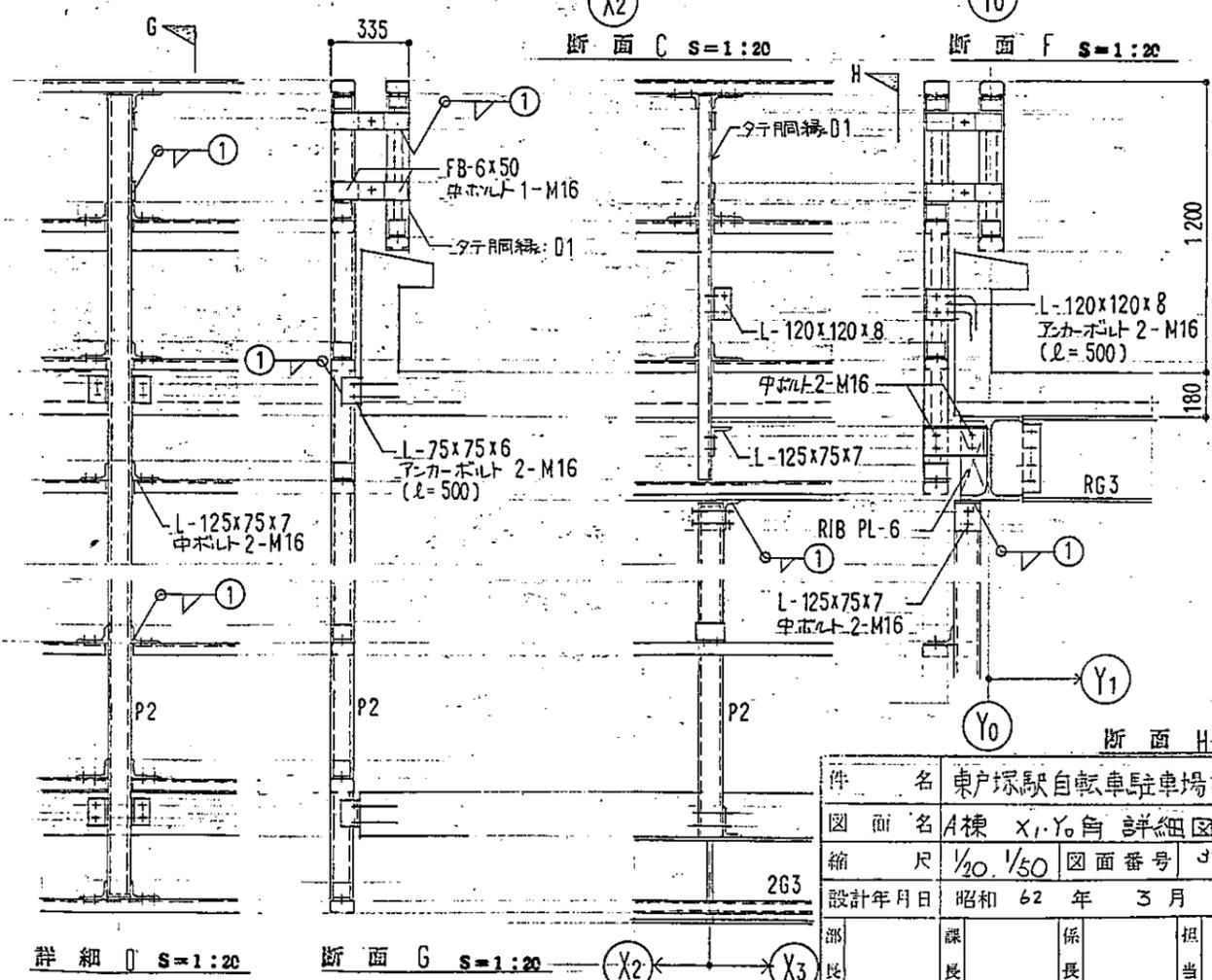
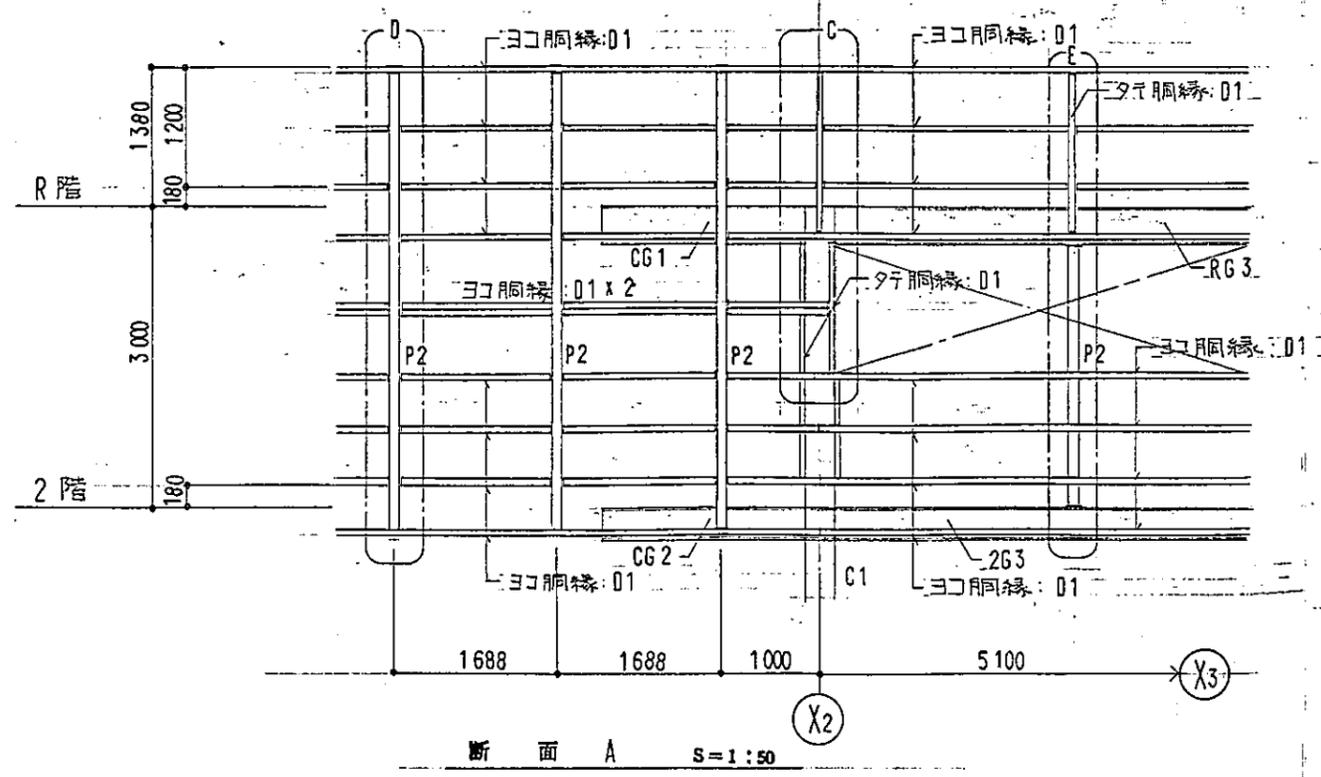
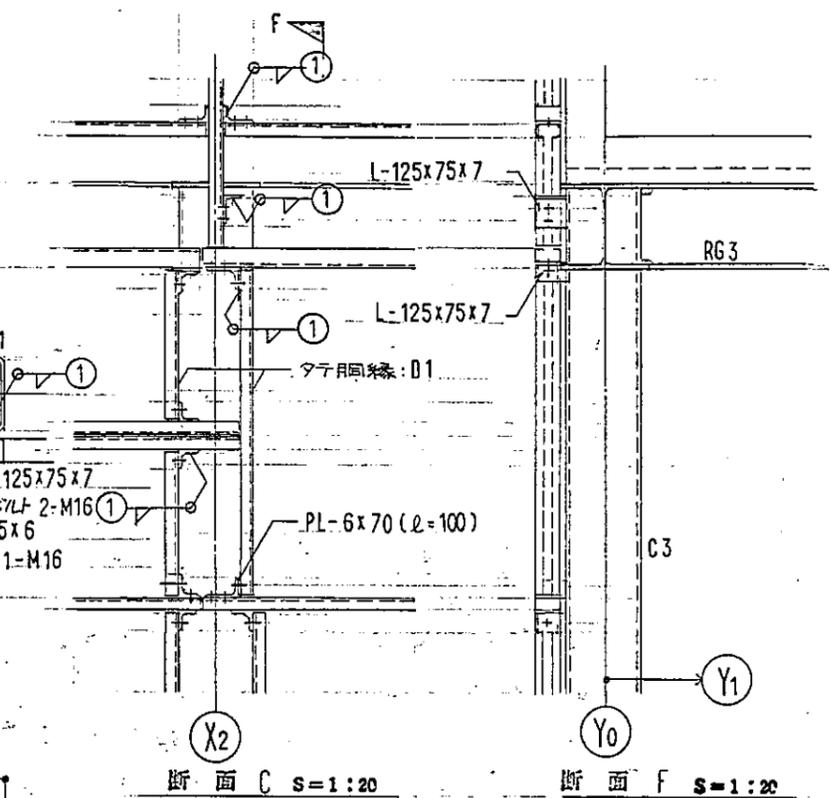
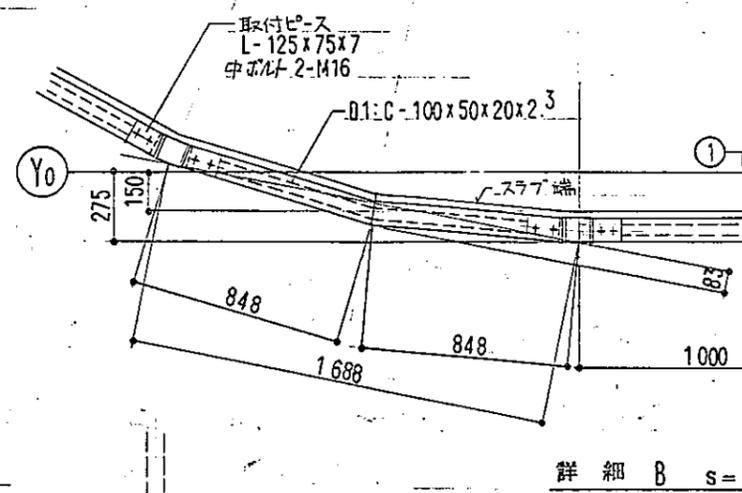
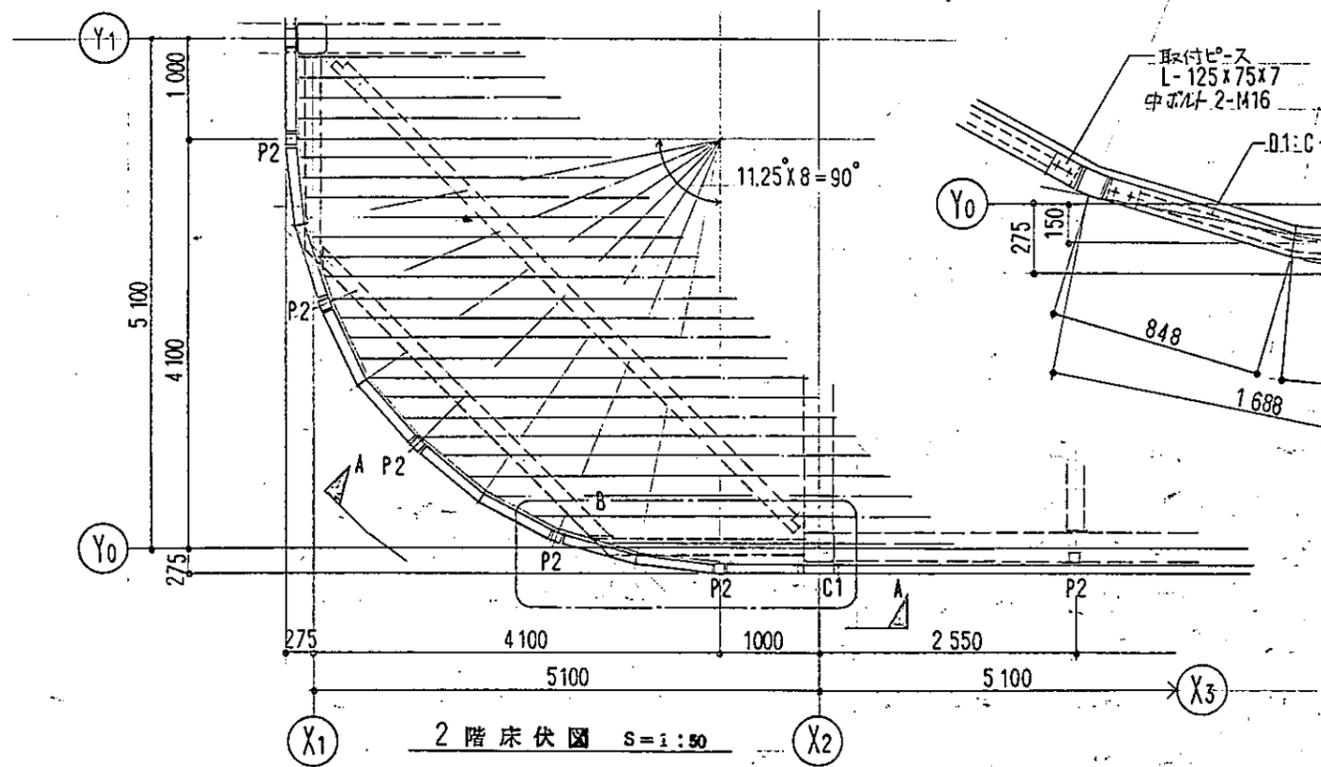
鉄骨詳細図 S=1/30

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟鉄骨詳細図(3)		
縮尺	1/30	図面番号	37/
設計年月日	昭和62年2月14日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

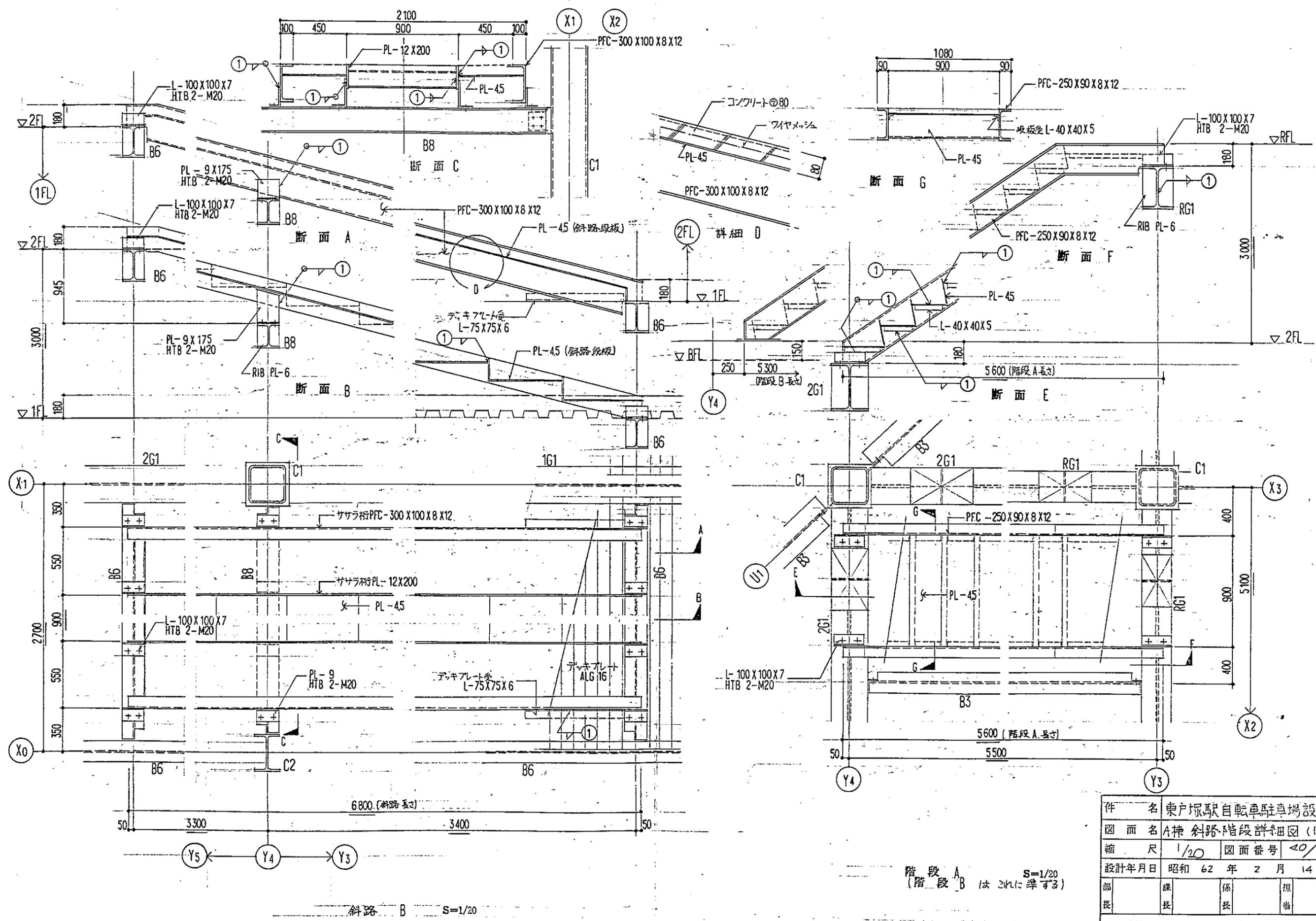


鉄骨詳細図 S=1/30

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 鉄骨詳細図 (4)		
縮尺	1/30	図面番号	38
設計年月日	昭和 62 年 8 月 5 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

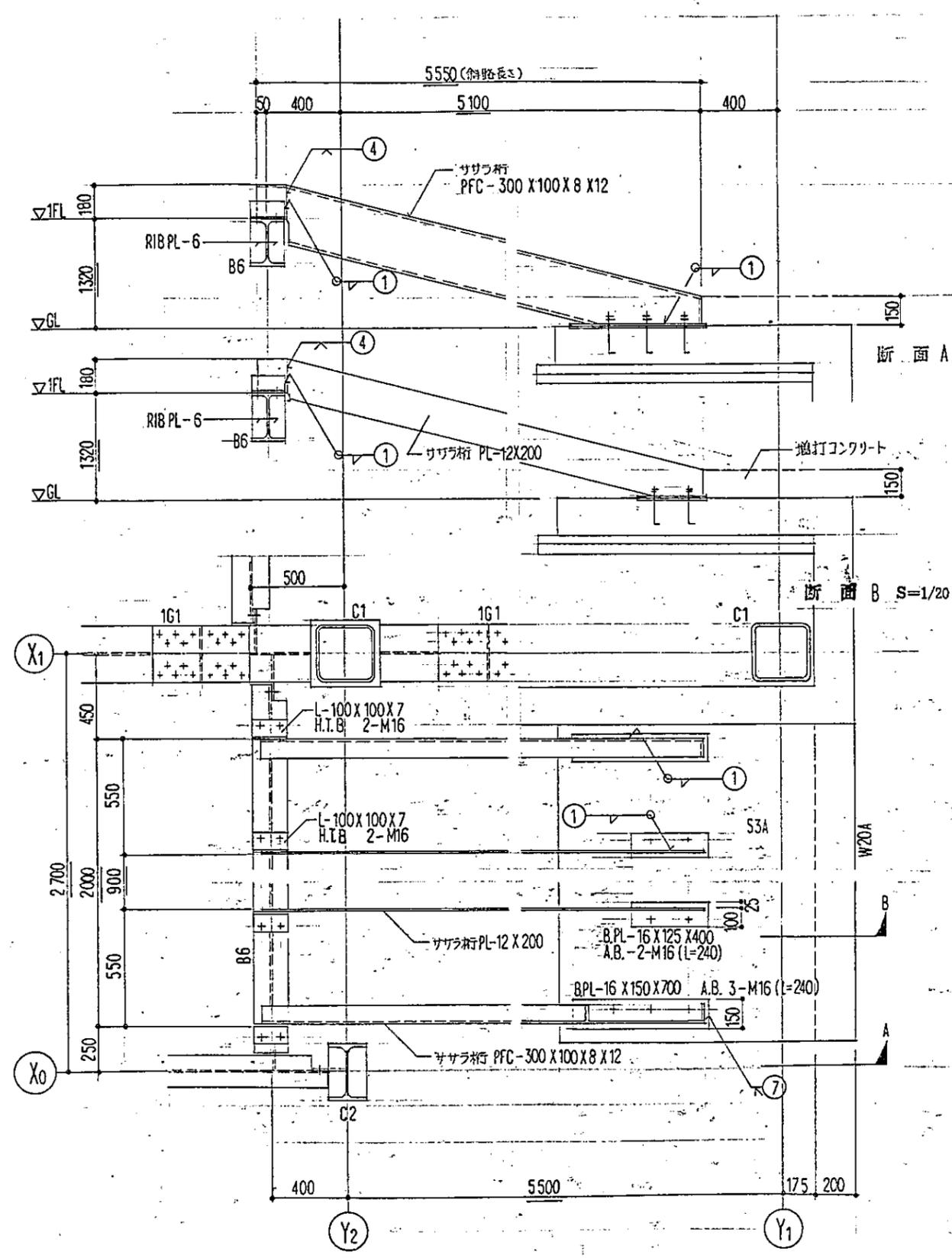


件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 X ₁ , Y ₀ 角詳細図		
縮尺	1/20	1/50	図面番号 39
設計年月日	昭和 62 年 3 月 1 日		
部長	課長	係長	担当

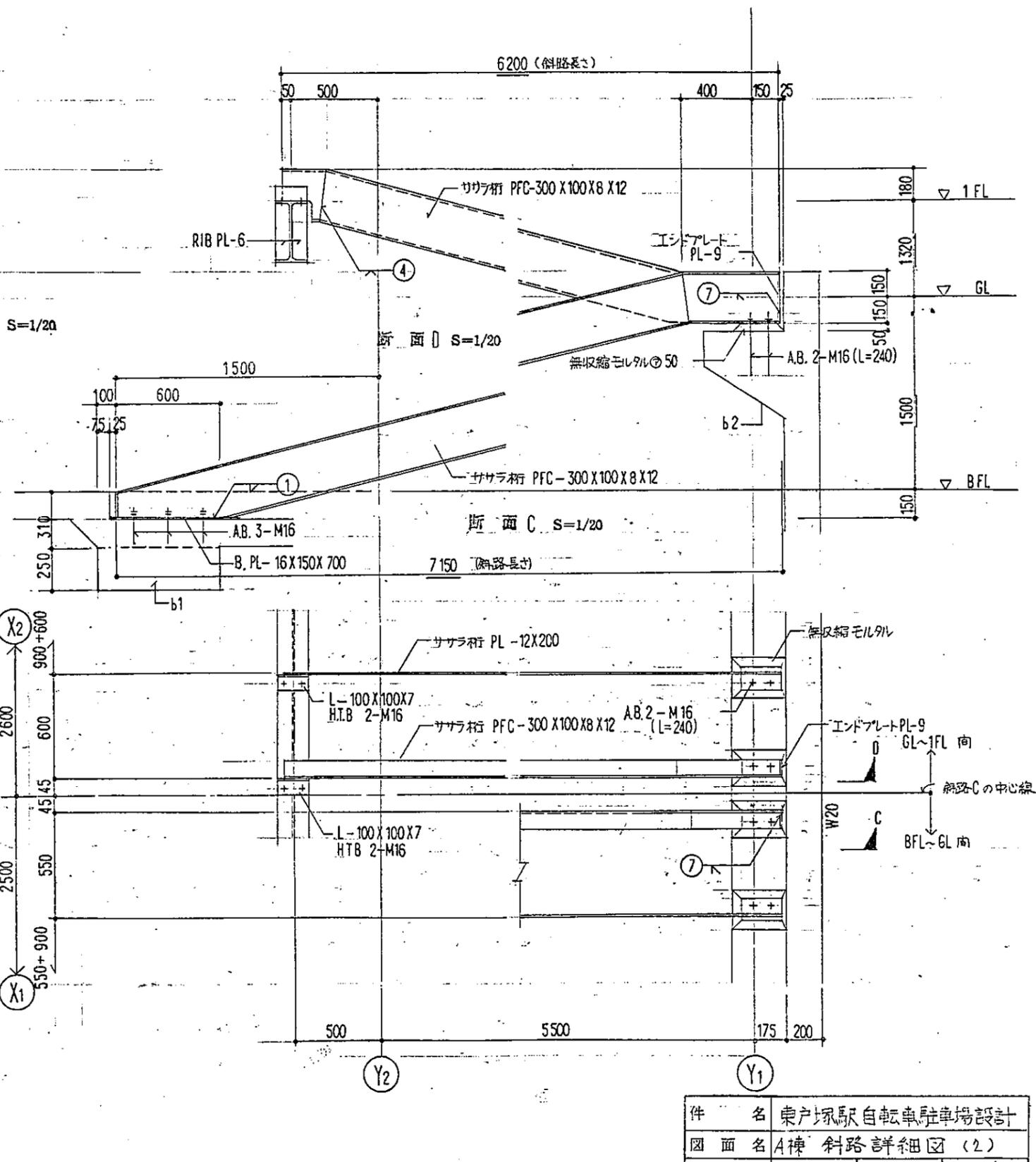


階段 A S=1/20
(階段 B はこれに準ずる)

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟斜路・階段詳細図(1)		
縮尺	1/20	図面番号	20/
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

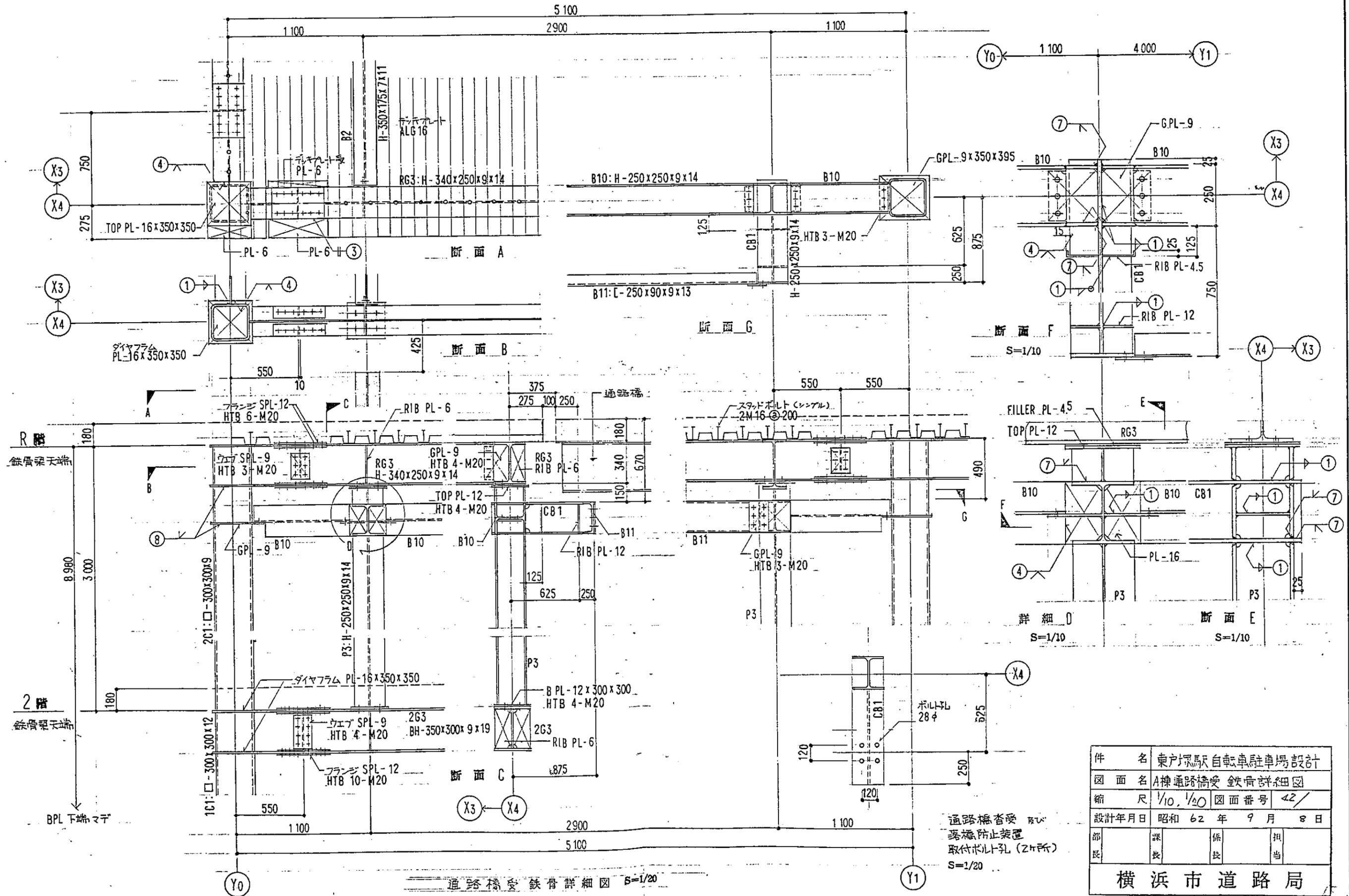


斜路 A 詳細図 S=1/20
特記事項
1. 段板、踏板、詳細は斜路B詳細図による



斜路 C 詳細図 S=1/20
特記事項
1. 段板、踏板、詳細は斜路B詳細図による

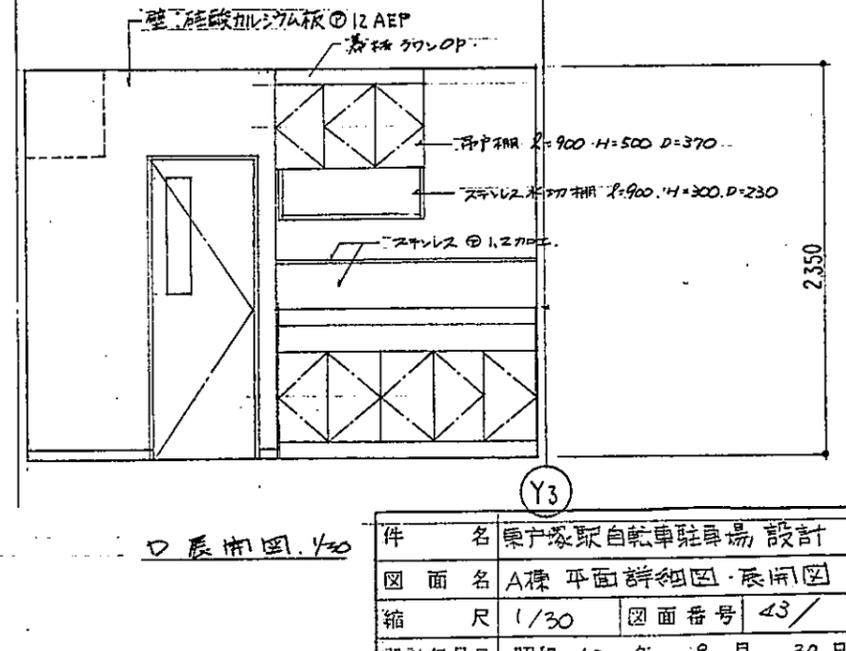
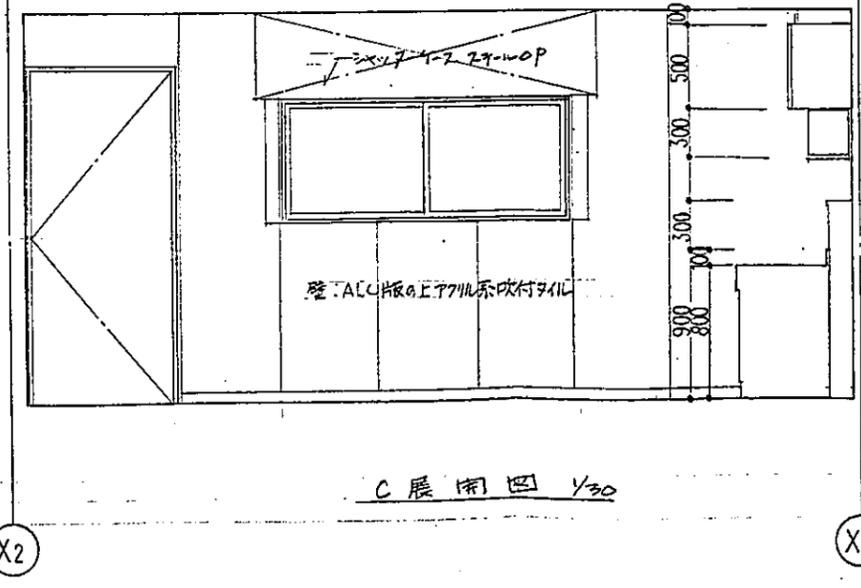
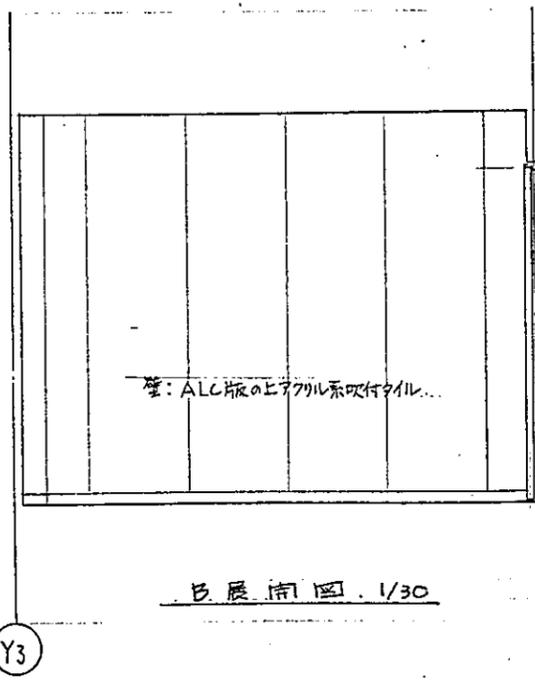
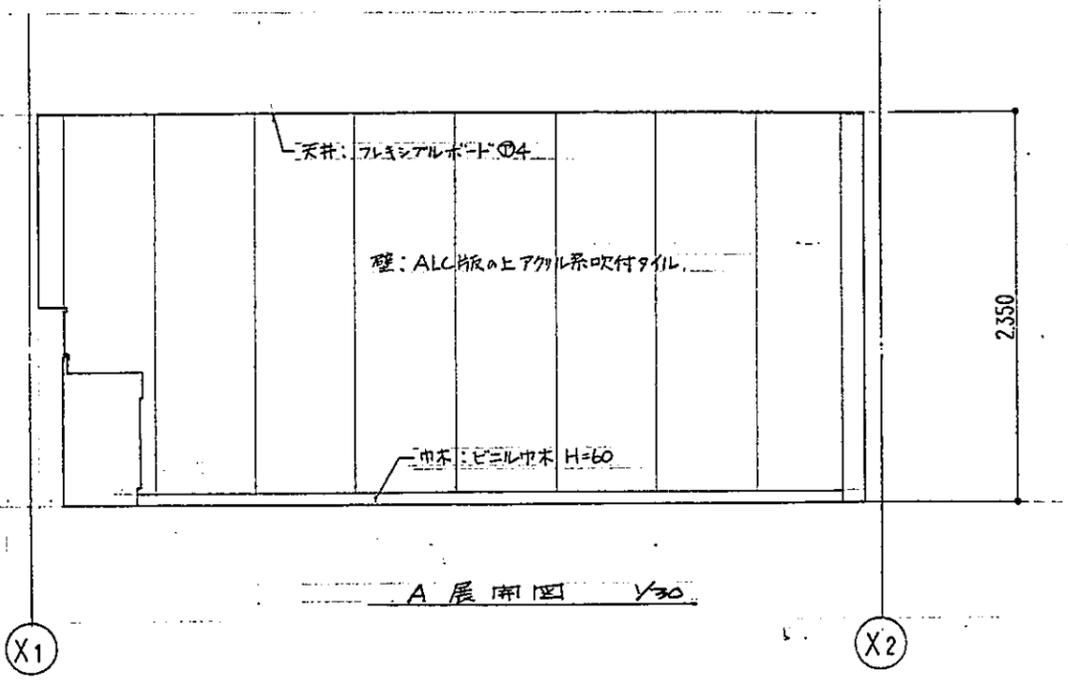
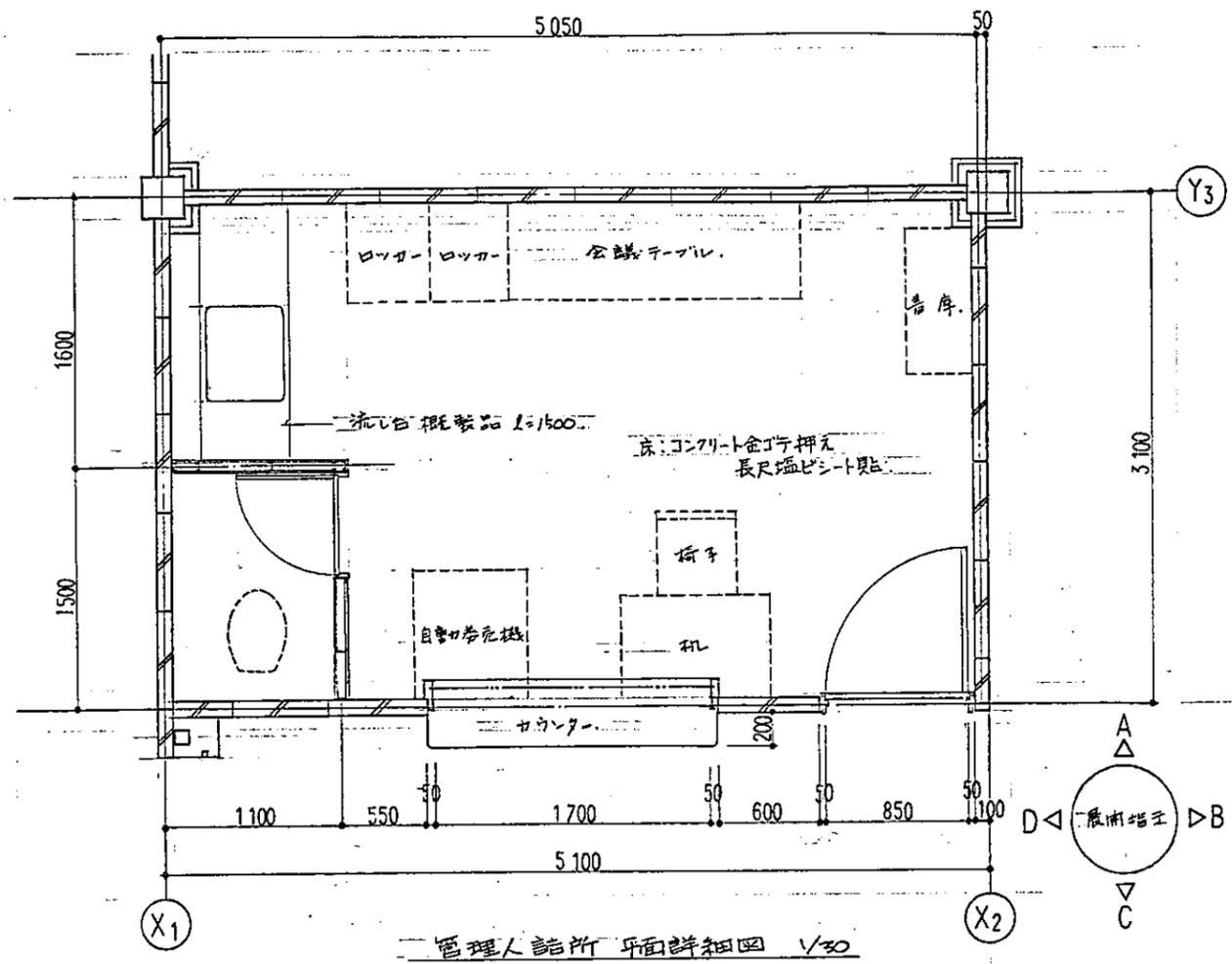
件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	A棟 斜路 詳細図 (2)		
縮尺	1/20	図面番号	41/
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



通路橋受鉄骨詳細図 S=1/20

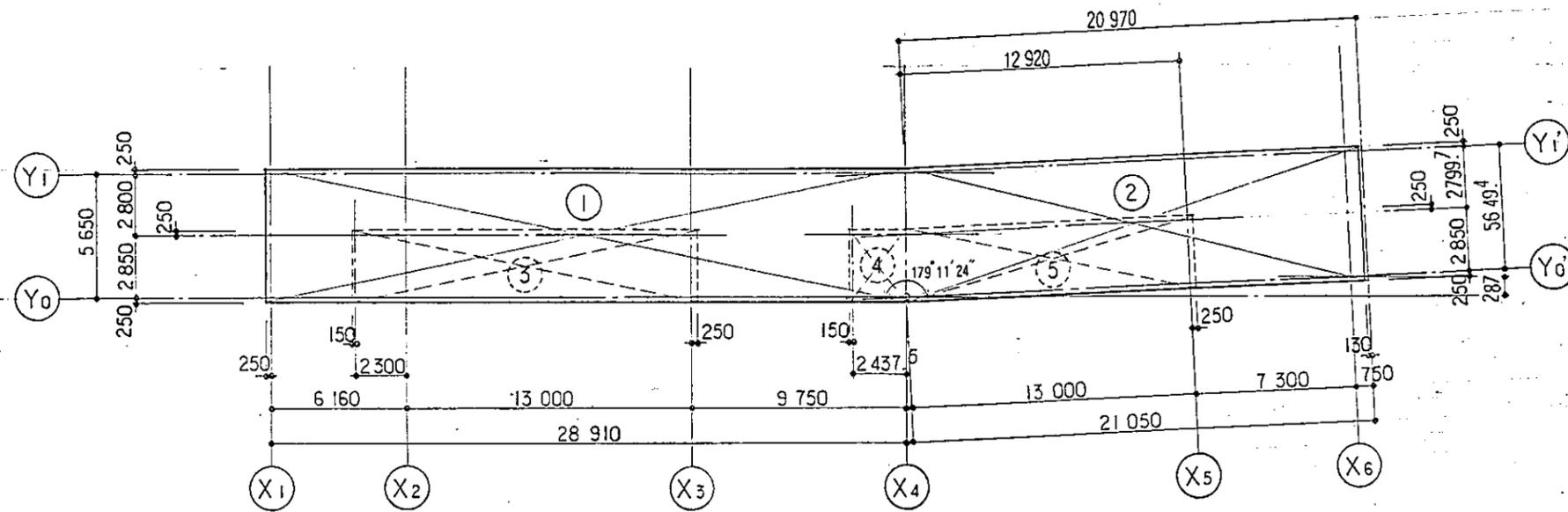
通路橋受及び
落橋防止装置
取付ボルト孔 (Z所)
S=1/20

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟通路橋受鉄骨詳細図		
縮尺	1/10, 1/20	図面番号	42/
設計年月日	昭和62年9月8日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 平面詳細図・展開図		
縮尺	1/30	図面番号	43/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

求積図・面積表 S=1:200



注) *印可法は現場にて確認の上、決定す。

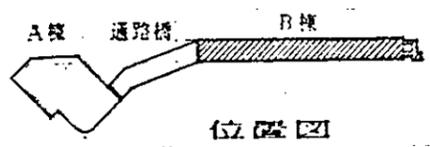
1,2階床面積		
①	29.16 x 6.15	179.334
②	(20.92 + 20.70) x 6.145 x 1/2	127.877
① + ②		307.211 m ²
3階床面積		
③	15.70 x 3.35	52.595
④	2.5875 x 3.35	8.668
⑤	(13.25 + 13.03) x 3.35 x 1/2	44.019
③ + ④ + ⑤		105.282 m ²
面積表		
階	床面積	
1階	307.211	
2階	307.211	
3階	105.282	
計	719.704 m ²	

外部仕上表

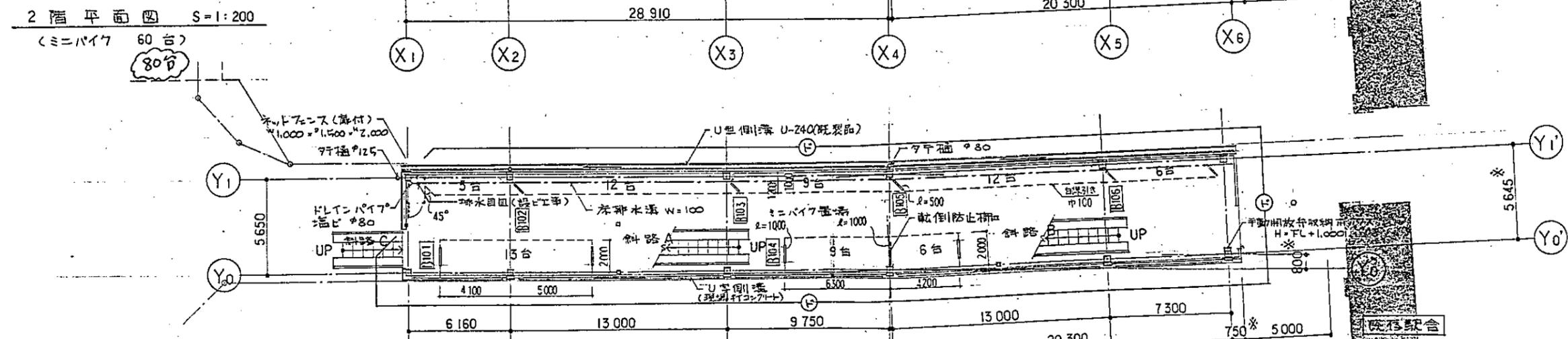
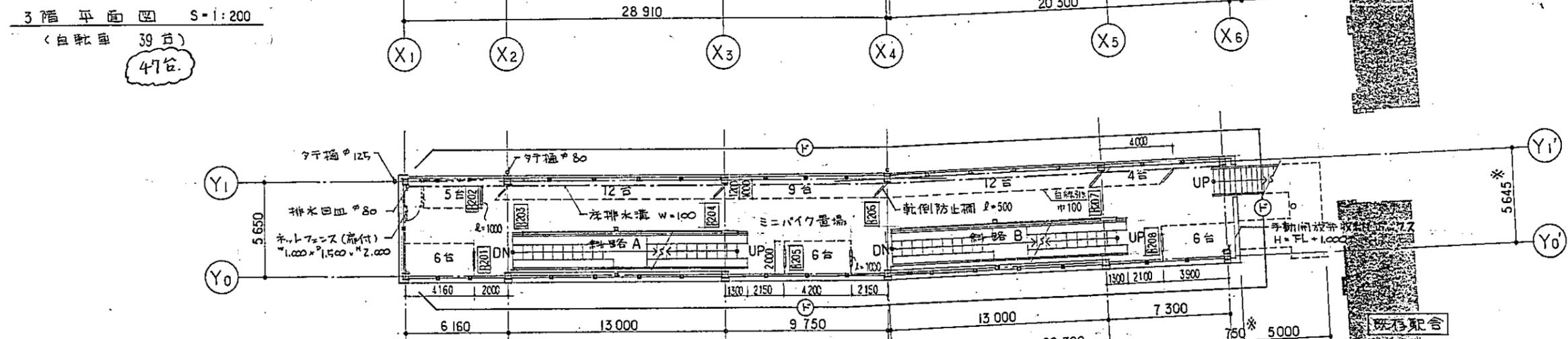
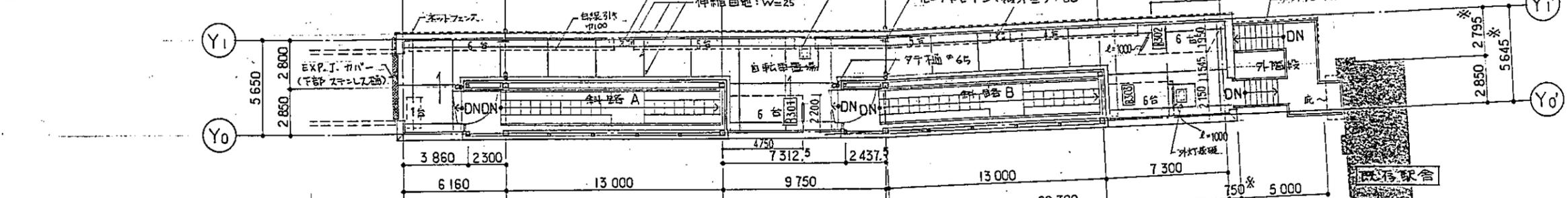
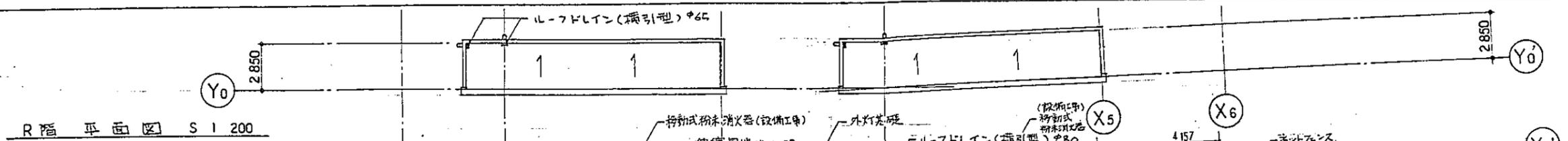
部 位	仕 上	備 考	部 位	仕 上	備 考
屋 上	コンクリート金ゴテ押エ + アスファルト防水(B-1) + 押エコンクリート @60 ~ 120 金ゴテ押エ フェロコンハード仕上 (溶接金網 #6 @100); 伸縮目地: W=25		外階段	階面: モルタル金ゴテ仕上 (7ヶ所); 階段: 鋼板表わし OP; 踊り場: コンクリート金ゴテ (7ヶ所) 柱・梁: 鉄骨表わし OP 2回塗	手摺: スチールパイプ OP 2面塗 1: スリッパ; スチエリス敷 (ゴム入)
屋上手摺	外側: 外壁に同じ 内側: 軽鉄下地 ALCパネル @50 アクリル系吹付タイル 骨太: ホーロー鋼板パネル; 水切: カラー鉄板 @28 曲加工		外部腰	コンクリート打放し補修 目地: シ-11ニケ B種 10x10 伸縮目地: " 20x20	骨太: コンクリート金ゴテ
活屋屋根	コンクリート金ゴテ押エ + アスファルト防水防木(D-1) 10ラバート骨太: ホーロー鋼板パネル (東面のみ) B6 アリス既製品アルマイト処理		EXPジョイント (屋上のみ)	エ-1金網: L-65x65x6 B6 R-6x10 9-IL 従付 ジョイントカバー: C.R-6 9-IL 従付 鉄骨: スチエリス @0.5 HL W=120, H=200; ドレイン: スチエリス金網; 敷設: 硬質塩化ビニル #125	
外 壁	ホーロー鋼板パネル張り又は ALCパネル @100 アクリル系吹付タイル: 目地 (共通): シ-11ニケ (B種) 10x10 15x10 20x10 パワアース ロックワール	ALC腰壁骨太: カラー鉄板 @0.4加工	U字側溝	東側: U-240 (既製品) 西側: 現場打コンクリート 経体目地 @10.000; シ-11ニケ B種 20x20	
縦・横・ドレン	縦・ドレン: 鋼鉄製 (横引型) #80 B6 #65 堅板: 硬質塩化ビニル #80 B6 #65				

内部仕上表

階	室 名	床	巾 木・腰	壁	天 井	柱 梁	備 考
1	ミニバイク置場	コンクリート金ゴテ押エ + フェロコンハード仕上	西面のみ コンクリート打放し補修 高さ 100 北・東・南面のみ コンクリート打放し補修 高さ 1250	外壁: ホーロー鋼板パネル部: ALCパネル @50 吹付タイル 外壁 ALCパネル部: アクリル系吹付タイル	千鳥キプレート Z1Z	耐火被覆: H=FL+1200 ALC @50 77HL RDPH24HL H=FL+1200 鉄骨表わし OP ネットフェンス H=2000	ネットフェンス H=2000 床押水溝: W=100, H=20 コンクリート金ゴテ 鉄骨倒止補: スチ-11ニケ OP ネットフェンス H=2000 床押水溝: W=100, H=20 コンクリート金ゴテ 床倒防止補: スチ-11ニケ OP
2	ミニバイク置場	全 上	—	全 上	全 上	全 上	
3	活 屋	全 上	—	全 上	全 上	全 上	
共通	通路 A, B	スロ-7: コンクリート金ゴテ + ホーロー鋼板表わし 階面: ノズリ-7 押水溝 70-7; 鉄部 OP	—	—	—	—	手摺: スチ-11パイプ OP



件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	B棟 求積図・面積表		
縮 尺	1/200	図面番号	24/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部 長	課 長	係 長	組 当
横 浜 市 道 路 局			



R階平面図 S 1:200

3階平面図 S=1:200
(自転車 39台)
47台

2階平面図 S=1:200
(ミニバイク 60台)
80台

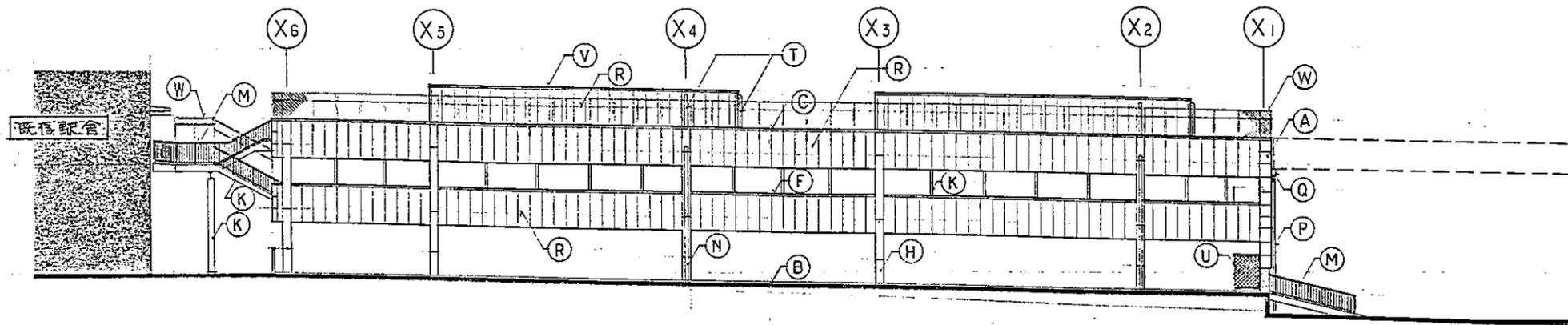
1階平面図 S=1:200
(ミニバイク 72台)
97台

B棟計 224台

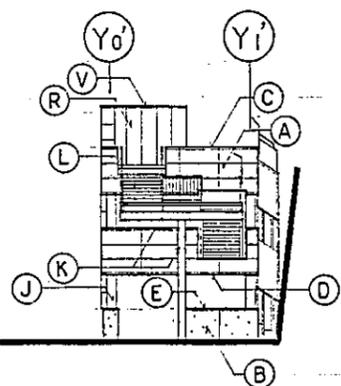
合計 (A棟 + B棟) 1003台

凡例
 FL-チャ- 設置範囲を示す。
 軌倒防止柵は L=500, 1000 [000] ナンバープレートを示す。
 注) *印寸法は現場確認の上、決定する。

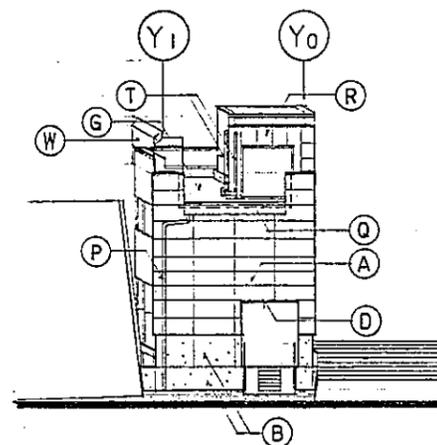
件名	東戸塚馬尺自転車駐車場 設計		
図面名	B棟 平面図		
縮尺	1/200	図面番号	45/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部 課 係 相	長 長 長 当		
横浜市道路局			



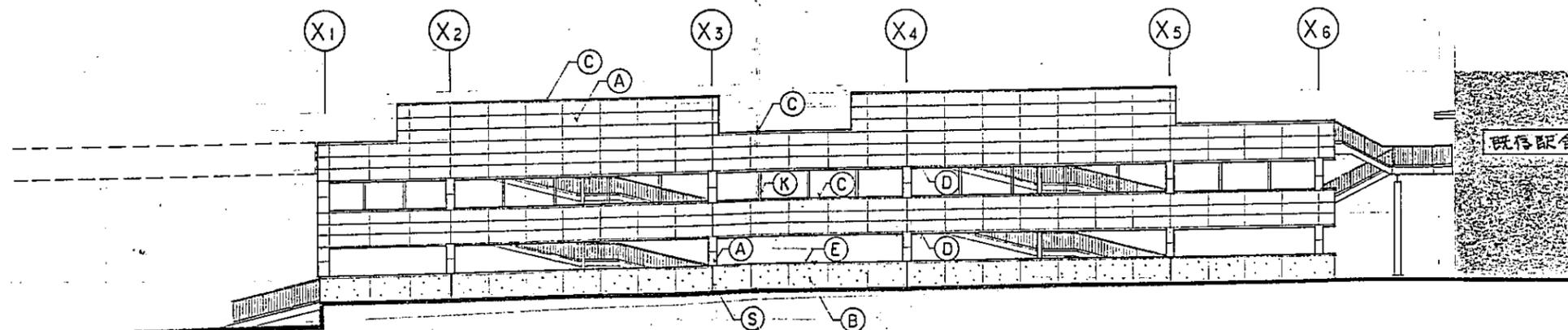
西立面図 S-1:200



北立面図 S-1:200



南立面図 S-1:200

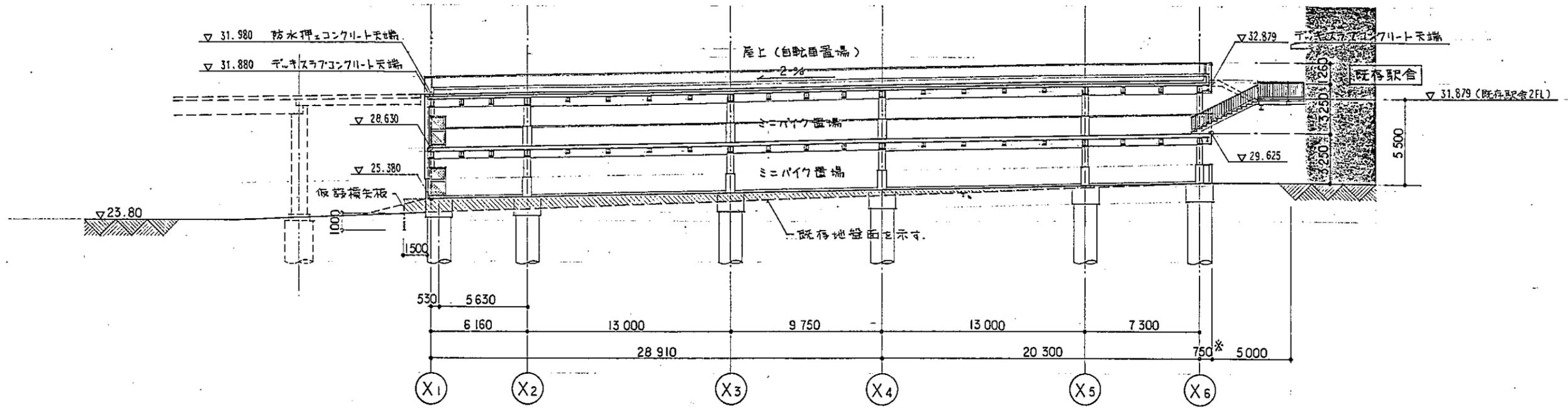


東立面図 S-1:200

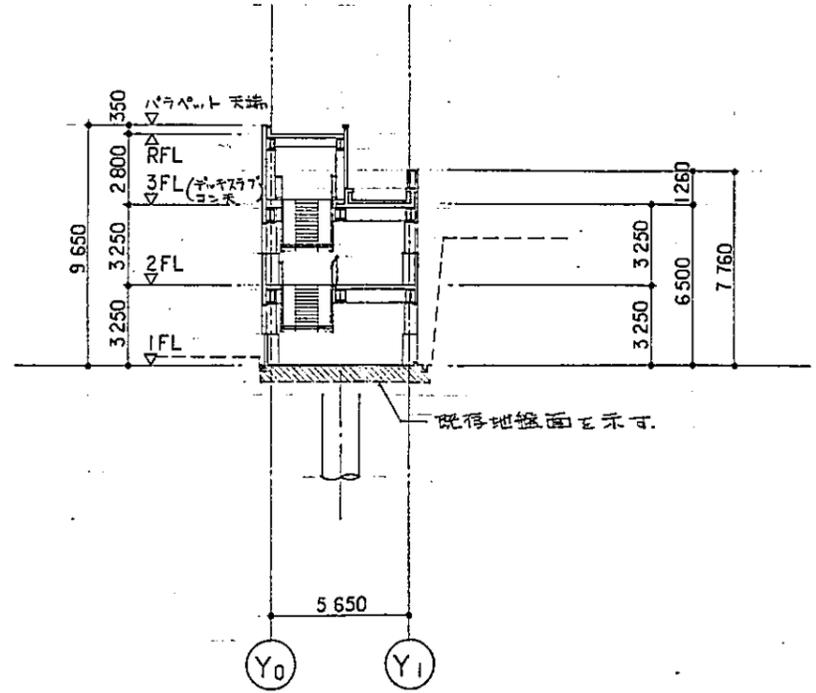
外部仕上表

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
A	外壁及び柱型: 木-ロ-鋼板パネル	J	耐火被覆(H≦1.200): 珪酸アルシウム板②25 AEP	S	躯体目地切 : ポリサリフナイト系 20×20
B	階壁及び地中梁: コンクリート打放し補修	K	鉄骨妻わL OP 2回塗	T	タテ樋: 硬質塩ビパイプ φ65
C	パラバート及び手摺笠木: 木-ロ-鋼板パネル	L	階段 踏面: エルピル金コテ仕上(744×72×2750高入) 蹴込及び段長: 鋼板妻わL OP	U	ネットフェンス H=2000 フェンス附付
D	水切: 木-ロ-鋼板パネル	M	手摺: スチールパイプ OP	V	塔屋パラバート笠木(ALC部): アルミ(既製品)アルマイト処理
E	階笠木: コンクリート金コテ仕上	N	タテ樋: 硬質塩ビパイプ φ80	W	ネットフェンス
F	手摺笠木(ALC部): カラー鋼板②0.6白亜加工	P	" " φ125		
G	屋根: 押コンクリート金コテ75ロコンバト仕上	Q	軒樋: スチールS②0.5 H.L内張し鋼板③加工OP		
H	耐火被覆(H≦1.200): ALC板②507114吹付タイル	R	外壁: ALC②100 アクリル系吹付タイル		

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 立面図		
縮尺	1/200	図面番号	46
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



南北断面図 S=1:200

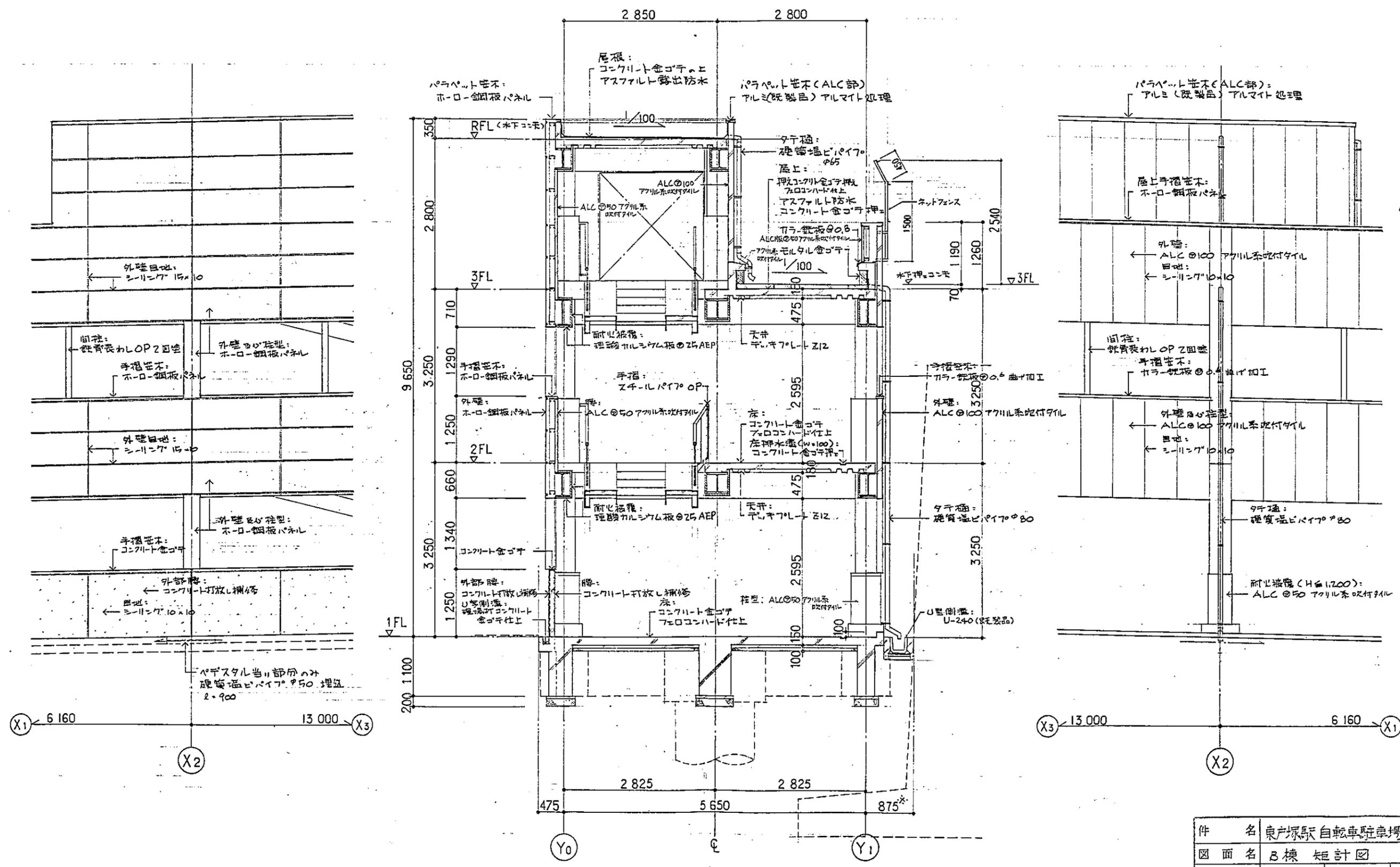


東西断面図 S=1:200

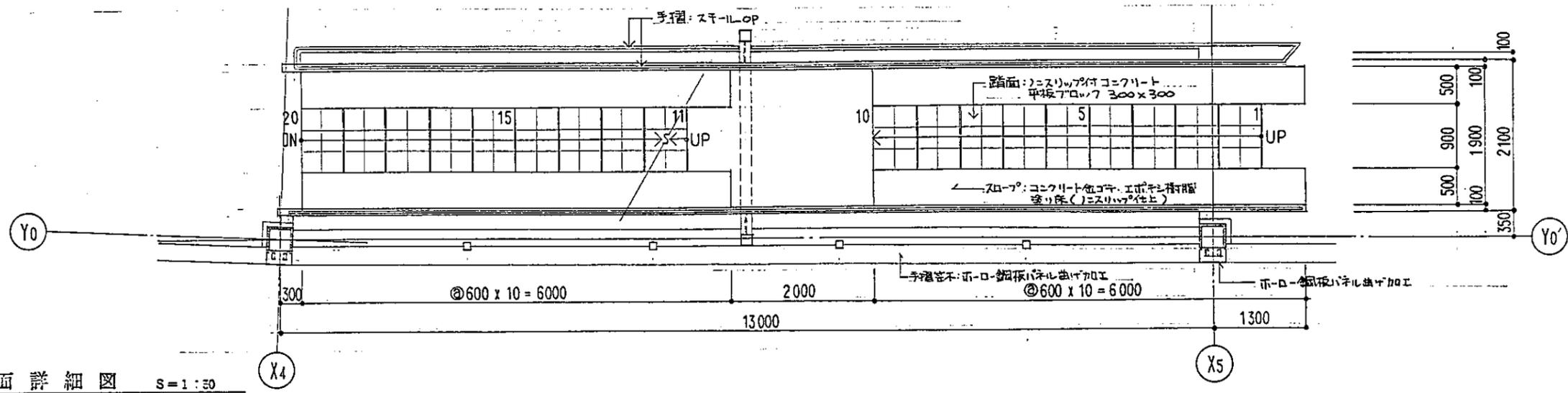
凡例
 盛土を示す
 (杭の打設前に施工する)

注) *印寸法は現場確認の上決定すること。

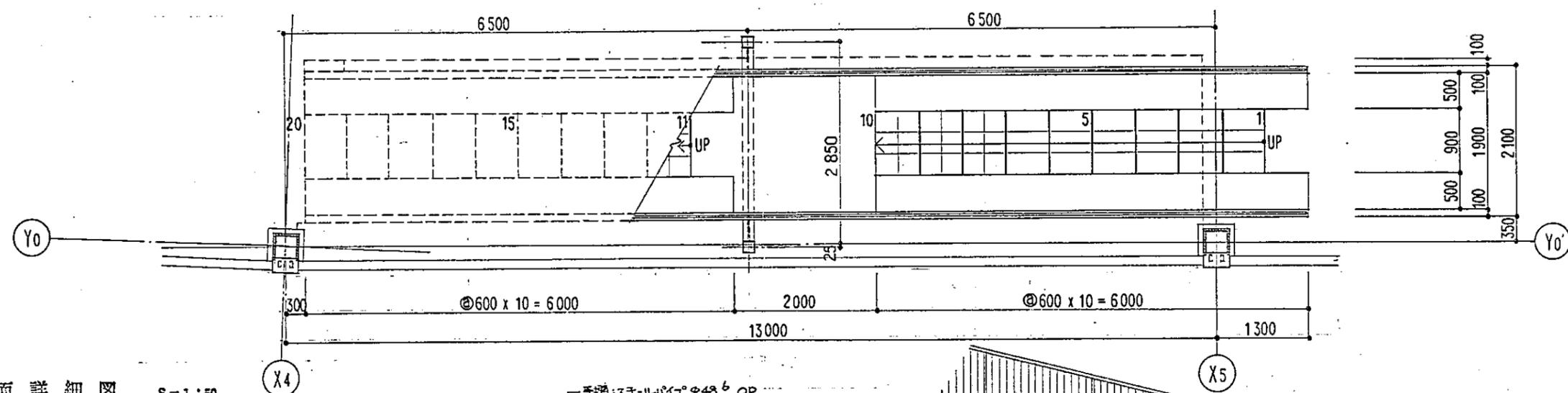
件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	B棟 断面図		
縮尺	1/200	図面番号	47/
設計年月日	昭和 62 年 8 月 5 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



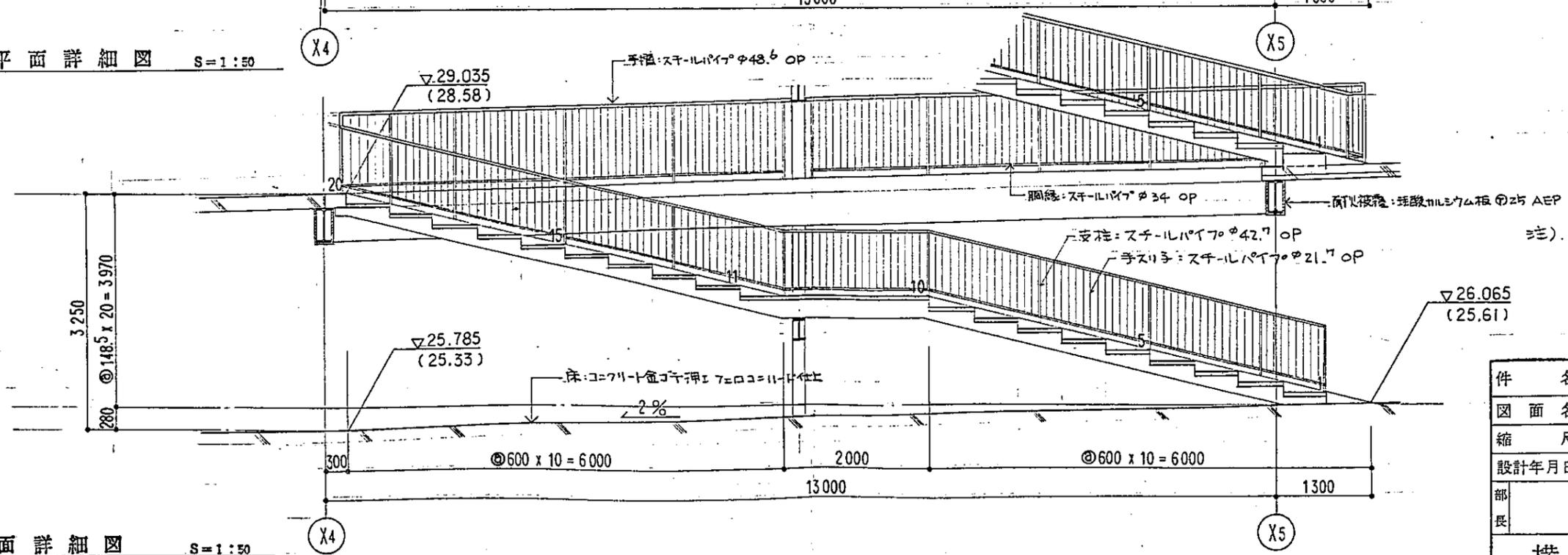
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 短計図		
縮尺	1/50	図面番号	48/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



2階平面詳細図 S=1:50



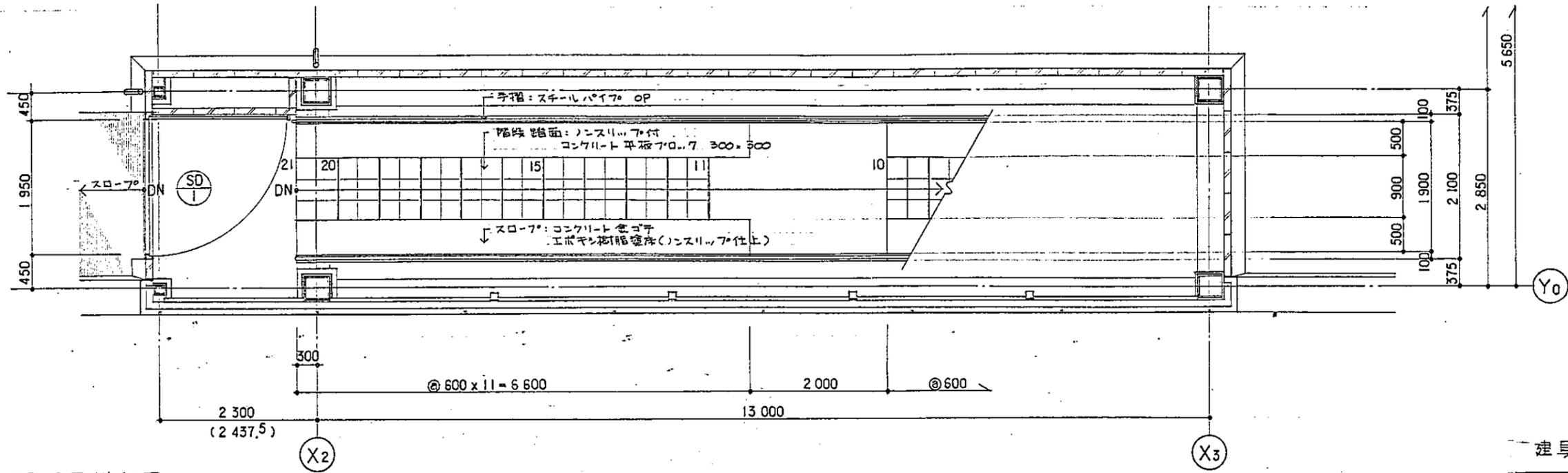
1階平面詳細図 S=1:50



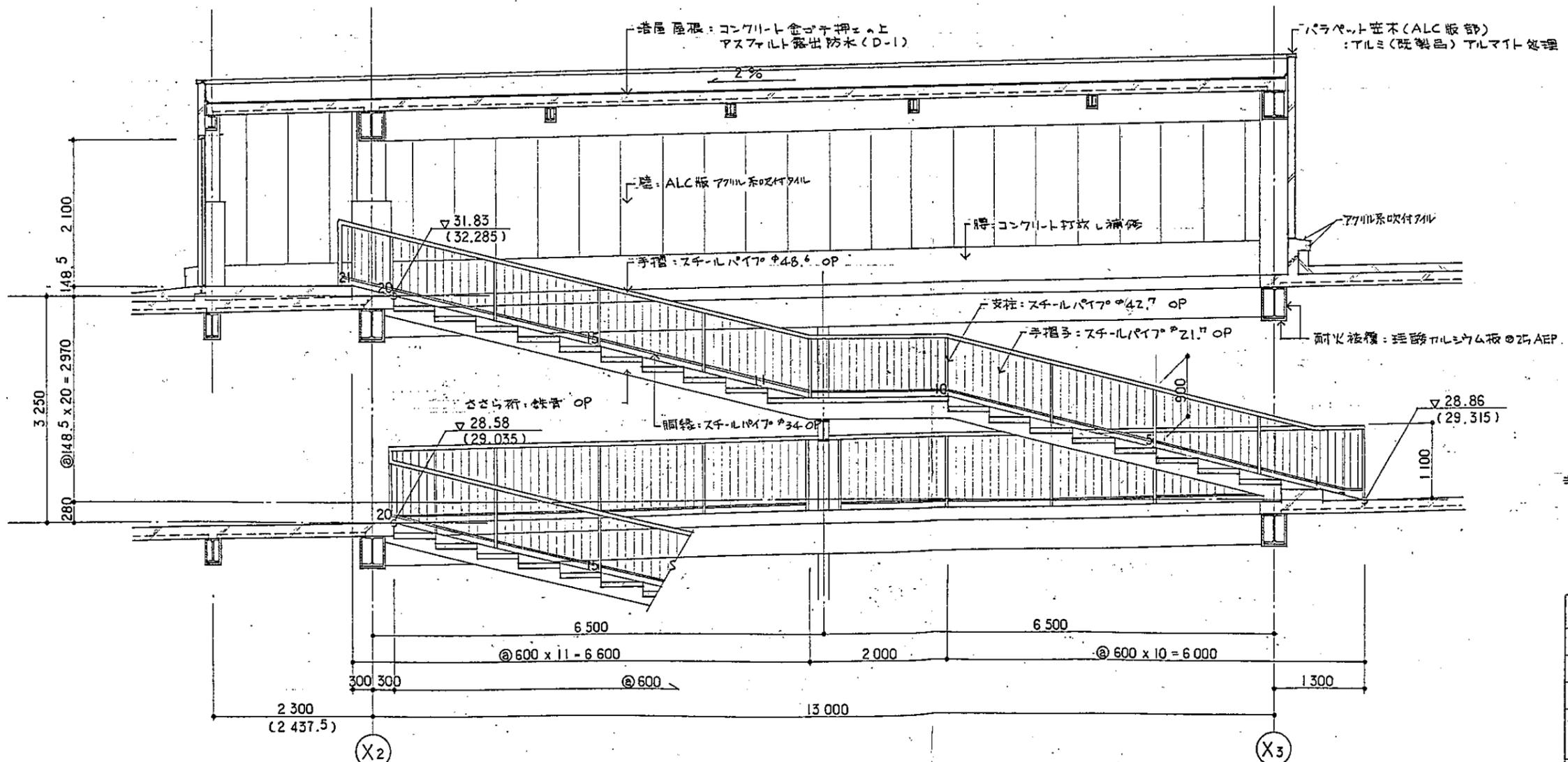
断面詳細図 S=1:50

注) 1. 斜路Aは本図に倣う。
 2. ()内の数字は斜路Aのレベルを示す。

件名	東戸塚駅自転車駐留場設計		
図面名	B棟 斜路B 詳細図		
縮尺	1/50	図面番号	49-1/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

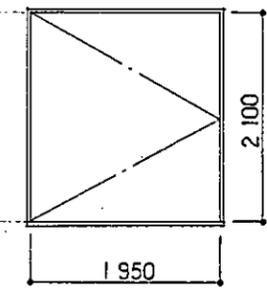


塔屋平面詳細図 S=1:50



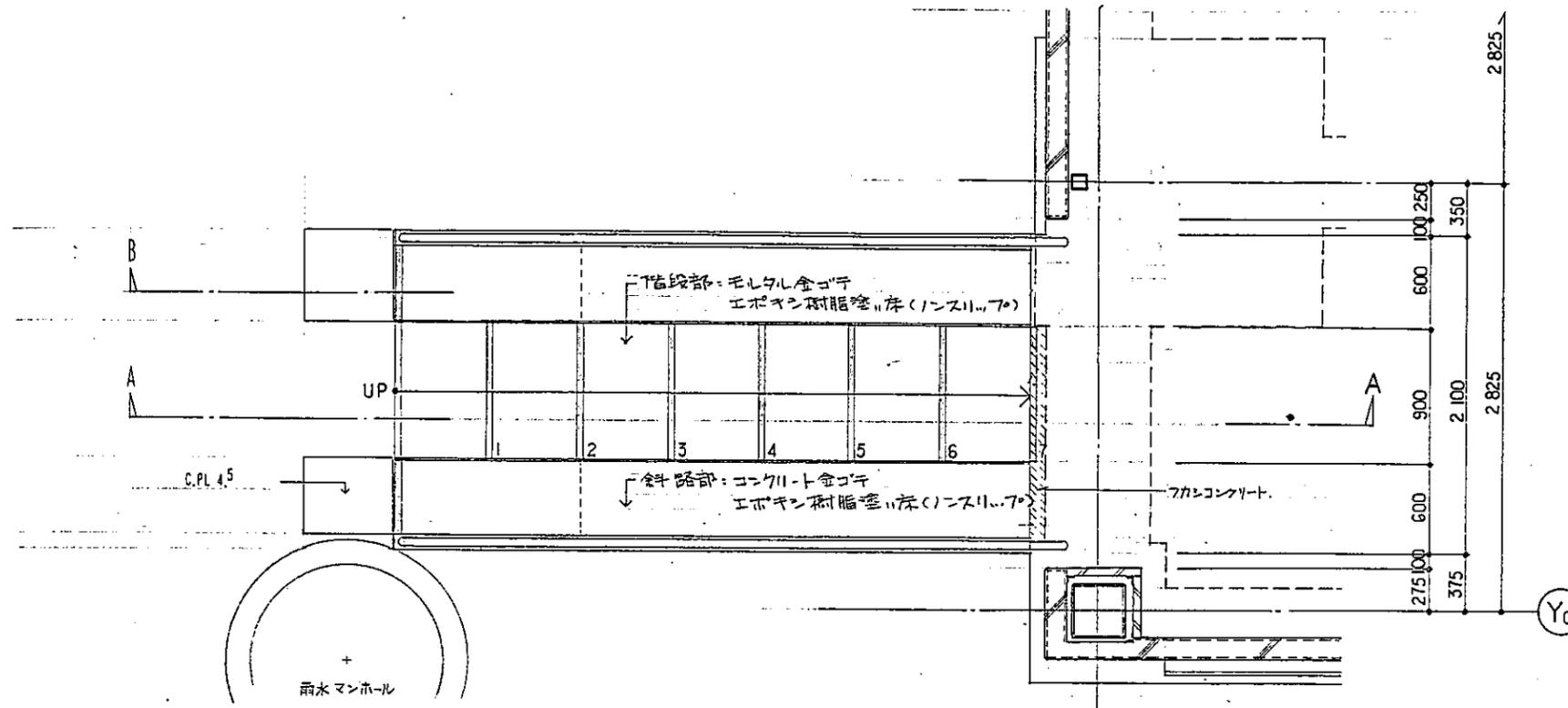
断面詳細図 S=1:50

建具表

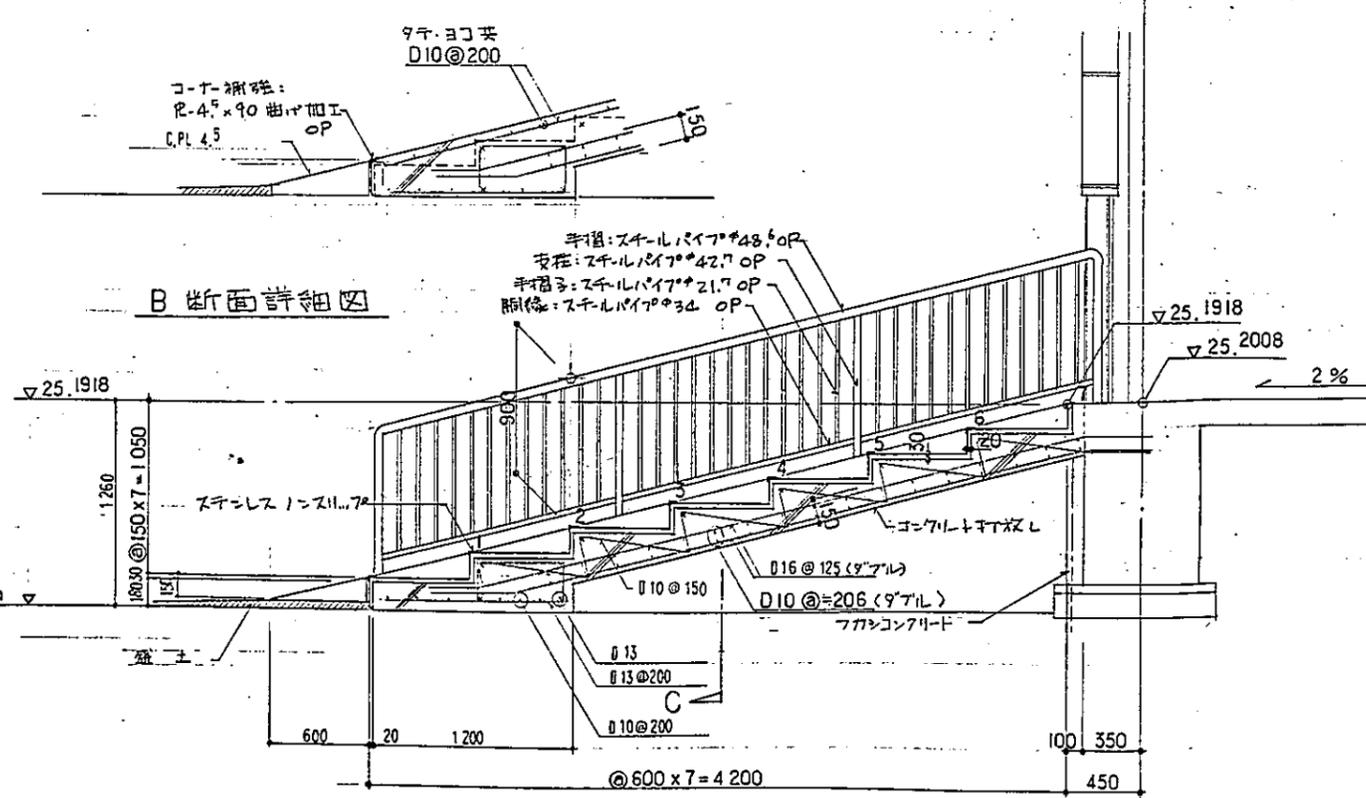
記号・形状	SD I	全国製片所製ガラス扉 (標準型異型扉)
型式 (寸法)		
数量(見込)	2	(40)
仕上	OP	
ガラス		
付属金物		丁番, ケースハンドル, ドアクローザ(ストッパーなし)
備考		甲種防火戸(常開)

注) 1. 斜路Bは本図に倣う。
2. ()内の寸法は斜路Bの寸法を示す。

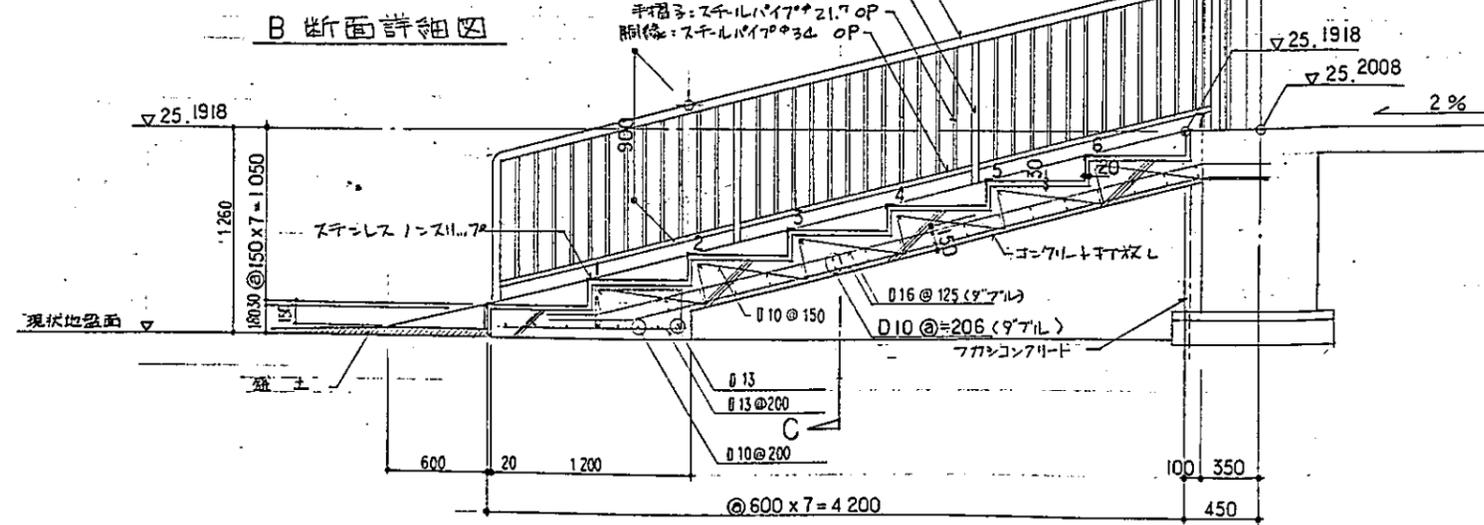
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 斜路A詳細図		
縮尺	1/50	図面番号	49-2
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



平面詳細図

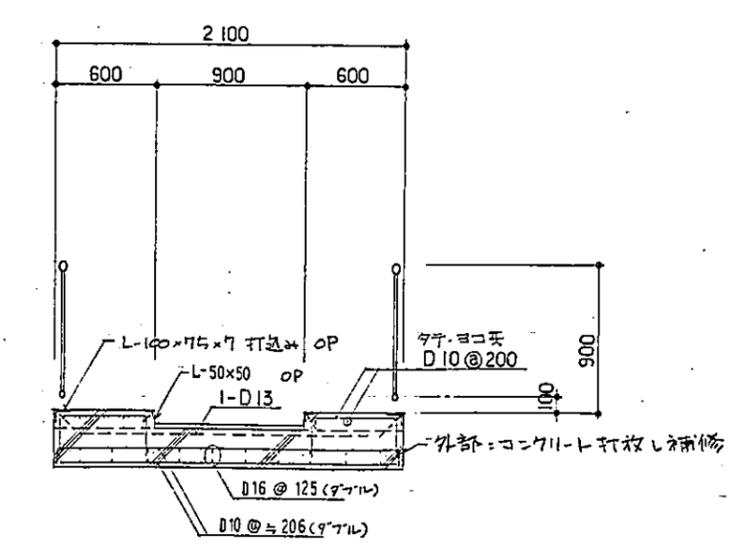


B断面詳細図



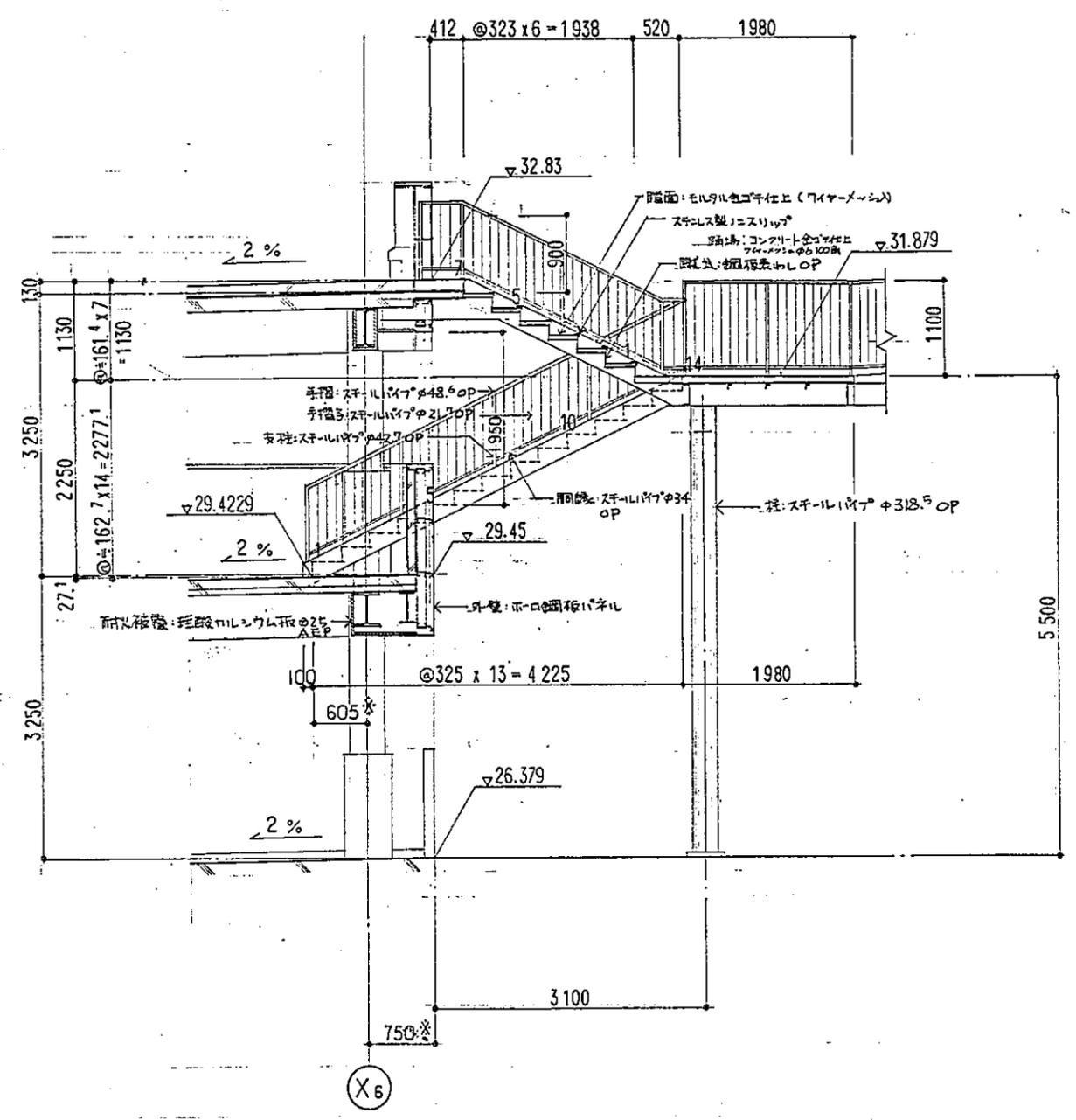
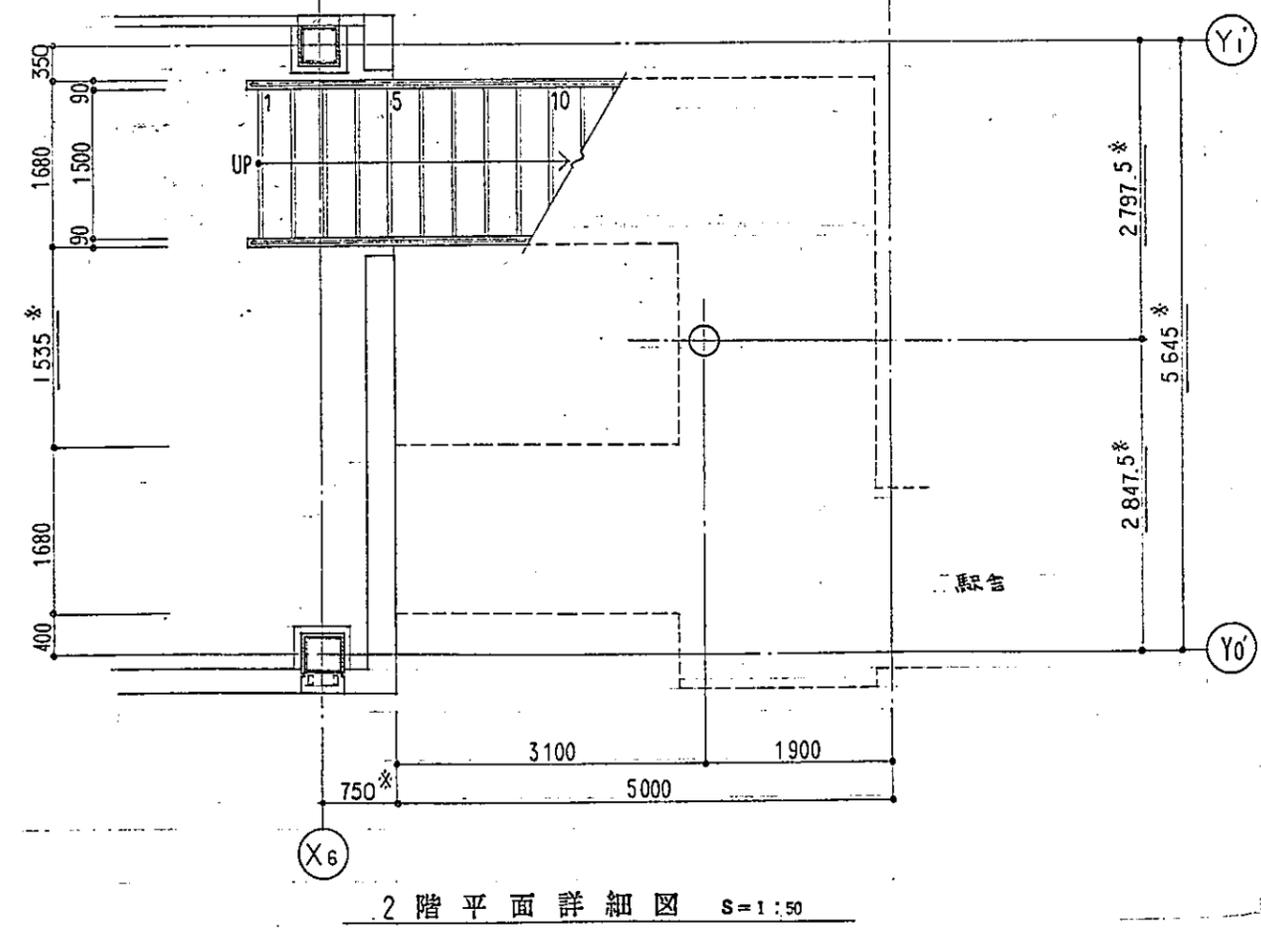
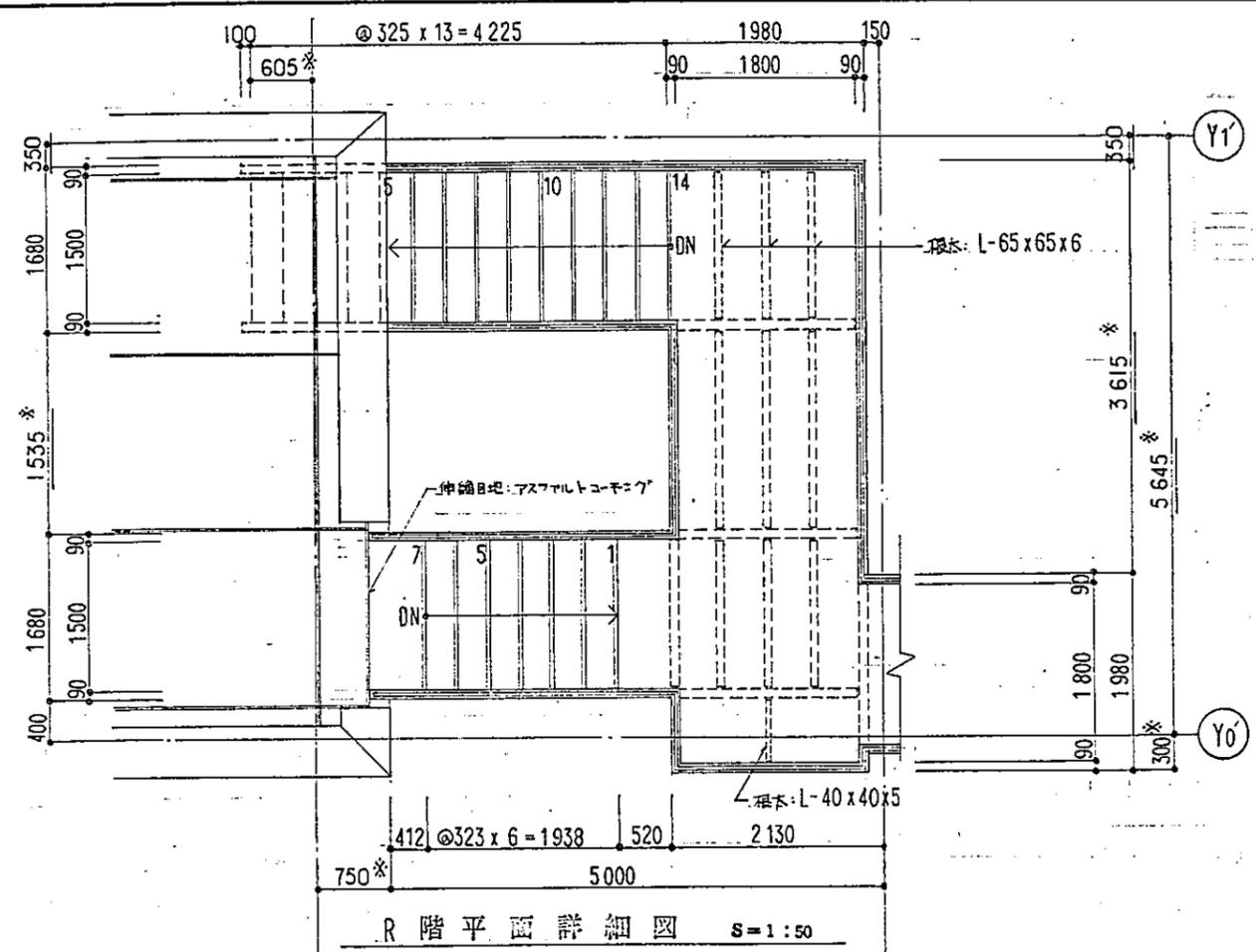
A-A断面詳細図

注) *印寸法が 30mm 以下となる様に造成地盤のレベルを決定するに。



C断面詳細図

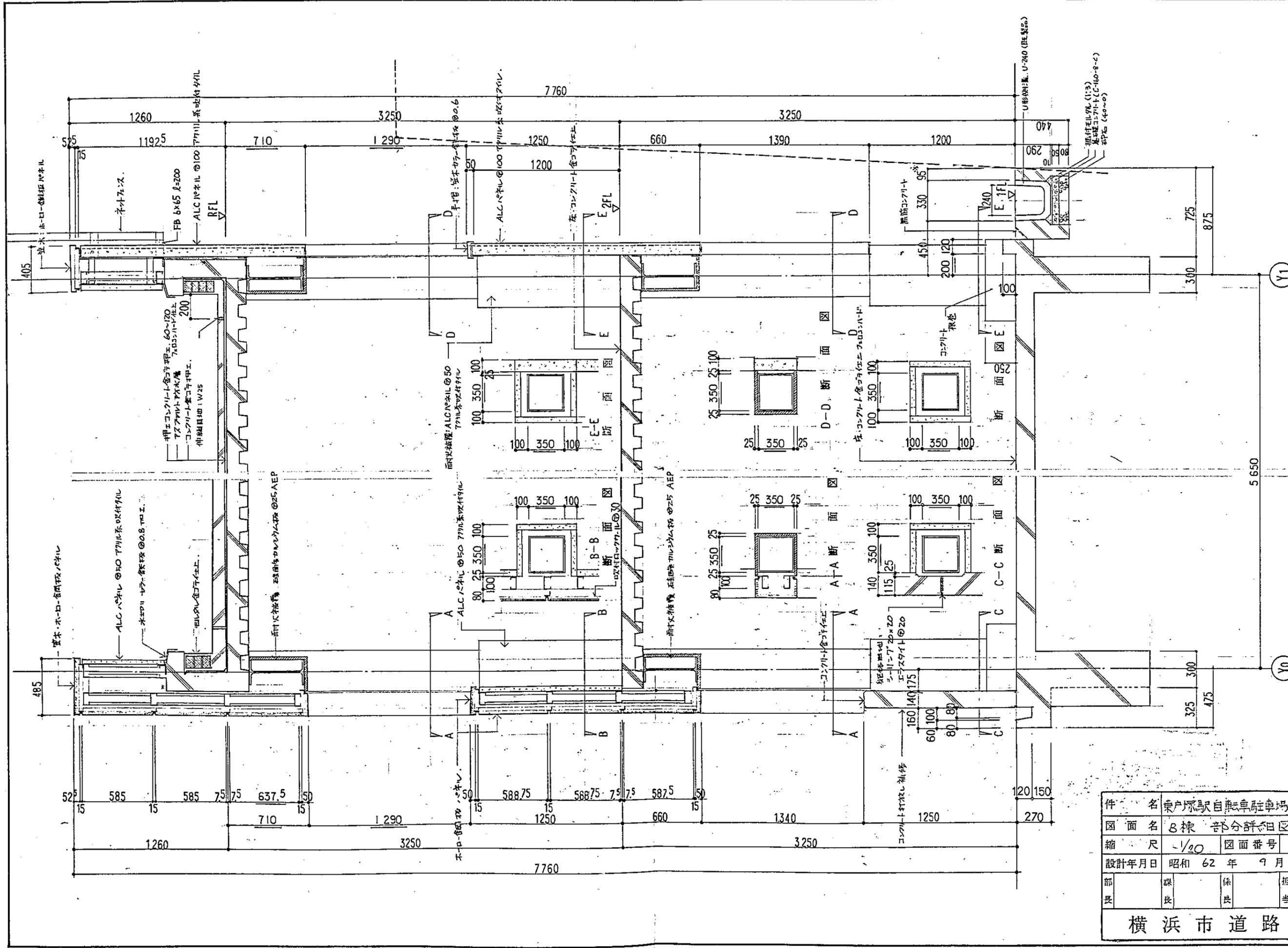
件名	東戸塚駅自転車駐留場設計		
図面名	B棟斜路C詳細図		
縮尺	1/30	図面番号	49-3/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



断面詳細図 S=1:50

注) *印寸法は現場確認の上決定する

件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	B棟 階段詳細図		
縮尺	1/50, 1/10	図面番号	50 /
設計年月日	昭和 62 年 8 月 5 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

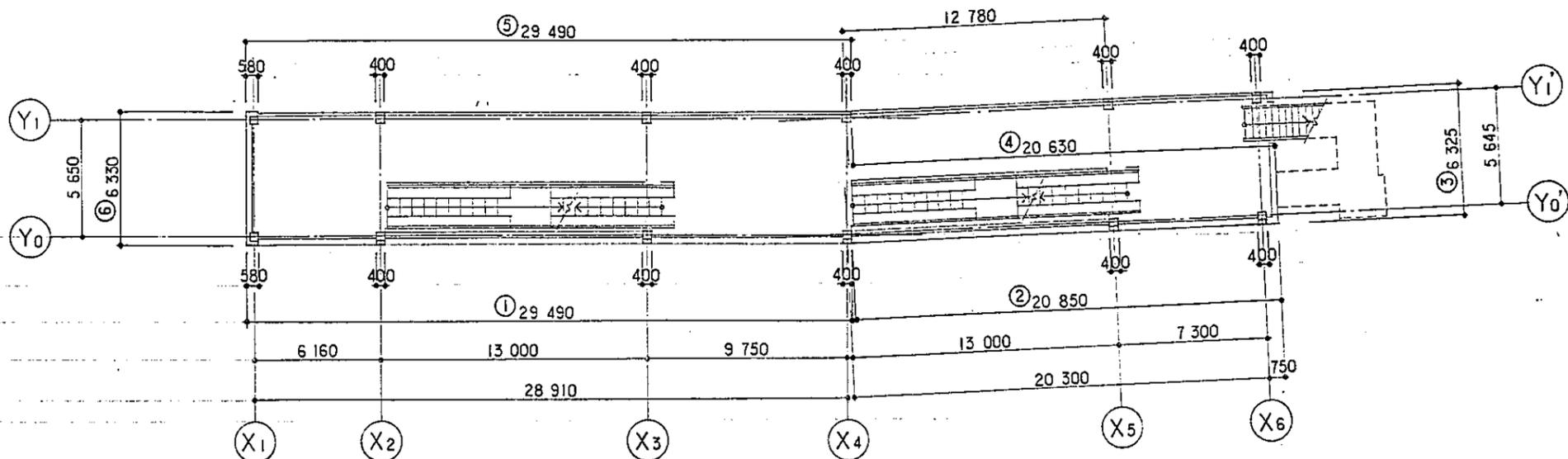


Y1

Y0

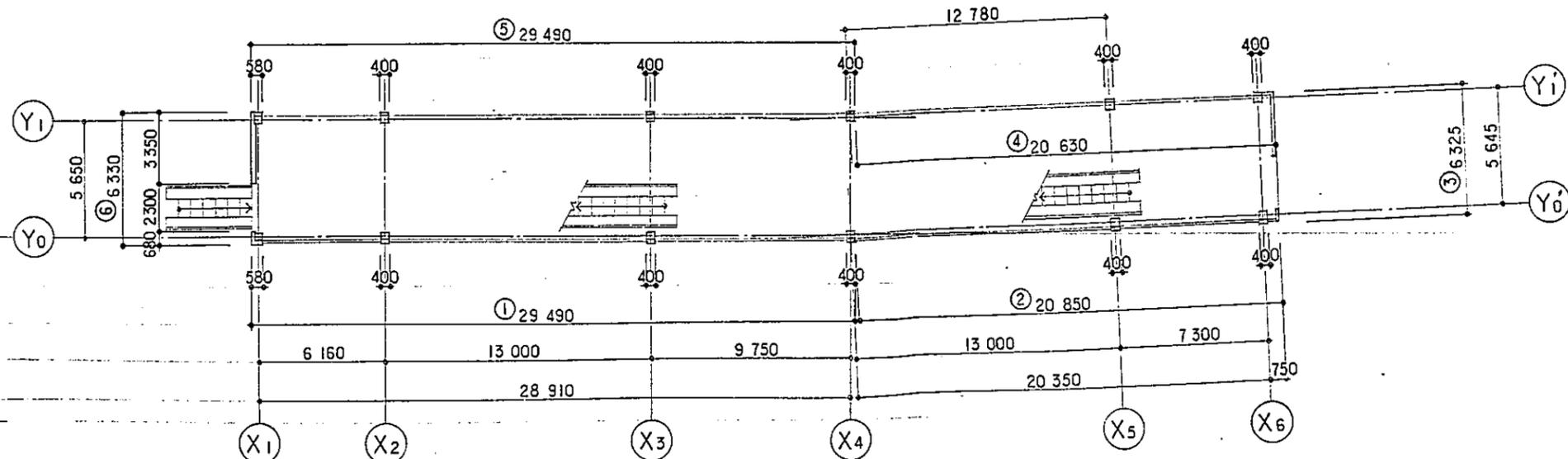
部分詳細図 S=1:20

件名	東戸塚駅自転車駐留場設計		
図面名	B棟 部分詳細図		
縮尺	1/20	図面番号	51/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



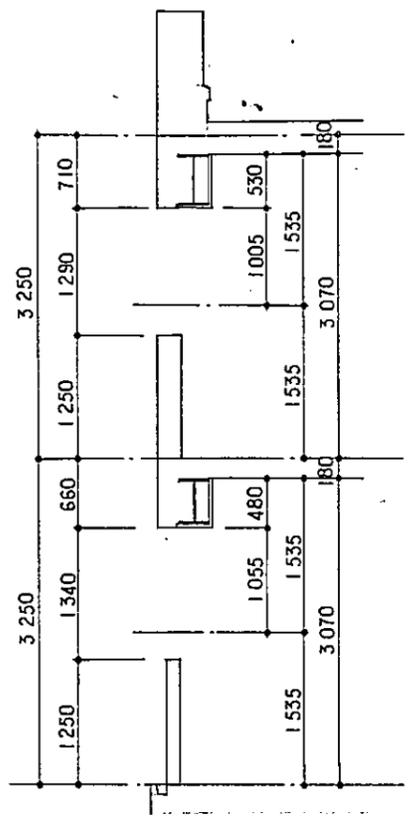
壁長 ①~⑥ 合計 113.115 m
 壁面積 113.115×3.07 (スラブ下端) = 347.26 m²
 必要開口面積 $347.26 \times 1/4 = 86.82$ m²
 有効開口長 $113.115 - (0.58 \times 2 + 0.4 \times 10 + 6.33) = 101.625$ m
 有効開口面積 $101.625 \times 1.055 = 107.19$ m² > 86.82 -----OK

2階平面図 S=1:200



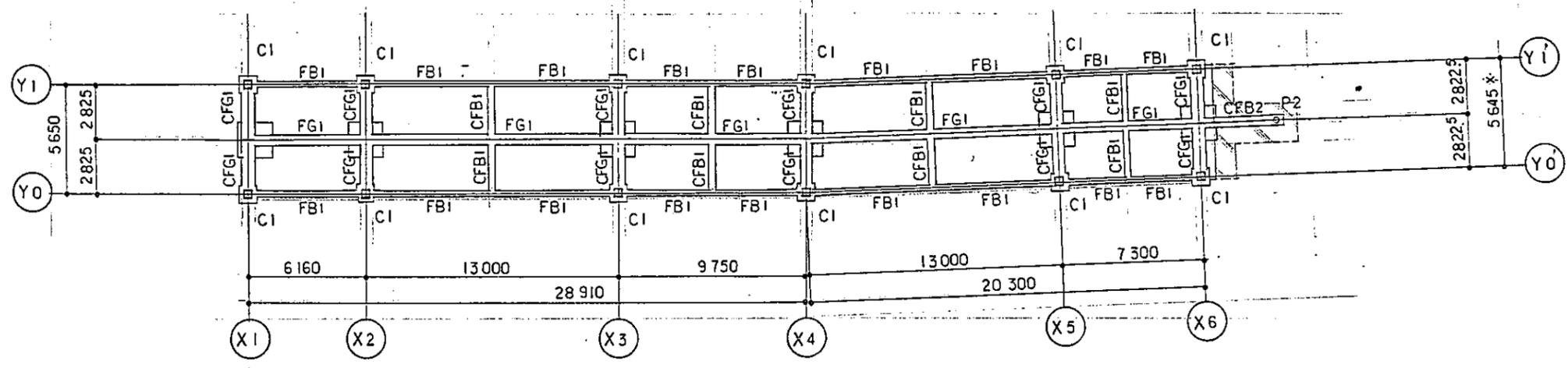
壁長 ①~⑥ 合計 113.115 m
 壁面積 113.115×3.07 (スラブ下端) = 347.26 m²
 必要開口面積 $347.26 \times 1/4 = 86.82$ m²
 有効開口長 $113.115 - (0.58 \times 2 + 0.4 \times 10 + 3.35 + 0.68) = 103.925$ m
 有効開口面積 $103.925 \times 1.055 = 109.64$ m² > 86.82 -----OK

1階平面図 S=1:200



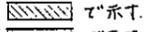
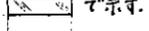
断面図 S=1:50

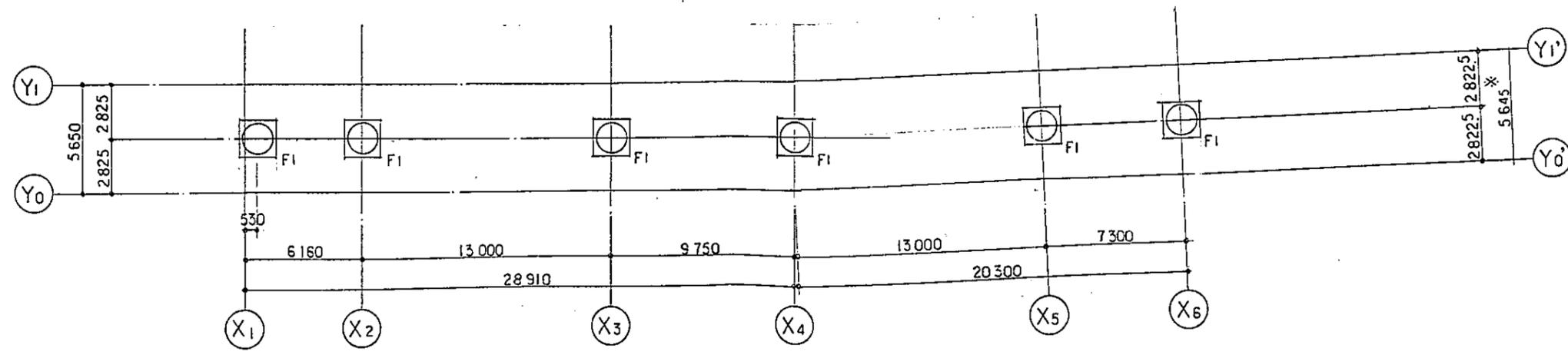
件名	東戸塚駅 自転車駐車場 設計		
図面名	B棟 有効開口面積計算		
縮尺	1/200, 1/50	図面番号	52
設計年月日	昭和 62年 2月 14日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



基礎梁 伏図 S. 1/200

1 スラブ SIA
 2 フォレスト
 3 土間コンクリート

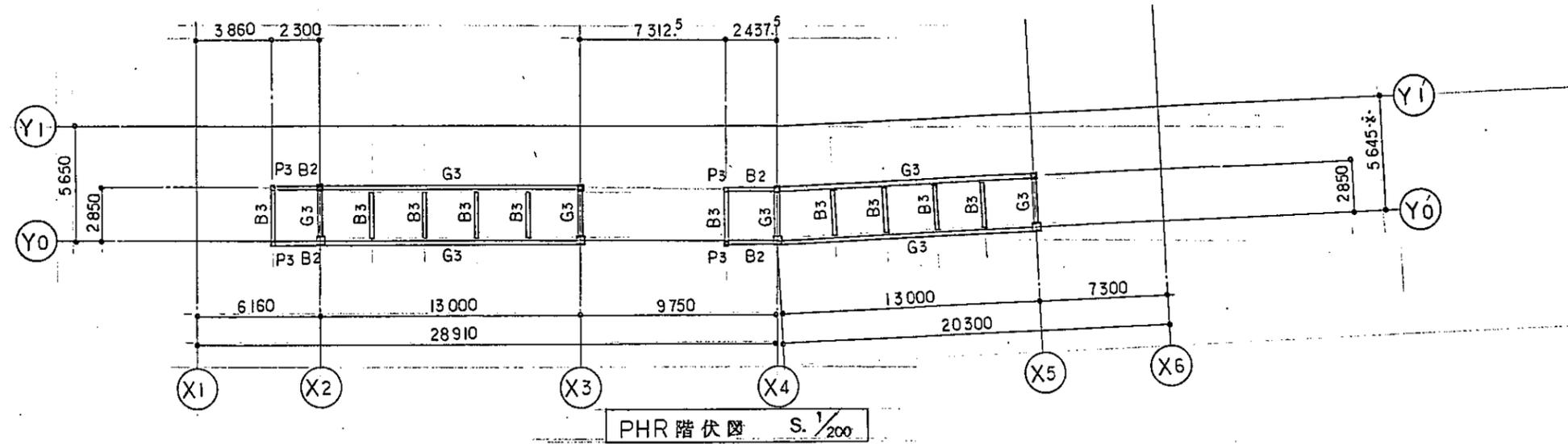
 で示す。
 で示す。



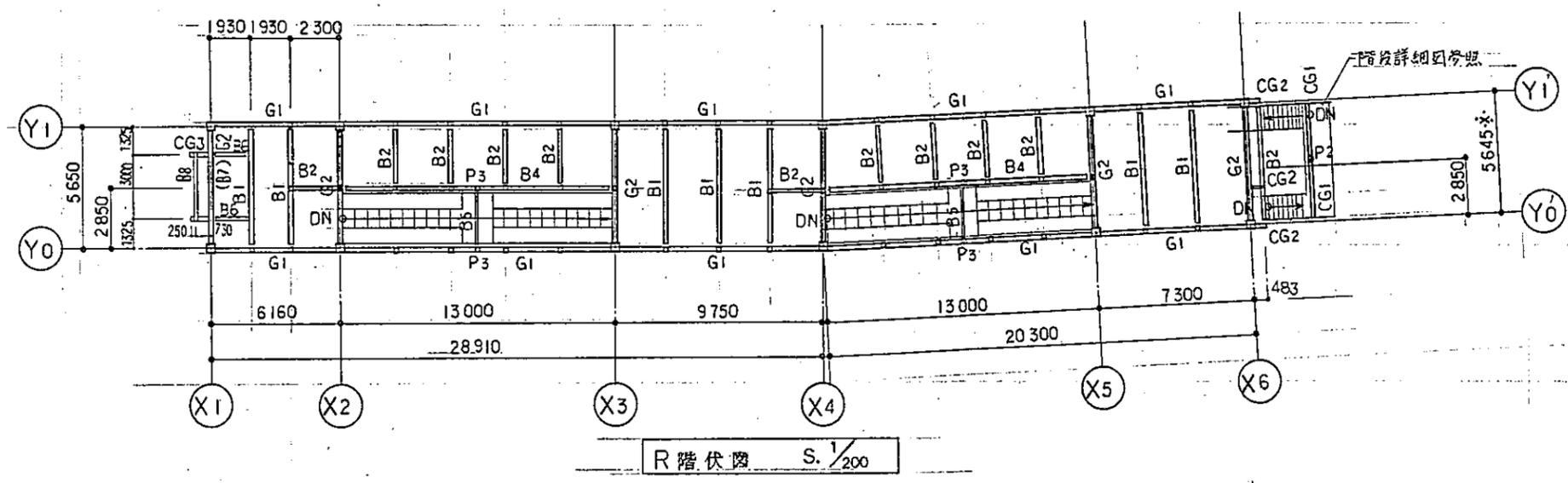
杭 伏図 S. 1/200

杭種 杭径 場所 打込杭 1,500φ
 杭工法 オルケーショナリ工法
 設計杭数及本数 $l=17.5m$ $n=6$ 本

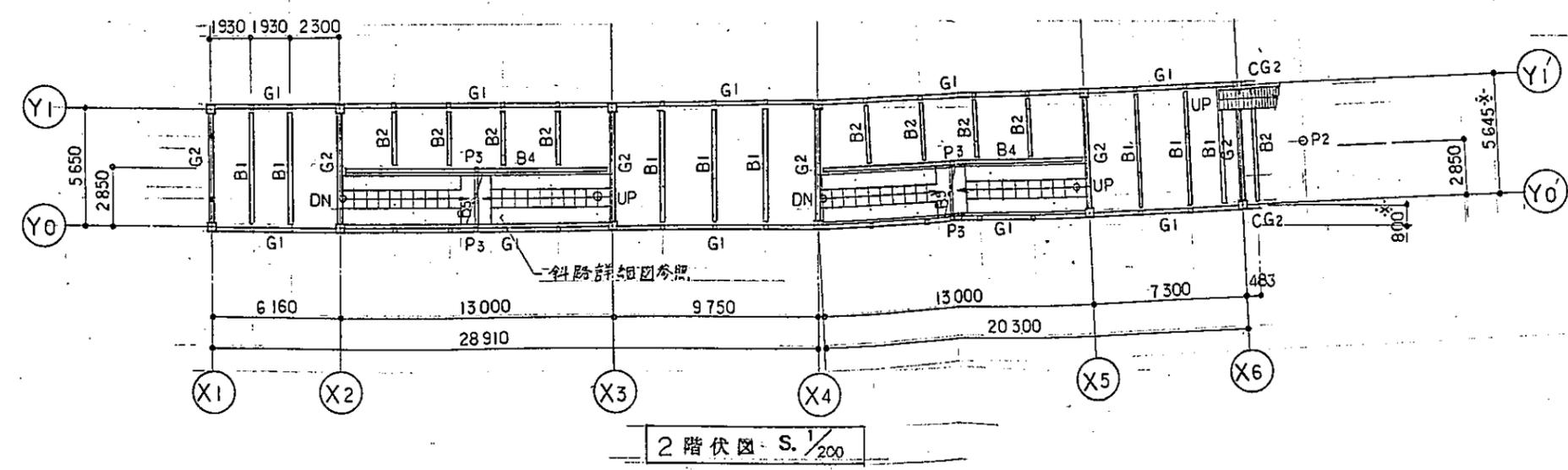
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 伏図(1)		
縮尺	1/200	図面番号	53/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



PHR階伏図 S. 1/200



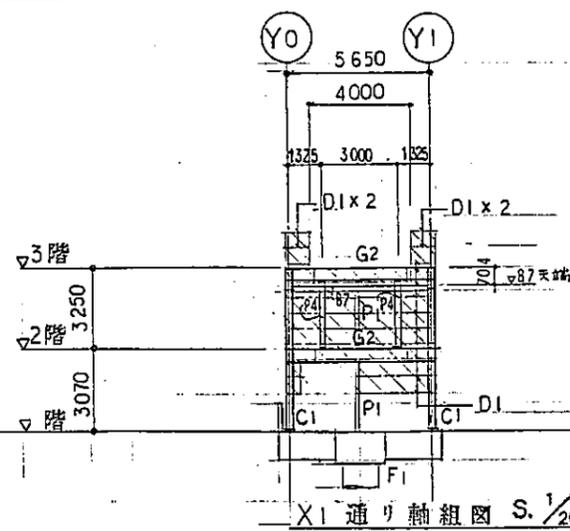
R階伏図 S. 1/200



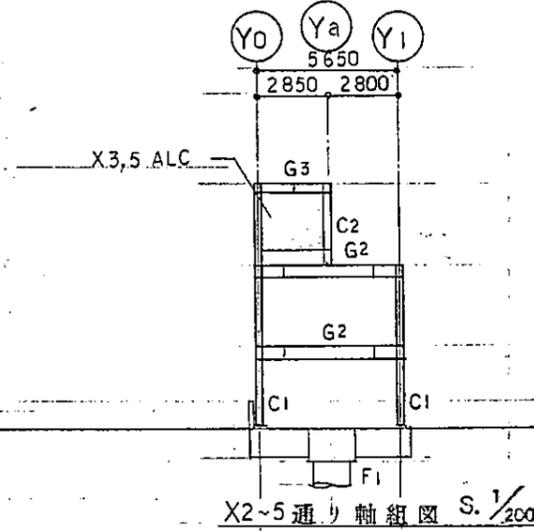
2階伏図 S. 1/200

共通事項
 特記なき限り
 1. スラフ S1
 2. テッキアフレッド方向

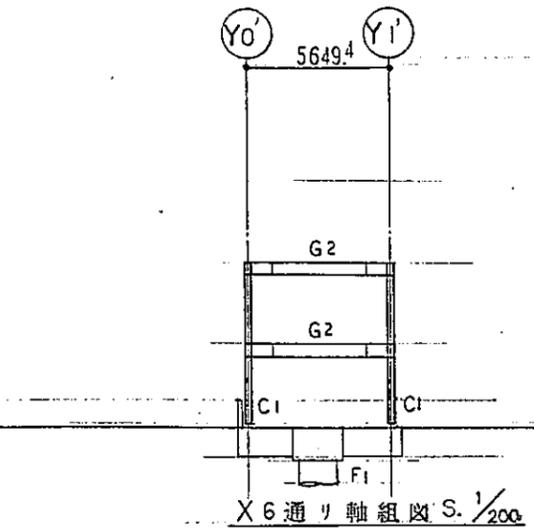
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 階伏図(2)		
縮尺	1/200	図面番号	54/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 8 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



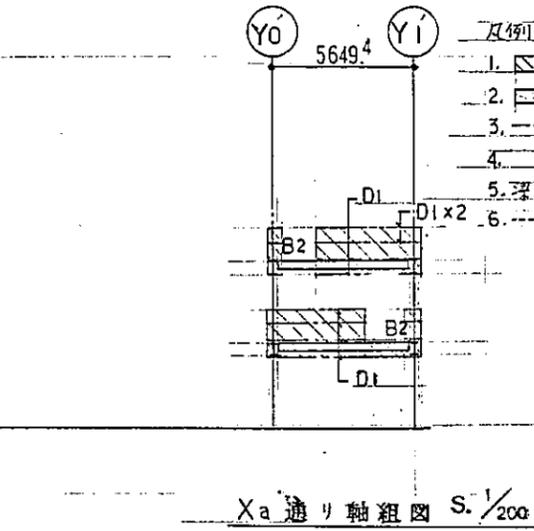
X1 通り軸組図 S. 1/200



X2-5 通り軸組図 S. 1/200

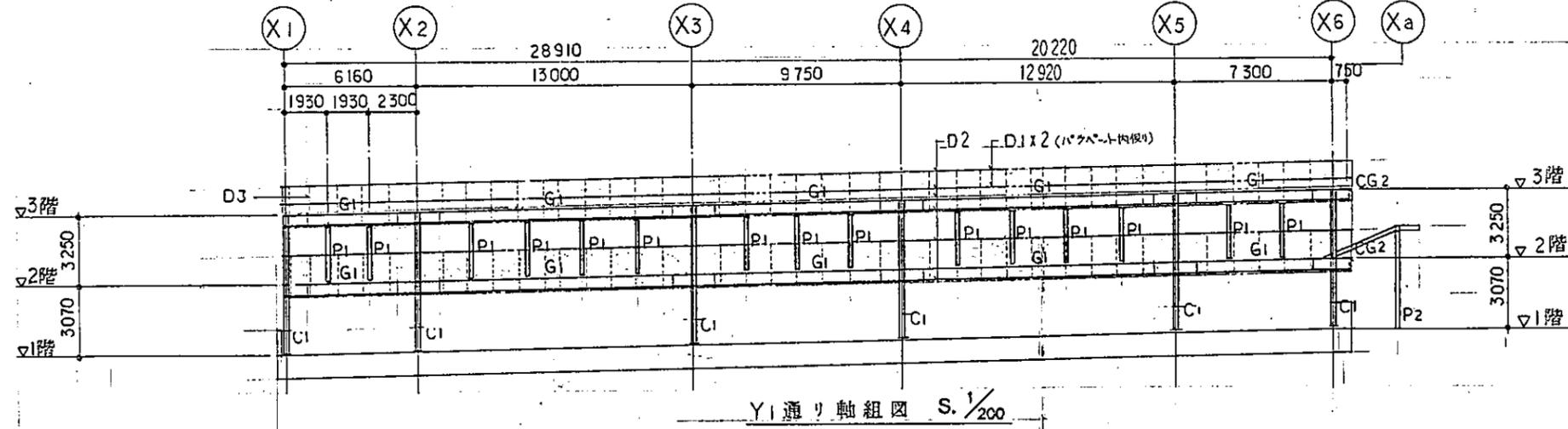


X6 通り軸組図 S. 1/200

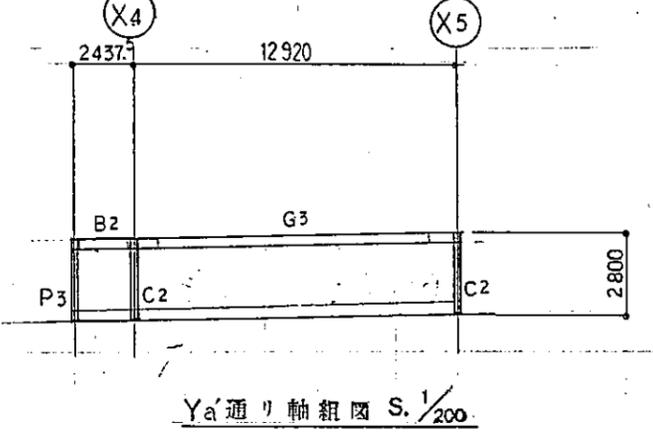


Xa 通り軸組図 S. 1/200

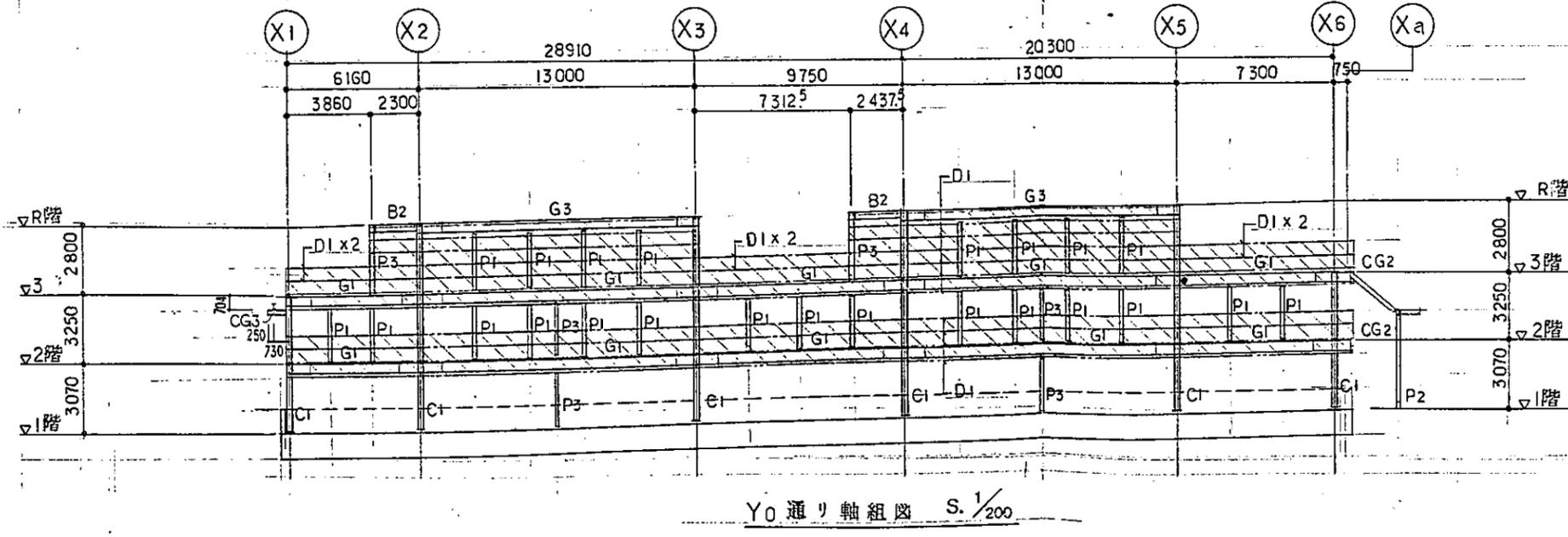
- 凡例
1. 示-0-鋼板の範囲を示す。D1
 2. ALCの範囲を示す。D2
 3. 鋼線を示す。
 4. Lバー表示は梁天端挿入。
 5. 梁と柱の接合部を示す。
 6. 方向を示す。D3



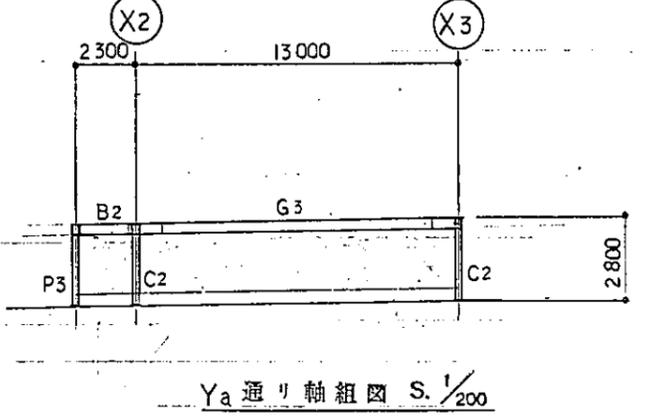
Y1 通り軸組図 S. 1/200



Ya 通り軸組図 S. 1/200



Y0 通り軸組図 S. 1/200

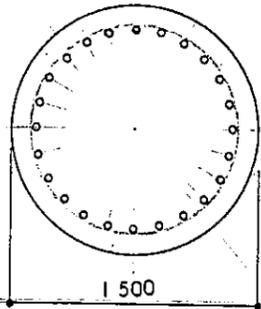


Ya 通り軸組図 S. 1/200

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 軸組図		
縮尺	1/200	図面番号	55/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

杭 リスト S. 1/30

杭 頭 部

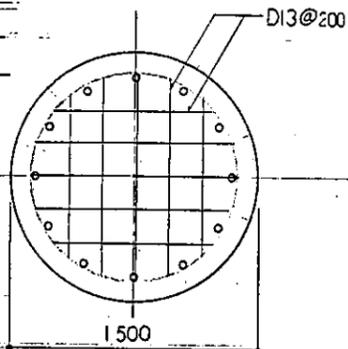


主筋 28-D32
フープ D16@150

▽ I FL

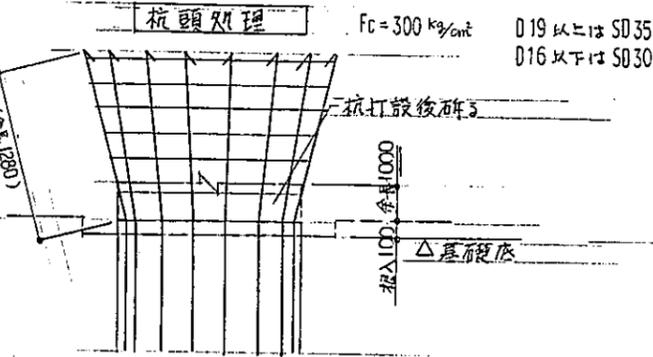
杭 脚 部

A-A 断面

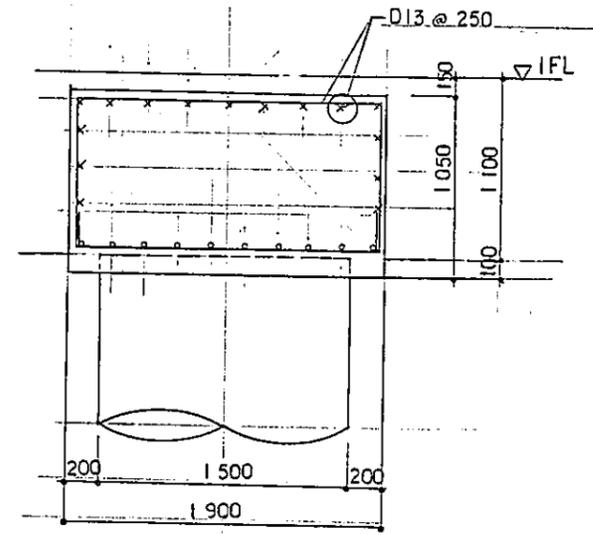
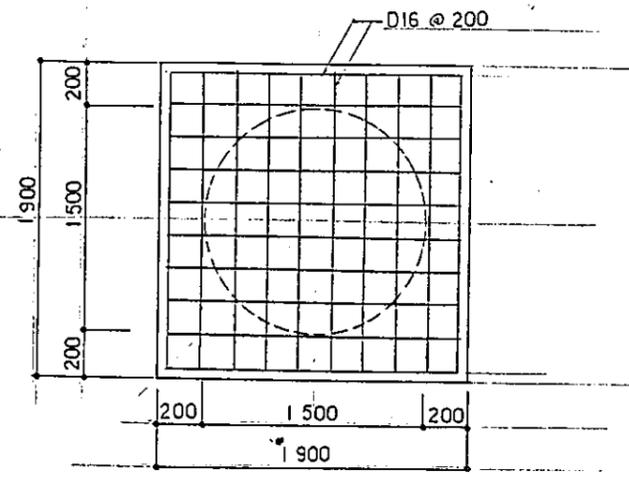


主筋 14-D32
フープ D16@300

▽ 杭先端

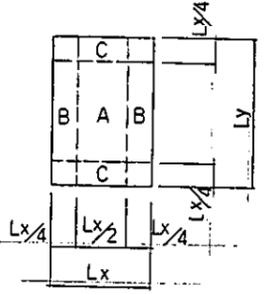


基礎 リスト S. 1/30



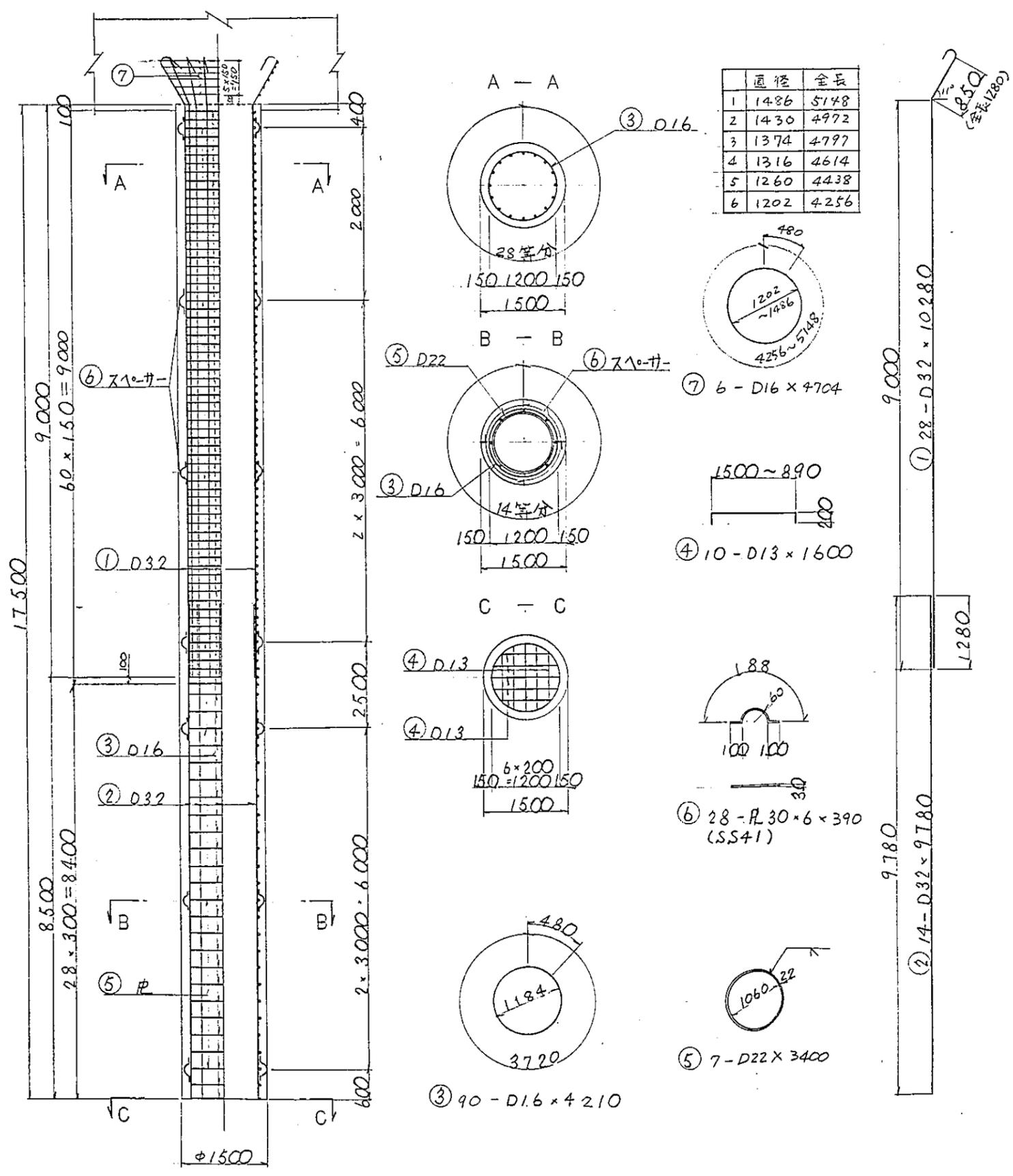
床 版 リスト

符号	厚さ	位置	短辺方向 (Lx)			長辺方向 (Ly)			備考
			中央部		端部	中央部		端部	
			端部 (B)	中央 (A)	全断面	端部 (C)	中央 (A)	全断面	
S.I.A	150	上端筋	D10 D13@200	D10 @ 400	D10 @ 200	D10 @ 250	D10 @ 500	D10 @ 250	
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 250	D10 @ 250	D10 @ 250	



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B種杭基礎スクリスト柱状図		
縮尺	1/30	図面番号	56/
設計年月日	昭和62年9月8日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

B棟場所打ち杭配筋図 S=1/60



材料表

符号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位重量	一本の重量g	重量 (Kg)	摘要
①	D32	10280	28	6.23	64044	1793	↑
②	"	9780	14	"	60929	853	
③	D16	4210	89	1.56	6568	585	○
④	D13	1600	10	0.995	1592	16	┌
⑤	D22	3400	7	3.04	10336	72	○
⑥	平鋼	390	28	1.41	550	15	~
⑦	D16	4704	6	1.56	7338	44	○
						鉄筋	2646Kg
						D16	629
						D13	16
						D22	72
						平鋼	30.6
						合計	3378Kg

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟場所打ち杭配筋図		
縮尺	1/60	図面番号	57/
設計年月日	昭和62年4月4日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

符号 位置	FG1	CFG1		FB1	CFB1		CFB2
	全断面	基礎	先端	全断面	基礎	先端	全断面
断面							
上端筋	11 - D25	9 - D25	6 - D25	3 - D25	6 - D25	4 - D25	11 - D25
下端筋	11 - D25	6 - D25	6 - D25	3 - D25	4 - D25	4 - D25	11 - D25
S.T.	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200		□-D10 @ 200	□-D13 @ 200		□-D13 @ 200
底筋	12 - D16	12 - D16		4 - D10	4 - D10		4 - D10

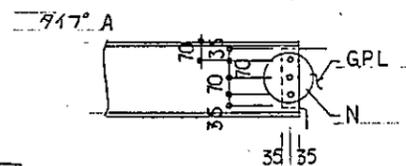
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 地中梁リスト		
縮尺	1/30	図面番号	S8/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

柱リスト

符号	階	主材	柱頭・柱脚・仕口	備考
C1	3	□-350 x 350 x 16	TOP.PL-22 x 400 x 400	12ヶ所 ア-カ-ボルト M42
	2	□-350 x 350 x 22	HIBASE.NO. BOX 350x350-S-19	
	1	□-350 x 350 x 19	D.F.PL-19 x 400 x 400	
C2	PH	□-350 x 350 x 16	D.F.PL-19 x 400 x 400	
P1		□-100 x 100 x 2 ³		
P2		○-318.5 x 6 ⁹		
P3		□-150 x 150 x 6		
P4		H-250 x 250 x 9 x 14	TOP.R-12 FILLER, R-4.5, HTB 4-M20 B.R-12x300x300 HTB 4-M20	

小梁リスト

符号	主材	717°仕口及び継手			備考
		717°	HTB	G.PL	
B1	H-350 x 175 x 7 x 11	A	4-M20	PL-9 x 280	
B2	H-248 x 124 x 5 x 8	A	3-M20	PL-6 x 210	
B3	H-175 x 90 x 5 x 8	A	2-M20	PL-6 x 140	
B4	H-400 x 400 x 13 x 21	A	4-M20	PL-16 x 280	
B5	H-300 x 150 x 6 ⁵ x 9	A	4-M20	PL-9 x 280	
B6	H-248 x 124 x 5 x 8	A	3-M20	PL-6 x 210	
B7	H-250 x 250 x 9 x 14	A	3-M20	PL-9x400x445	
B8	H-340 x 250 x 9 x 14		4-M20		

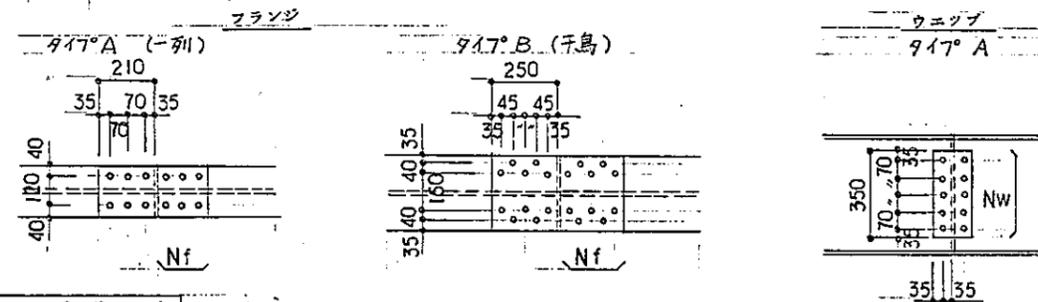


鋼鉄リスト

符号	主材	仕口及び継手		備考
D1	C-100 x 50 x 20 x 2 ³	ボルト 2-M16	L-125 x 75 x 7	
D2	L-65 x 65 x 6			
D3	L-65 x 65 x 6			

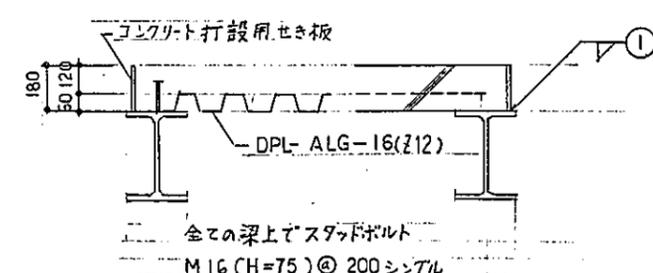
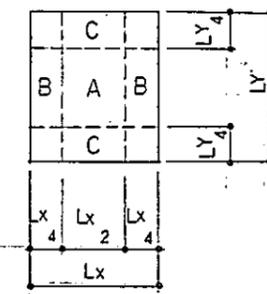
大梁リスト

符号	階	主材	フランジ				ウェーブ			備考
			717°	HT.B	SRL(外側)	SRL(内側)	717°	HT.B	S.R.L	
G1	3	H-488 x 300 x 11 x 18	B	12-M20	PL-12 x 300	PL-12 x 115	A	5-M20	PL-9 x 350	
	2	H-440 x 300 x 11 x 18	B	10-M20	PL-12 x 300	PL-12 x 115	A	5-M20	PL-9 x 350	
G2	3,2	H-440 x 300 x 11 x 18	B	"	"	"	A	"	"	
G3	PHR	H-390 x 300 x 10 x 16	B	"	"	"	A	4 M20	9 x 280	
CG1		H-400 x 200 x 8 x 13	-	-	-	-	-	-	-	
CG2		H-300 x 150 x 6 ⁵ x 9	-	-	-	-	-	-	-	
CG3		H-250 x 250 x 9 x 14	-	-	-	-	-	-	-	

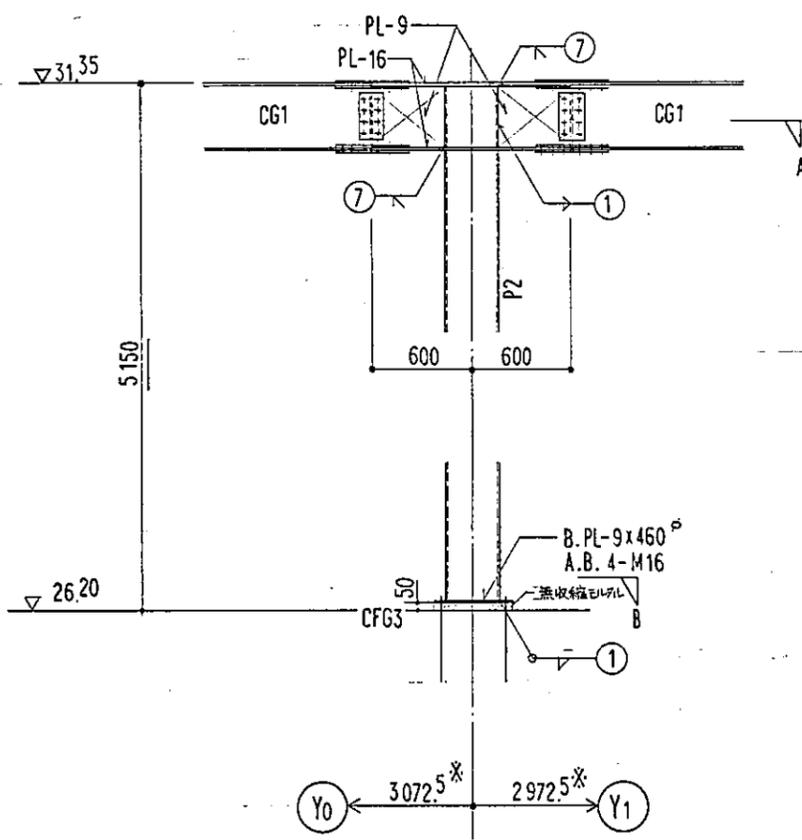


スラブリスト

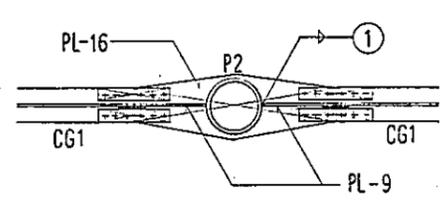
符号	厚さ	位置	短辺方向 (Lx)			長辺方向 (Ly)			備考
			中央部		隅部	中央部		隅部	
			端部(B)	中央(A)	全断面	端部(C)	中央(A)	全断面	
S1	120	上端筋	D10 @ 13 @ 200	D10 @ 400	D10 @ 200	D10 @ 250	D10 @ 500	D10 @ 250	
		下端筋	D10 @ 400	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 250	D10 @ 250	D10 @ 250	



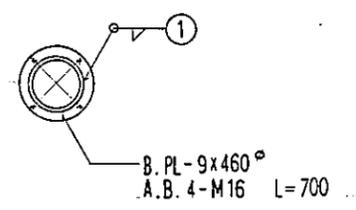
件名	東戸塚駅 自転車駐輪場 設計		
図面名	二B棟 梁スラブリスト		
縮尺	図面番号	59	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



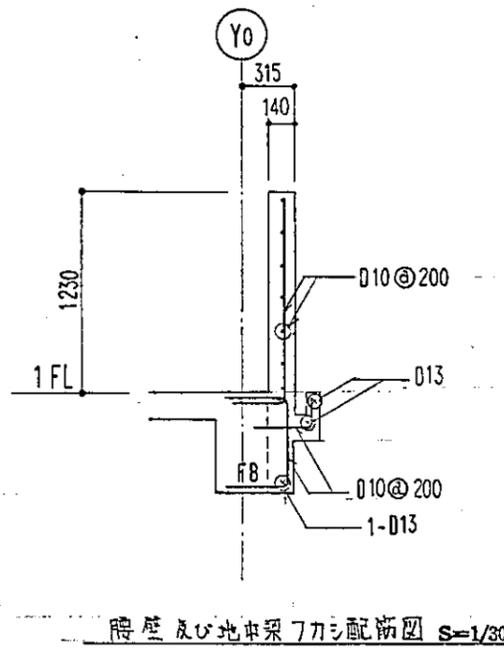
階段支柱詳細図 S=1/30



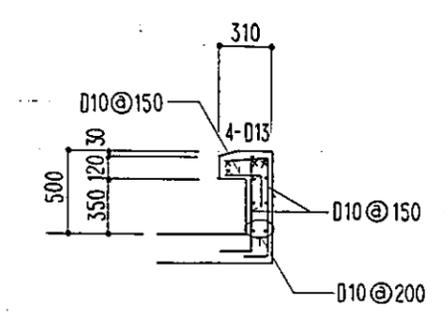
断面A S=1/30



断面B S=1/30



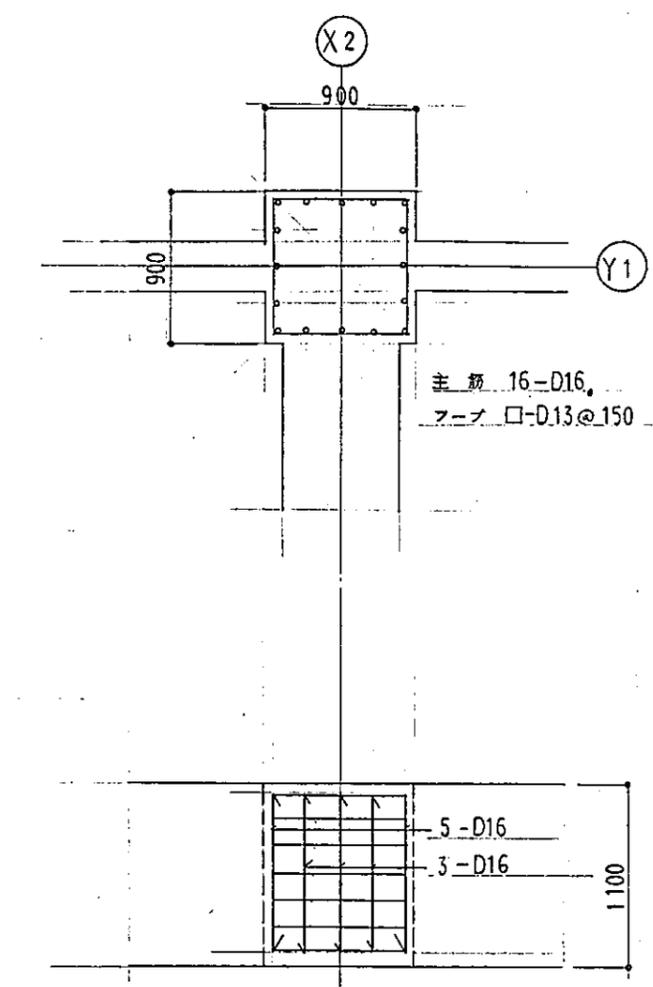
壁及び地中梁7カシ配筋図 S=1/30



パラペット配筋図 S=1/30

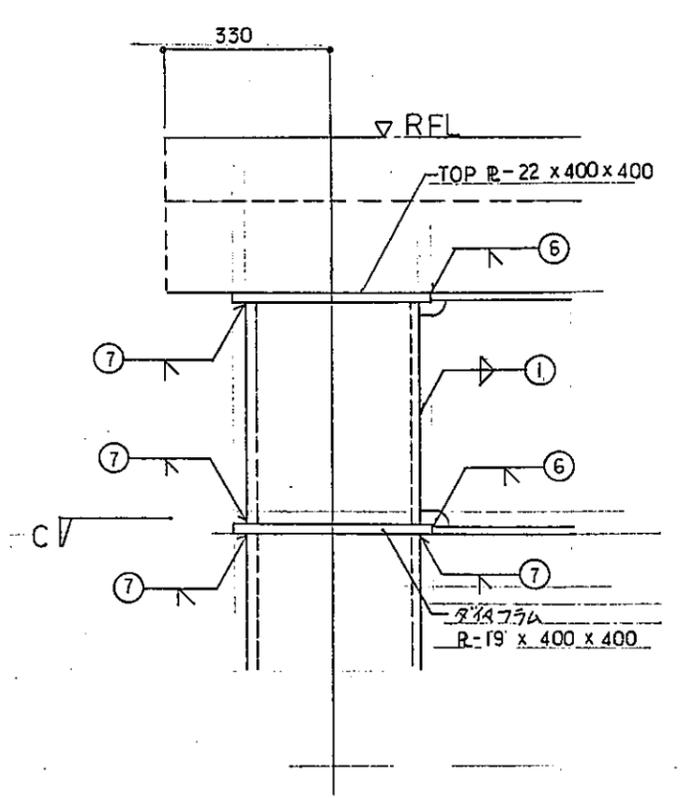
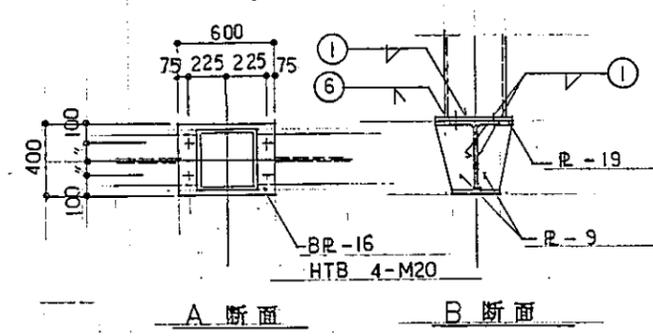
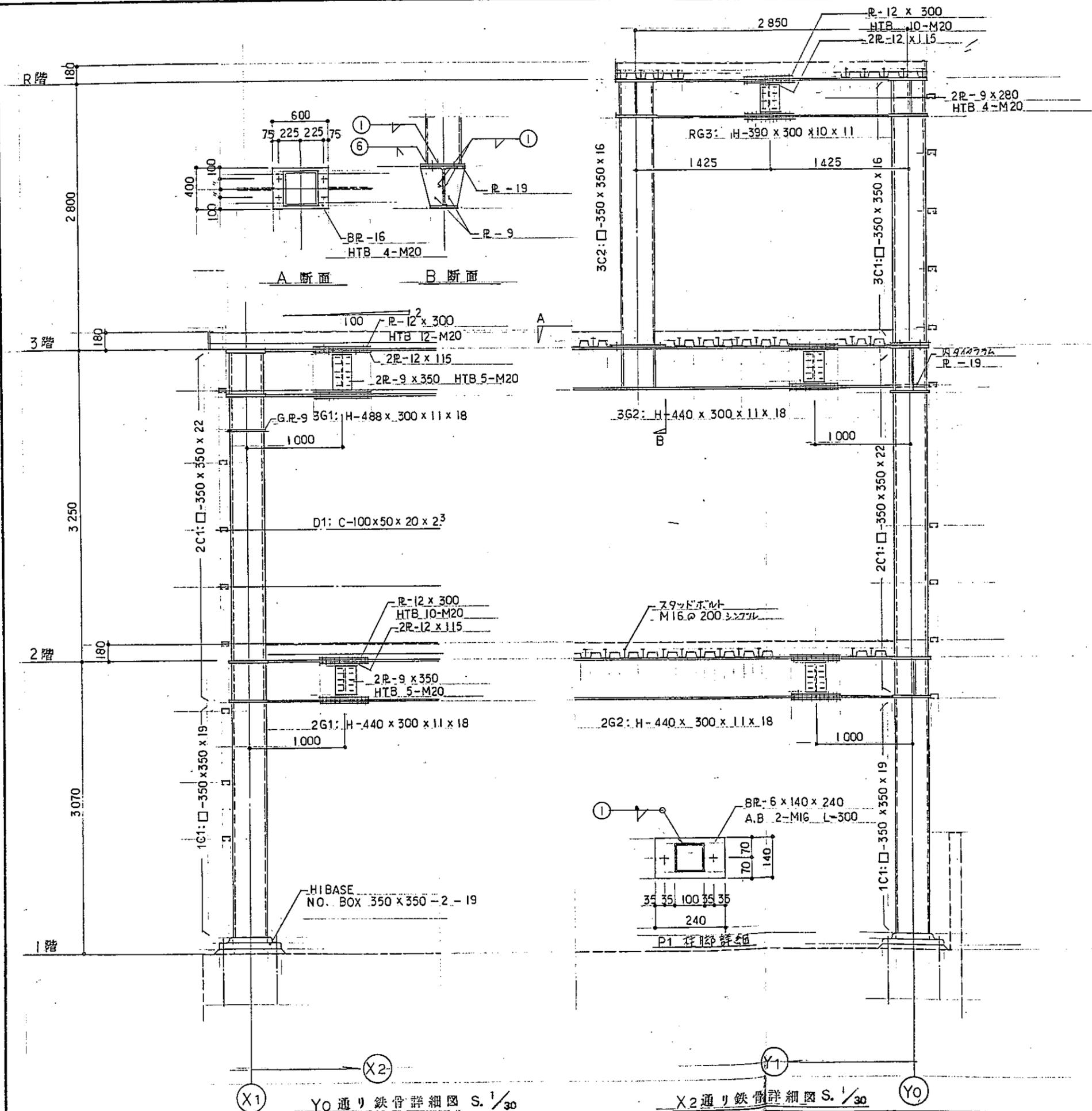


土間コンクリート配筋図 S=1/30

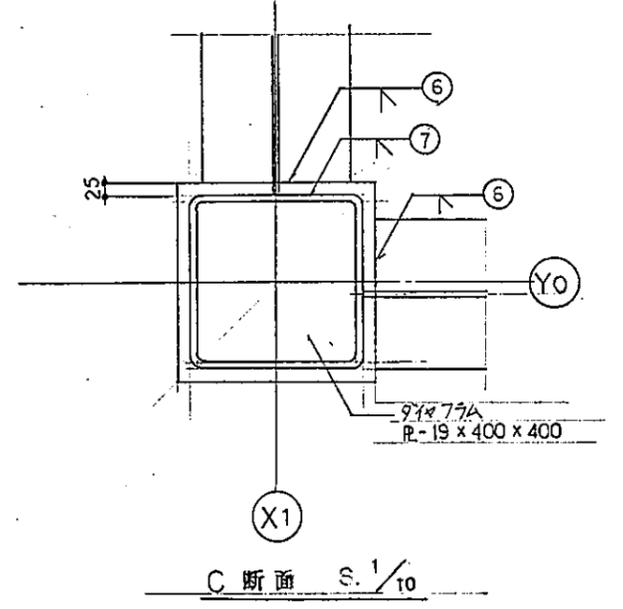


ポストタル配筋図 S=1/30

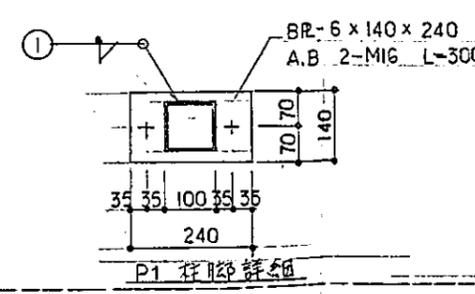
件名	泉戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 部分詳細図		
縮尺	1/30	図面番号	60/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



2C1 柱頭詳細図 S. 1/10



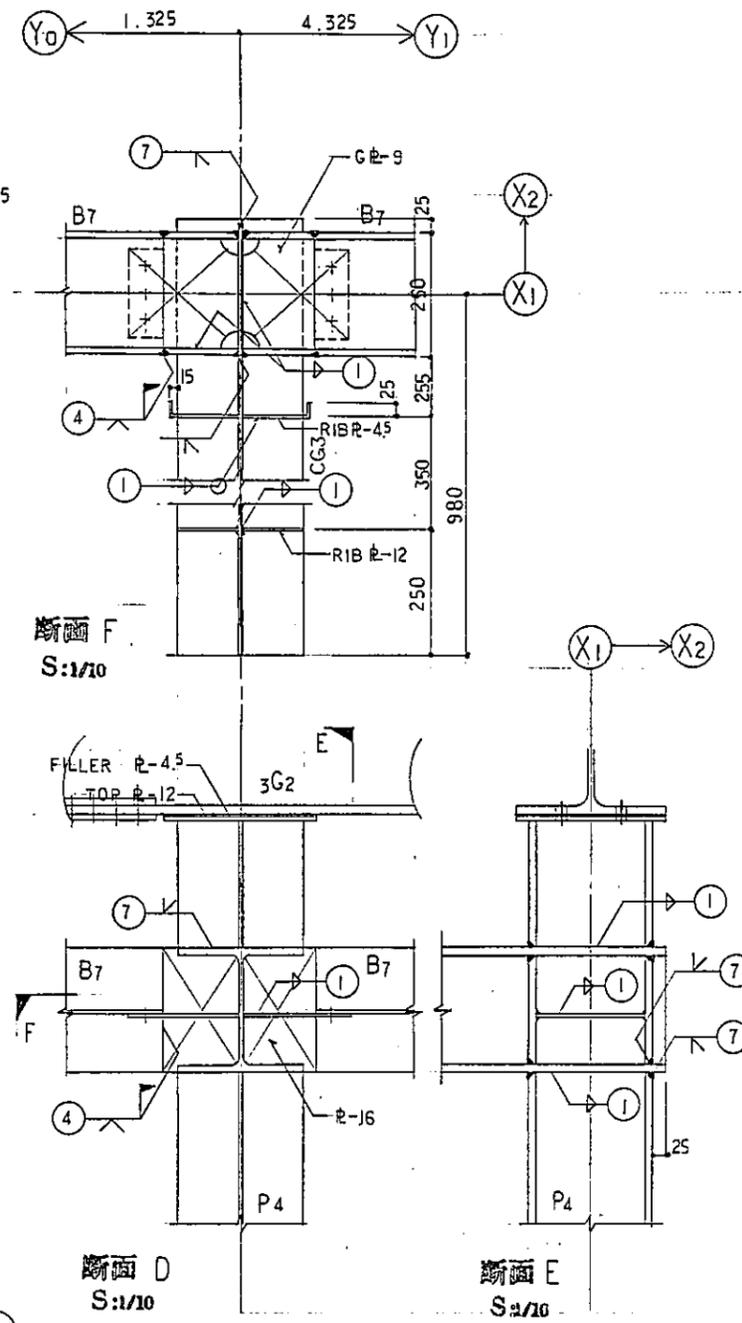
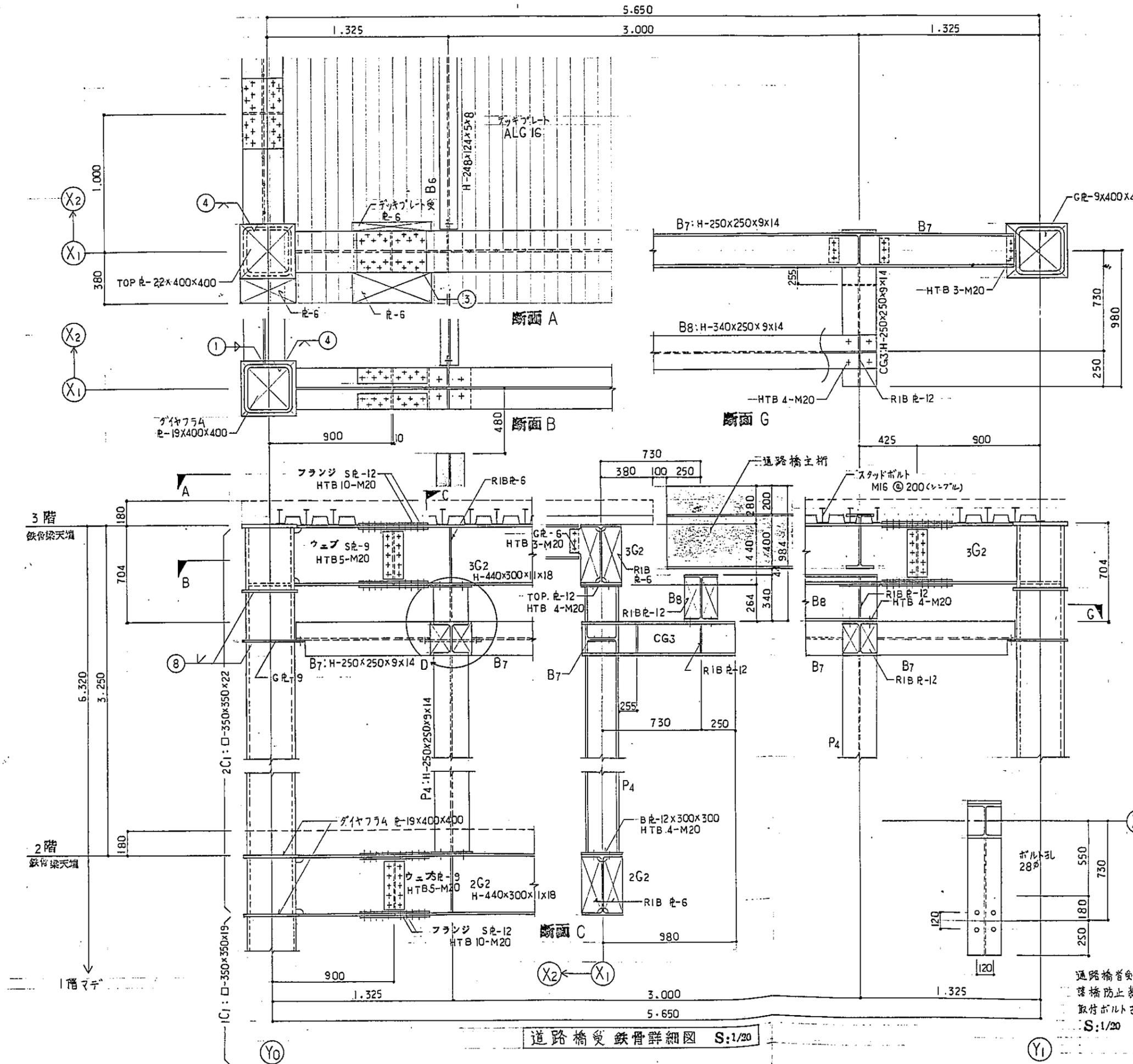
C断面 S. 1/10



X2 通り鉄骨詳細図 S. 1/30

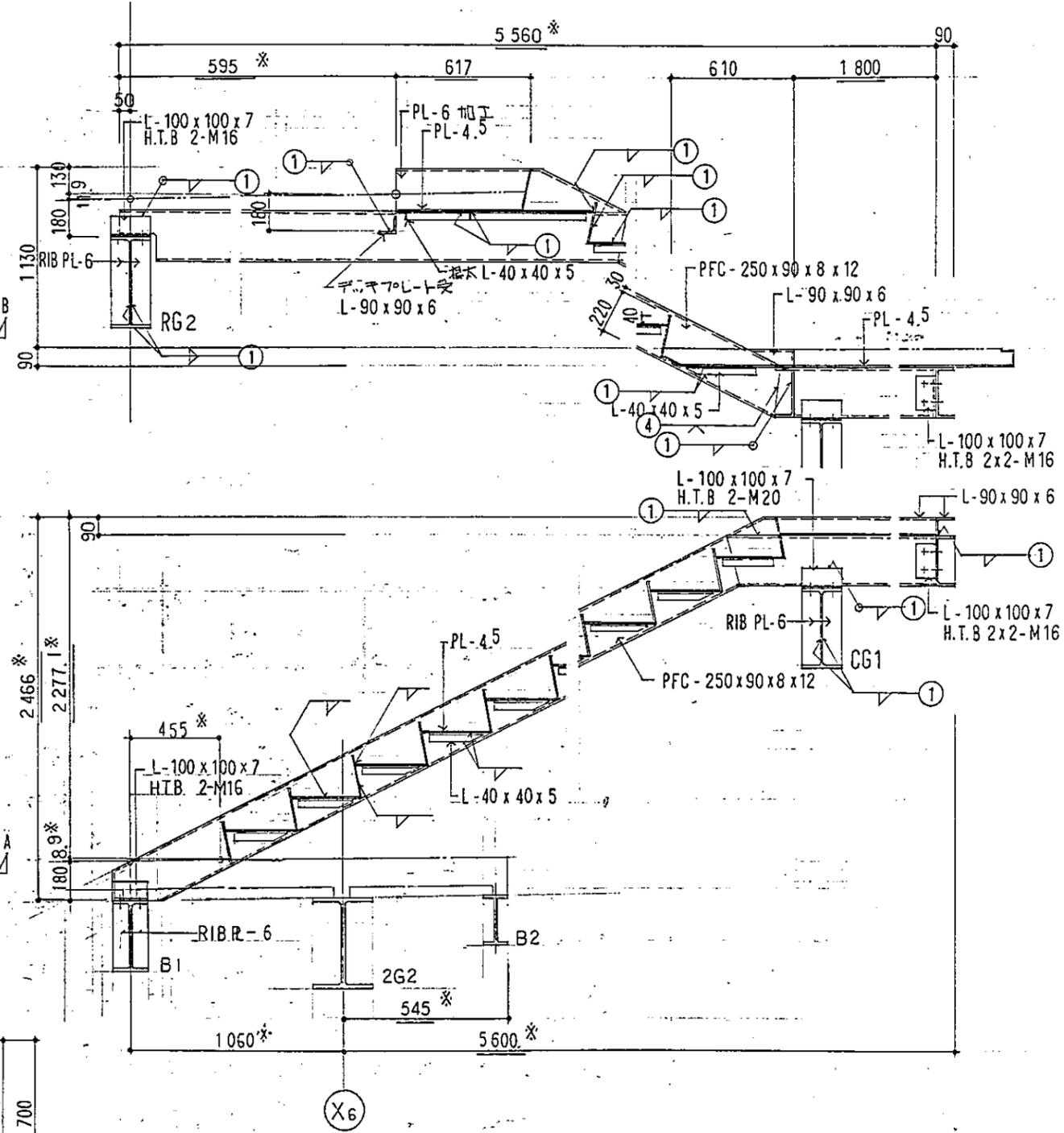
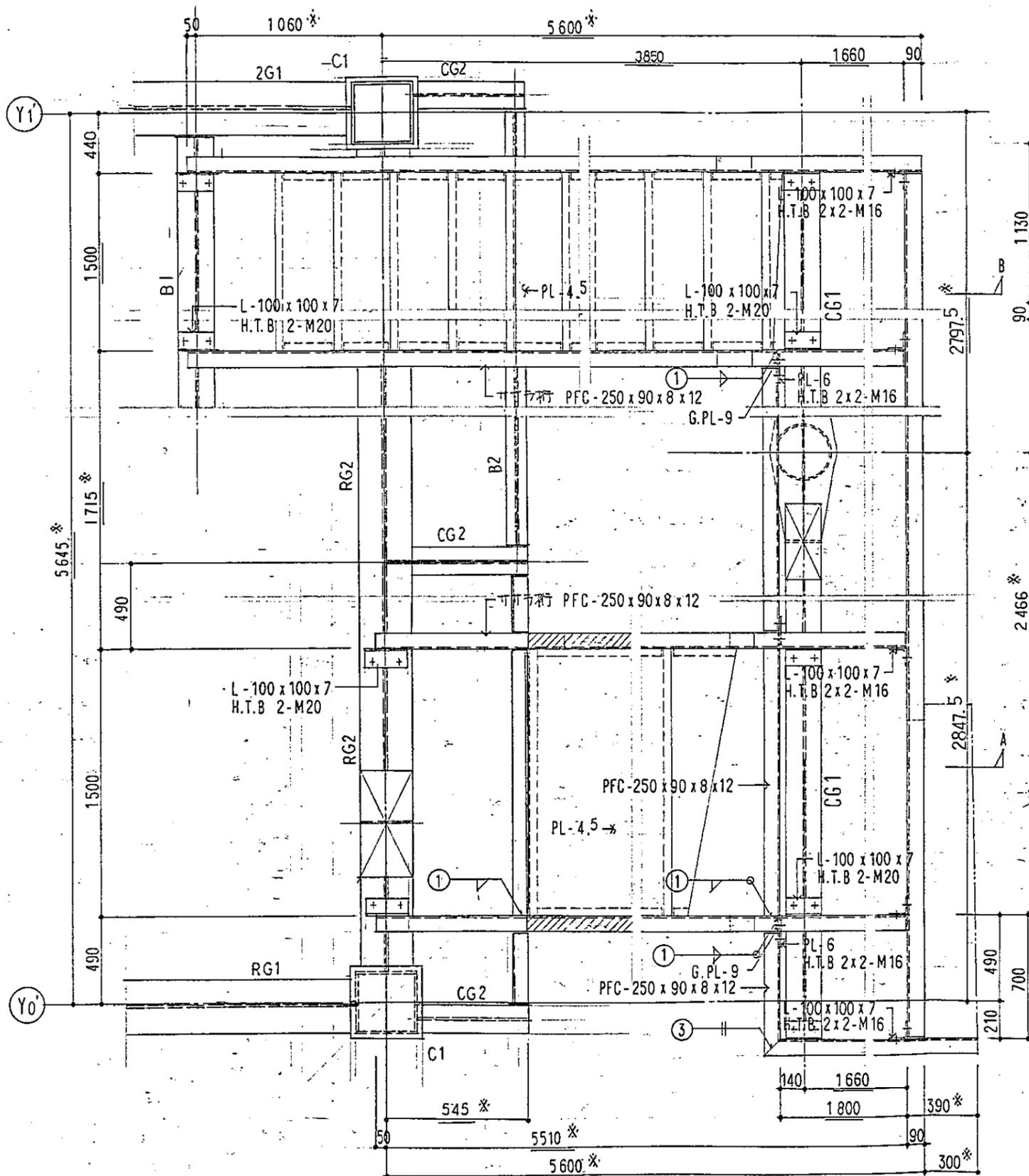
X1 Yo 通り鉄骨詳細図 S. 1/30

許 名	東戸塚駅自転車駐車場 設計		
図 面 名	B棟 部分詳細図		
縮 尺	1/30, 1/10	図面番号	61-1
設計年月日	昭和 62 年 9 月 8 日		
部 長	課 長	係 長	担 当
横浜市道路局			



道路橋受鉄骨
 梁橋防止装置
 取付ボルト孔(2ヶ所)
 S:1/20

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B橋通路橋受鉄骨詳細図		
縮尺	1/10, 20	図面番号	61-2
設計年月日	昭和 62 年 9 月 8 日		
設計	長	長	長
監査	長	長	長
横浜市道路局			



凡例
 PFCの天端へL-90x90 溶接範囲を示す。
 PL-6加工 溶接範囲を示す。
 注) ※印可法は現場確認の上、決定すること。

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 部分詳細図		
縮尺	1/20	図面番号	63/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 11 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

鉄骨構造標準図 (1)

1. 一般事項

(1) 材料及び検査

- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査の検査成績書には、社内検査記録簿試験その後の結果を添付する

(2) 工作一般

- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る
- (b) 鋼骨鋼材の分岐部手前の材質切断は、鋼骨自動切断機による
- (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする

(3) 高力ボルト接合

- (a) 本編のに使用するボルトと、仮設のボルトの使用はしてはならない

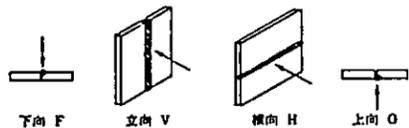
(4) 溶接接合

- (a) 溶接工
溶接工は施工する際に適するJIS Z3801(半溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接機所決定試験に合格し引継ぎ、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機種
(イ) 交流アーク溶接機 300A~500A
(ロ) アークエアーガウリング機(既製) 600A
(ハ) 溶接機乾燥器
(ニ) 炭素ガスアーク半自動溶接機
(ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ヘ) サブマージドアーク溶接機1式

(c) 溶接方法

- アーク手溶接 (MC)
- ノンガスシールドアーク溶接 (NGC)
- ガスシールドアーク溶接 (GC)
- アークエアーガウリング (AAG)

(d) 溶接姿勢



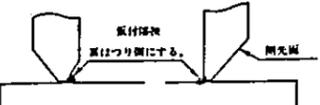
(e) 仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う

(イ) 仮付位置

仮付溶接は溶接の始、終、隅部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



(ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(1) 溶接施工

(イ) エンドタブ

- I) 突合せ溶接、部分溶け込み溶接の両端部に母材と同厚で同鋼材形状のエンドタブを取り付ける
- II) エンドタブの材質は、母材と同質とする
- III) エンドタブの長さ、MC: 35mm以上、NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、エンドタブ母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする

(ロ) 裏はつり

- 材質はSS41規格品とする
- (ハ) スカーラップ 半長は30~35mmとする
- (ニ) 裏はつり
現場溶接の場合においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監督者の確認を助行し、鋼材に埋めマークをつける
- (ホ) 現場溶接の隅先面には、溶接に支障のない防錆材を散布する。又、隅先面をいたない様に、養生を行なう

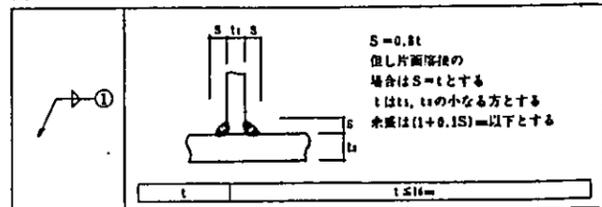
(5) 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

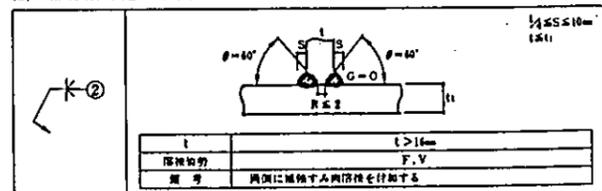
2. 溶接標準図

(注) t: 板厚 G: ルート間隔 R: フェース S: 鋼厚 (単位:mm)

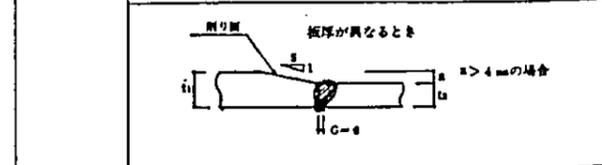
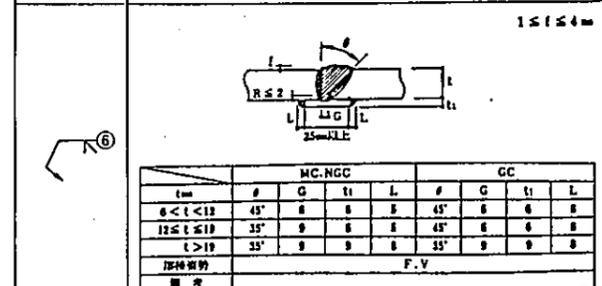
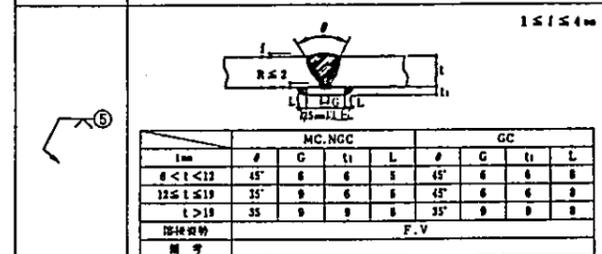
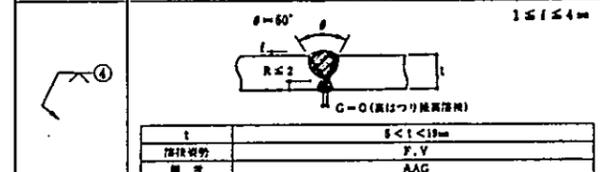
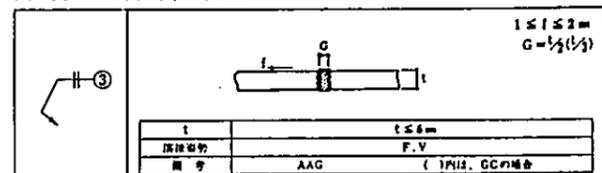
(1) スミ肉溶接



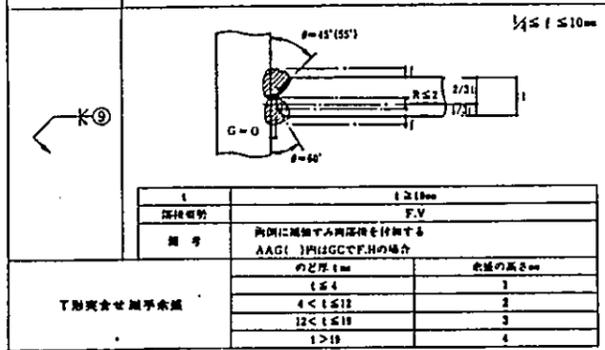
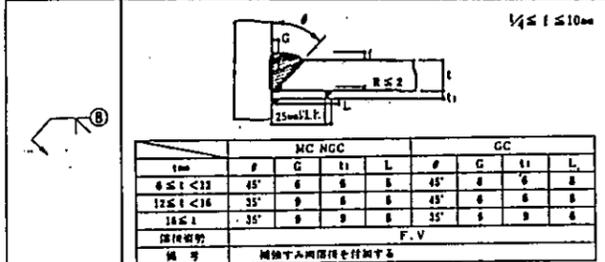
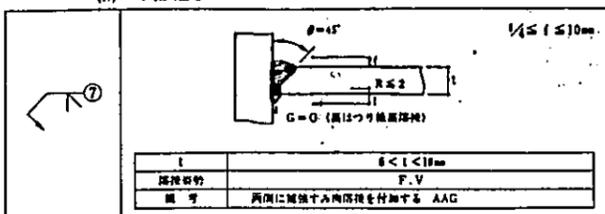
(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所は注意)



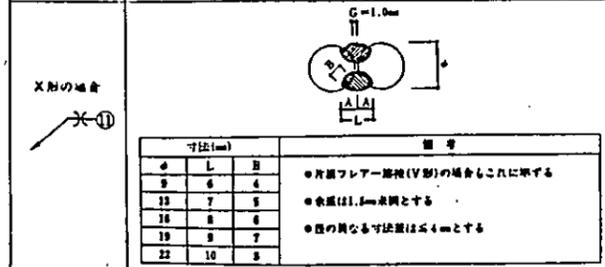
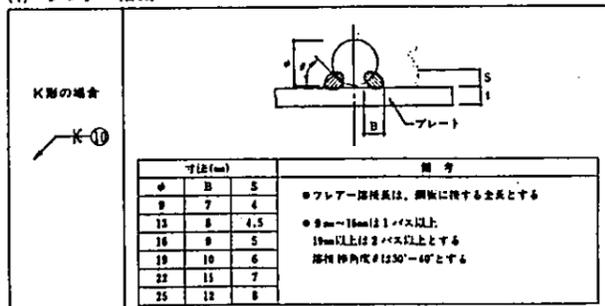
(3) 突合せ溶接 (I) 平継手



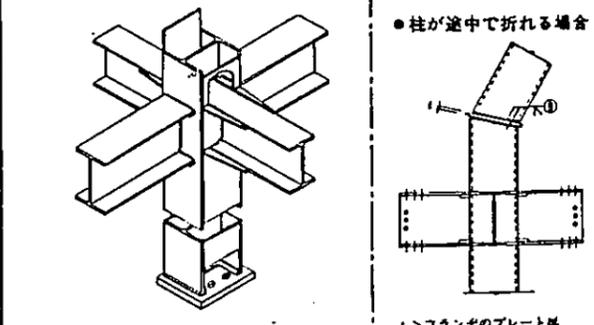
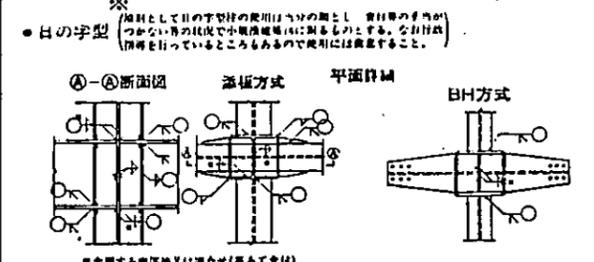
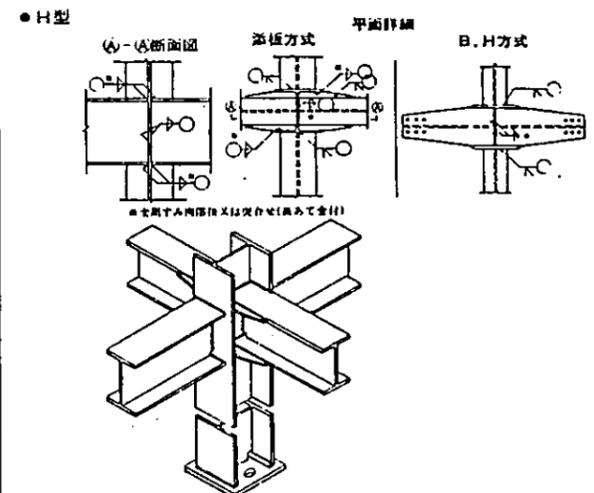
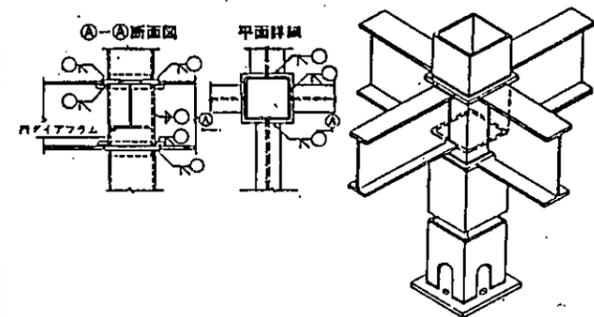
(II) T形継手



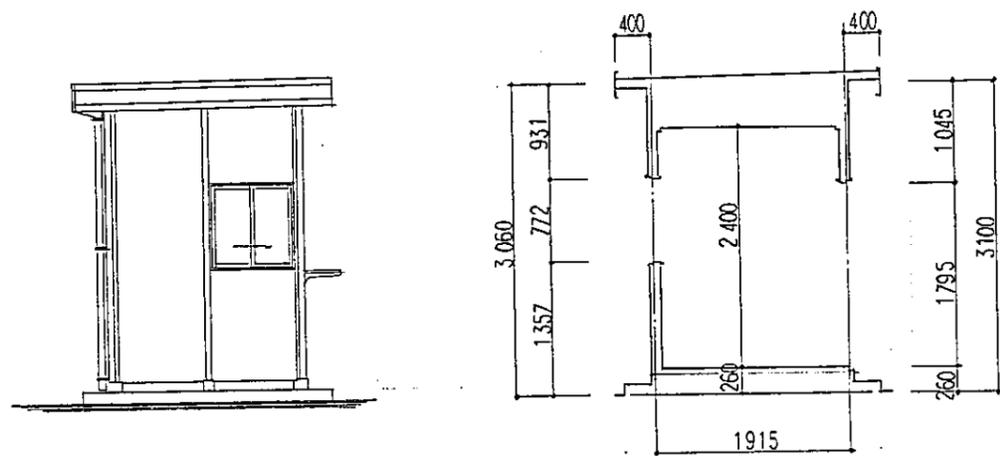
(4) フレアー溶接



- ◎ 溶接記号等を○中に記入のこと
- BOX型 (通しダイヤフラムの場合)

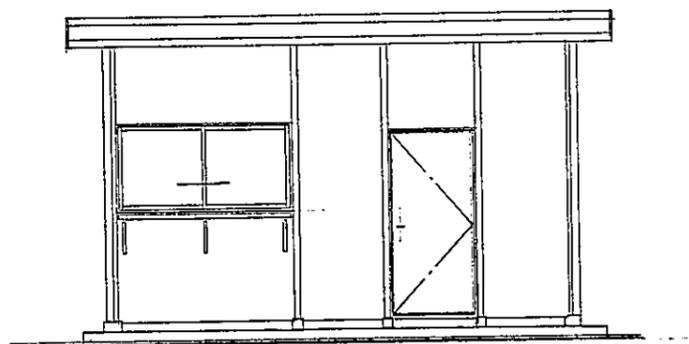


件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	A.B棟 鉄骨構造標準図		
縮尺	図面番号 00/		
設計年月日	昭和62年2月14日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

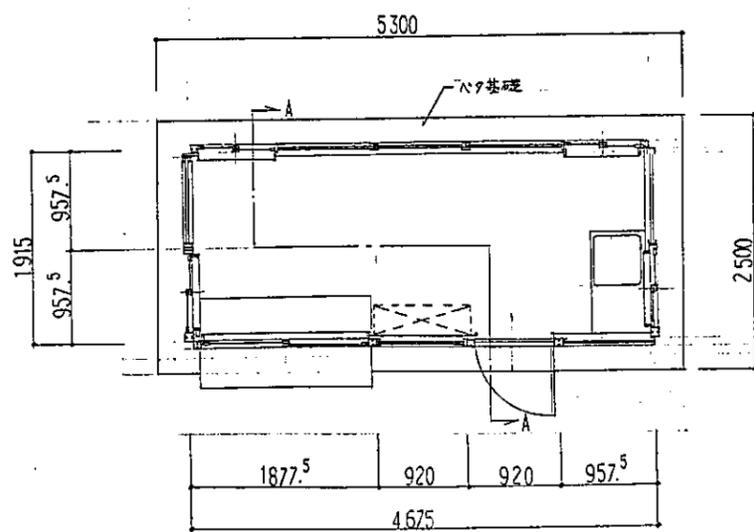


A TYPE 立面 図 1:50

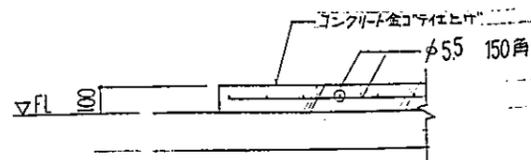
A-A 断面 図 1:50



A TYPE 立面 図 1:50



A TYPE 平面 図 1:50



ベース基礎配筋図 S=1:20

外部仕上表

構造	軽量鉄骨フレーム構造
屋根	ルーフデッキφ0.5 山高88 ポリウレタン4% 熱湯着(片側)
外壁	炭酸マグネシウム板φ12 塗装品(パネル式)
建具	アルミサッシ引違い窓(網入りガラス) アルミ片開戸(乙種防火戸)
基礎	鉄筋コンクリート布基礎
備差	植栽ビ 軒120° 至75φ エアコン用スリーブ(盲目蓋共)

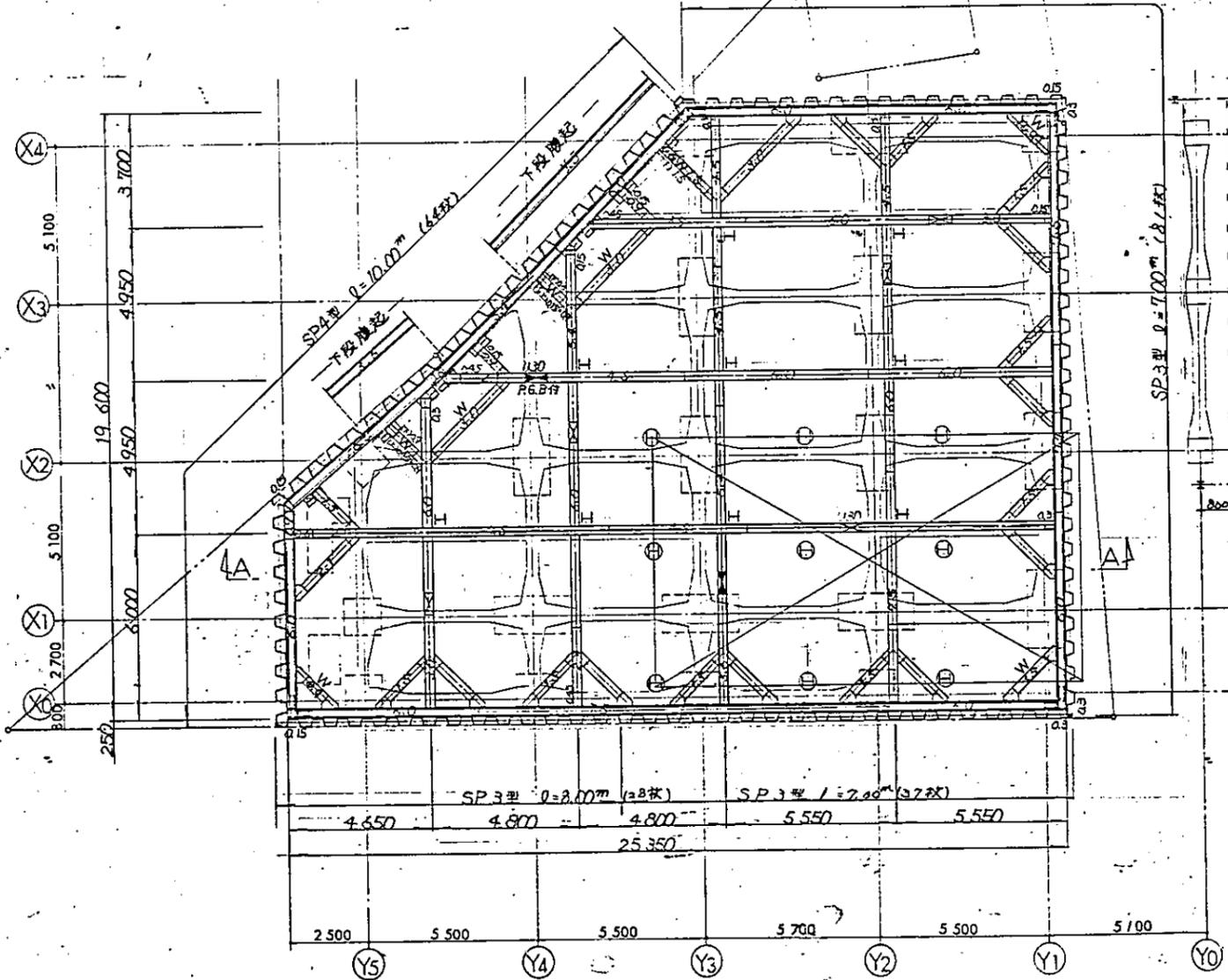
内部仕上表

床	畳	壁	天井
捨てバニヤφ4下地7.5mm	ワチ中木	プリント合板φ4	カラーバニヤφ2.5

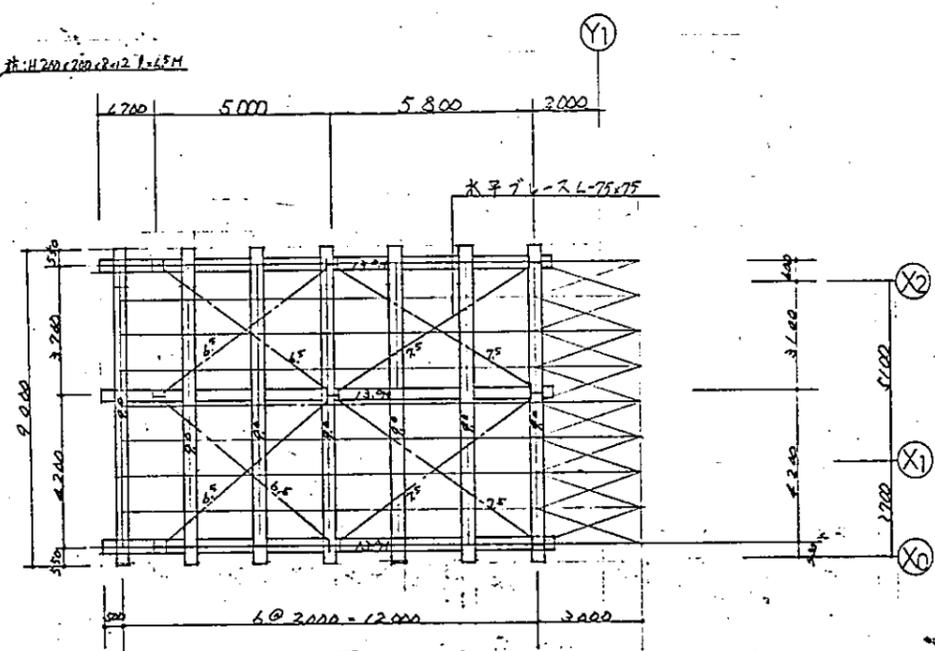
※ 管理小屋本体は支給品とする

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟管理小屋		
縮尺	1/50.20	図面番号	64-2/
設計年月日	昭和 62年 3月 30日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

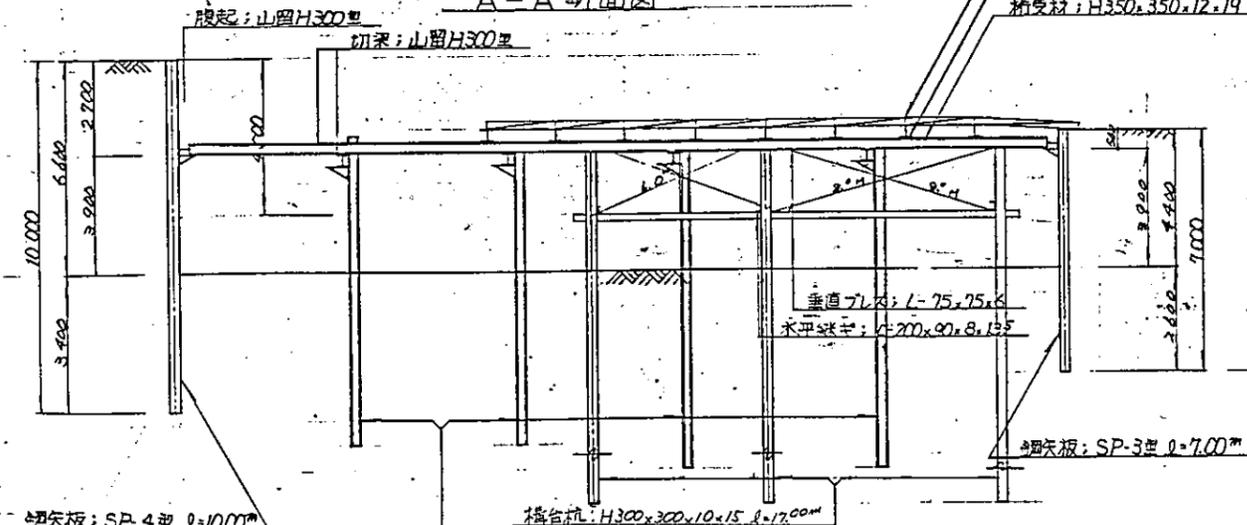
山留平面図 S-1/100



檣台平面図

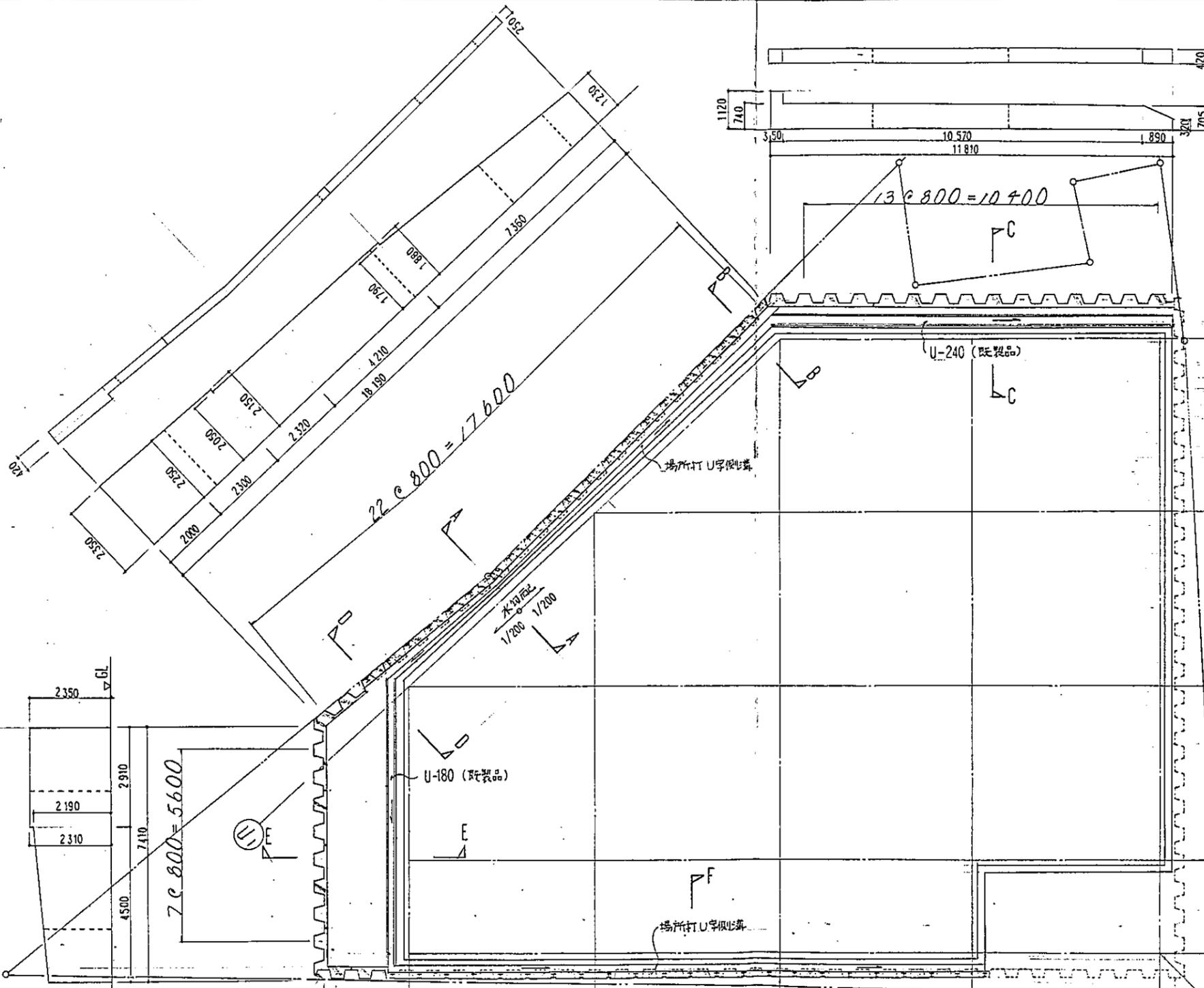


A-A 断面図



薄工板: 2,000, 1,000, 208
 桁材: H350, 350, 12, 19
 桁受材: H350, 350, 12, 19

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	山留訂画図		
縮尺	/	図面番号	64-3/
設計年月日	昭和 62 年 4 月 3 日		
設計者	課長	係長	担当
横浜市道路局			



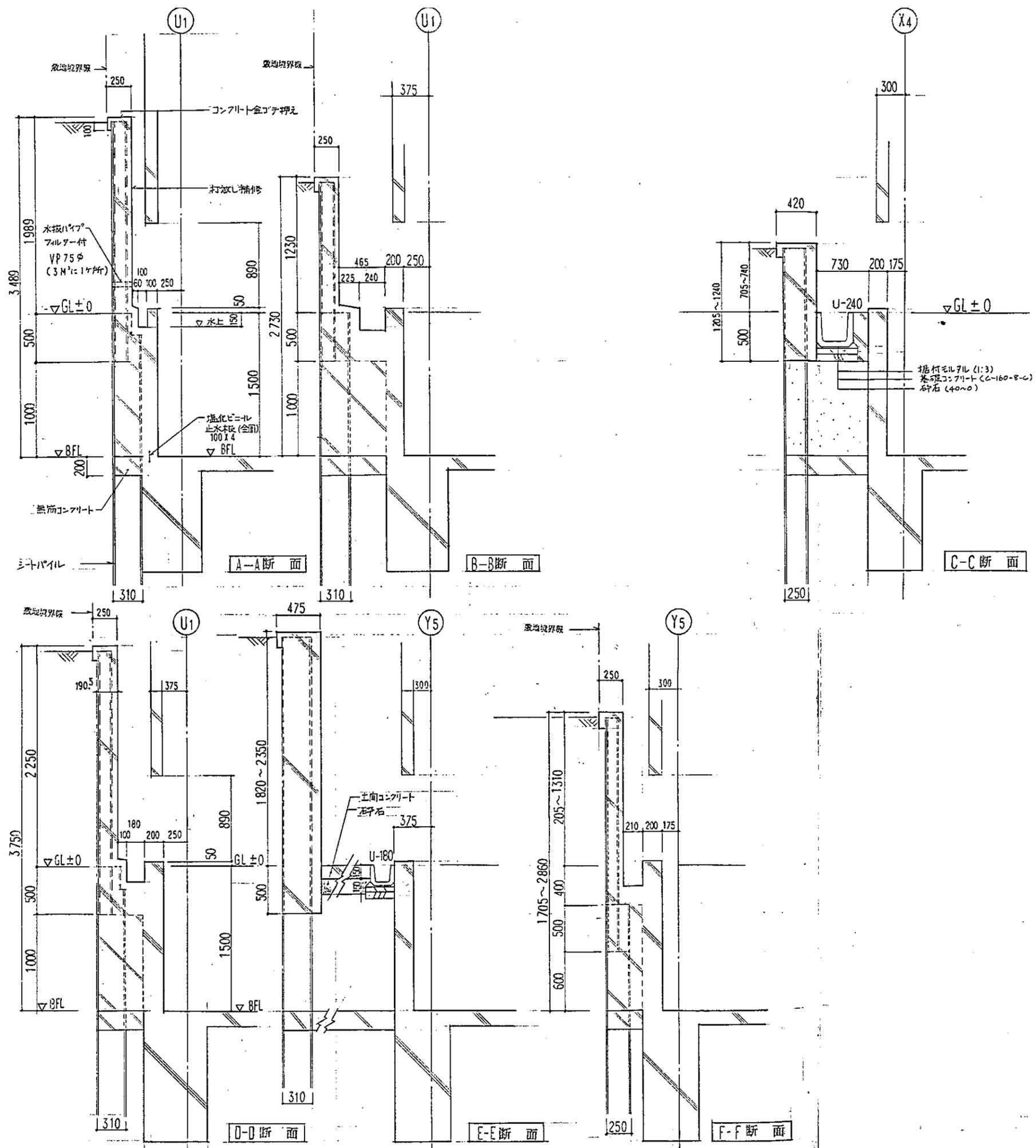
よう壁天端平面図

よう壁立面図 S=1:100

* -----イラスト⑩ 打込みを表す

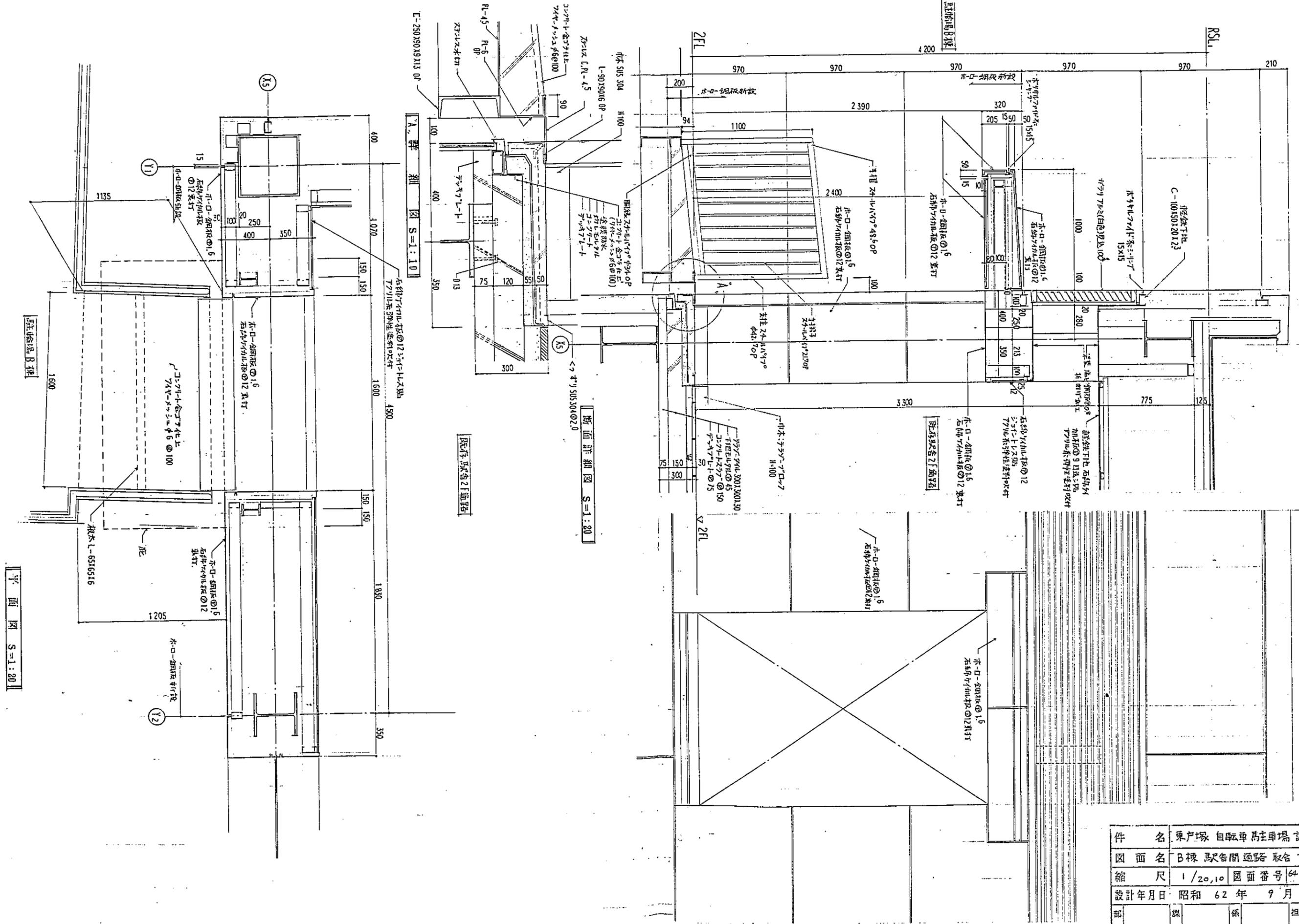
件名	東戸塚駅駅前駐車場設計		
図面名	A棟よう壁平面図、立面図		
縮尺	1/100	図面番号	64-4
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
制図	設計	採寸	担当
横浜市道路局			

3.9 7.7.47

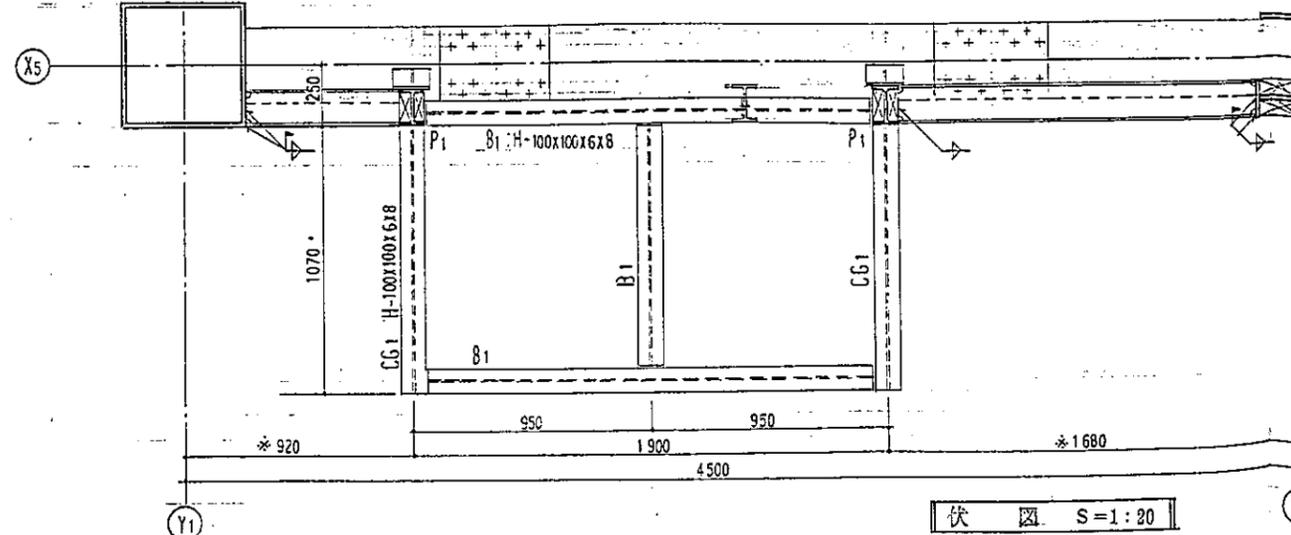
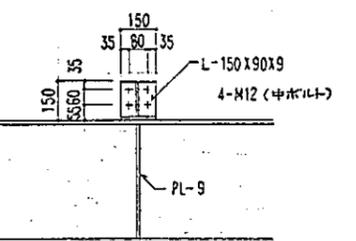
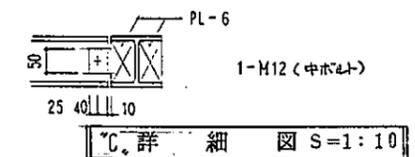
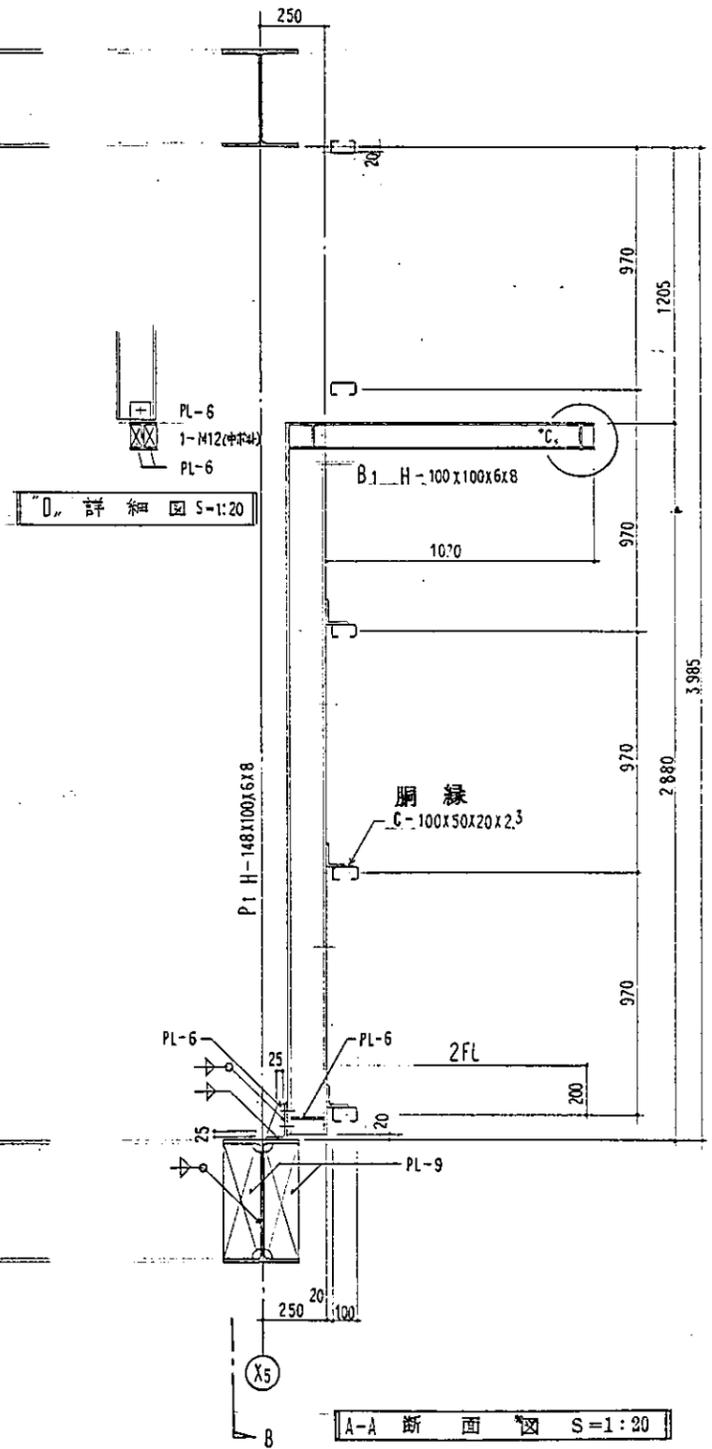
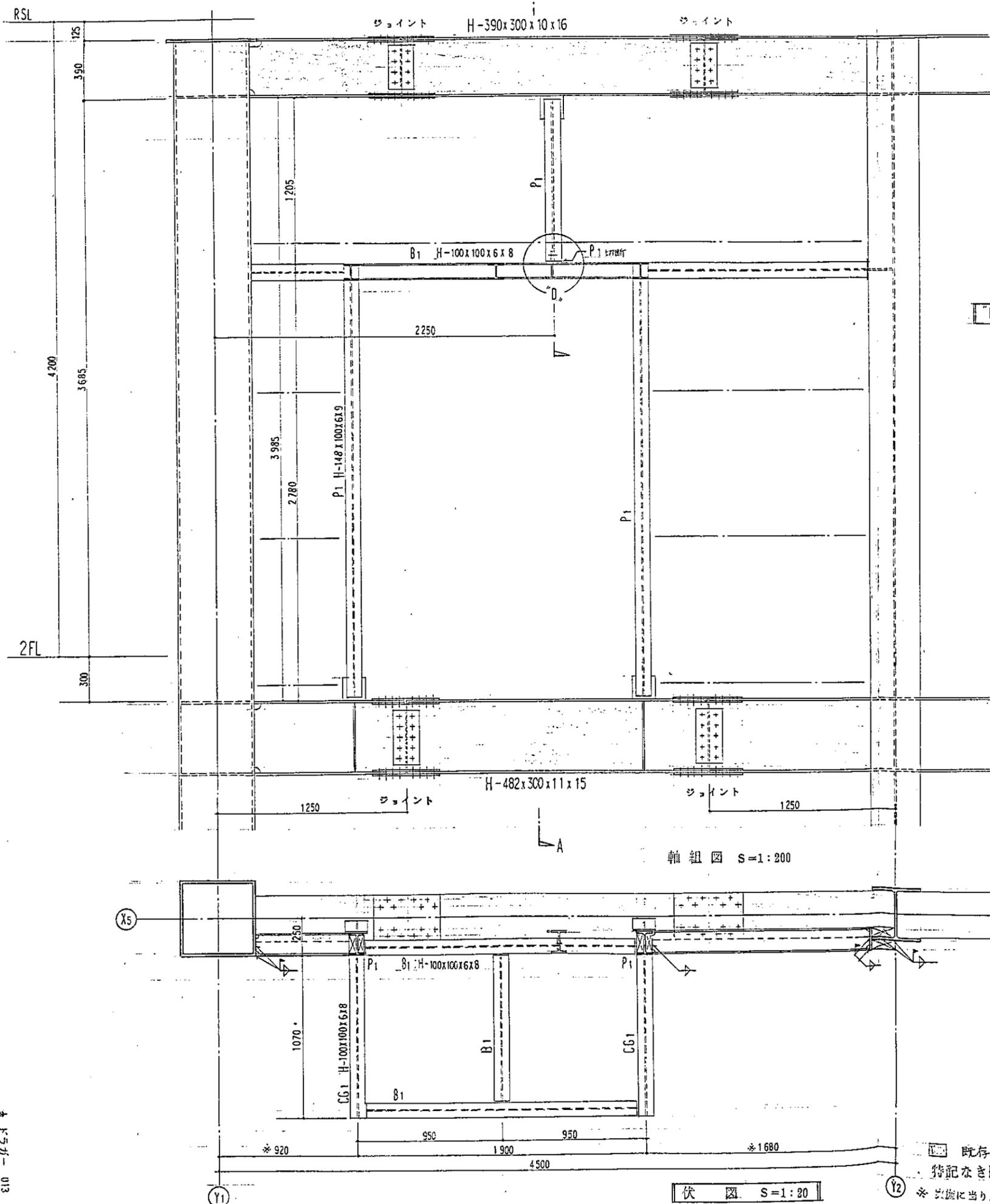


件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟より壁側詳細図		
縮尺	1/30	図面番号	64-5
設計年月日	昭和62年9月30日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

既設部分を太線で示す

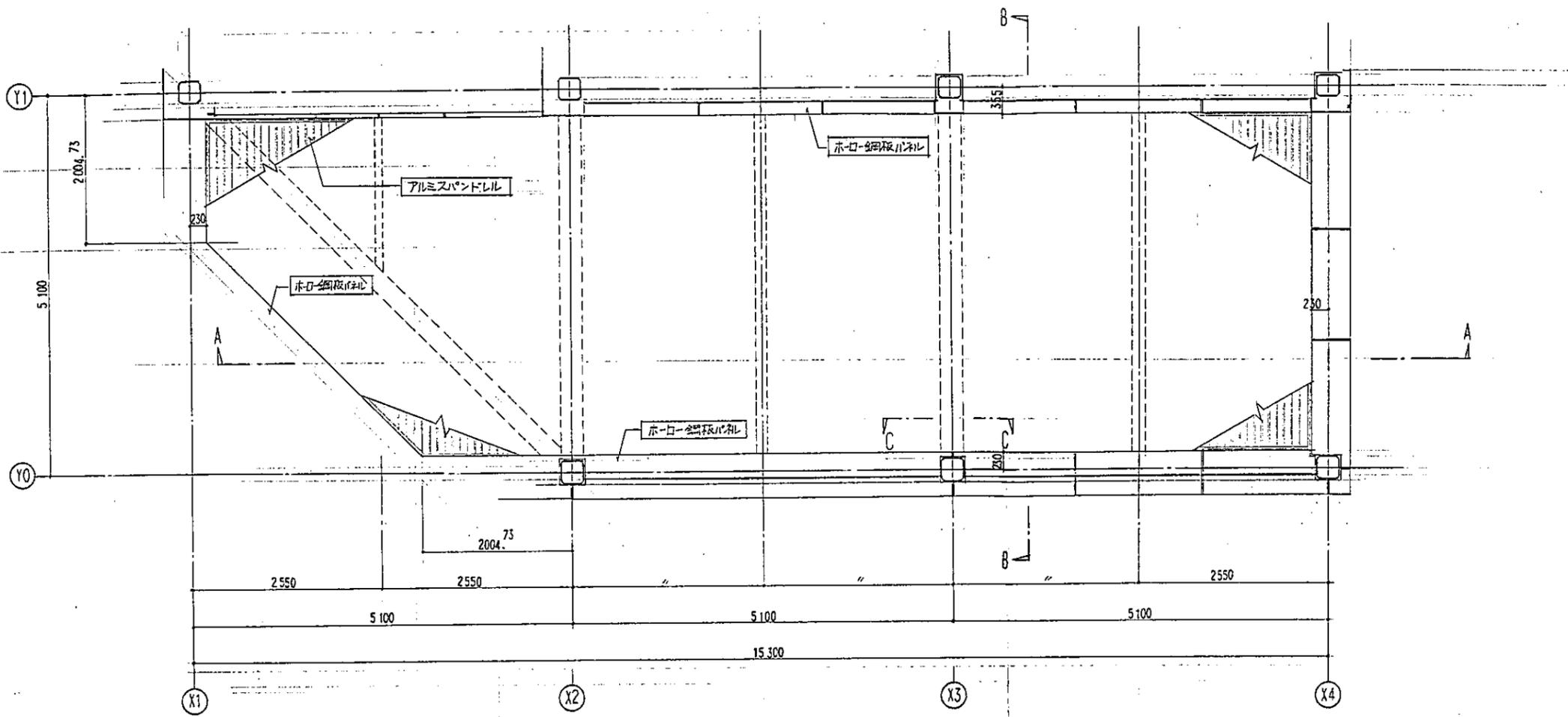


件名	東戸塚 自転車駐車場 設計		
図面名	B棟 駅舎間通路 取合 詳細図		
縮尺	1/20,10	図面番号	64-7/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



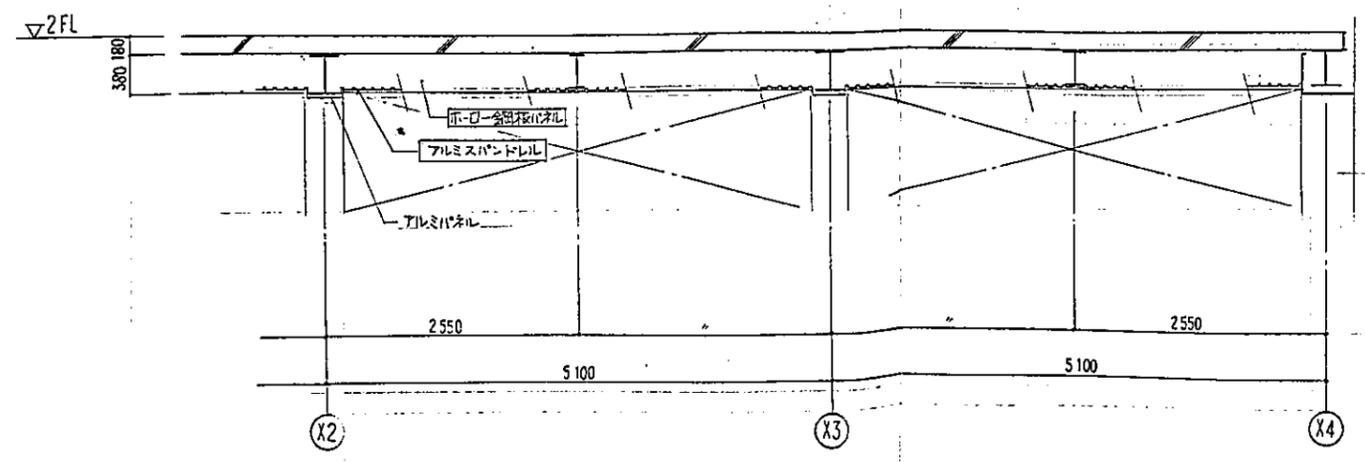
既存部分を表わす。
 特記なき限り 鋼材はSS41とする。
 ※ 数値に当り上記仮定数値に相違ある時は設計変更を行う

件名	東戸塚駅 自転車駐車場 設計		
図面名	B標 駅舎間通路 鉄骨 詳細図		
縮尺	1/20.10	図面番号	64-9/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
課長	係長	設計	担当
横浜市道路局			

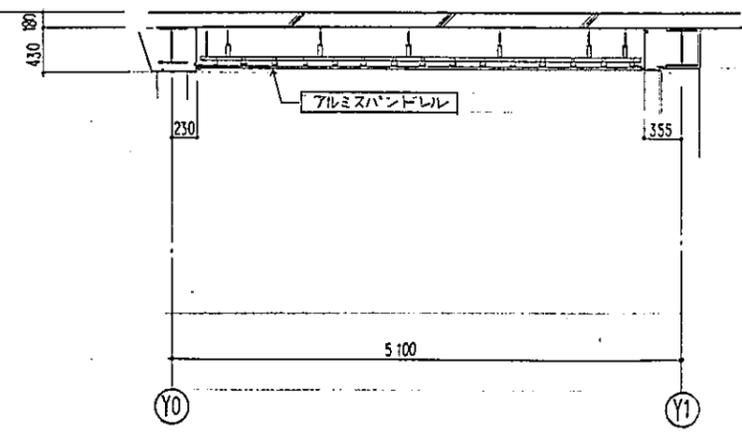


A棟軒天伏図 S=1:50

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟軒天伏図、断面図		
縮尺	1/50	図面番号	64-9/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



A-A 断面図 S=1:50



B-B 断面図 S=1:50

特記仕様書 (給排水衛生換気設備)

1 建物概要 A棟 鉄骨造 地下1階 地上2階 延床面積 1,174.07㎡
 B棟 鉄骨造 地上3階 延床面積 719.71㎡
 合 計 1,893.78㎡

2 工期 工期は契約工期を厳守する事。

3 工事項目 給排水衛生換気設備工事

1) 給水設備工事
 2) 給湯設備工事
 3) 排水通気設備工事
 4) 消火設備工事
 a) ドレンチャージ設備工事
 b) 粉末消火設備工事
 5) 換気設備工事

4 工事仕様 1) 本仕様書に記載されている工事項目は、すべて建設大臣官庁官庁管轄部「機械設備先住仕様書」(60年版)及び「機械設備工事標準図」(60年版)に依る。なお優先順位は、特記仕様書、図面、標準仕様書の順とする。
 2) 現場のおきり、取合、材料の寸法、取付位置、取付け工法の変更、あるいはこれらによって取付け量の多少の増減などの軽微な変更は、係員の指示により施工する事。
 3) 本工事で使用する、機器の材料は、工事着工前に「メーカーリスト」を提出し、係員の承認を受ける事。
 4) 本工事施工に先立ち、関連工事請負者と充分打合せの上、施工計画書、工程表及び本工事に必要な公署申請届出書類の提出予定表を作成し、係員の承認を受ける事。また工程表作成については、機器の搬入時期及び工法に注意して精密に打合せを行う事。
 5) 本工事に使用する機器、材料は、市の指定とし、特記ある場合、係員の承認を受けるものとする。又、特記係員の指定する材料については、見本品を提出の上決定する。
 6) 本工事に使用する機器で、容量能力以外の仕様(外形寸法、電気容量、補機など)において、製作者により差支がある場合は、承認図により承認する。また機器の製作は、承認図が承認された後、製作に入る事。
 7) 消防用設備については、施工管理、官公署への申請、許認可事務の補助及び検査立会などはすべて消防設備士の立会で行う事。

5 一般事項 1) 本工事に必要な工事写真は、各工事毎の写真をフリーアルバムに整理し、提出する。
 2) 竣工図の提出は、工事完成後係員の指示に従い、速急に提出する事。提出部材は3部とする。
 3) 養生放付、一先の場合に、係員の指示により処理する。又工事中又滞りたる物件は、係員の指示により処理する。
 4) 本工事完成検査合格後、もしくは全面工事完了後、速やかに係員立会のもと、施設管理者あるいは機器取扱者に対して、機器取扱説明、工事内容説明等を行う事。また運転前には保守員等に必要不可欠な、工具類、機器取扱説明書その他、必要図書類を引渡す事。

6 安全管理 1) 労災保険は、各建設現場毎に加入する事。火災保険についてはこの限りでない。
 2) 労働安全衛生法その他関係法規に従い、常に安全管理に必要措置を講じ、労働災害発生防止に努めること。また施設管理者と充分打合せの上、仮間の養生等により、工事関係者以外の方が、工事部分に出入りしない様に危険箇所は、保護装置を設置する等の措置をとり、事故防止にあたること。

7 特記事項 1) 本工事に使用する機器で、操作盤、動力盤等の合電動機には、効率改善型三相コンデンサ及びELBを取付ける事。
 2) 散水栓はすべてコンクリート水栓柱付とし、パイプで被覆しなす様に堅固に固定すること。水栓取付高さは900mmとする。
 3) 給水、ドレンチャージ管の保温は屋外仕様とする。
 4) 各配管の識別は系統名、色別帯、流水方向を示す矢印により行う。色別帯表示位置は係員の指示による。

件名	泉戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	特記仕様書 (給排水・換気設備)		
縮尺		図面番号	65/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 14 日		
部長	課長	係長	担当

横浜市道路局

例

記号	名称	材質	備考
	給水管	塩ビパイプ鋼管(水通)	JWNA K116 SGP-VB
	給湯管	銅管	M 917°
	排水管	配管用炭素鋼鋼管(白)	JIS G 3452
	通気管		
	汚水管	排水鋳鉄管	HASS 210 ヲカ形
	屋外排水管	ビューム管	JISA 5303 (B形)
HD	ドレンチャージャー管	配管用炭素鋼鋼管(白)	JIS G 3452
×	ガード弁		排水直結部150°排水用付 JIS 10K 2L E 排水用付 JIS 5K
N	チャッキ弁		JIS 10K
	フキンブル継手	SUS製	
□	水栓 男栓		
⊕	水栓 柱	コンクリート製	
⊙	床土掃除口		
○	汚水 枺	コンクリート製	
⊗	雨水 枺		トラス材(下口溜り 200 ^H)
○	ドレンキャップ		
⊙	感知用スリットキャップ		
⊕	自動警報弁		
⊗	一斉開放弁		

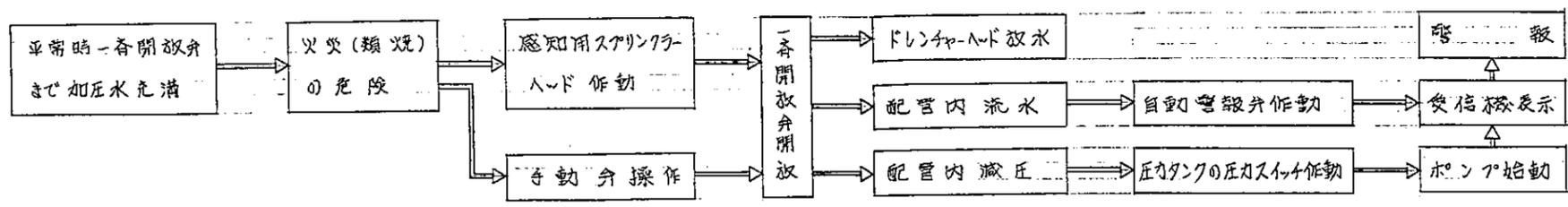
機 器 表

記号	名称	設置場所	仕 様	台数	動力 50Hz			備 考
					KW	φ	V	
TW-1	雨水槽付自動給水装置	屋 外	雨水槽(FRP製)有効450L 耐震型 1000×500×1000 ^H 圧力ポンプ 25 ^φ ×25 ^φ mm×18mm	1	0.3	1	100	1:20-1基礎(建築工事)
PFU-1	ドレンポンプ	地階排水室	ポンプユニット 125 ^φ ×950 ^φ mm×300mm 制御盤(消火槽満水警報付)圧力監視 他付属品一式	1	18	3	200	1:20-1基礎(建築工事) 入△起動 消防認定品
TF-1	消火用補助水槽	塔屋屋上	鋼板製 有効水量 500L 1000×1000×1000 ^H 板厚:側面4 ^φ 蓋3.2 ^φ 平架台共	1				1:20-1基礎(建築工事)
H-1	移動式粉末消火器	1:2階1F置場	ホリ種粉末4 ^φ 挿入 ホ-又15 ^φ ×20mm 格納箱 650×450×1150 ^H	15				
P-1	排水水中ポンプ	地階排水槽	有効運転型 40 ^φ ×100 ^φ mm×6mm フロ-トスイッチ、水中圧-TL6mm	1	0.25	1	100	
ET-1	電気湯沸器	(階管理)湯所	型掛型 12L ボイラント917°、917°、912-付	1	0.75	1	100	
EF-1	天井 扇		低騒音型 60 ^{CMH} ×5 ^{mm} 18	1	0.013	1	100	
EF-2	換 気 扇		200 ^φ ×500 ^{CMH} 通気シールド付、FD付ワイヤー付	1	0.023	1	100	

器 具 表

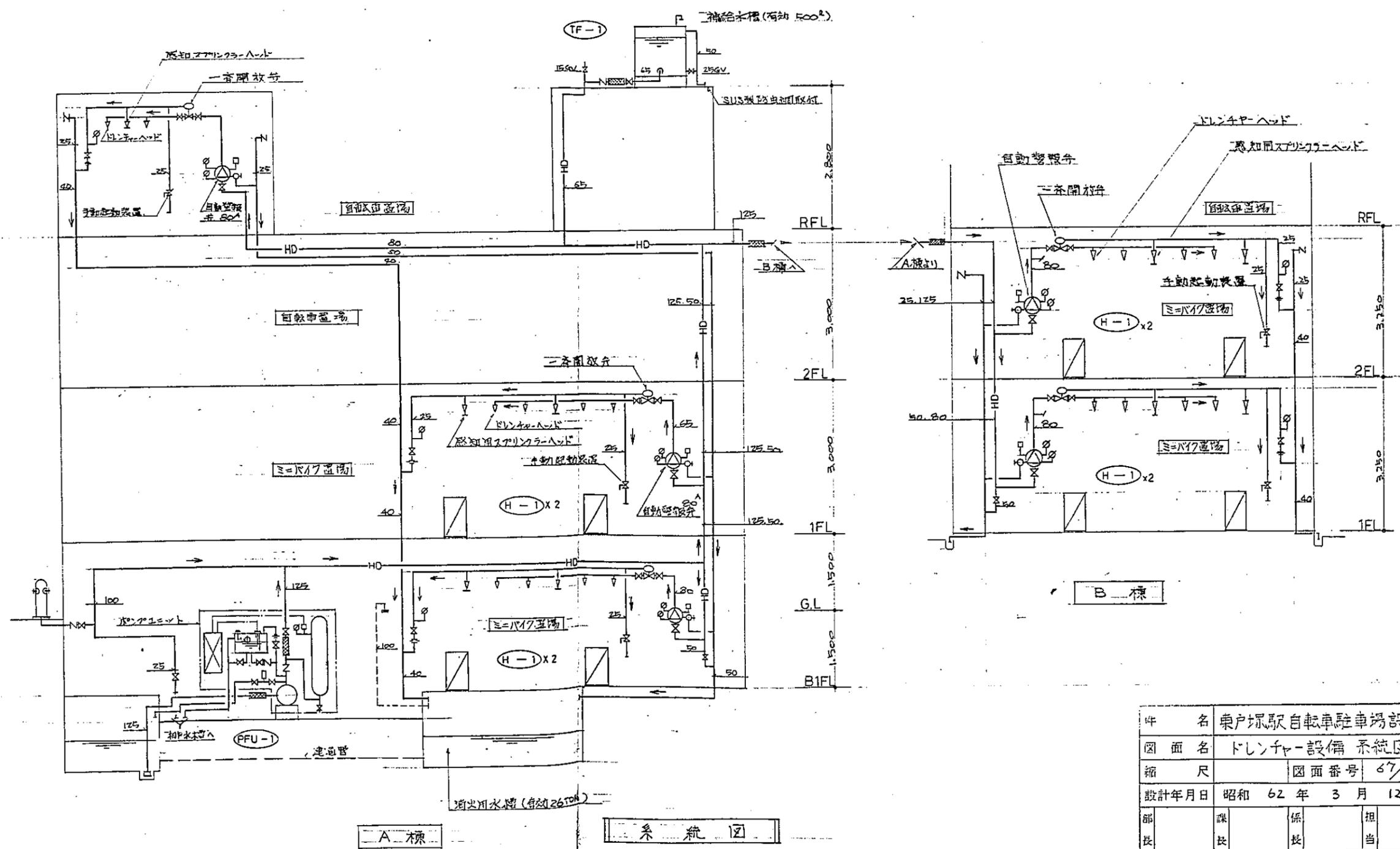
名称	品番	付 属 品	標 別		A 種			B 種			合 計	備 考
			地階	2階	管理人員用	警報用	1階	2階	3階			
洋風便器	CT20 (S921B)	90°用全長便座、床付シンク、付木枕、紙巻台									1	
自在水栓	T130AR-13				1						1	
	T30CR-13				1						1	
カッピング水栓	T26K-13	キ-式	1	1	1	1	1	1	1	1	6	
水 栓 柱			1	1	1	1	1	1	1	1	6	コンクリート製

件 名 東戸塚駅自転車駐車場設計
 図 面 名 器具表・機器表
 縮 尺 図面番号 66/
 設計年月日 昭和 62 年 3 月 12 日
 部 長 課 長 係 長 担 当
 横 浜 市 道 路 局



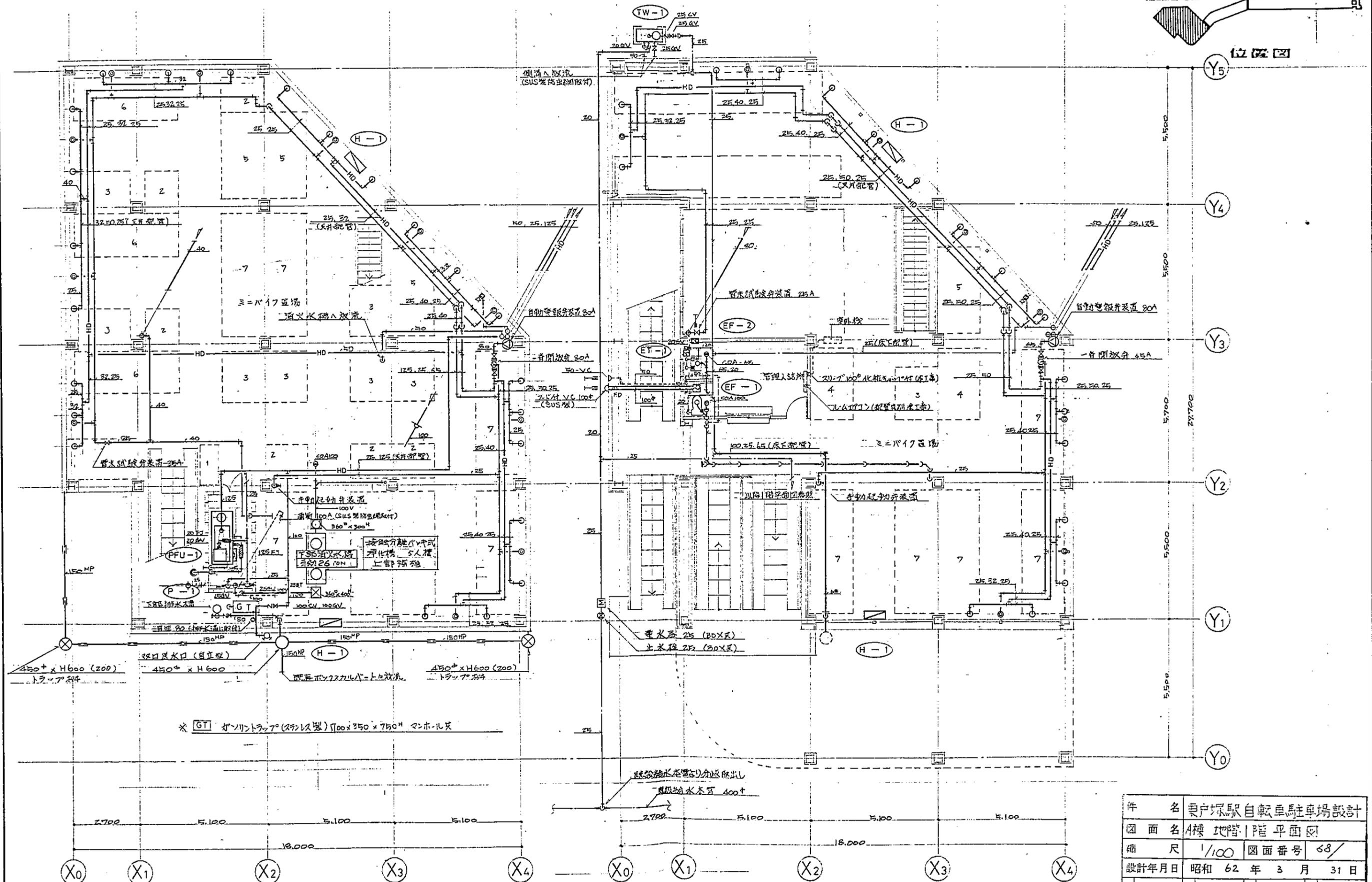
ドレンジャー設備動作フロー

機械設備 | 電気設備



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	ドレンジャー設備系統図		
縮尺	図面番号	67	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

位置図



* GT ガソリントラップ (スチール製) 100×350×750^H アンボ-北英

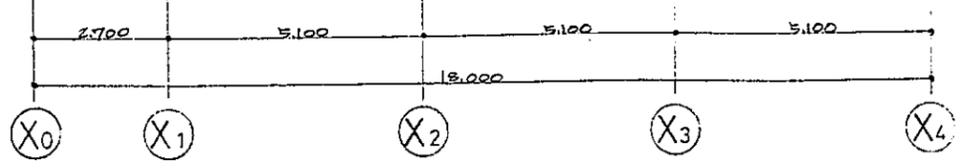
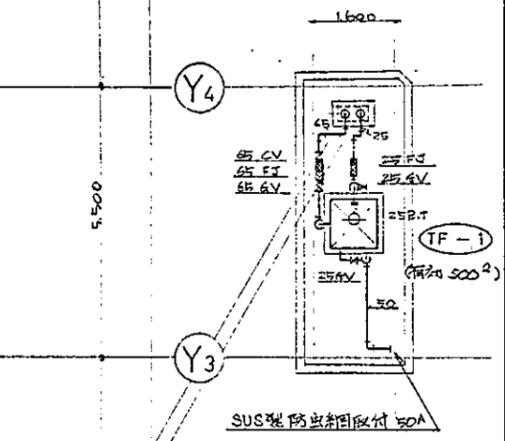
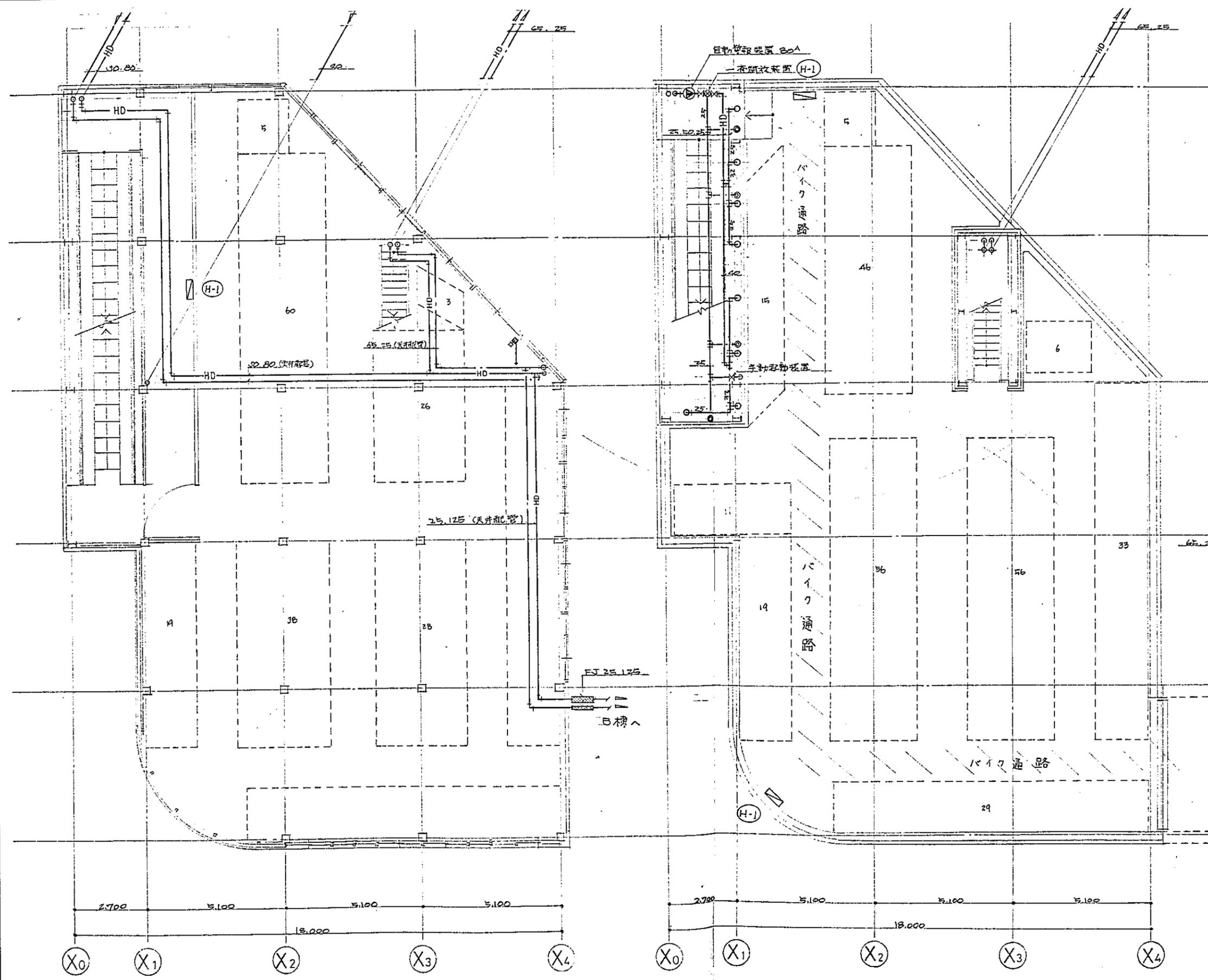
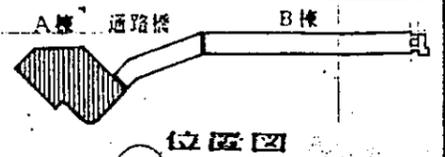
地階平面図 S=1/100

エレベーターハンド 23個
 窓用ブラインドハンド 11個

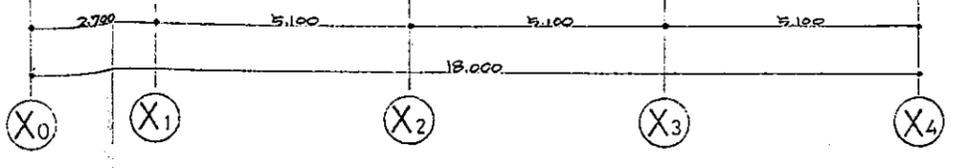
1階平面図 S=1/100

エレベーターハンド 17個
 窓用ブラインドハンド 8個

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 地階1階平面図		
縮尺	1/100	図面番号	68/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 31 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

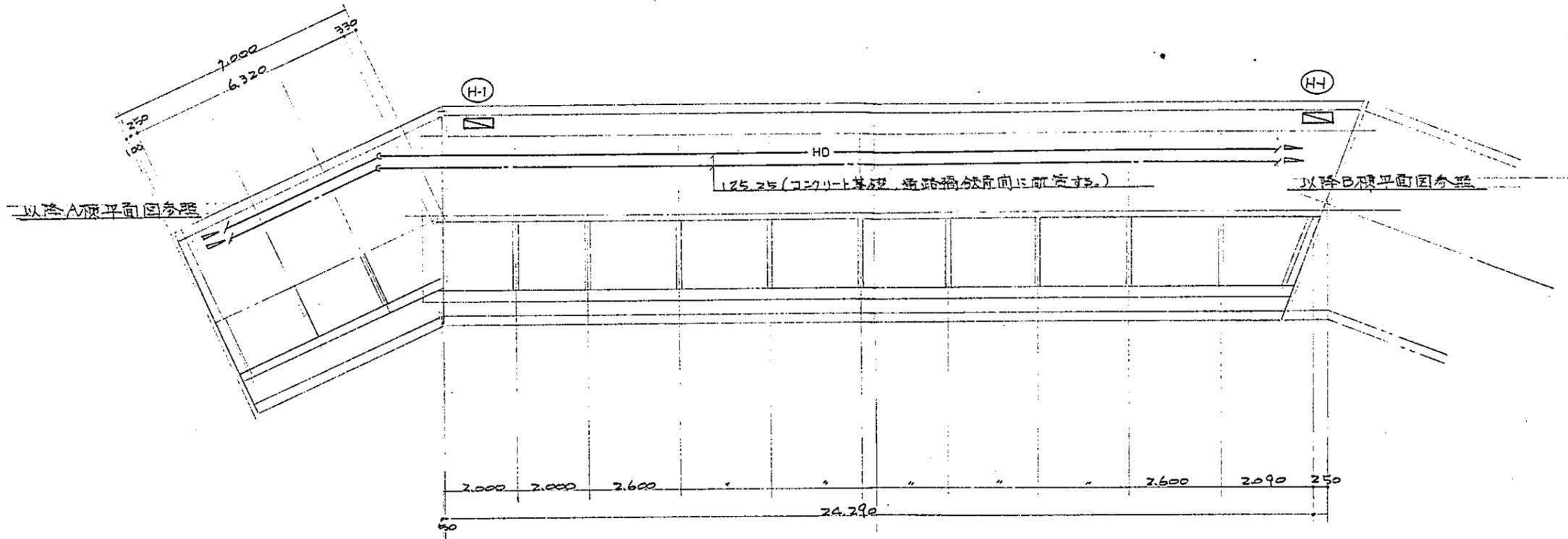
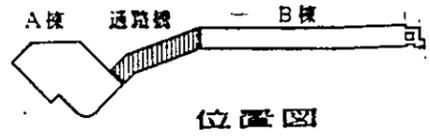


Z階平面図 S=1/100



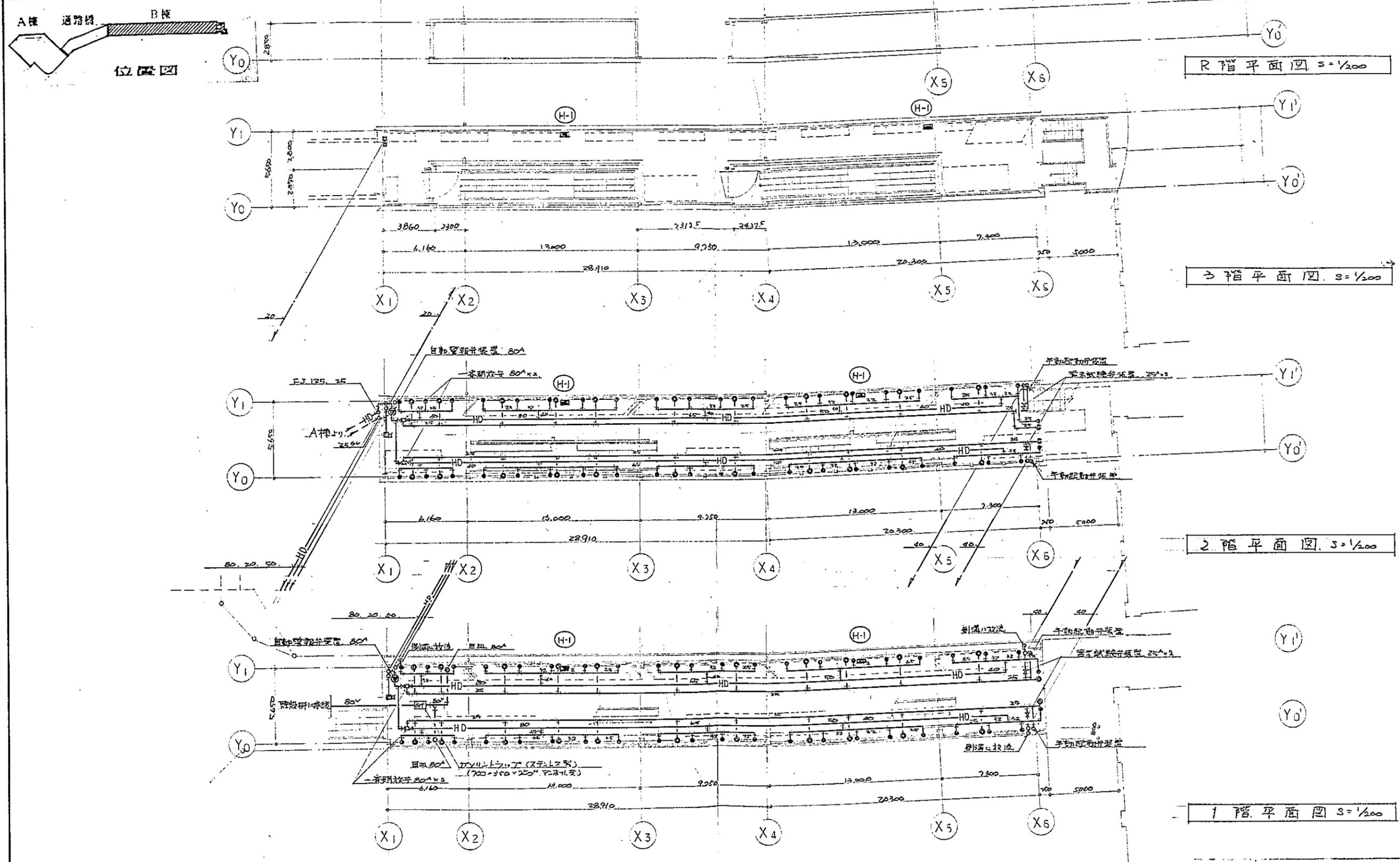
R階平面図 S=1/100

名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	1棟2階R階平面図		
縮尺	1/100	図面番号	69/
設計年月日	昭和62年3月12日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

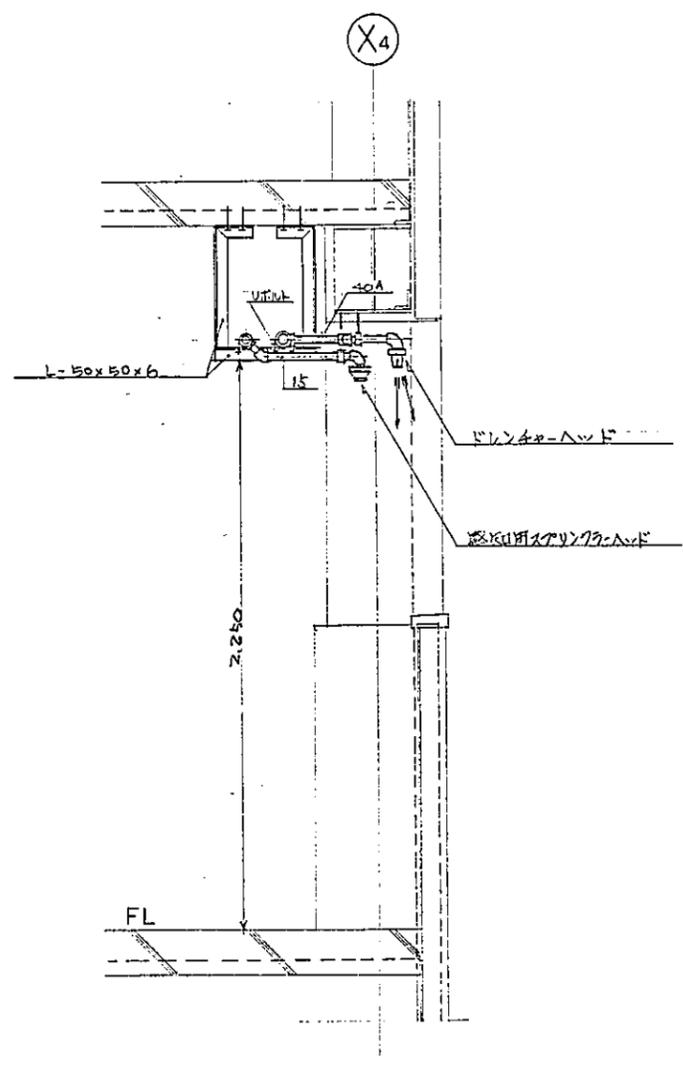


通路橋平面図 S=1/100

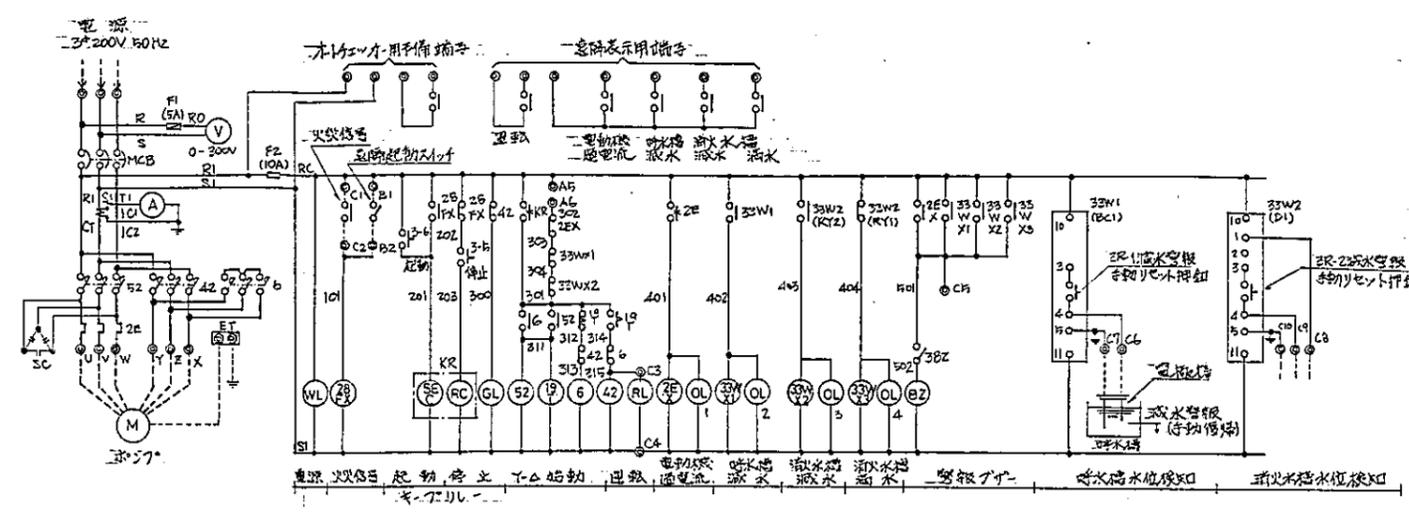
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	通路橋給水設備平面図		
縮尺	1/100	図面番号	70/
設計年月日	昭和62年3月12日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 給水設備平面図		
縮尺	1/200	図面番号	71/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

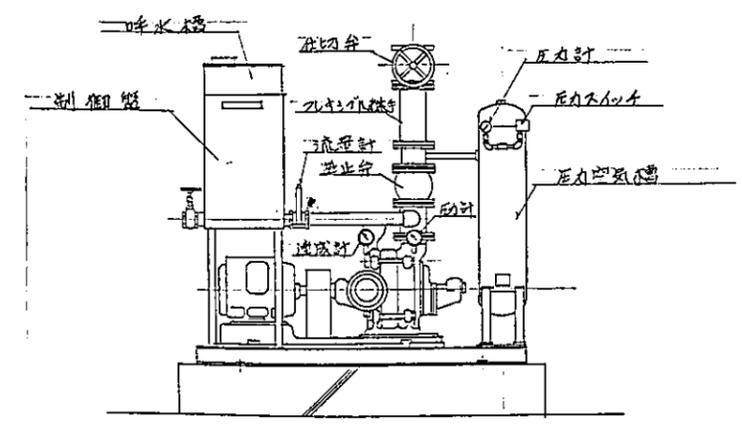


ドレンポンプヘッド取付要領図 S=1/20



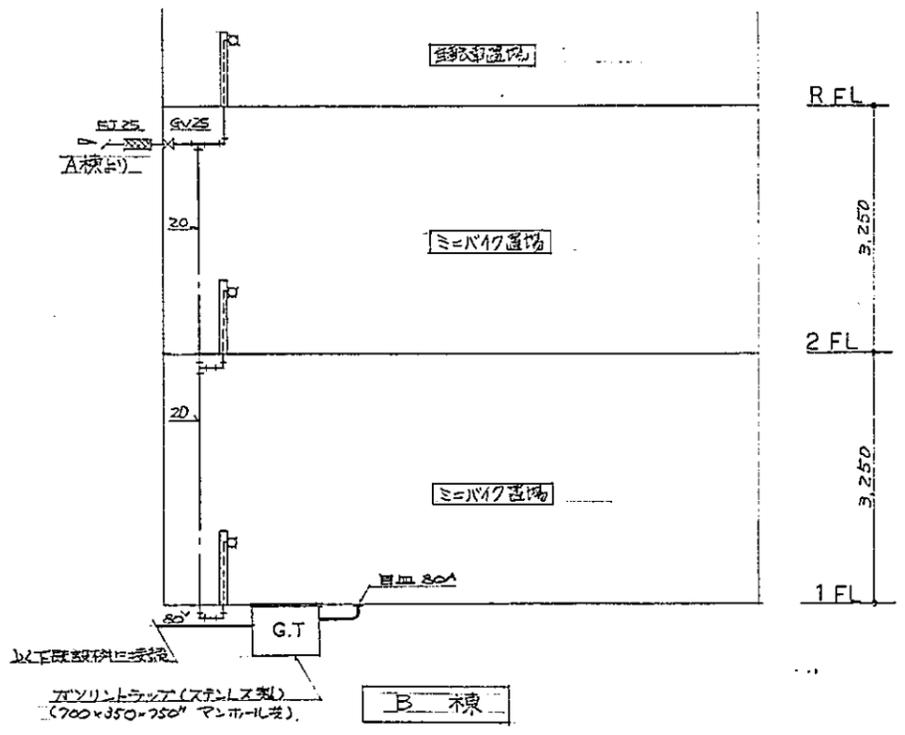
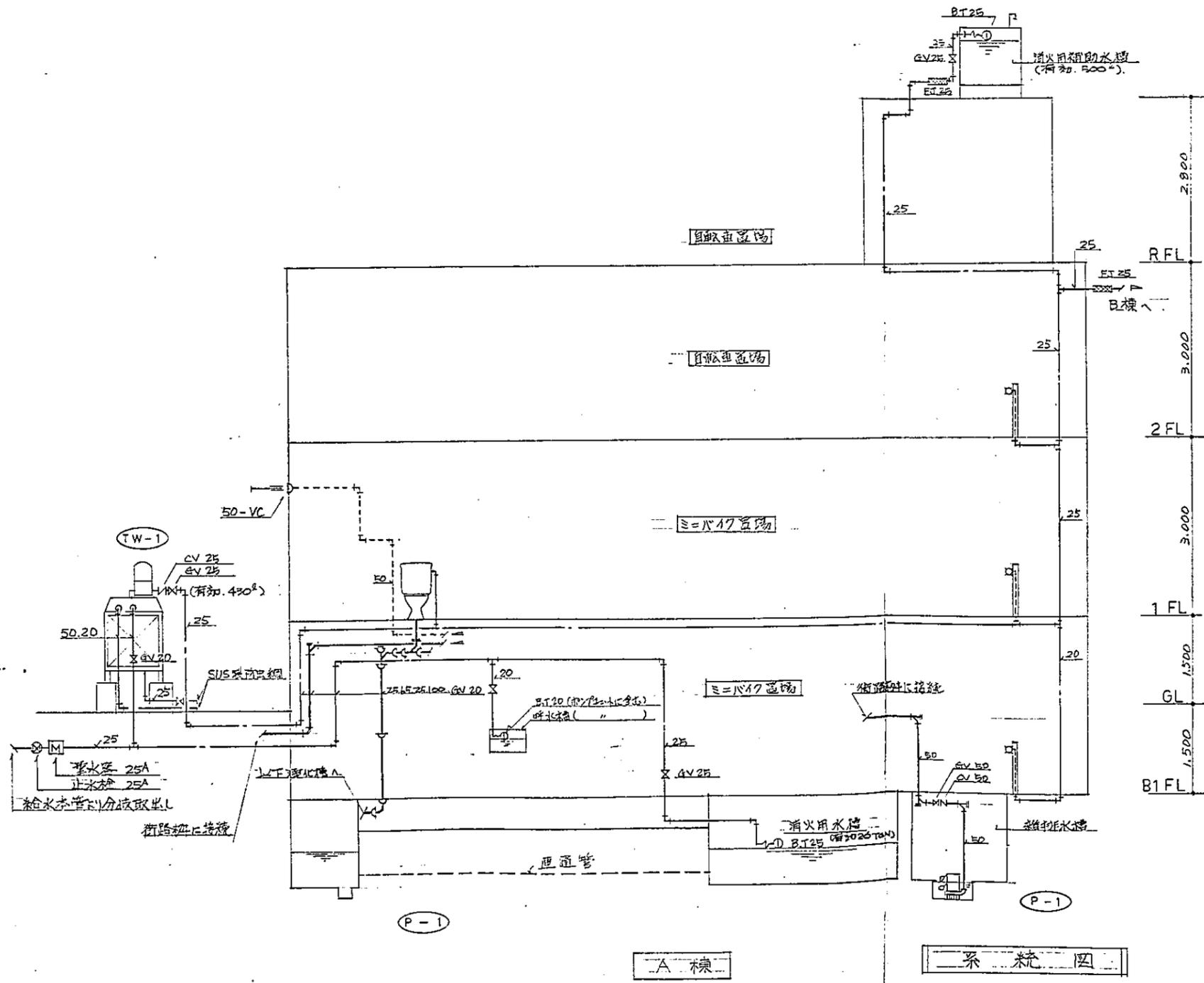
ドレンポンプ用制御盤結線図

記号	名	取
MCB	配線用遮断器	
52	主電磁接触器	
6	起動用電磁接触器	
42	停止用電磁接触器	
2E	2Eリレー	
29	29.デジタルタイマー	
CT	変流器	
F	ヒューズ	
33W	液面リレー	
3R	液面リレーリセットボタン	
KR	キアリレー	
SEC	キアリセットコイル	
X	キアリリセットコイル	
SC	遮断コンデンサ	
M	電動機	
ET	接地端子	



ドレンポンプユニット要領図 (参考図)

件名	栗戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	ドレンポンプ用制御盤結線図 他		
縮尺	1/20	図面番号	72/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	給排水設備系統図		
縮尺		図面番号	73
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
設計者	監理者	係長	担当者
横浜市道路局			

特記仕様書 (電気設備)

1. 建物概要 A棟 鉄骨造 地下1階 地上2階 延床面積 1,174.07㎡
 B棟 鉄骨造 地上3階 延床面積 719.71㎡
 合計 1,893.78㎡

2. 工期 工期は契約工期を厳守する事。

3. 工事項目 電気設備工事
 1) 動力設備工事
 2) 電灯コンセント設備工事
 3) 自動火災設備工事
 4) 電話配管設備工事
 5) 防犯設備工事

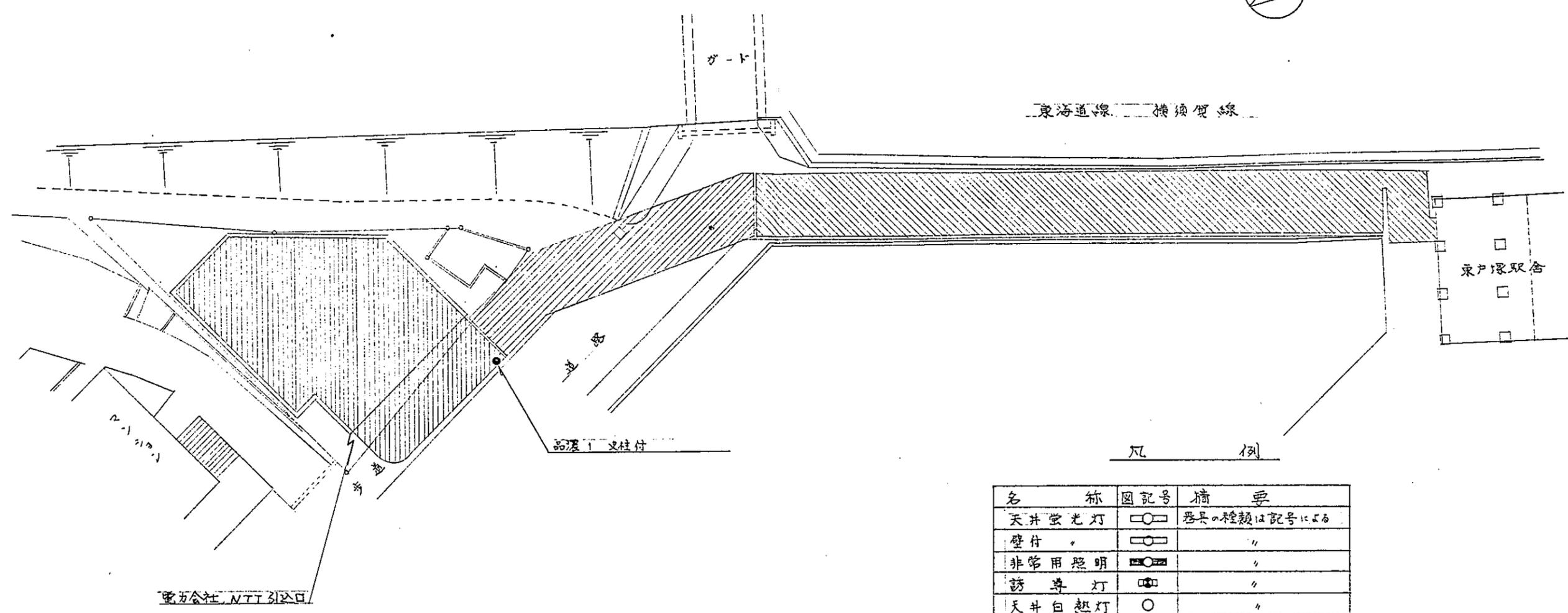
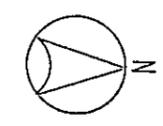
4. 工事仕様 1) 本仕様書に記載されていない事項はすべて建設大臣官庁官庁管轄部「電気設備共通仕様書」(60年版)及び「電気設備工事標準図」(60年版)、横浜市道路局「電気設備工事仕様書」に依る。なお優先順位は、特記仕様書、図面、標準仕様書の順とする。
 2) 現場のおさまり、取合上、材料の寸法、取付位置、取付工法の変更あるいはこれらによる取付数量の多少の増減等、軽微な変更は係員の指示により施工する事。
 3) 本工事で使用する機器及び材料は、工事着工前に「メーカーリスト」を提出し、係員の承認を受けする事。
 4) 本工事施工に先立ち、関連工事請負者と十分打合わせの上、施工計画書、工程表及び本工事に必要な官公署申請届出書類の提出予定表を作成し、係員の承認を得る事。また、工程表作成については機器の搬入時期及びその方法について綿密に打合わせを行う事。
 5) 本工事に使用する機器、材料は中の指定とし、特記ある場合も係員の承認を得るものとする。又、特に係員の指定する材料については、見本品を提出の上、決定する。
 6) 消防用設備について、施工管理、官公署への申請、許認可事務の補助及び検査立会などはすべて消防設備士の立会で行う事。
 7) 電気電話の引込位置、引込方法等は事前に関係会社と打合わせの上、その報告書を提出する事。

5. 一般事項 1) 本工事に必要な工事写真(各工事毎の写真)をフロッピーディスクに整理し提出する。
 2) 竣工図の提出は、工事完成後、係員の指示に従い速やかに提出する事。提出部数は3部とする。
 3) 発生残は一定の場所にとり、係員の指示により処理する。又、工事中支障となる物件は、係員の指示により処理する。
 4) 本工事完成検査合格後、もしくは手直工事完了後、速やかに係員立会のもと、施設管理者あるいは機器取扱者に対して、機器取扱説明、工事内容説明を行う事。また、運転並びに保守点検に必要な付属品、工具類、機器取扱説明書、その他必要図書類を引渡す事。

6. 安全管理 1) 労災保険は各建設場所毎にかけする事。火災保険についてはその限りでない。
 2) 労働安全衛生法、その他関係法規に従い、常に安全管理に必要な処置を講じ、労働災害発生防止に努める事。また、施設管理者とも十分打合わせの上、図面等により、工事関係者以外の者が、工事部分に立ち入りしない様に、危険箇所には、保安要員を配置する等の処置をとり、事故防止にあたること。

7. 特記事項 1) 引込開閉器盤の寸法は引込ケーブルの太さに応じて十分なスペースを有するものとする事。
 2) 警報のラウ、プレシチャーポンプ制御盤より取出可警報は、機械設備工事業者と事前に打合わせする事。

件名	泉戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	特記仕様書 (電気設備)		
縮尺		図面番号	74/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

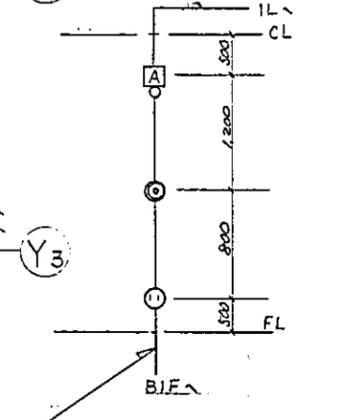
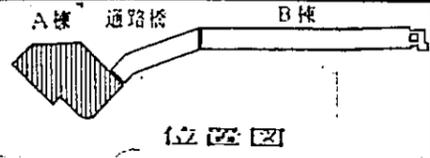
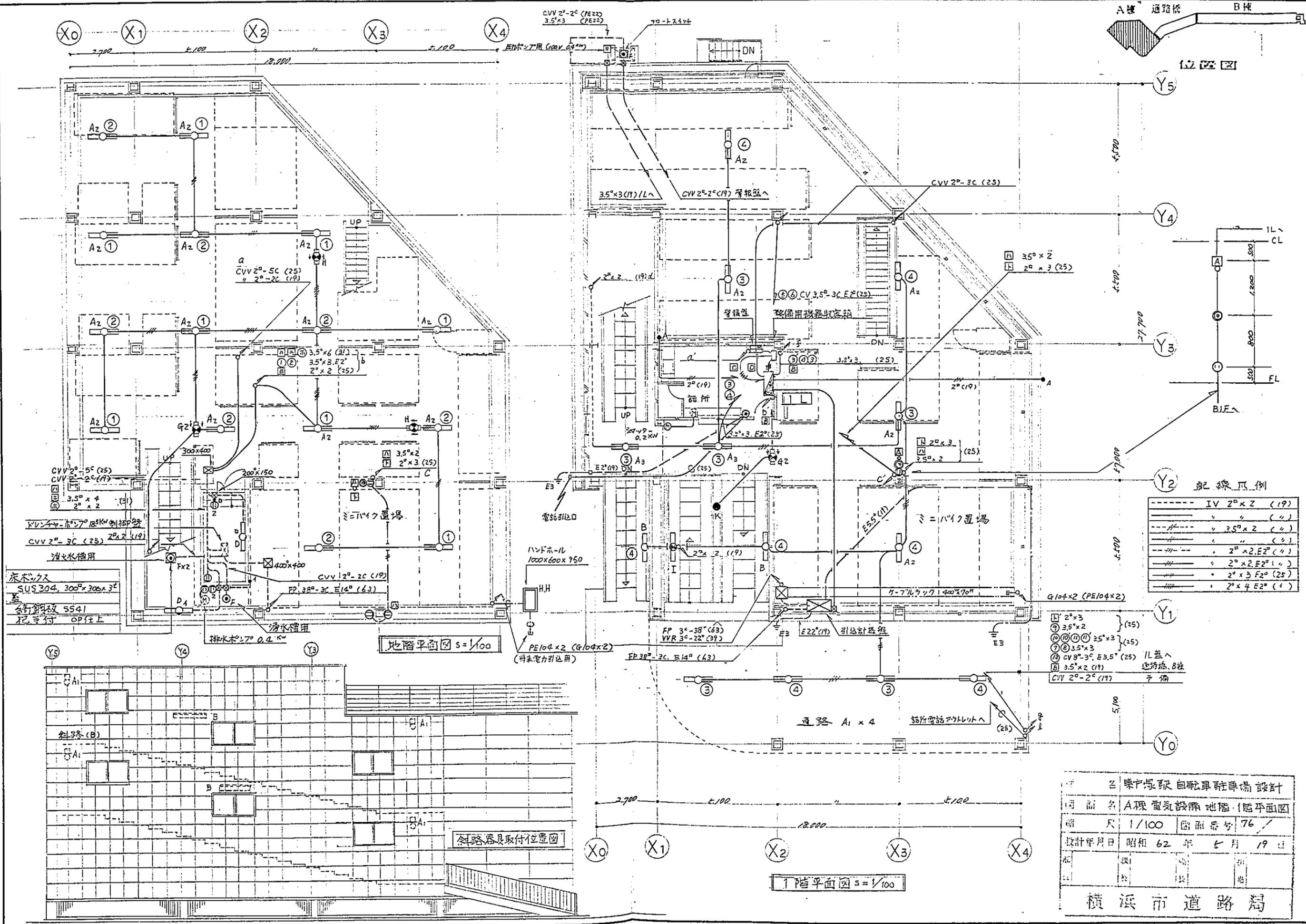


配置図 S=1:300

凡例

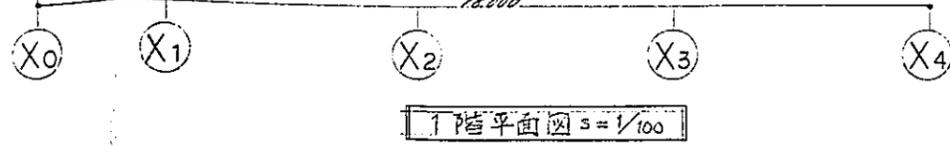
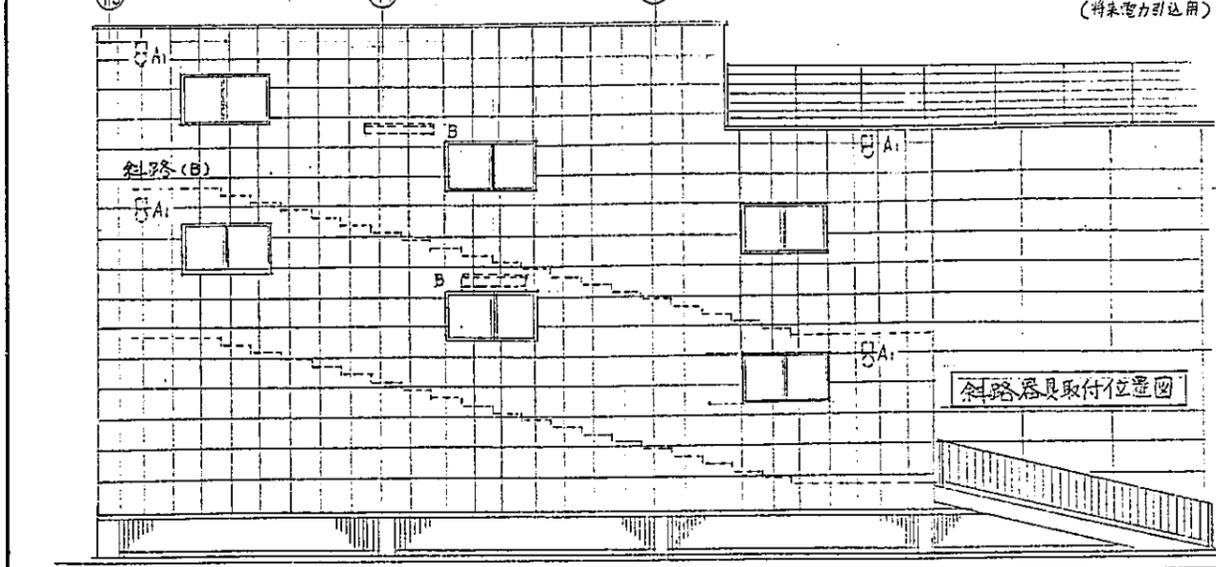
名称	図記号	摘要
天井蛍光灯	○	器具の種類は記号による
壁付	○	"
非常用照明	■	"
誘導灯	□	"
天井白熱灯	○	"
屋外灯	⊙	"
埋込コンセント	⊙	2P/15A 適用, ⊙ ₂ は 2個用
	⊙	3P/15A 適用
タンブラースイッチ	•	適用 IP300V 10A
パイロットランプ	•	" 100V
自動失滅器	•A	CDS 200V 10A
電話アウトレット	⊙	ノズルアット付
フロートスイッチ	⊙F	水銀スイッチ(A接続)内蔵
電灯分電盤	□	
動力制御盤	□	
警報盤	□	
ジョイントボックス	□	
フルボックス	□	寸法は傍記による
電力量計	□	鉄箱入 1中, 3中
引込	—	
天井内配線	—	明記のない場合は 1V
床埋込配線	---	"
露出配線	----	"
警報ブザー	□	AC 100V 用 音量 90db 以上
警報用押釦	⊙	AC 250V 6A, 埋込型 フロート付

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	電気設備 凡例・配置図		
縮尺	1/300	図面番号	75/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

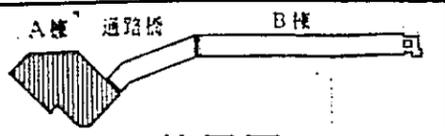


IV	2 ^φ × 2	(19)
—	—	(4)
—	3.5 ^φ × 2	(4)
—	—	(4)
—	2 ^φ × 2, E2 ^φ	(4)
—	2 ^φ × 2, E2 ^φ	(4)
—	2 ^φ × 3, E2 ^φ	(25)
—	2 ^φ × 4, E2 ^φ	(4)

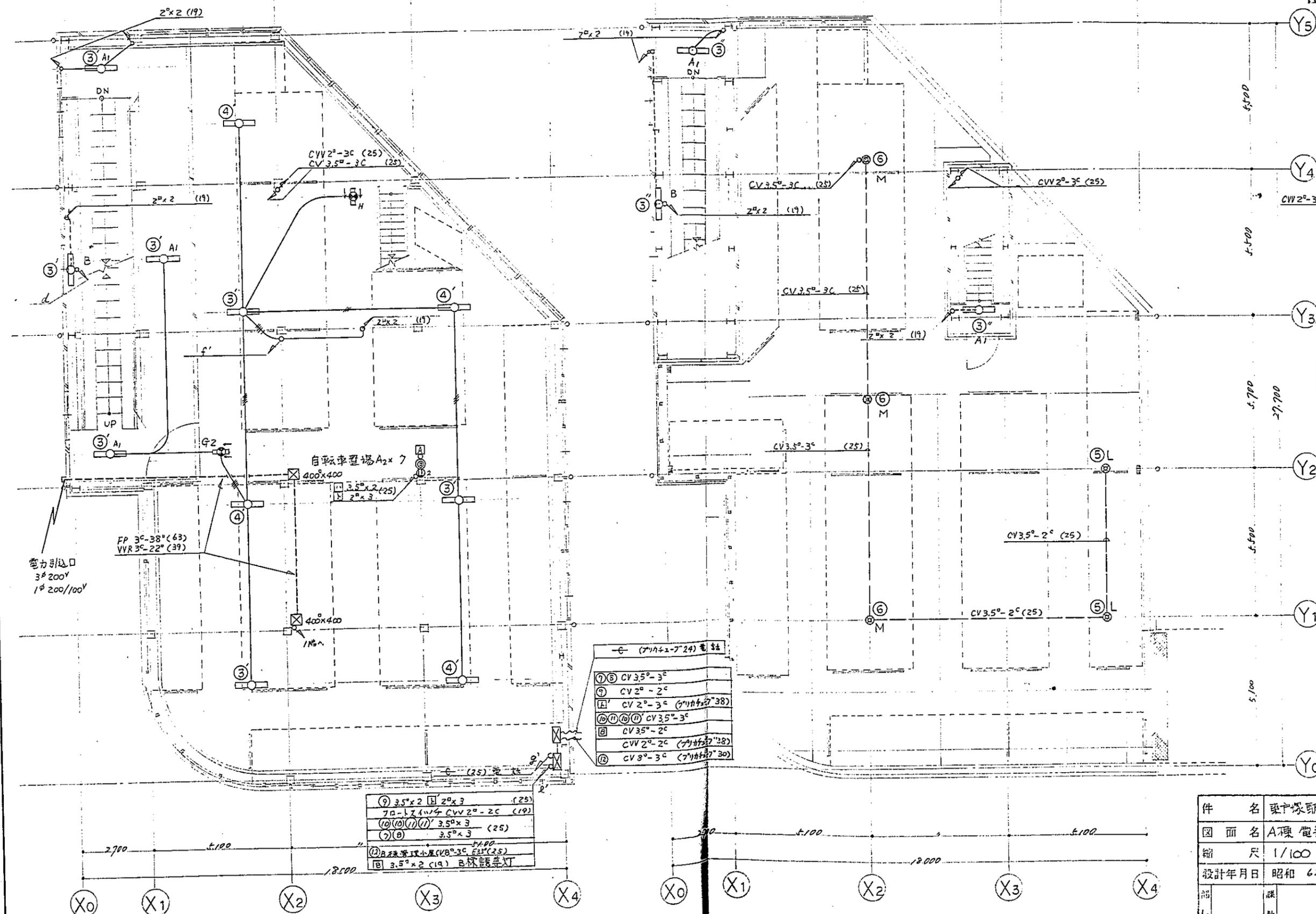
- 2^φ × 3 (25)
- 3.5^φ × 2 (25)
- ① ② ③ 3.5^φ × 3 (25)
- ④ 3.5^φ × 3 (25)
- ⑤ CV 8^φ-3^φ, E 3.5^φ (25) 1L蓋入
- ⑥ 3.5^φ × 2 (19) 遮断器, 8枚
- CV 2^φ-2^φ (19) 予備



名	東京塚取自転車駐車場設計		
図面名	A棟電気設備地階・1階平面図		
縮尺	1/100	図面番号	76
設計年月日	昭和62年5月19日		
配		調	
校		査	
監		理	
主		務	
横浜市道路局			

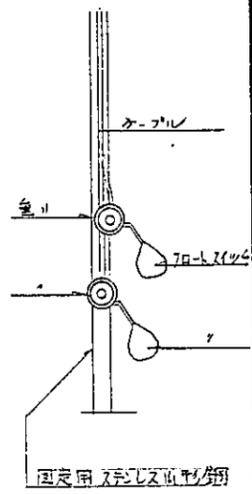


位置図



塔屋屋根平面図 S: 1/100

フロアスイッチ仕様
1. 本体 ABS樹脂製
2. 水銀スイッチ(A接点)内蔵



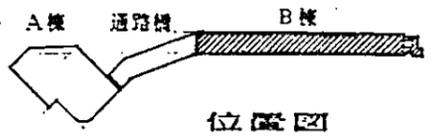
フロアスイッチ取付図 (参考)

①② (771142-724) 電線

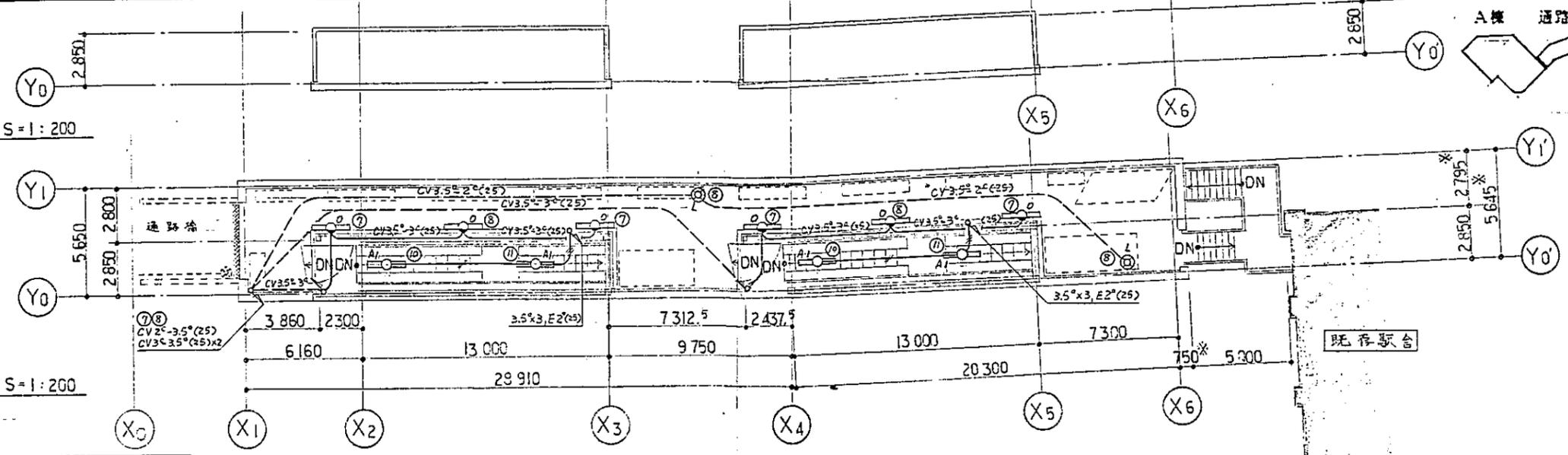
①②	CV 3.5 ^φ -3 ^c
③	CV 2 ^φ -2 ^c
④	CV 2 ^φ -3 ^c (771147-38)
⑤⑥⑦⑧	CV 3.5 ^φ -3 ^c
⑨	CV 3.5 ^φ -2 ^c
⑩	CV 2 ^φ -2 ^c (771147-38)
⑪	CV 3 ^φ -3 ^c (771147-30)

①	3.5 ^φ ×2	2 ^φ ×3	(25)
フロアスイッチ CV 2 ^φ -2 ^c (19)			
②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟	3.5 ^φ ×3		(25)
⑳㉑㉒	3.5 ^φ ×3		(25)
㉓	3.5 ^φ ×2	3 ^φ ×3	(25)
㉔	3.5 ^φ ×2	(19)	B 林誘導灯

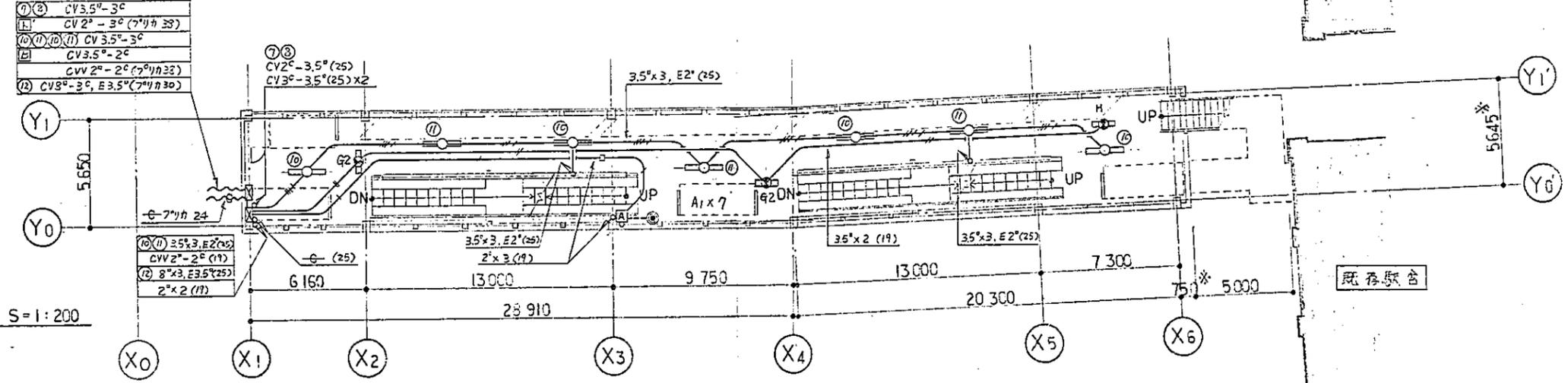
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟電気設備2階R階平面図		
縮尺	1/100	図面番号	77
設計年月日	昭和62年5月19日		
部	課	係	担
長	長	長	当
横浜市道路局			



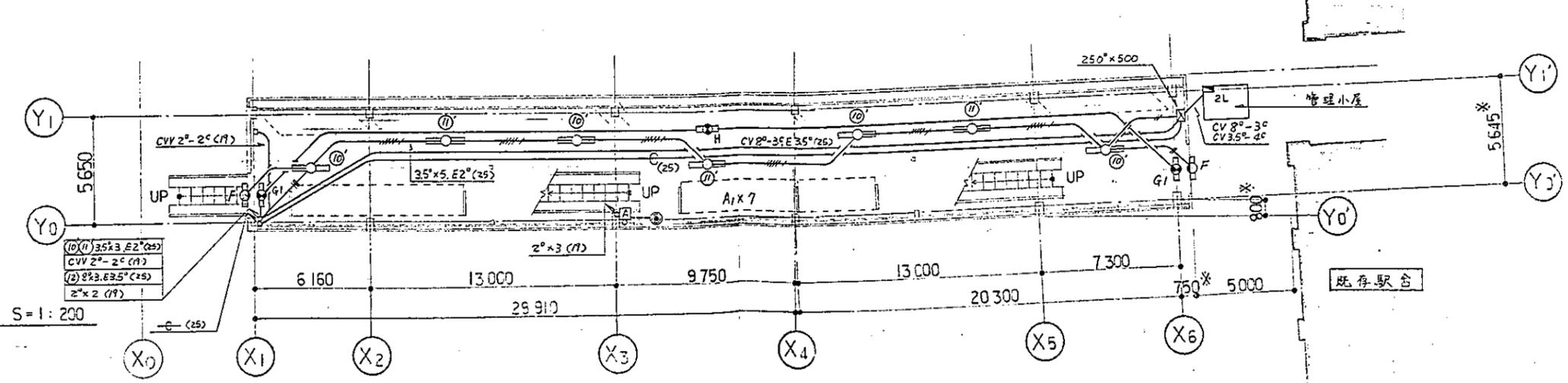
R階平面図 S=1:200



3階平面図 S=1:200



2階平面図 S=1:200



1階平面図 S=1:200



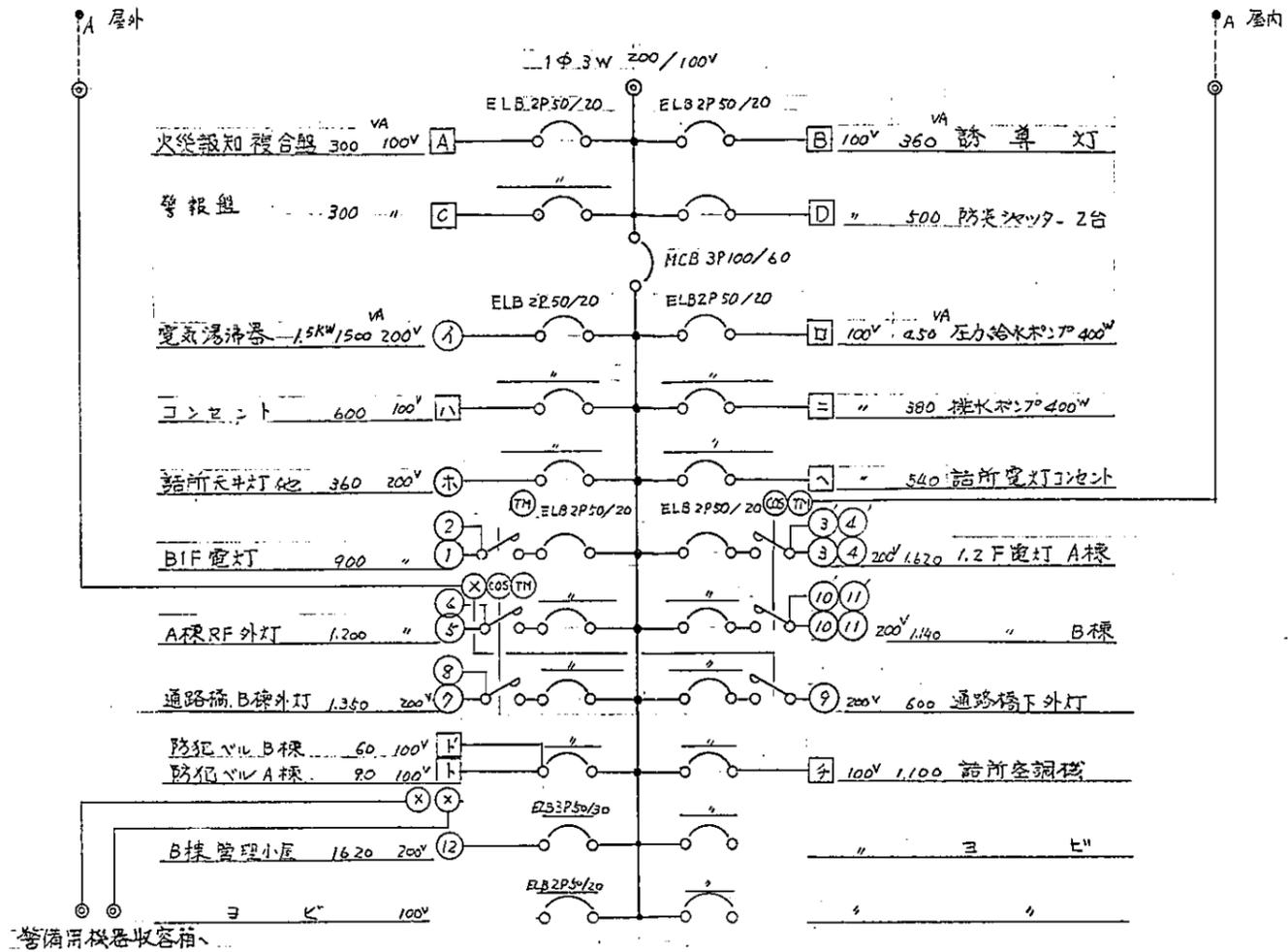
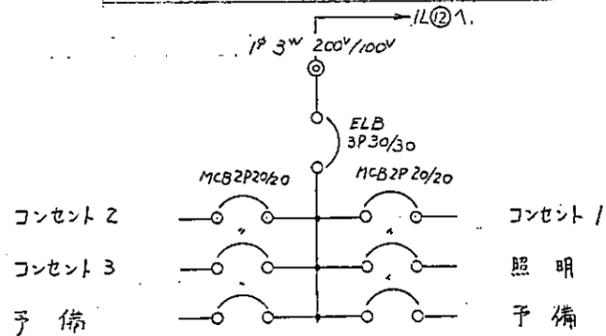
- ① CV3.5"-3"
- ② CV2"-3" (7'11/16)
- ③ CV3.5"-3"
- ④ CV3.5"-2"
- ⑤ CV2"-2" (7'11/16)
- ⑥ CV3"-3", E3.5" (7'11/16)

- ⑦ 3.5"x3, E2" (25)
- ⑧ CVV2"-2" (11)
- ⑨ 8"x3, E3.5" (25)
- ⑩ 2"x2 (11)

- ⑪ 3.5"x3, E2" (25)
- ⑫ CVV2"-2" (11)
- ⑬ 8"x3, E3.5" (25)
- ⑭ 2"x2 (11)

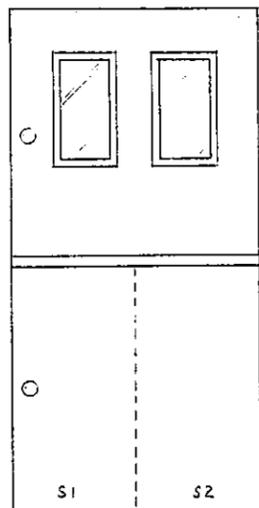
件名	車庫駅自転車駐車場設計		
図面名	各種電気設備平面図(1)		
縮尺	1/200	図面番号	80/
設計年月日	昭和62年5月19日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

- ①-④回路はCOSにより自動、自動の切替可能とし、常時は自動とする
- 上記回路の減速はCDS(警外)と点灯タイマー(TM)(くり返し動作、待電補償付)の時限動作により定刻に消灯させるものとする。但し①②はタイマーのみによる減速とする。
- 又④の回路はCDSのみによる減速としタイマーは使用しない。



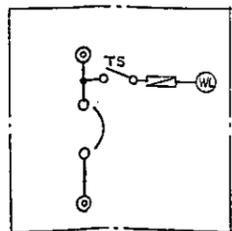
2 L 型掛露出型 (支給品, BQ60306)

1 L 型掛露出型 負荷合計 15.040 KVA



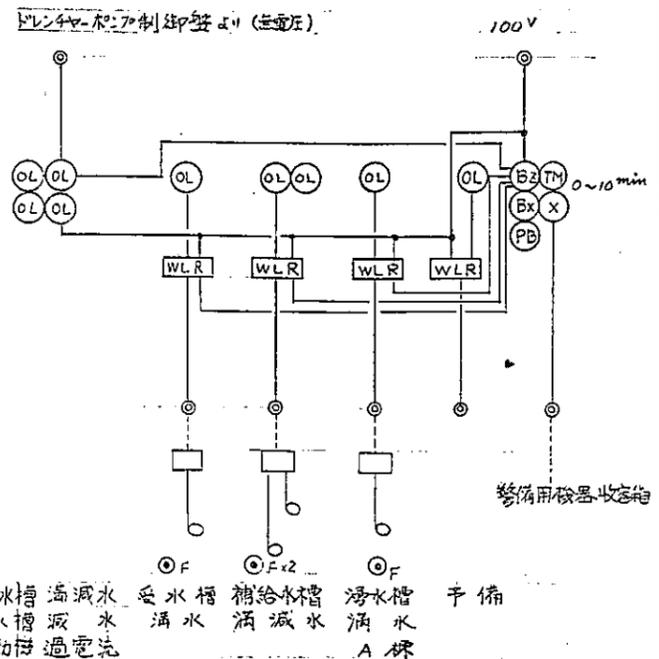
W/M 取付スペース (封絶付キ-ハンドル) 単3 120A x 2個用

引込計器盤 鋼板製、露出型、屋外用

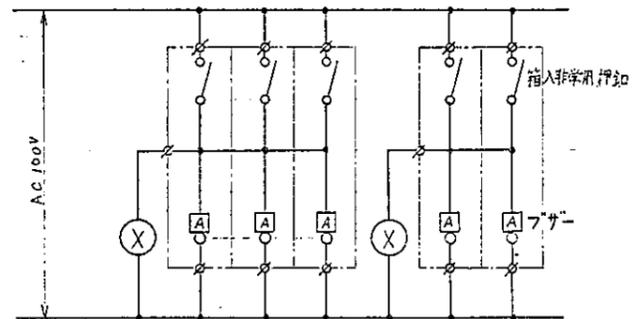


引込開閉器取付スペース (キ-ハンドル)

- S1 MCB 3P100/75 x 1 (VV22²-3C)-般用
- S2 MCB 3P 225/125 x 1 (FP 38²-3C)
- S2は消防法の規制に基づく耐火分断盤仕様とする。



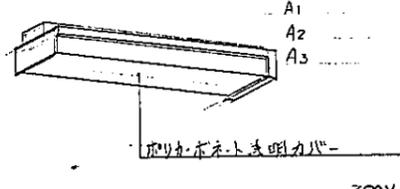
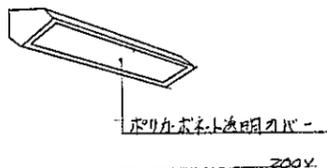
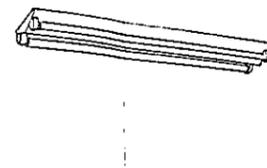
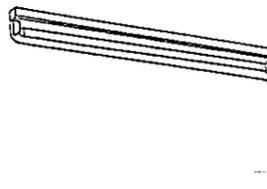
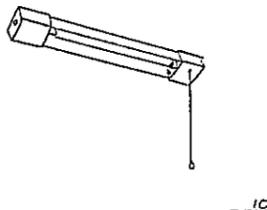
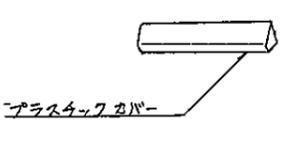
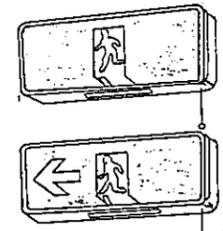
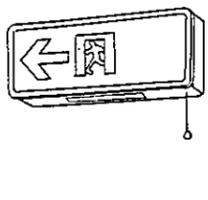
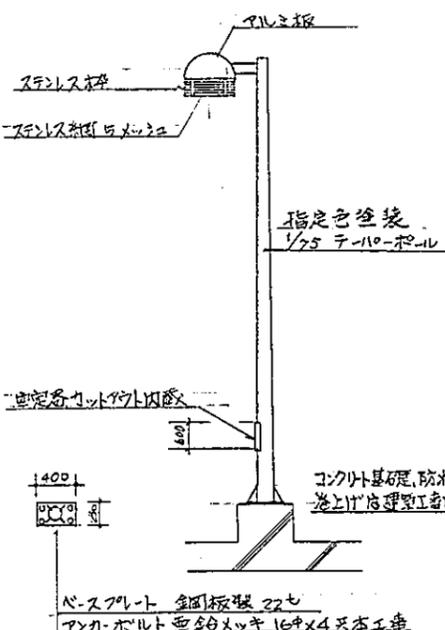
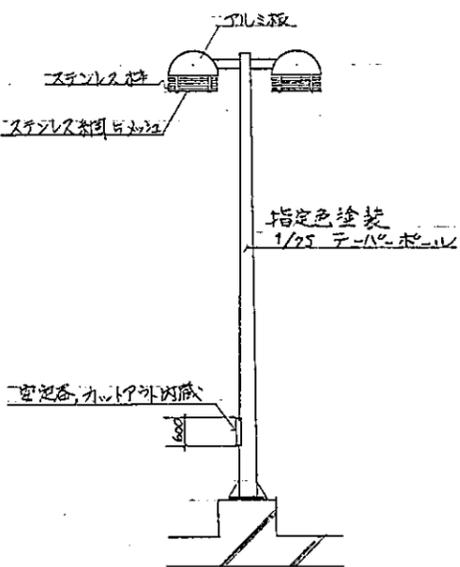
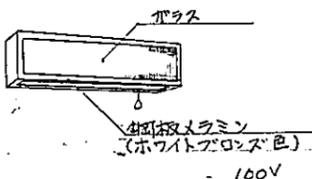
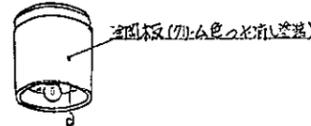
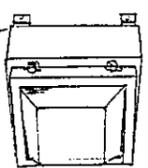
警報盤 壁掛、露出型 8窓 7"サ-はタイマーにより自動停止



A棟 B棟 補助用1Lに組込、警備用に接点支給

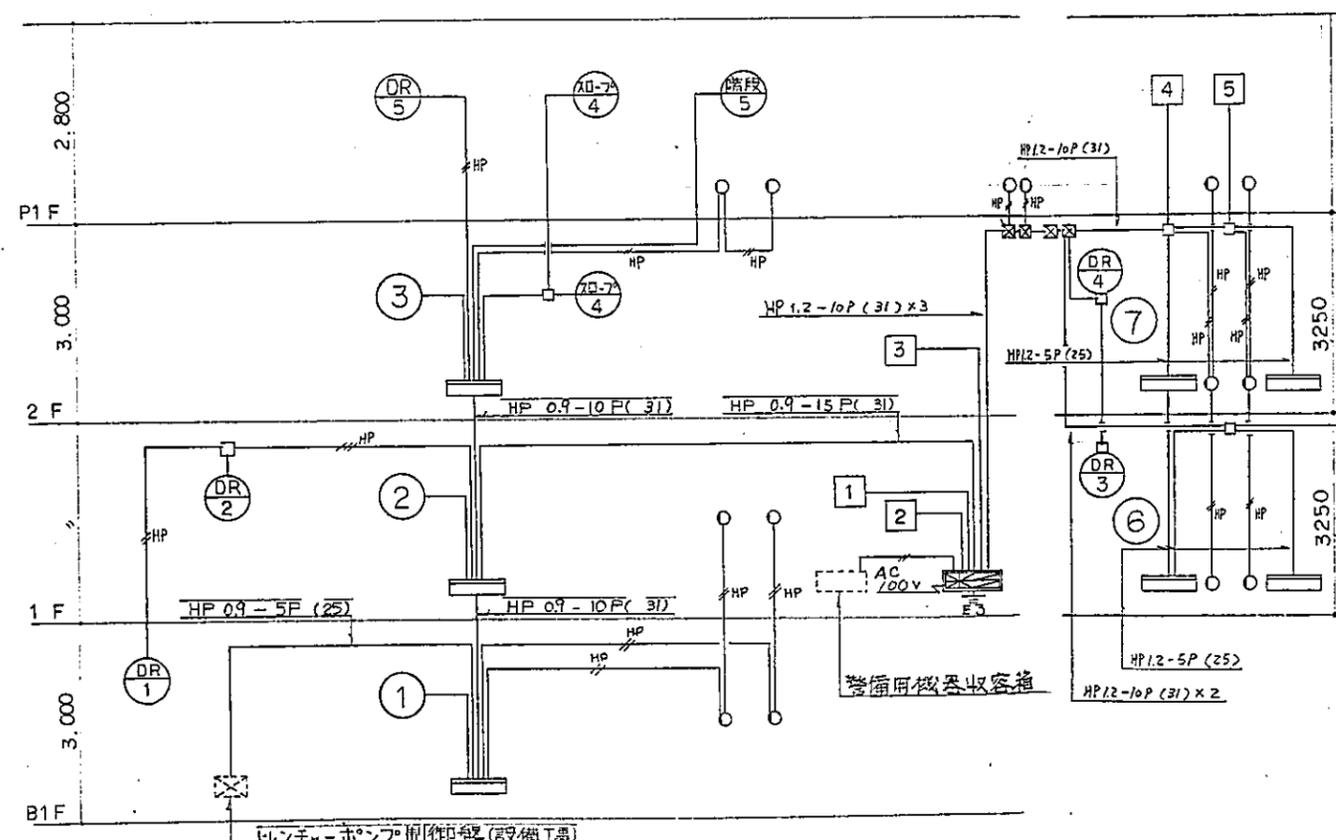
防犯バルコニー回路図

件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	分電盤結線図		
縮尺	図面番号	81/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

A1	防塵カバー付 直付 FL40 ^w ×1	B	防塵カバー付 壁付器具 FL40 ^w ×1	C1	逆富士型 非常照明 FL40 ^w ×2	D	片反射壁付直付 防湿型 FL40 ^w ×1	E	棚下灯 FL20 ^w ×1
A2	" カバー付 FL40 ^w ×1	O	" 防雨型	C2	" FL40 ^w ×2				
A3	" " FL40 ^w ×2		B 4台 D 6台		C1 1台 C2 1台		2台	1台	
									
F	ホルライト FL20 ^w ×1	G1	避難口誘導灯 小型 FL10 ^w ×1	H	室内通路誘導灯 小型 FL10 ^w ×1	L	ホルライト 防虫型 HF100 ^w ×1	M	ホルライト 防虫型 HF100 ^w ×2
	3台	G2	" " 矢印付		両面型 104.79吊 5台		11台 200V 一般高効率電球	3台 200V 一般高効率電球 2灯用	
									
I	階段通路誘導灯 FL40 ^w ×1	J	ガラスグローブ付器具 IL40 ^w ×1	K	非常照明 IL40 ^w ×1				
	1台		1台		1台				
									
N	フネル照明器具直付水銀灯 HF200 ^w ×1								
	安定器内蔵 2台 鋼板製								
									

1	FL40 ^w はラピッドスタート高効率 FL20 ^w は 20-32-1低効率型とする	3	非常照明は非常用電池内蔵型認定品とする C1は 非常時点灯率 25%とする
2	水銀灯安定器は 鋼米型を含め 一般 高効率型とする	4	誘導灯は非常用電池内蔵の認定品とする
		5	支給品と異なる照明器具は型式不明のため書き入れない

件名	奥戸塚駅自転車駐車場設計
図面名	照明器具配置図
縮尺	図面番号 82/
設計年月日	昭和 62 年 5 月 17 日
部長	課長
	係長
	担当
横浜市道路局	



設備幹線系統図

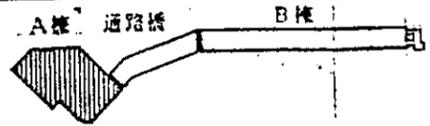
凡例

記号	名称	記号	事
☐	複合盤	火災受信機 P型1級	15回線(主音響内蔵)
☐	訓受信機	運動操作盤	5回線
⊙	発信機	20L	
⊙	発信機	P型1級	
⊙	電鈴	DC24V φ150MM	
○	表示灯	AC30V 2.0W	
⊙	煙式感知器	光電式スポット型	2種
⊙	"	"	3種
⊙	熱式感知器	差動式スポット型	2種
—	配管配線	天井いんべい	
—	配管配線	立上り引下げ	
☒	ドレンチャー-消火設備アラーム弁	設備工事	
☐	機器収容箱	⊙ ⊙ ⊙ 収容	
⊂	終端抵抗	20KΩ	
⊙	自動閉鎖装置	防火シャッター閉鎖用(建築工事)	DC24V
⊙	電子ブザー	シャッター降下時警報用	DC24V
⊙	制御回路番号	防火扉、シャッター用 NO.1	
—	警戒区域境界線		
⊙	警戒区域番号	No.1	7

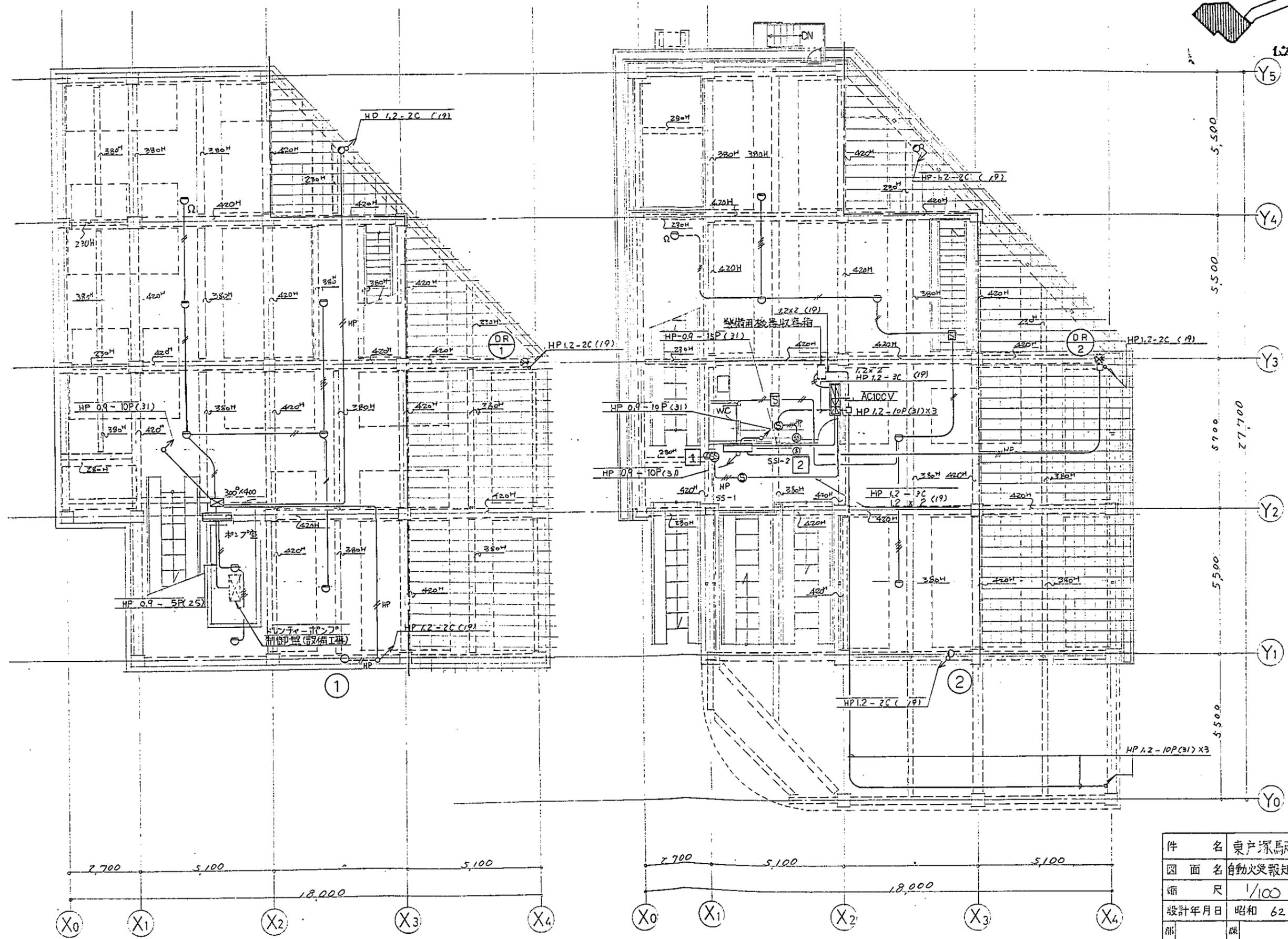
特記

- 1) 火災受信機には、ドレンチャー-放出 5L、ドレンチャー-ポンプ始動 1L 計 6L を含むものとする。
 - 2) 地区ベルはドレンチャー-放出警報専用とする。
 - 3) 火災受信機は発報時に警備用移設装置により警備用機器に信号を送るものとする。
- 3) 特記なき配管配線は下記の通り。
- | | |
|-----|-----------------|
| — | IV 1.2 x 2 (1P) |
| — | IV 1.2 x 4 (2) |
| —HP | HP 1.2 - 2C (2) |
| —HP | HP 1.2 - 3C (2) |

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	自動火災報知設備系統図 凡例		
縮尺		図面番号	83/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



位置図

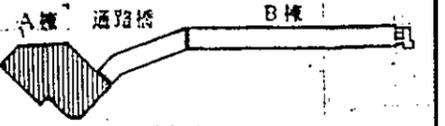


地階平面図 S=1:100

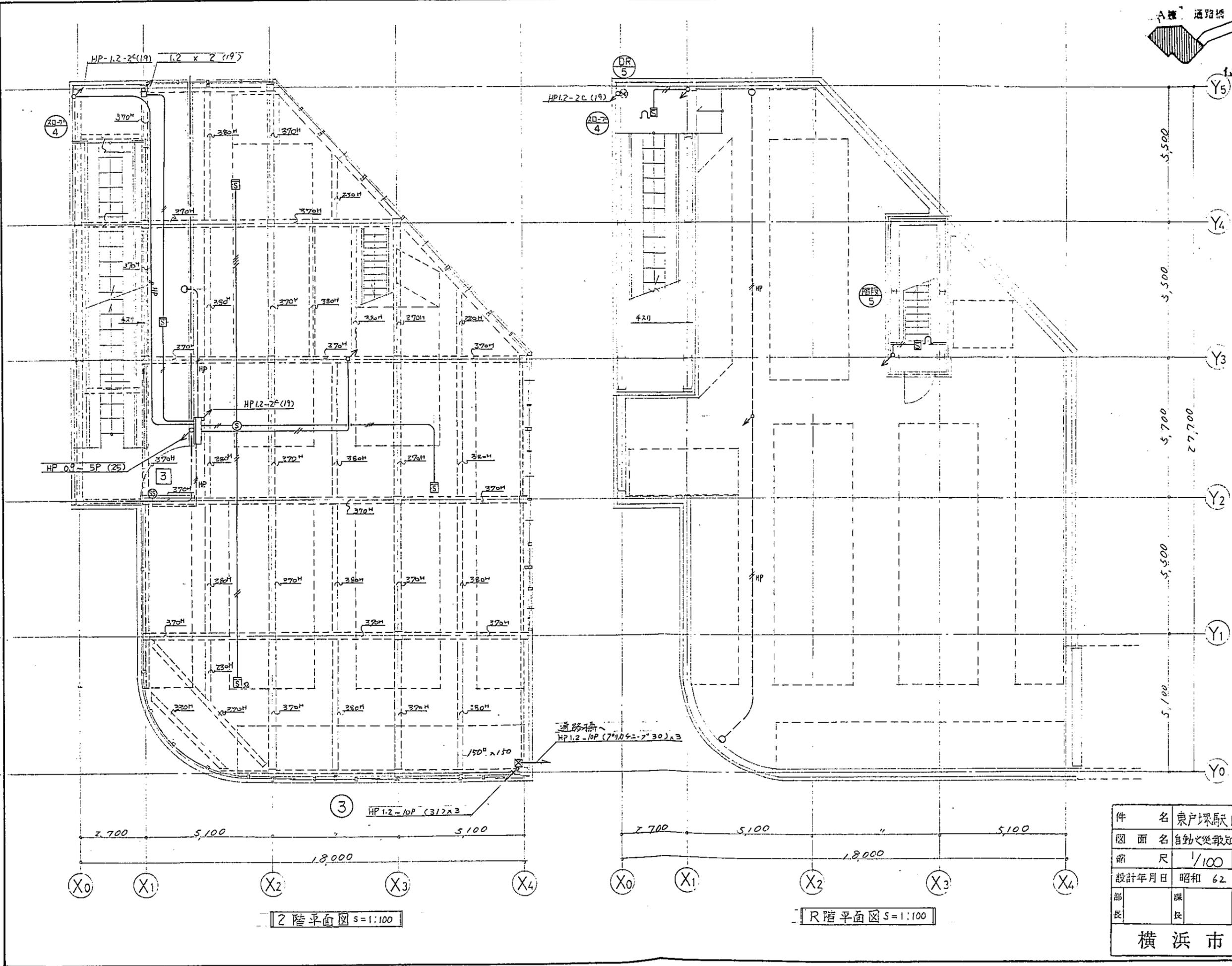
1階平面図 S=1:100

<注記> 本図中下図は
外気自然流通口等
を示す。

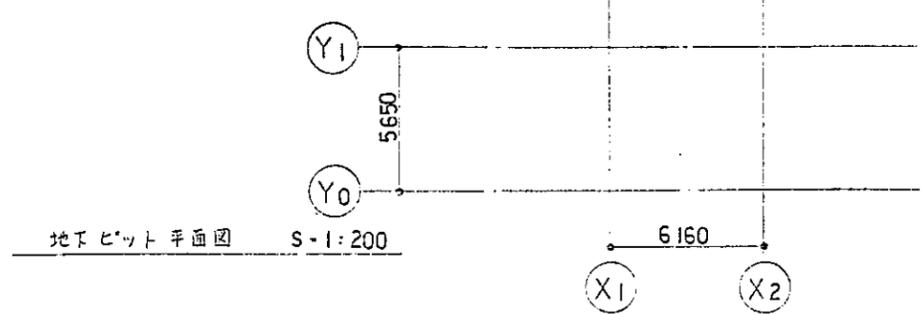
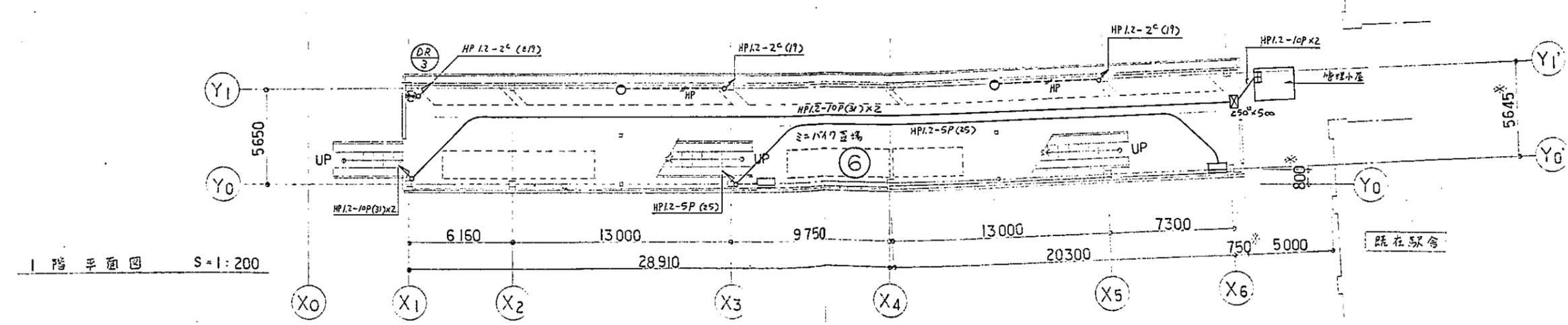
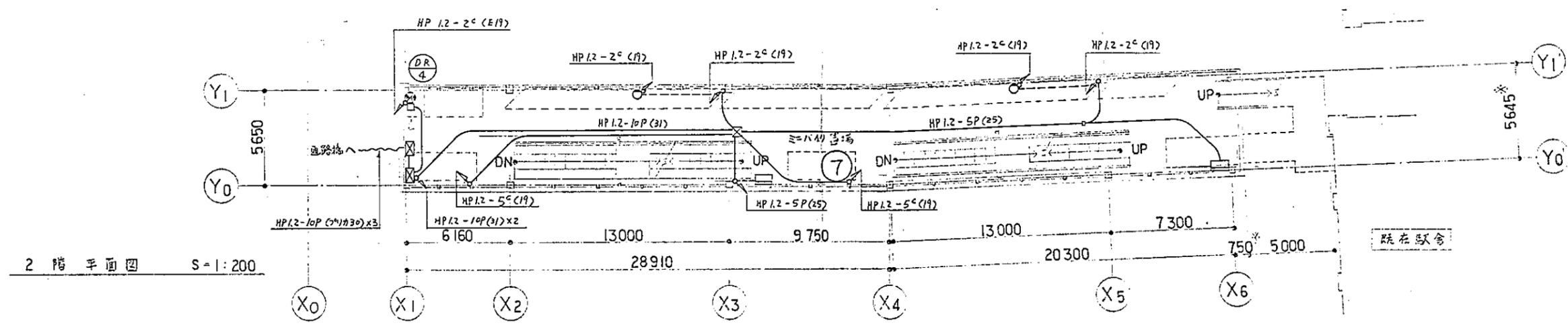
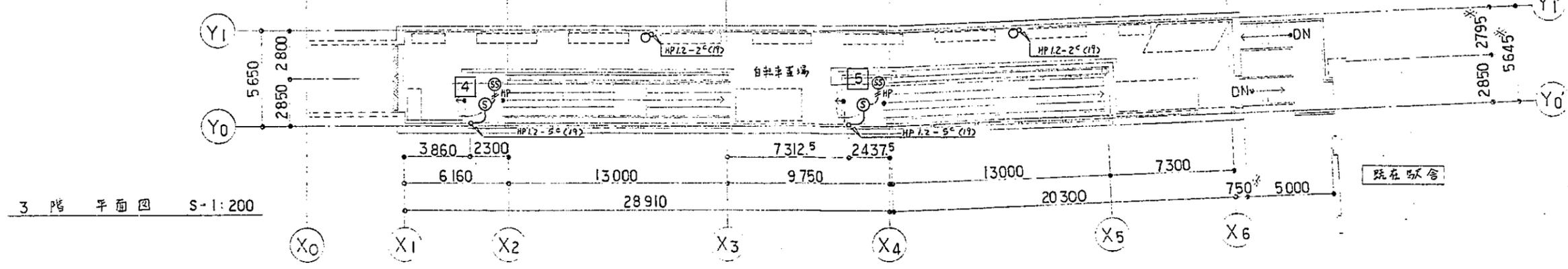
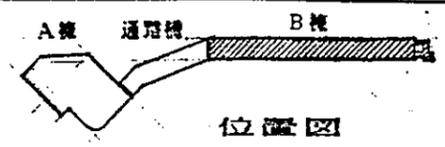
件名	東戸塚駅自営車庫設計		
図面名	自動火災報知設備地階1階平面図		
縮尺	1/100	図面番号	84
設計年月日	昭和 62 年 3 月	日	
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



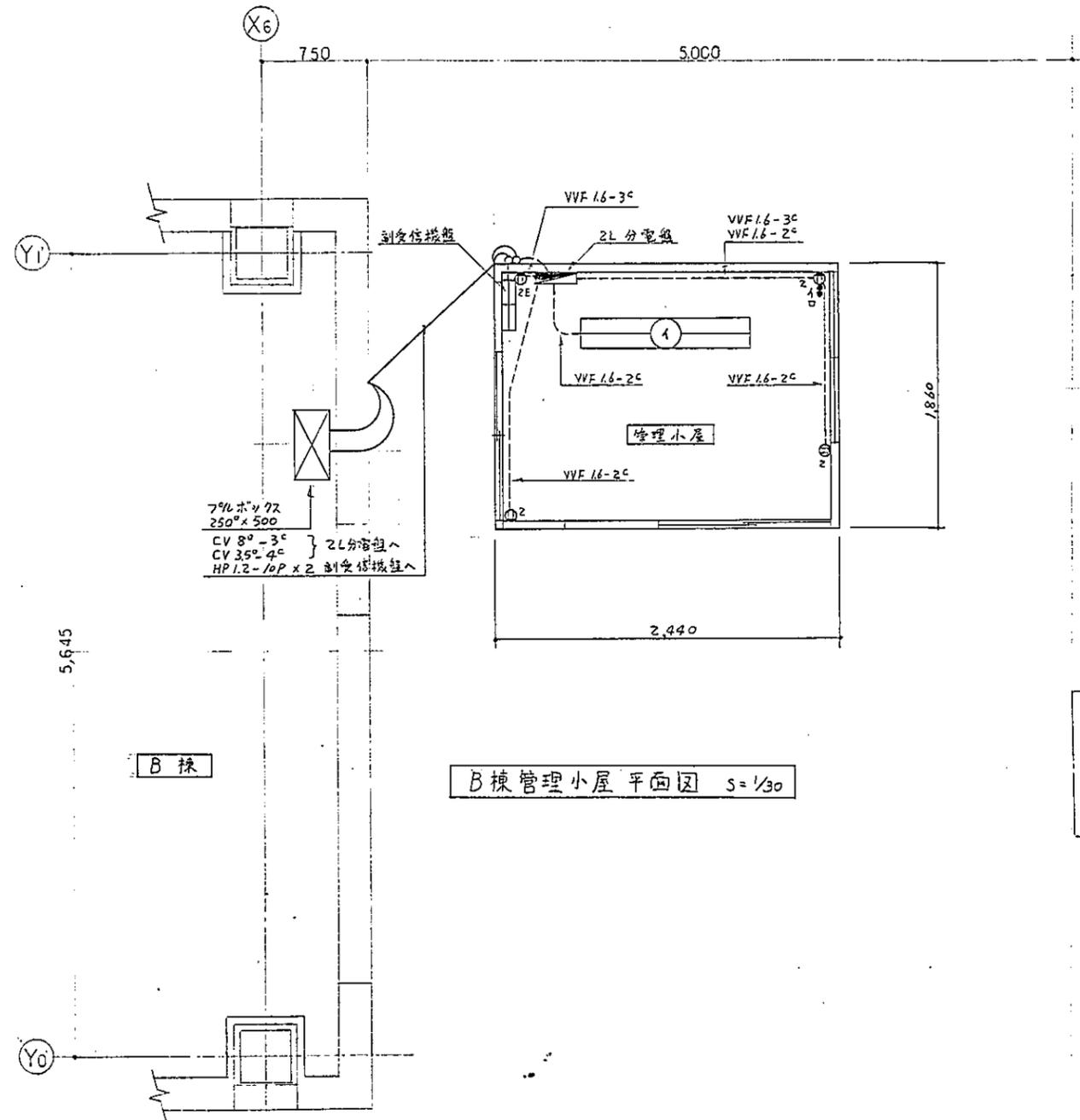
位置図



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	自動火災報知設備2.R階平面図		
縮尺	1/100	図面番号	35/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 電気設備平面図(2)		
縮尺	1/200	図面番号	867
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



B棟管理小屋 平面図 S=1/30

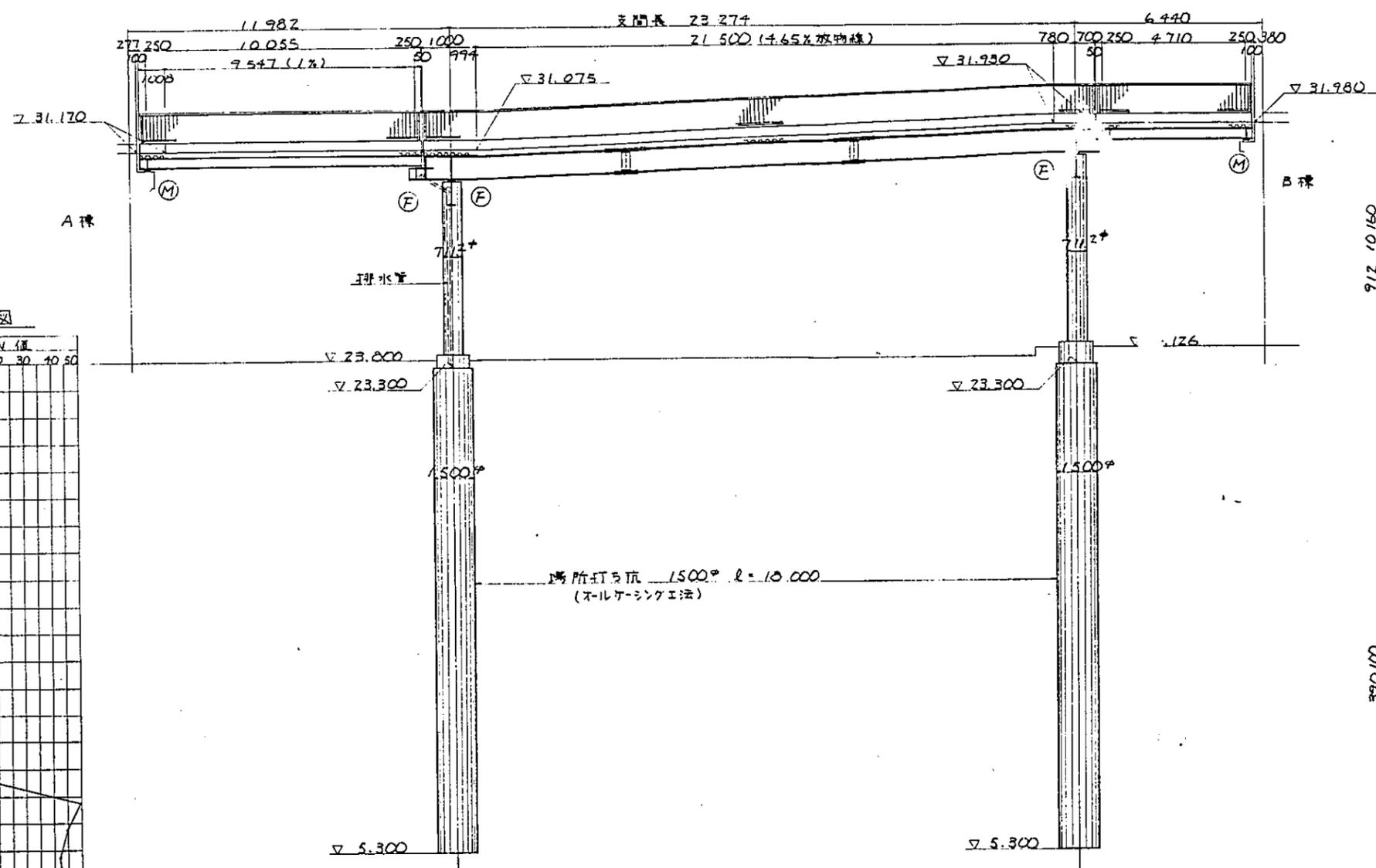
(駁舎)

支給品リスト

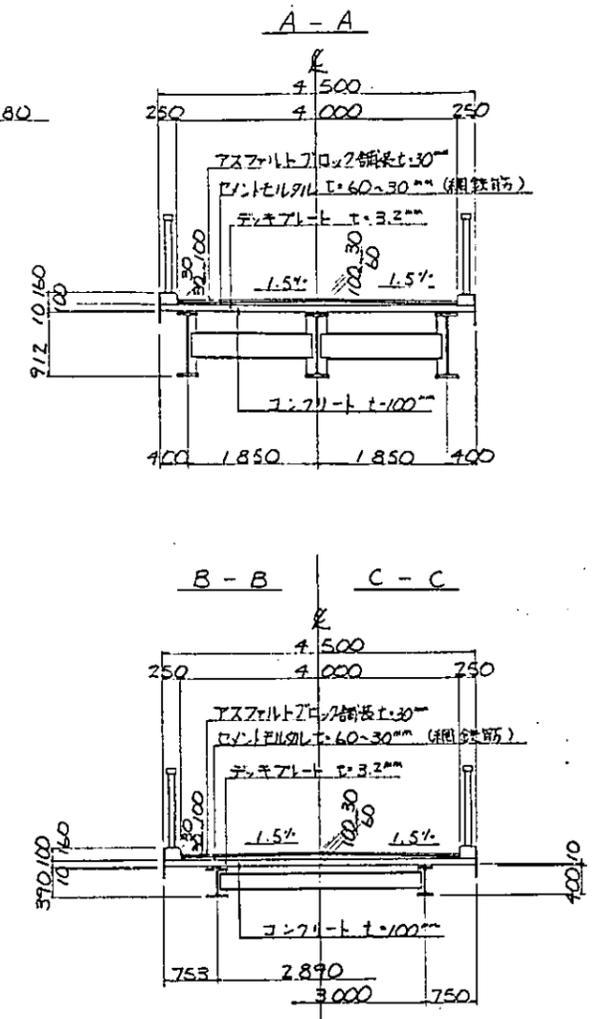
品名	形状寸法	数量	備考
照明器具	FL40x2	1台	ランブネ
分電盤	BQ60306	1面	

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟管理小屋平面図		
縮尺	1/30	図面番号	86-2/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

側面図 S=1/100 一般図



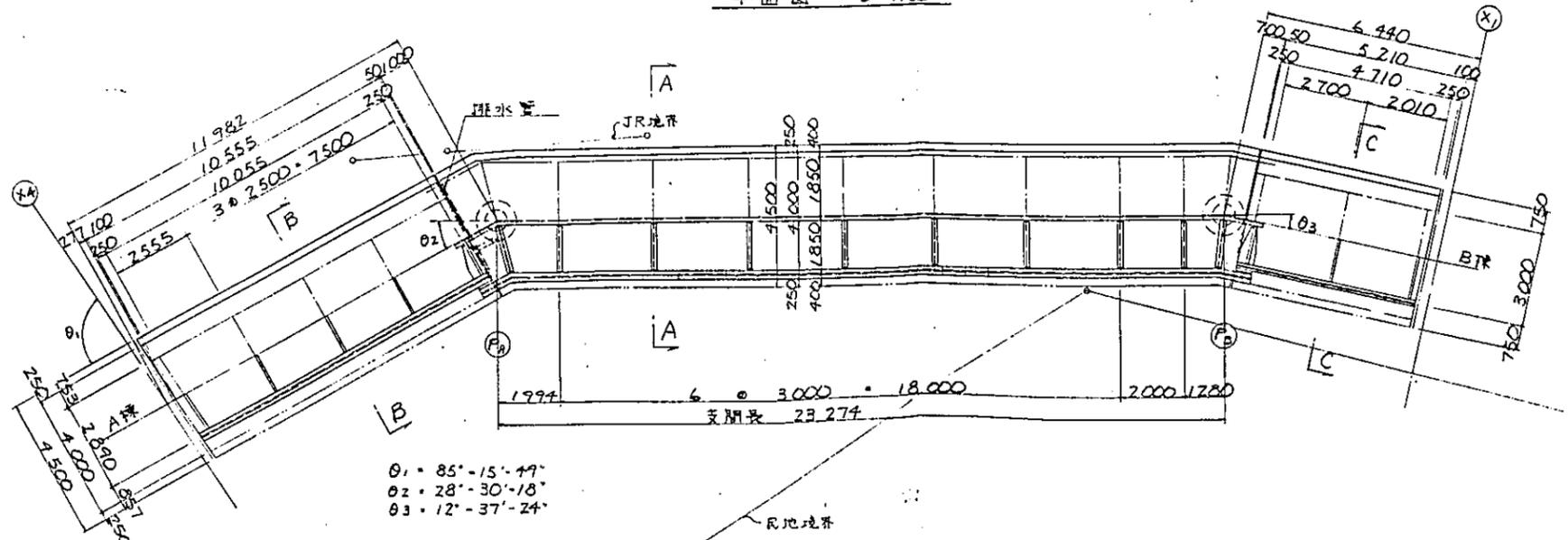
断面図 S=1/50



ボーリング柱状図

深度 (m)	土質	N値
0	埋土	10
1	粘土	20
2	粘土	30
3	粘土	40
4	粘土	50
5	上層硬質土	
6	深層硬質土	
7	硬質シルト	
8	中砂	
9	硬質シルト	
10	硬質シルト	
11	硬質シルト	
12	硬質シルト	
13	硬質シルト	
14	硬質シルト	
15	硬質シルト	
16	砂礫	
17	砂礫	
18	土丹	

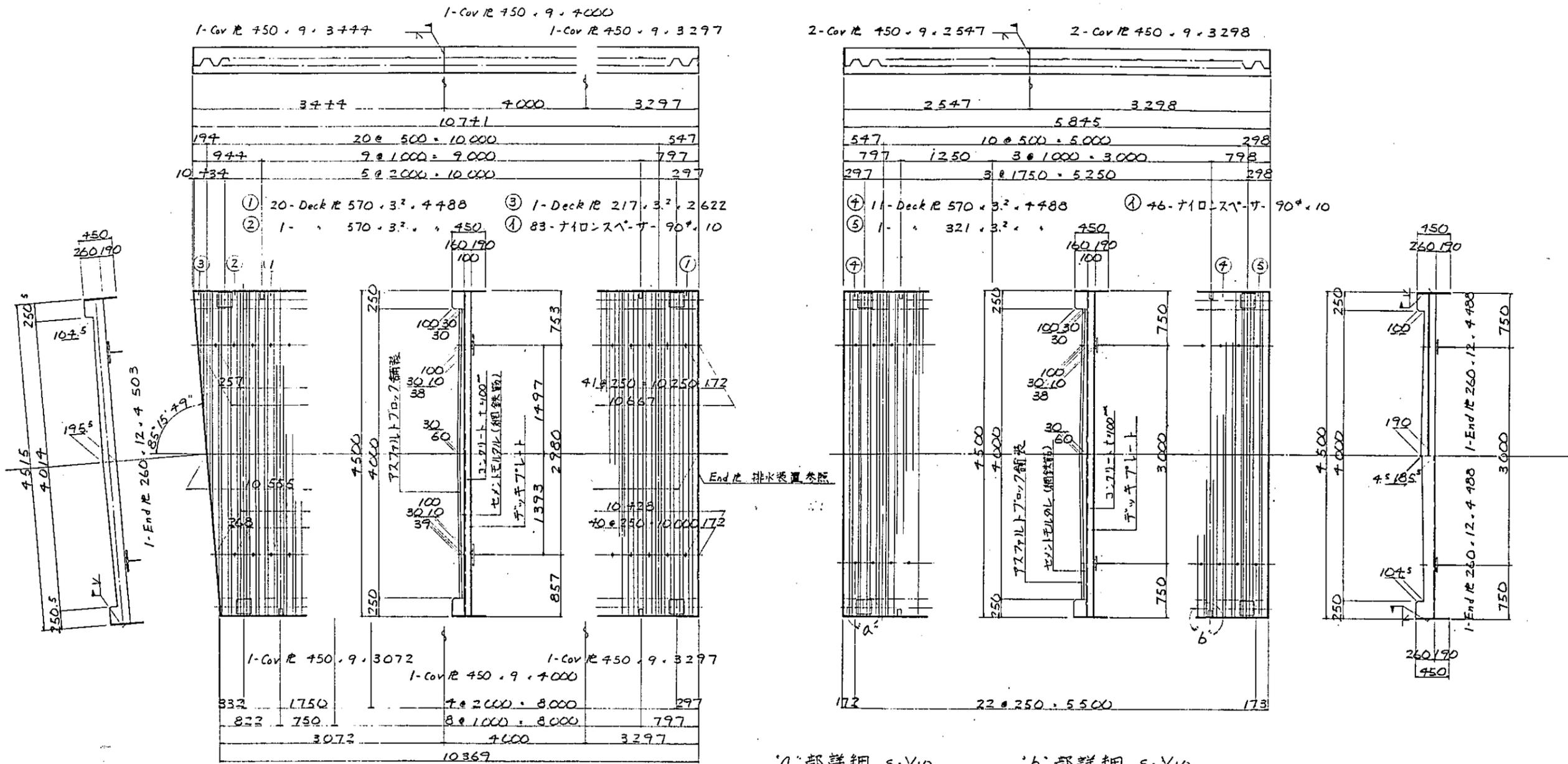
平面図 S=1/100



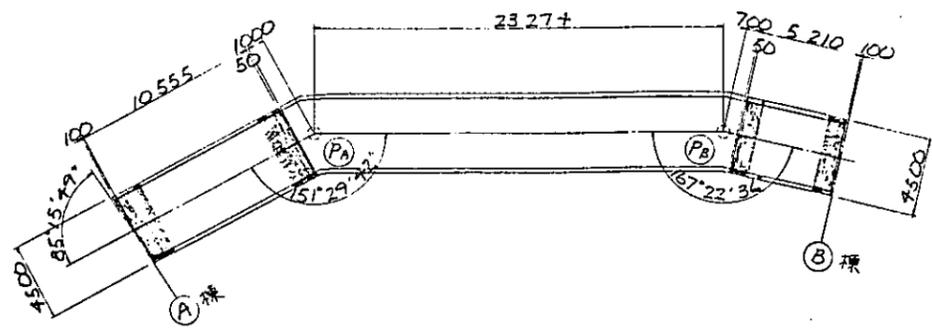
θ₁ = 85° - 15' - 19"
 θ₂ = 28° - 30' - 18"
 θ₃ = 12° - 37' - 24"

件名	横浜城根川河口付近の橋梁工事		
図面名	一般図		
縮尺	1/100	図面番号	87/
設計年月日	昭和	年	月 日
図	調	検	監
尺	美	査	査
横浜市道路局			

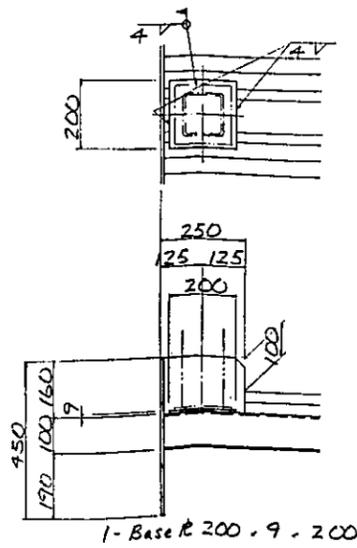
床版 (その1) S-Y30



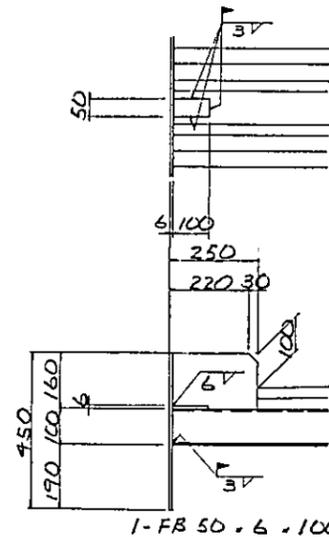
配置図



'a'部詳細 S-Y10



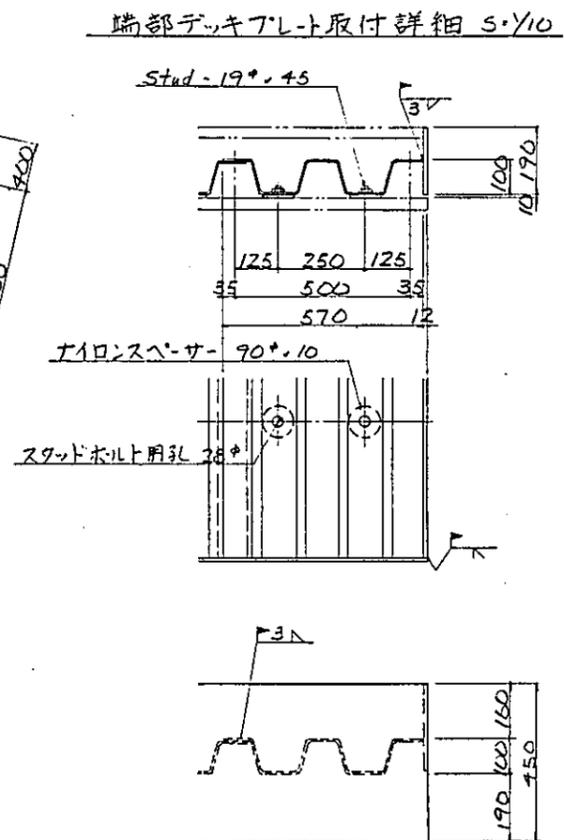
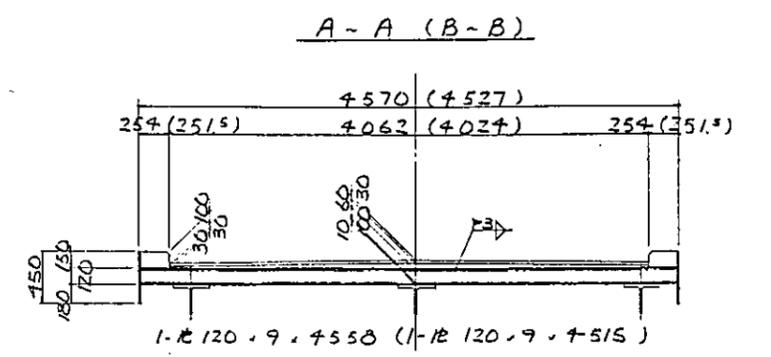
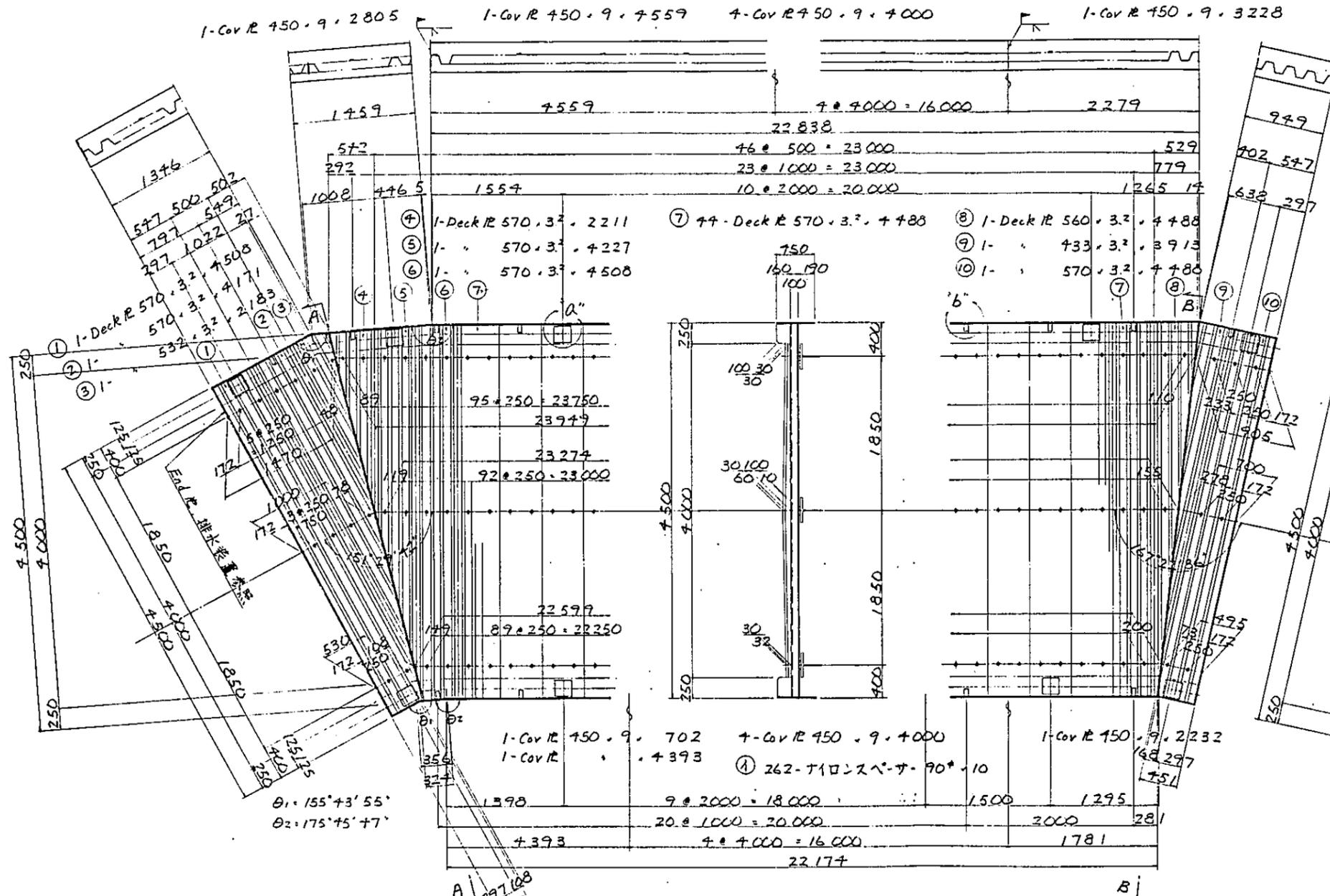
'b'部詳細 S-Y10



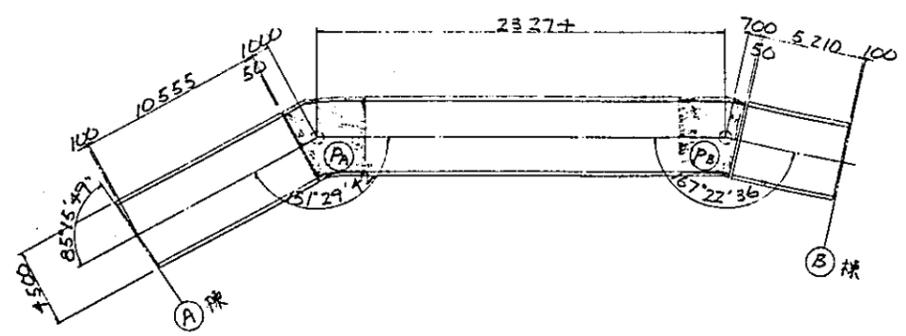
- 注)
 1 特記なき打数は全てSS+1とする
 2 本図に表示なき詳細は(その2)参照のこと

件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事		
図面名	床版(その1)		
縮尺	1/30	図面番号	88-1/
設計年月日	昭和	年	月 日
設計者	氏名	氏名	氏名
監理者	氏名	氏名	氏名
横浜市道路局			

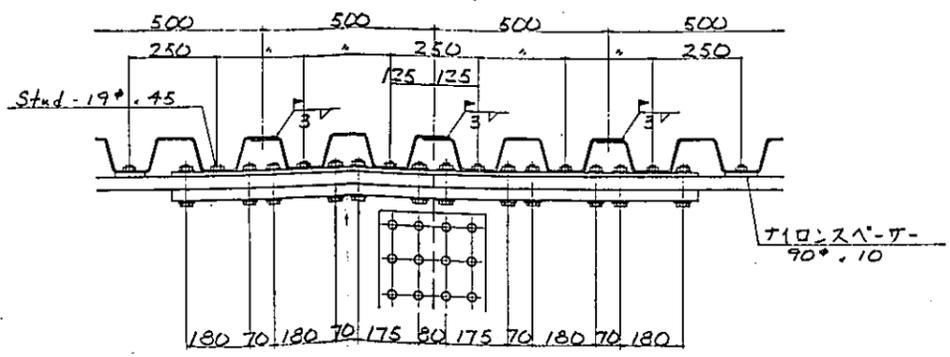
床版 (その2) S・Y30



配置図



デッキプレート取付詳細 S・Y10 (主材添接部)

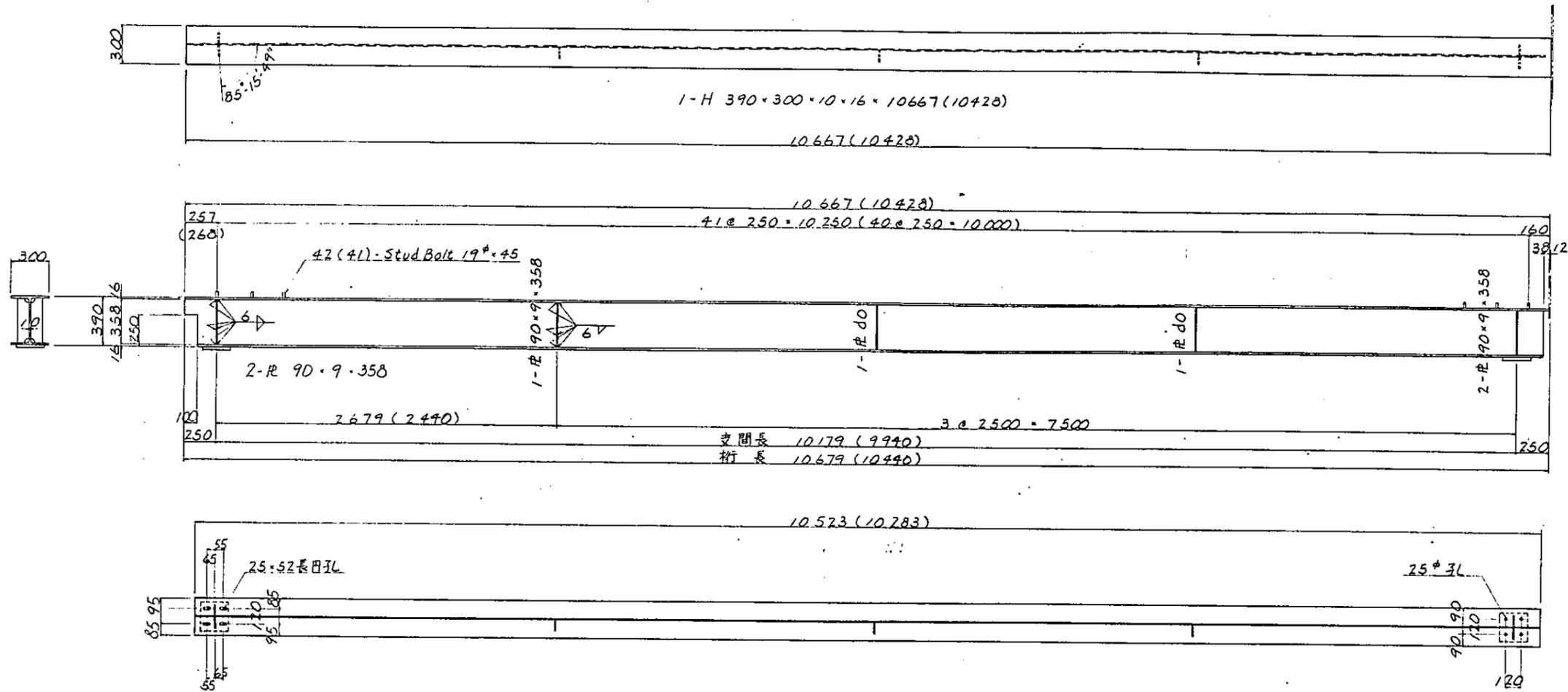


注)
 1. 特記なき材質はSS41とする。
 2. 本図に表示なき詳細は(その1)参照のこと。

件名	東戸塚駅東口自転車駐車場改修工事		
図面名	床版(その2)		
縮尺	1/30	図面番号	88-2/
設計年月日	昭和	年	月
配	長	課	係
横浜市道路局			

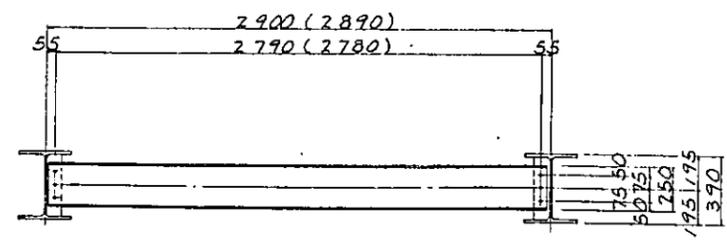
主桁(その1) S=1/20

(㊦)(㊧)



横桁 S=1/20

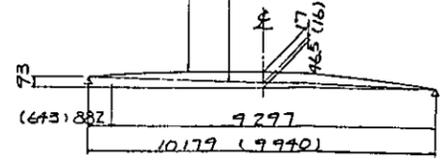
FB-1(FB-2)



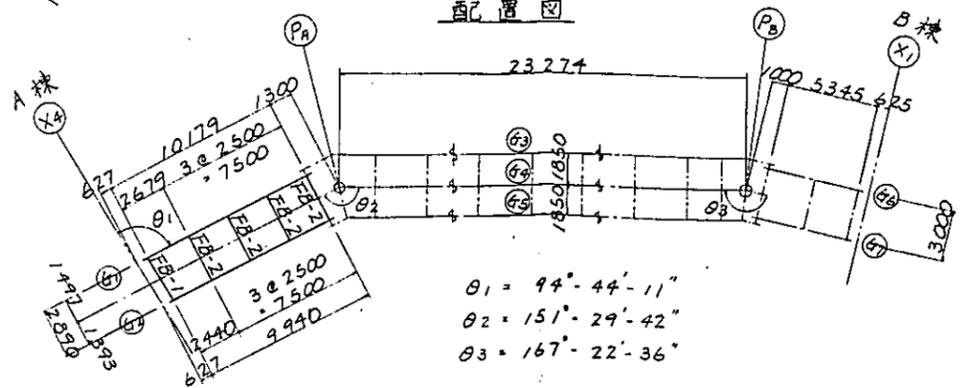
1-E 250.90.9.13.2870(2860)
6-H.T.B M22.60(F10T)

キャンバー図

製作キャンバー
完成時



配置図

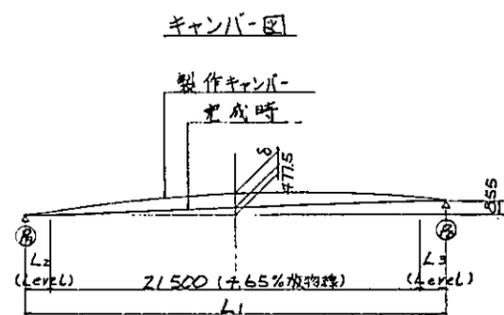
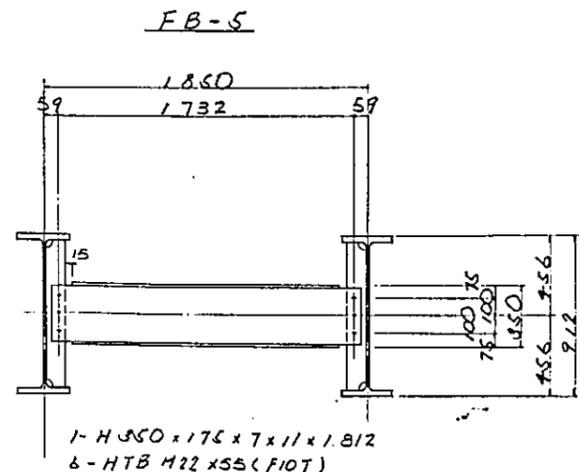
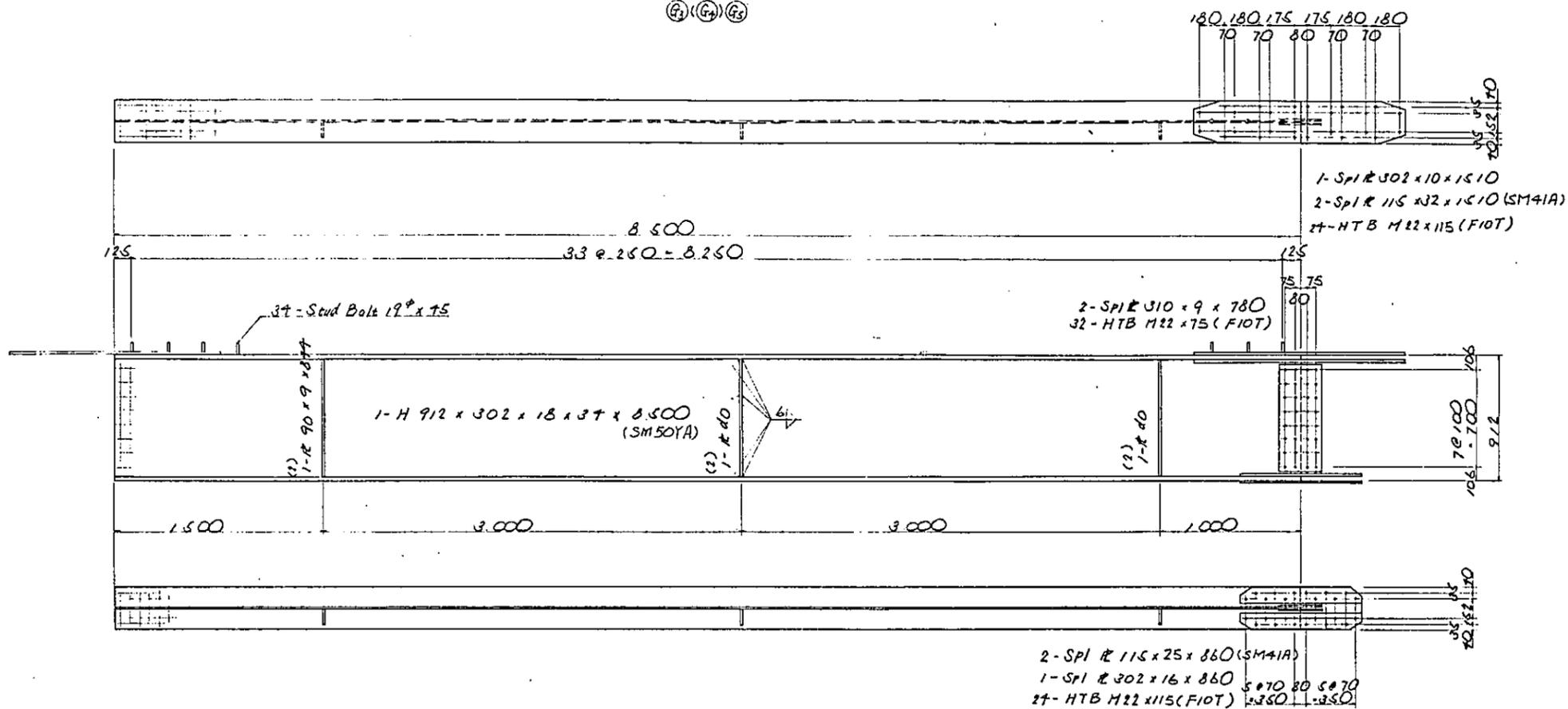


- 注)
1. 特記なき材質は全てSS+とする。
 2. ()内寸法は㊦寸法を示す。

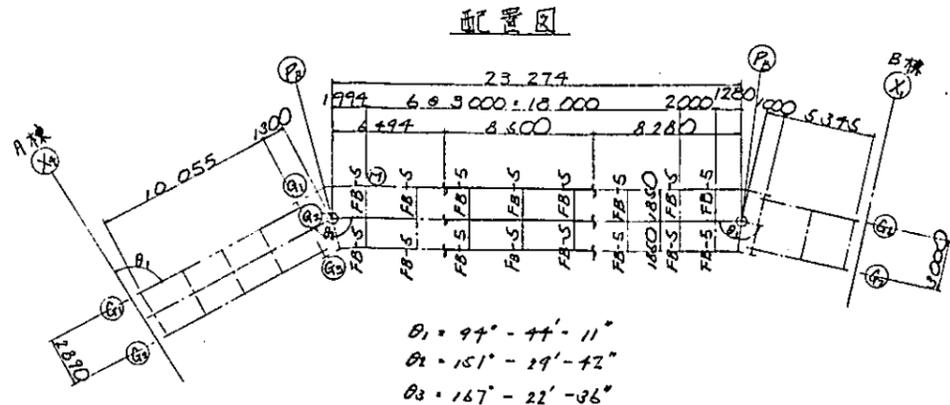
件名	東中環状線延伸工事
図面名	主桁(その1)
縮尺	1/20 縮尺表参照
設計年月日	昭和 年 月 日
製図	氏
検査	氏
承認	氏
横浜市道路局	

主桁(その3) S. 1/20

(G3)(G4)(G5)



	L1	L2	L3	δ
G3	23,999	1,464	985	41
G4	23,274	994	780	41
G5	22,599	524	575	32



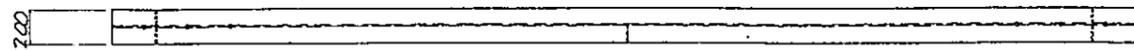
θ1 = 97° - 44' - 11"
 θ2 = 151° - 29' - 42"
 θ3 = 167° - 22' - 36"

- 注)
1. 特記なき材質は全てSS材とする。
 2. ()内の黄色スフィターの数は()内に示す。

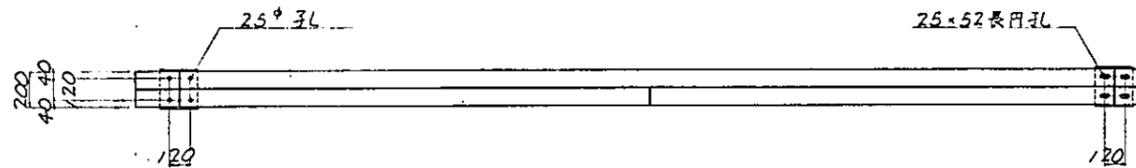
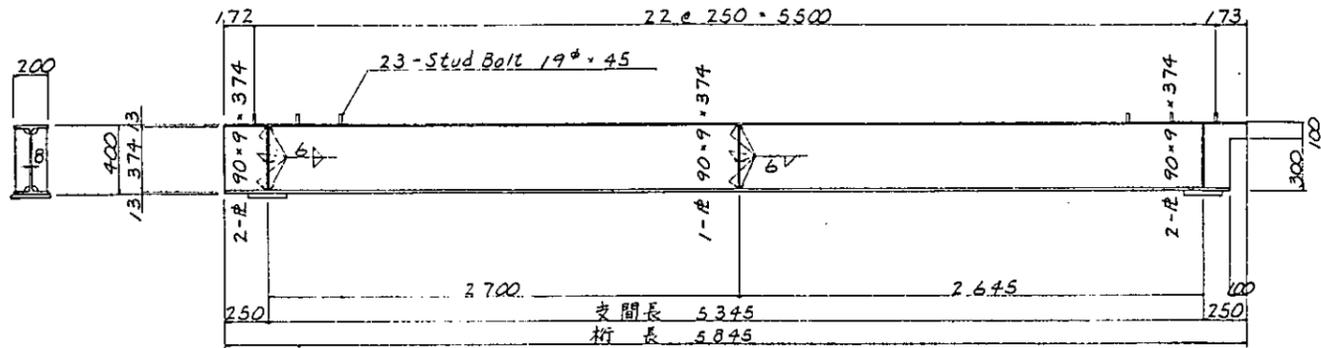
件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事		
図面名	主桁(その3)		
縮尺	1/20	図面番号	87-3/
設計年月日	昭和	年	月 日
図	製	検	認
英	英	英	英
横浜市道路局			

主桁(その5) $s = 1/20$

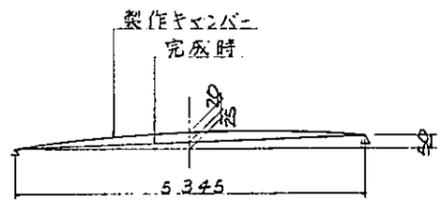
(66) (67)



1-H 400 × 200 × 8 × 13 × 5845

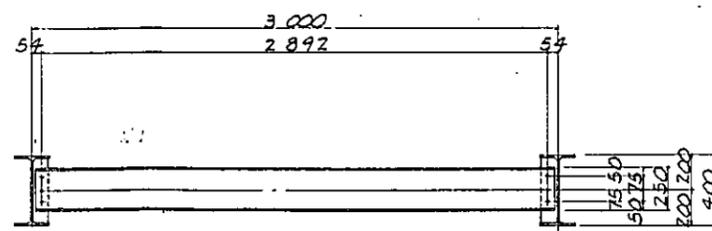


ギンバー図



横桁 $s = 1/20$

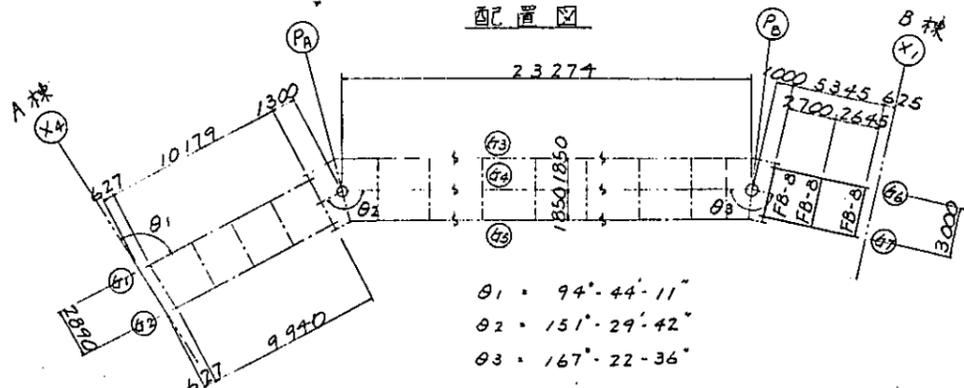
FB-8



1-E 250 × 90 × 9 × 13 × 2972
6-H.T.B M22 × 60 (F10T)

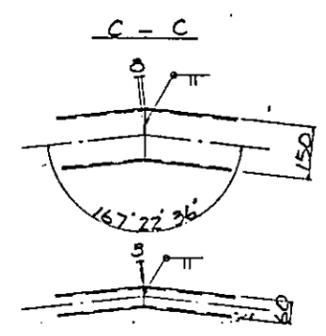
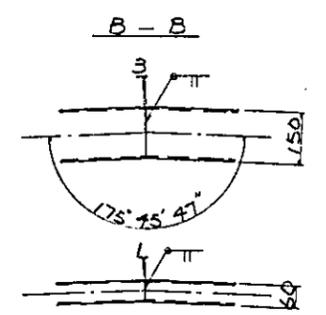
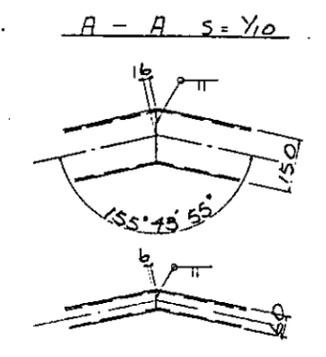
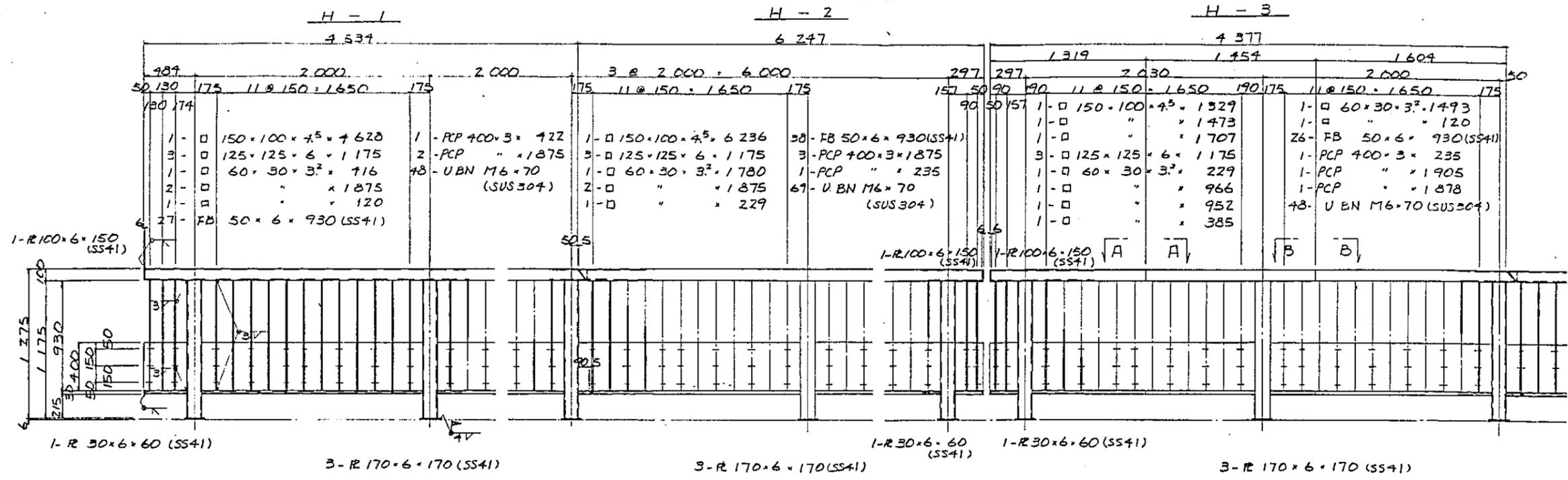
注) 1. 特記なき材質は全てSS41とする。

配置図

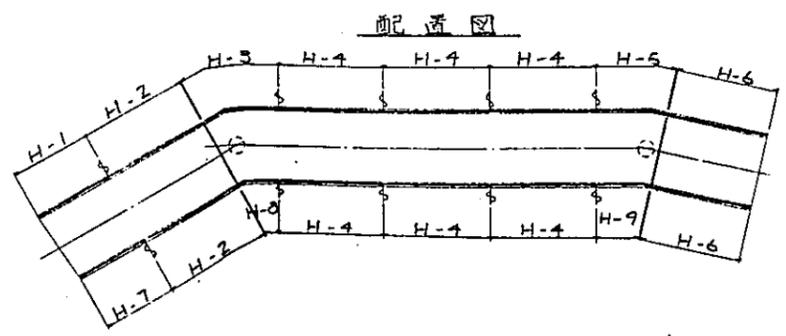
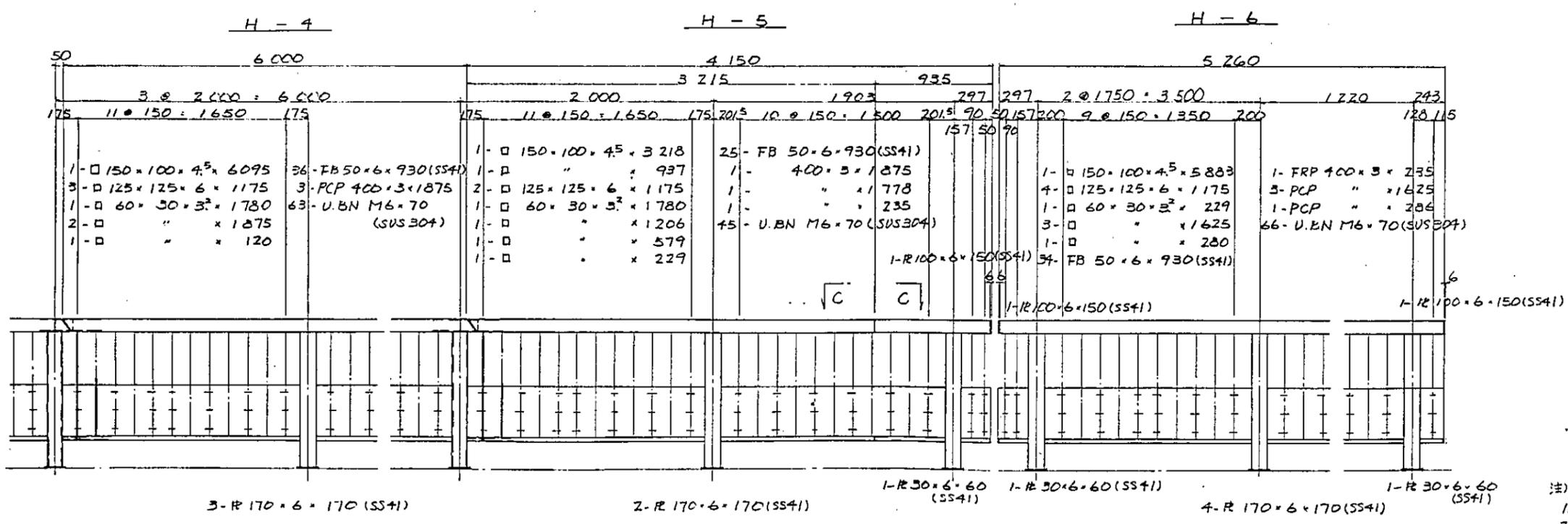


件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事		
図面名	主桁(その5)		
縮尺	1/20	図面番号	197-S/
設計年月日	昭和	年	月 日
出	図	係	相
長	表	長	当
横浜市道路局			

高欄 (その1) s=1/20

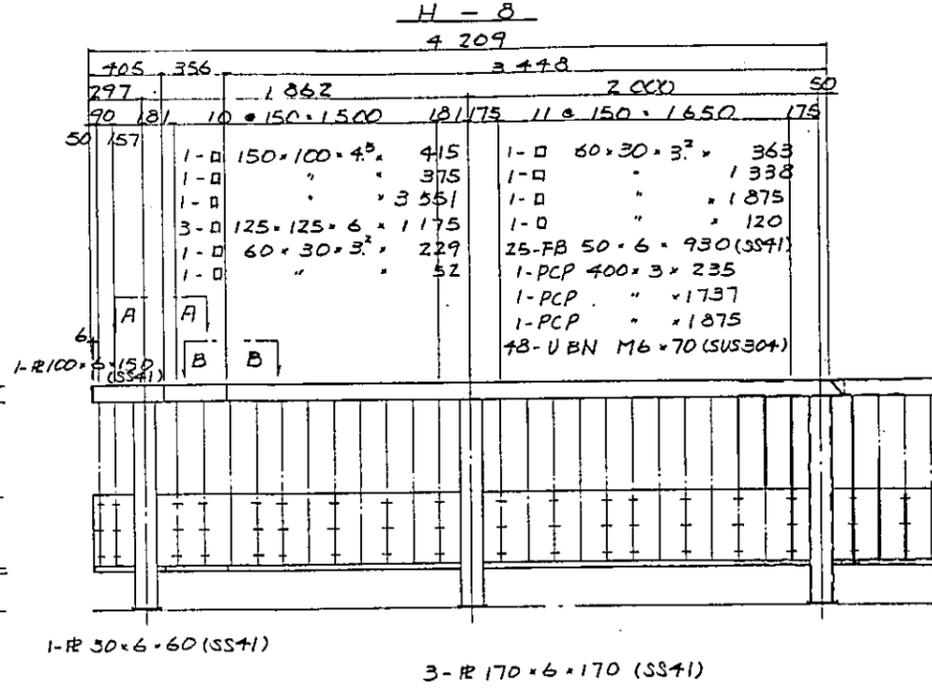
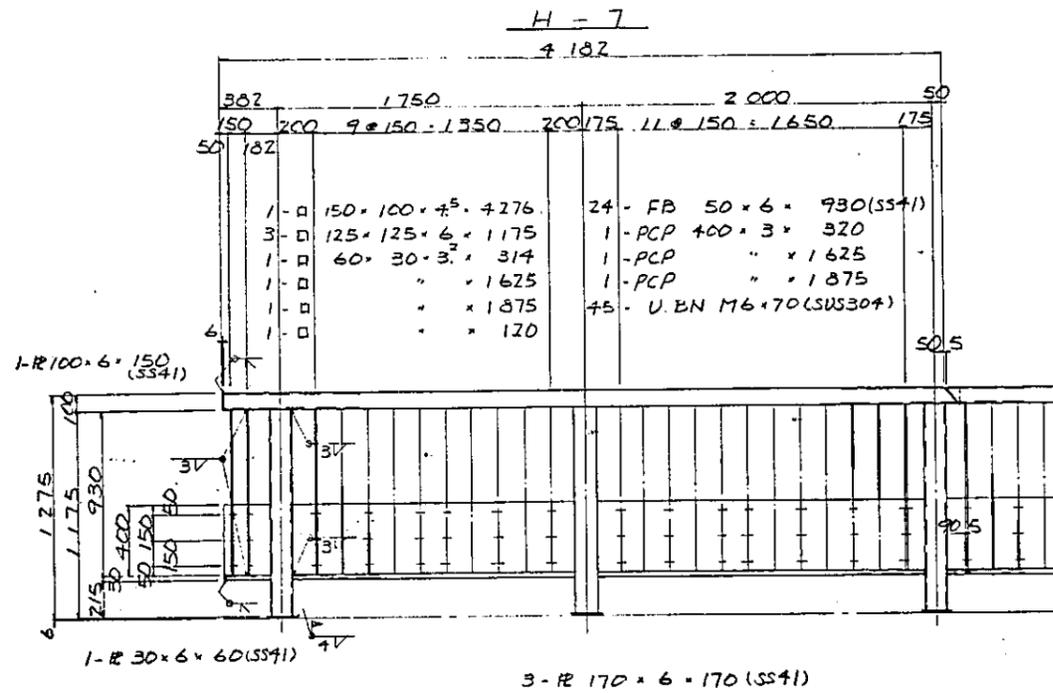


注)
 1. 特記なき材質は全て STKR41とする。
 2. 本図に示する詳細は(その2)参照のこと。

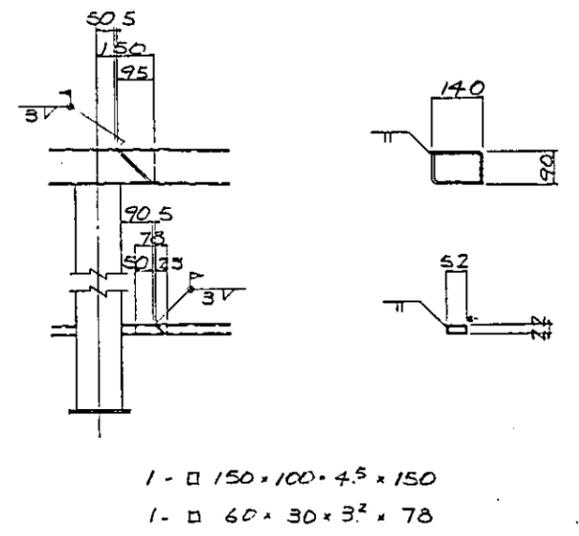


作名	東戸塚駅東口自転車駐留場整備工事
図面名	高欄 (その1)
縮尺	1/20 図面番号 90-1
設計年月日	昭和 年 月 日
図	氏
検	氏
監	氏
横	氏
横浜市道路局	

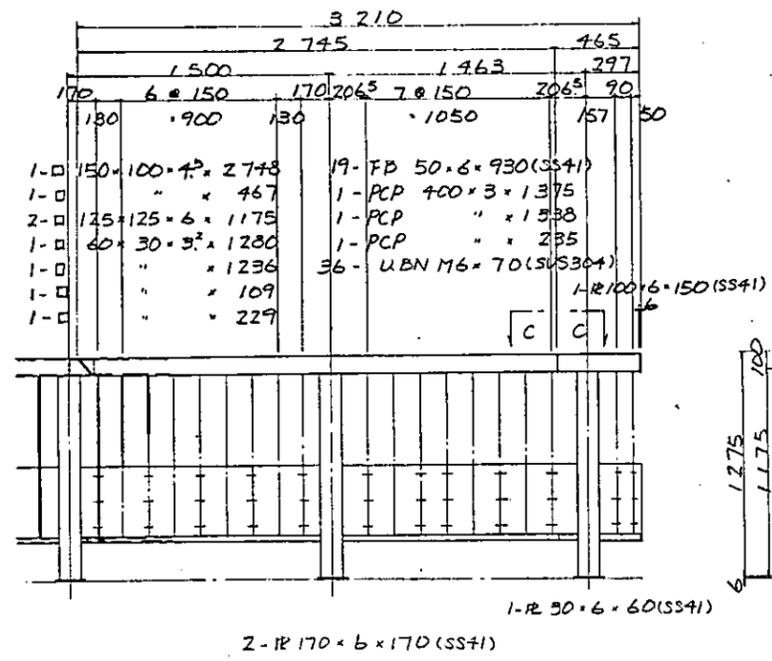
高欄 (その2) S: 1/20



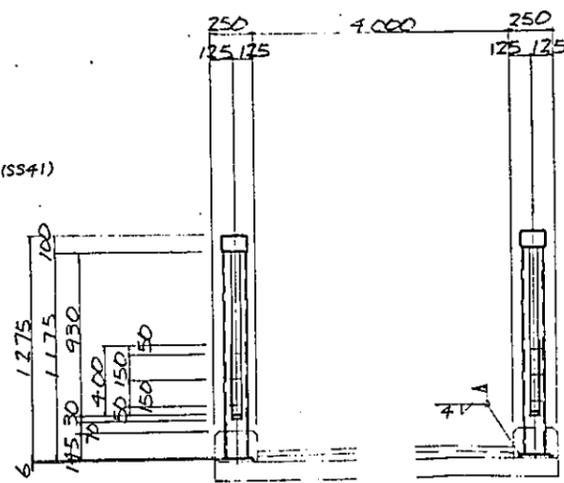
現場継手部詳細 S: 1/10



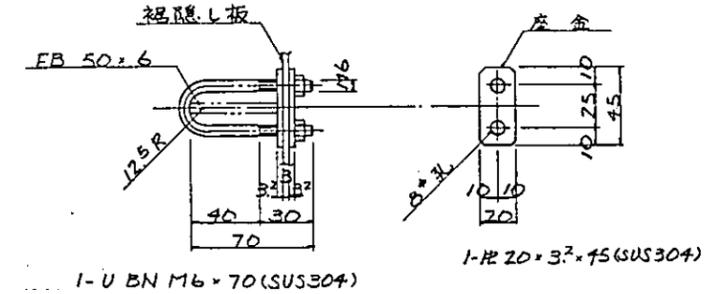
H-9



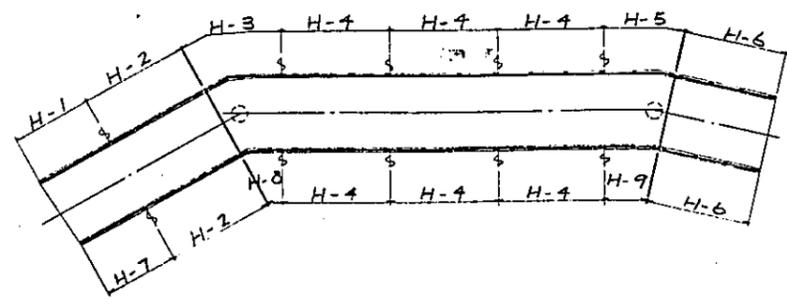
断面図 S: 1/20



U.BN 詳細 S: 1/2



配置図

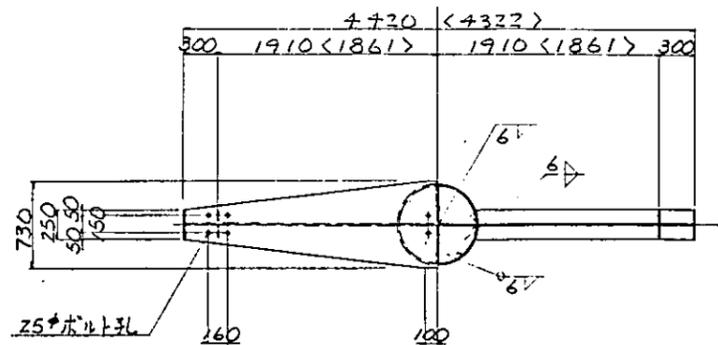


- 注)
1. 特記なき材質は全てSTKR材とする。
2. 本図に示す詳細は(その1)参照のこと。

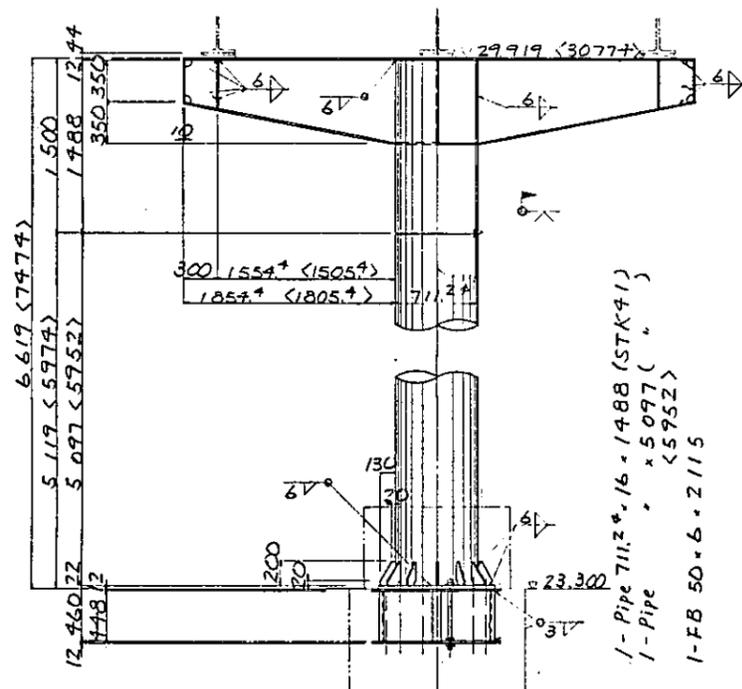
作名	東戸塚駅東口自転車駐輪場整備工事
図面名	高欄 (その2)
縮尺	1/20 図面番号 90-2/
設計年月日	昭和 年 月 日
製図	製図
検査	検査
承認	承認
横浜市道路局	

支柱 S=1/30

(Pa) < (Pb)

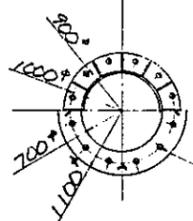


- 1- Top 皮 730 × 12 × 4+20 (+322)
- 2- Web 皮 700 × 12 × 1844 < 1795
- 2- Flg 皮 250 × 12 × 1910 < 1862
- 2- End 皮 250 × 10 × 350
- 4- Stiff 皮 110 × 12 × 407 < 408
- 1- Dia 皮 679 × 12
- 1- Rib 皮 700 × 12 × 679
- 2- Rib 皮 700 × 12 × 333



- 1- Pipe 711.2 × 16 = 1488 (STK41)
- 1- Pipe × 5097 < 5952
- 1- FB 50 × 6 × 2115

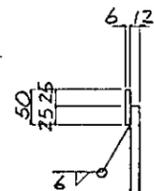
ベースプレート



アンカープレート

- 1- Base 皮 1000 × 22
- 2- Anc 皮 1100 × 12
- 12- Rib 皮 130 × 12 × 200
- 4- L 50 × 50 × 6 × 48
- 12- Anc B.N M42 × 600 (3-1種ナット付)

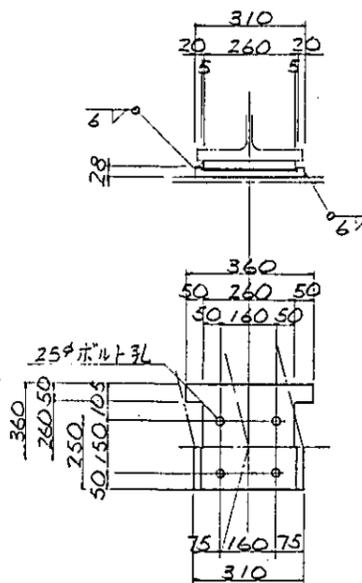
裏当て材詳細 S=1/5



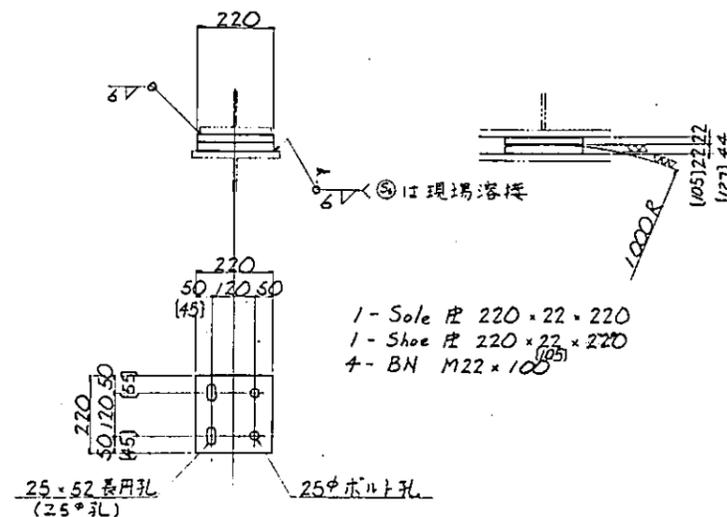
脊 S=1/10

(S1) (S2)

(S2) (S4) (S5)

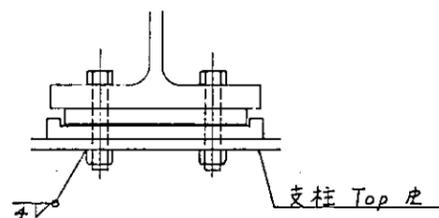


- 1- Sole 皮 360 × 22 × 360
- 1- Shoe 皮 250 × 28 × 310 (SM41A)
- 4- BN M22 × 120



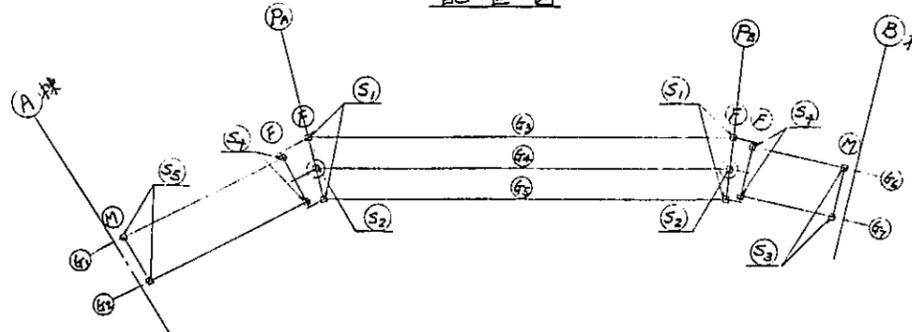
- 1- Sole 皮 220 × 22 × 220
- 1- Shoe 皮 220 × 22 × 220
- 4- BN M22 × 100

(S2) 脊取付ボルト詳細図 S=1/5



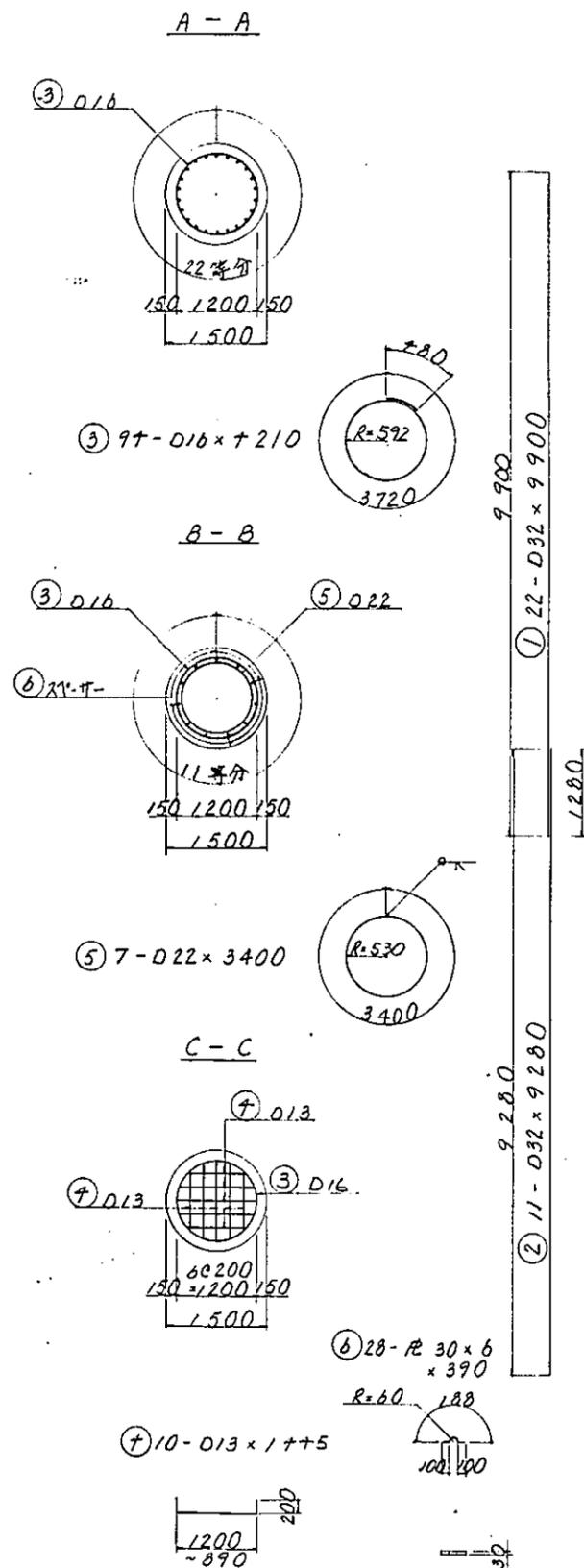
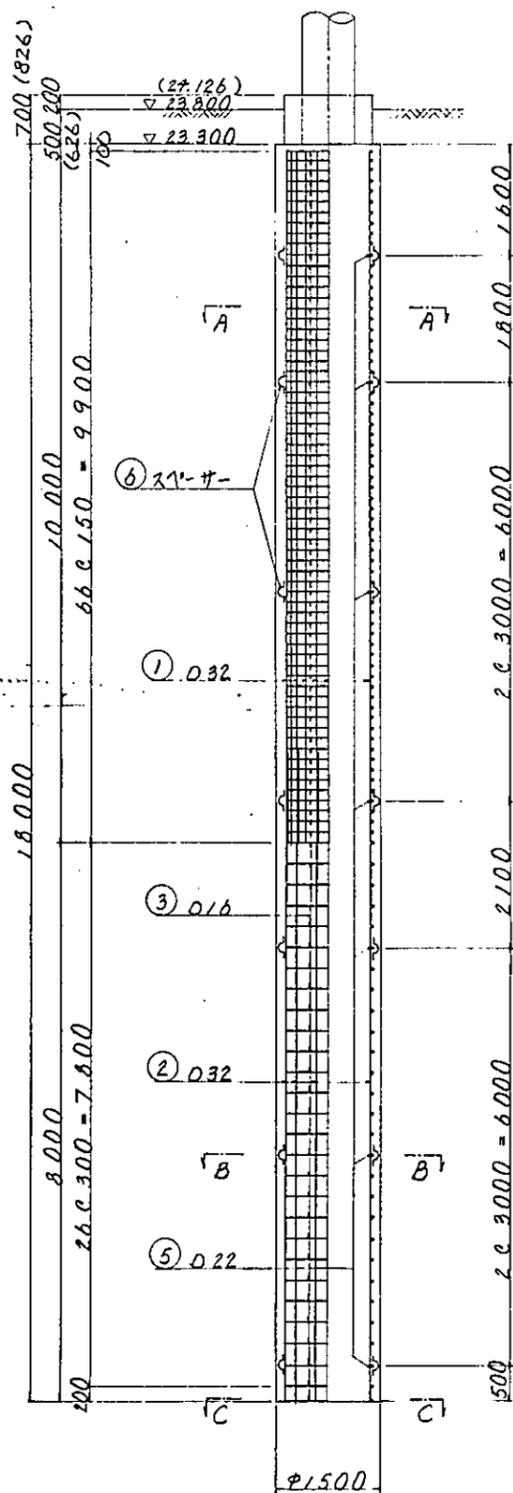
注)
1. 特記なき材質は全てSS41とする。

配置図

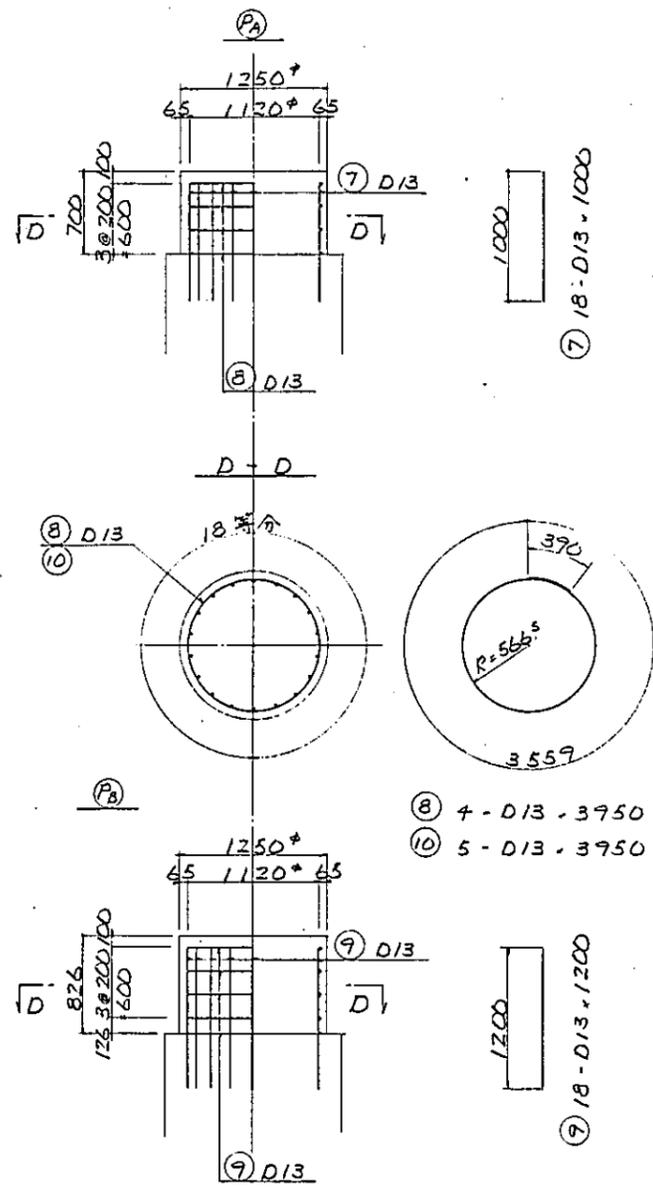


件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事
図面名	支柱 脊
縮尺	1/100 (国示) 図面番号 91
設計年月日	昭和 年 月 日
製図	製図
検査	検査
承認	承認
横浜市道路局	

場所打ち杭配筋図 (A)(B) S=1/50



根巻き配筋図 S=1/30



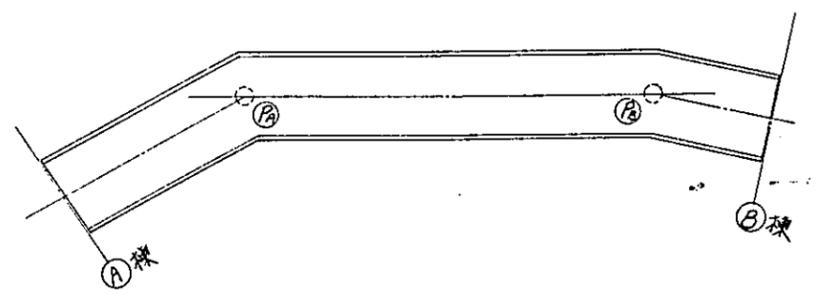
材料表

符号	径(mm)	長さ(mm)	本数	単位重量	一和重量(kg)	重量(kg)	摘要	
場所打ち杭								
①	0.32	9,900	22	6.23	61.677	1,357		
②	"	9,280	11	"	57.814	636		
③	0.16	7,210	97	1.56	6.864	617	○	
④	0.13	1,600	10	0.995	1.592	16	—	
⑤	0.22	3,400	7	3.07	10.944	72	○	
⑥	平鋼	390	20	1.71	0.550	15	~	
							(2等分)	
鉄筋					0.32	1,993	3,986	
(SD30)					0.22	72	144	
					0.16	617	1,234	
平鋼					0.13	16	32	
(SS41)					30x6	15	30	
合計						2,713	5,426	

材料表

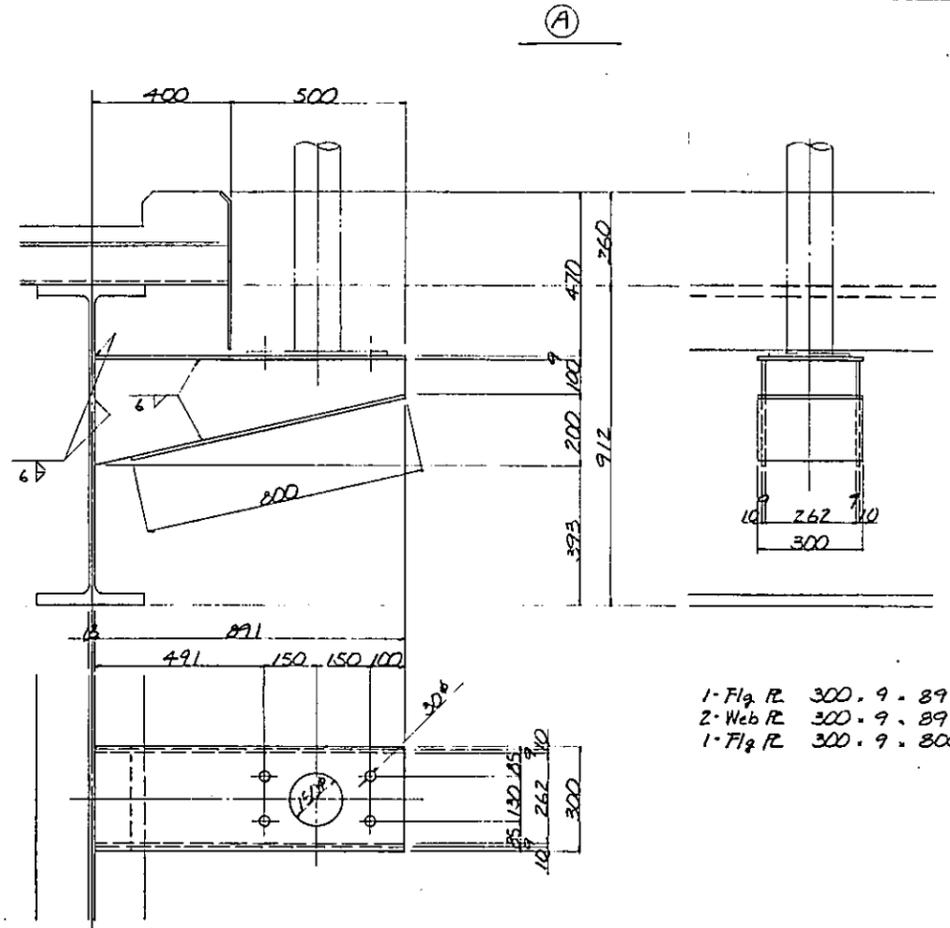
符号	径(mm)	長さ(mm)	本数	単位重量	一和重量(kg)	重量(kg)	摘要
根巻き							
⑦	0.13	1,000	18	0.995	0.995	18	—
⑧	"	3,950	4	"	9.930	16	○
⑨	"	1,200	18	"	1.194	21	—
⑩	"	3,950	5	"	3.930	20	○
							計 D13 75
							(SD30)

配筋図

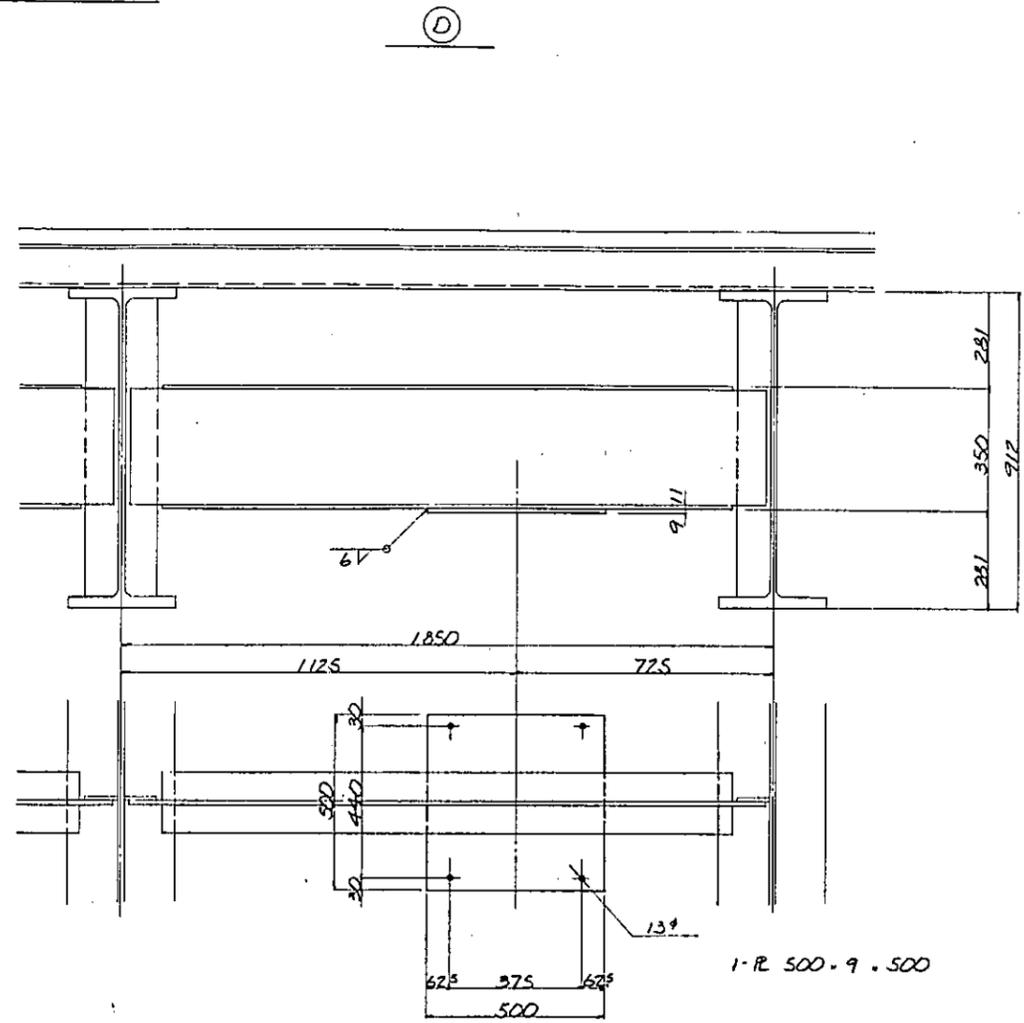


件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事		
図面名	杭・根巻き		
縮尺	1/50 図面番号 95/		
設計年月日	昭和	年	月 日
製図	校核	承認	監理
横浜市道路局			

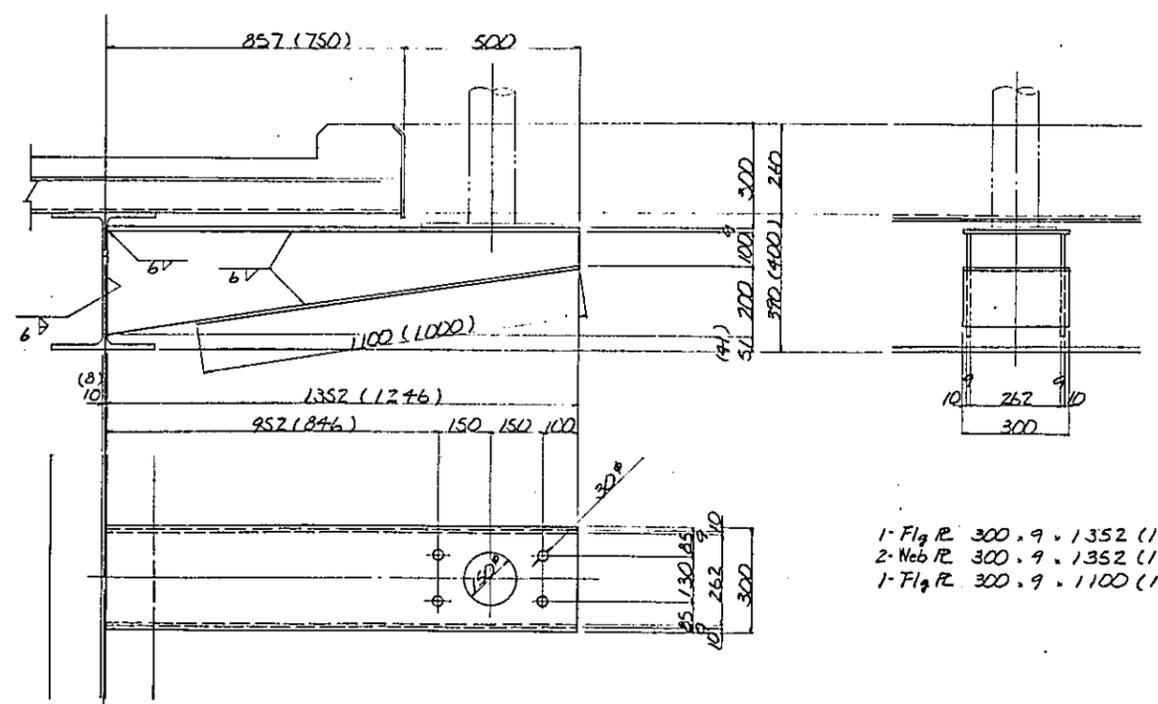
照明受台詳細図 s. 1/10



- 1-Flg R 300.9.891
- 2-Web R 300.9.891
- 1-Flg R 300.9.800

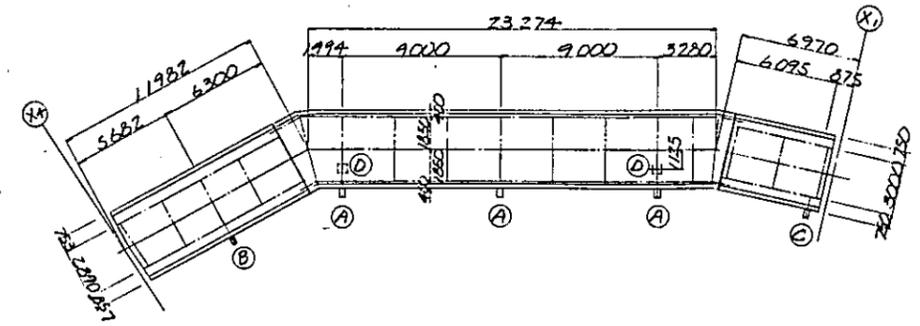


(B) (C)



- 1-Flg R 300.9.1352 (1246)
- 2-Web R 300.9.1352 (1246)
- 1-Flg R 300.9.1100 (1000)

配置図



注) 1. 特記なき材質は全てSS41を示す。

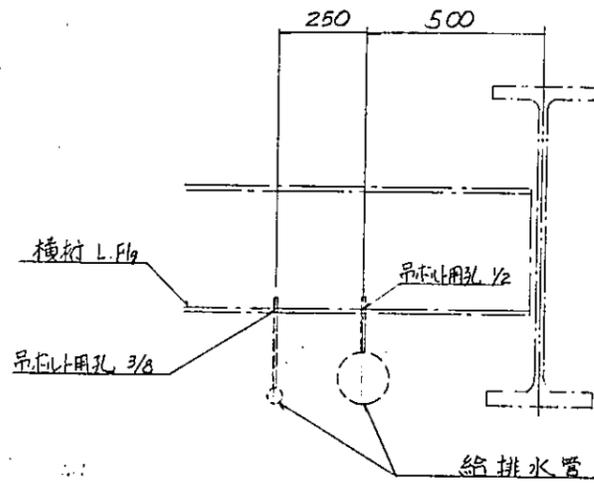
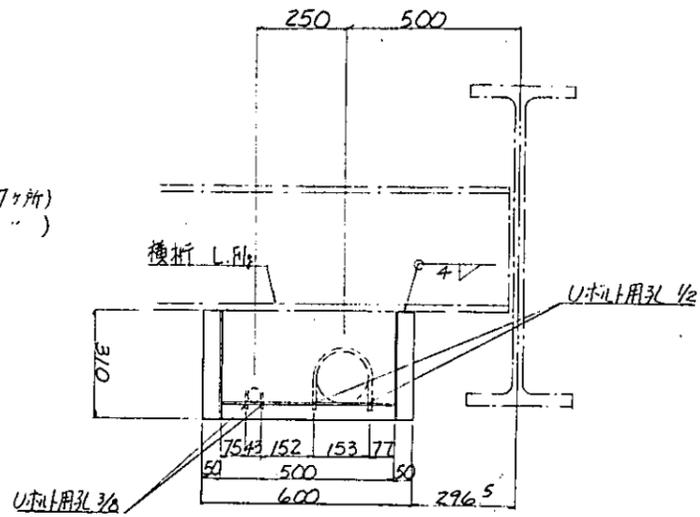
件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事		
図面名	照明受台詳細		
縮尺	/	図面番号	96 /
設計年月日	昭和	年	月 日
製	製	製	製
横浜市道路局			

給排水管受台

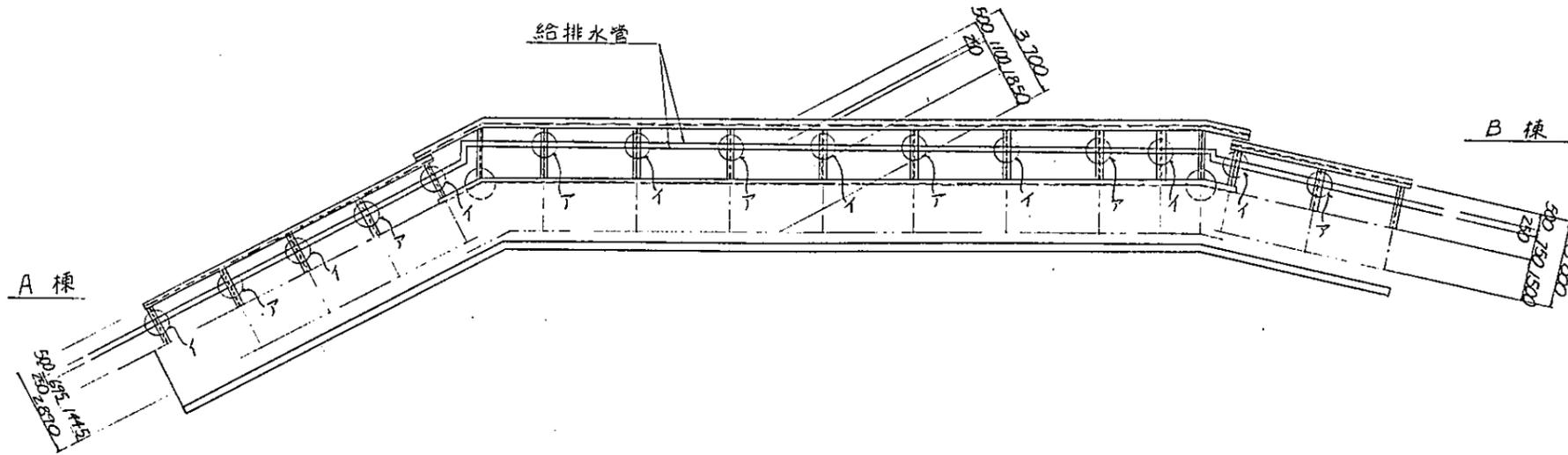
ア部分詳細 1/10

イ部分詳細 1/10

2-L 50・50・5・310 (7ヶ所)
1-L 50・50・5・500 (")



配置図 1/100



件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事		
図面名	給排水管受台		
縮尺	/	図面番号	97/
設計年月日	昭和	年	月 日
図	表	図	当
横浜市道路局			

構造特記仕様書

1. 一般共通事項

(1) 設計図書優先順位は次の通りとする。

(2) 特記仕様は ●印のついたものを適用する。

(3) 図面および本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて下記の日本建築学会発行の図書による。

(4) 施工に先立ち以下の書類を工事監督官(以下監理者と略す)に提出し、確認及び指示を受ける。

(5) 検査設計条件

2. 仮設工事

3. 土工

4. 地盤工事

5. 鉄筋コンクリート工事

(6) コンクリート強度区分

(7) 鉄筋の種類及び施工

(8) 鉄骨工事

(9) 溶接工事

(10) 試験・検査項目

(11) その他

(12) その他

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨製作工場・鉄骨加工業者は、建設省告示第1103号の認定工場とする。

(2) 鋼材の種類

(3) 鋼材の検査

(4) 溶接の検査

(5) ボルト検査

(6) チェックプレート

7. 鉄骨工事

(1) 鉄骨製作工場・鉄骨加工業者は、建設省告示第1103号の認定工場とする。

(2) 鋼材の種類

(3) 鋼材の検査

(4) 溶接の検査

(5) ボルト検査

(6) チェックプレート

8. 鉄骨工事

(1) 鉄骨製作工場・鉄骨加工業者は、建設省告示第1103号の認定工場とする。

(2) 鋼材の種類

(3) 鋼材の検査

(4) 溶接の検査

(5) ボルト検査

(6) チェックプレート

9. 溶接工事

(1) 溶接作業は、建設省告示第1103号の認定工場とする。

(2) 溶接の種類

(3) 溶接の検査

(4) 溶接の品質

(5) 溶接の品質

(6) 溶接の品質

(7) 溶接の品質

(8) 溶接の品質

(9) 溶接の品質

(10) 溶接の品質

(11) 溶接の品質

(12) 溶接の品質

(13) 溶接の品質

(14) 溶接の品質

(15) 溶接の品質

(16) 溶接の品質

(17) 溶接の品質

(18) 溶接の品質

(19) 溶接の品質

(20) 溶接の品質

(21) 溶接の品質

(22) 溶接の品質

(23) 溶接の品質

(24) 溶接の品質

(25) 溶接の品質

(26) 溶接の品質

(27) 溶接の品質

(28) 溶接の品質

(29) 溶接の品質

(30) 溶接の品質

(31) 溶接の品質

(32) 溶接の品質

(33) 溶接の品質

(34) 溶接の品質

(35) 溶接の品質

(36) 溶接の品質

(37) 溶接の品質

(38) 溶接の品質

(39) 溶接の品質

(40) 溶接の品質

(41) 溶接の品質

(42) 溶接の品質

(43) 溶接の品質

(44) 溶接の品質

(45) 溶接の品質

(46) 溶接の品質

(47) 溶接の品質

(48) 溶接の品質

(49) 溶接の品質

(50) 溶接の品質

(51) 溶接の品質

(52) 溶接の品質

(53) 溶接の品質

(54) 溶接の品質

(55) 溶接の品質

(56) 溶接の品質

(57) 溶接の品質

(58) 溶接の品質

(59) 溶接の品質

(60) 溶接の品質

(61) 溶接の品質

(62) 溶接の品質

(63) 溶接の品質

(64) 溶接の品質

(65) 溶接の品質

(66) 溶接の品質

(67) 溶接の品質

(68) 溶接の品質

(69) 溶接の品質

(70) 溶接の品質

(71) 溶接の品質

(72) 溶接の品質

(73) 溶接の品質

(74) 溶接の品質

(75) 溶接の品質

(76) 溶接の品質

(77) 溶接の品質

(78) 溶接の品質

(79) 溶接の品質

(80) 溶接の品質

(81) 溶接の品質

(82) 溶接の品質

(83) 溶接の品質

(84) 溶接の品質

(85) 溶接の品質

(86) 溶接の品質

(87) 溶接の品質

(88) 溶接の品質

(89) 溶接の品質

(90) 溶接の品質

(91) 溶接の品質

(92) 溶接の品質

(93) 溶接の品質

(94) 溶接の品質

(95) 溶接の品質

(96) 溶接の品質

(97) 溶接の品質

(98) 溶接の品質

(99) 溶接の品質

(100) 溶接の品質

参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します。

H10.04.01 (H10.07.15 改正)

鉄筋コンクリート造配筋標準図その1

1. 一般共通事項

(1) 鉄筋の表示記号

鉄筋の断面表示は下記の記号による。

種別	D10	D13	D16	D19	D22	D25
表示記号	○	△	×	◇	□	◇
種別	D29	D32	D35	D38	D41	
表示記号	◇	◇	◇	◇	◇	

(2) 鉄筋のかぶり厚さ (mm)

構造部分の種類	設計のかぶり厚さ	
	種別	寸法
土に接しない部分	層間スラブ	30
	床スラブ	30
	耐力壁	40
	柱	40
	梁	40
	耐力壁	50
土に接する部分 ¹⁾	柱・梁・床スラブ・梁	50
	基礎・地盤	70

- 1) 柱・梁・床スラブ・梁の土に接する部分の寸法は、10mm増しの値とする。
- (注)
1. かぶり厚さは、最小断面からの寸法とする。
 2. 最小かぶり厚さは、上記の値-10mmとする。
 3. ひびわれ防止用など、かぶり厚さが部分的に減少する箇所においても、最小かぶり厚さを確保する。
 4. 上記のかぶり厚さは、消滅金網にも適用する。
 5. 柱・梁の鉄筋のかぶり厚さは、1.5d以上とする。
 6. 仕上げありとは、モルタルやタイル等の仕上げで、合計仕上げ厚さが10mm以上ある場合をいう。

- (3) 鉄筋の最小間隔とあき
- 鉄筋相互のあきは下記のうち最大のものとする。
- 1) a=25mm
 - 2) a=1.25 × 粗骨材最大寸法
 - 3) a=1.5d (d: 鉄筋の呼び名の数値)
- あきの間隔 P=a+D1 (D1: 最外径)

種別	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
D1	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46
a	32	32	32	32	33	34	44	48	53	57	62
P	43	46	50	53	58	66	77	84	93	100	108

- (注)
1. 上記の表は、粗骨材最大寸法25mmの場合を示す。
 2. *印は粗骨材によって間隔が決定されたものを示す。

(4) 鉄筋の折れ形状及び寸法

① 標準 (フック形状)

折角	種別	鉄筋の種類	鉄筋径	内径(D)
180°	標準	SD295A SD295B SD345	D16以下 D19 D38	3d以上 4d以上 5d以上
	標準	SD390	D16 D41	5d以上
	標準			

② 設計図に特記のある場合は、下記鉄筋の末端部にフックを設ける。

折角	180°	135°	90°
柱及び梁の出隅部分 (新設部を除く) ²⁾	フック	フック	U字形スタップのキャップタイ
梁の主要部	スタップ	スタップ	折止め筋
最上層柱4層	折止め筋	折止め筋	折止め筋

- 1) 片持スラブ上端部の先端、壁の自由端に用いる先端は、4d以上とする。
- 2) 柱・梁の出隅部分鉄筋は、X印をいう。(重ね筋手の場合)

② 中継ぎ (バンド)

折角	種別	使用箇所	鉄筋の種類	鉄筋径	内径(D)
90°以下	標準	フック スタップ パイラル筋 スタップ筋	SD295A SD295B SD345	D16以下 D19以上	3d以上 4d以上
	標準	柱・梁 梁、スラブ 基礎等との 主筋	SD295A SD295B SD345 SD390	D16以下 D19 D25 D29 D41	4d以上 5d以上 5d以上

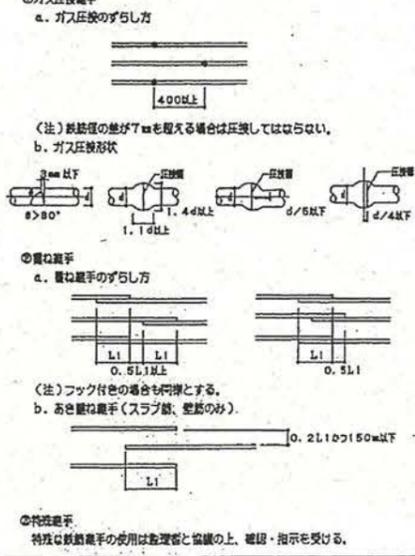
1) 監理者の確認を受け内径(D)はJIS規格値まで減することができる。

(5) 鉄筋の定数及び重ね筋手長さ

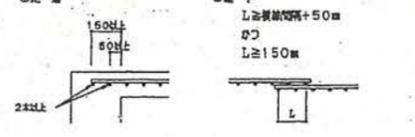
鉄筋の種類	コンクリートの設計強度 ¹⁾ (N/mm ²)	重ね筋手長さ		定数の長さ	
		L ₁	L ₂	一般	下層筋
SD295A SD295B SD345	27 30 33 36	35d (26d)	30d (20d)	1.5L ₁	1.5L ₂
	21 24	40d (30d)	35d (25d)	1.5L ₁	1.5L ₂
SD390	18	45d (35d)	40d (30d)	1.5L ₁	1.5L ₂
	27 30 33 36	40d (30d)	35d (25d)	1.5L ₁	1.5L ₂
	21 24	45d (35d)	40d (30d)	1.5L ₁	1.5L ₂

- (注)
1. ()内は、フック長さを示す。
 2. 径の異なる鉄筋の重ね筋手長さは、細い鉄筋の呼び名(d)による。
 3. 末端のフックは、定数及び重ね筋手の長さに含まれない。
 4. D29以上の鉄筋は、折止め筋を除くとして重ね筋手とし、L₁とする。

(6) 鉄筋の折手



(7) 溶接金網の定数と重ね筋手



(8) その他

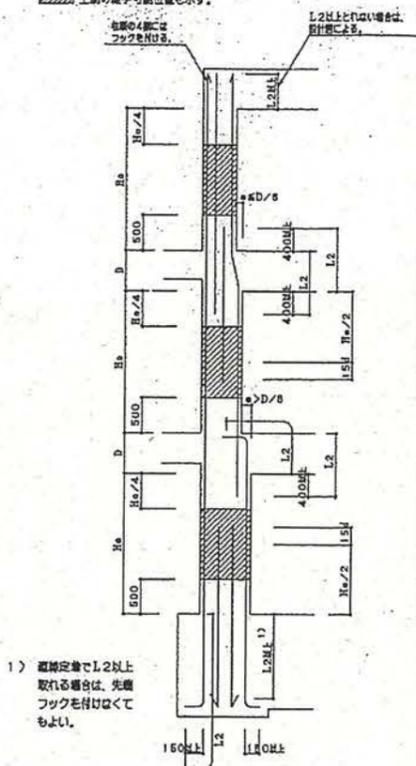
- ① 打ち継ぎ
- a. 打ち継ぎ部は、位置・形状は特記による。特記のない場合は、梁・床スラブおよび層間スラブでは、その中央付近に、柱および壁では、床スラブ、基礎の上端または梁の下端に設け、水平または垂直とする。
- b. 打ち継ぎ部は、レイタンスおよび微細なコンクリートを取り除き、湿ったコンクリートを露出させ、コンクリート打ち込み前に十分な水濡しを行う。
- ② コンクリートの打ち継ぎ
- a. 外壁の打ち継ぎ : 外壁を形成する柱・梁・壁は、外壁側に厚さ()mmの打ち継ぎとする。
- b. 床・モリシク工の打ち継ぎ : ()mmとする。
- c. 土中部の打ち継ぎ : 土に接する部分の柱・梁・壁は、土側に厚さ()mmの打ち継ぎとする。
- ③ 梁およびスラブ内の電気配管
- a. 埋め込み配管は電力が少なく、かつダブル配管の内側に設ける。
- b. 配管径(φ)は、スラブ厚さの1/4以下とする。
- c. 配管のコンクリートかぶり厚さは、30mm以上とする。
- d. 配管相互のあきは、下記のうち最大のものとする。
- 1) L₁ ≥ 25mm
 - 2) L₂ ≥ 粗骨材最大寸法 × 1.25
 - 3) L₂ ≥ 1.5φ
- e. スラブ内配管は梁から500mm以内の範囲では、梁に平行に配管してはならない。
-
- ④ アウトレット (スイッチボックス等) の埋設
- 原則として、柱・梁には埋め込みは設けられないこと。(但し、打ち継ぎ部分は可とする) やむを得ず、埋め込みとする場合は監理者の指示により、下記事項を参考に埋設を行う。
- a. 柱
-
- b. 梁、スラブ
-
- ⑤ 鉄筋の溶接形状
- フリアングル溶接
-

鉄筋の長さ・重ね筋手長さ及び定数長さの換算表

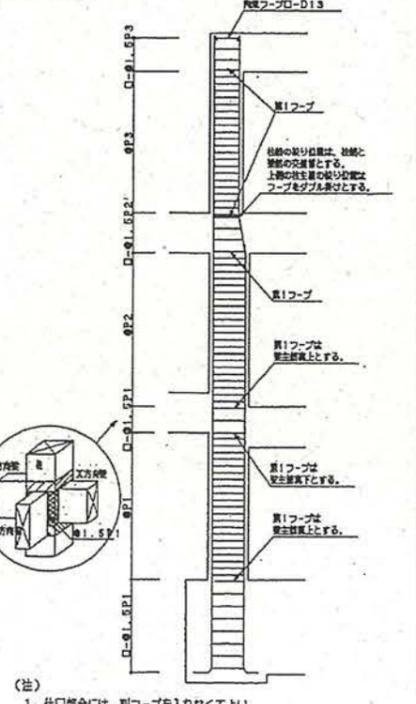
鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
4d	40	52	64	76	88	100	112	124	136	148	160
5d	50	65	80	95	110	125	140	155	170	185	200
6d	60	78	96	114	132	150	168	186	204	222	240
7d	70	91	112	133	154	175	196	217	238	259	280
8d	80	104	128	152	176	200	224	248	272	296	320
10d	100	130	160	190	220	250	280	310	340	370	400
15d	150	200	240	290	340	390	440	490	540	590	640
20d	200	260	320	380	440	500	560	620	680	740	800
25d	250	330	400	480	560	640	720	800	880	960	1,040
30d	300	390	480	570	660	750	840	930	1,020	1,110	1,200
35d	350	460	560	660	760	860	960	1,060	1,160	1,260	1,360
40d	400	520	640	760	880	1,000	1,120	1,240	1,360	1,480	1,600
45d	450	590	720	860	1,000	1,140	1,280	1,420	1,560	1,700	1,840

2. 柱

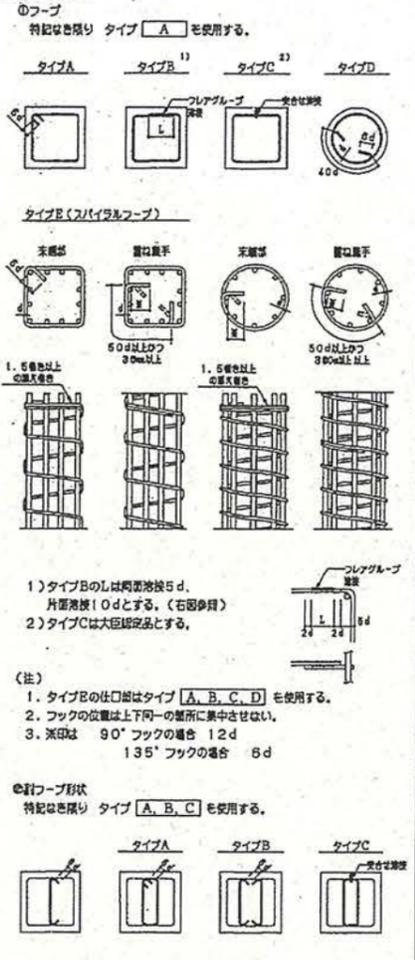
(1) 柱筋の長さ・定数及び重ね筋手長さ



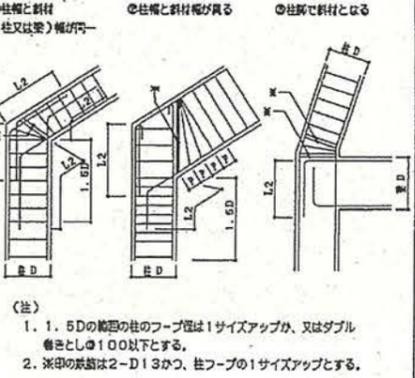
(2) フープの割付け



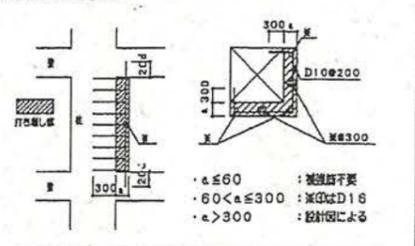
(3) フープの形状



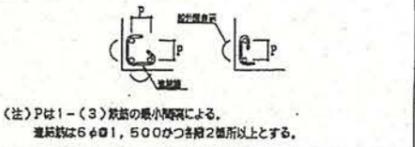
(4) 斜め柱・斜め梁



(5) 柱打ち継ぎ部



(6) 色かひ筋 (二段階)



参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先して考えて頂きます様、お願い致します。

・使用しない項目にはX印を記入する。

3. 梁

(1) 梁筋の配置位置
主筋本数の少ない位置に投げる。
主筋の端部位置を示す。

特記は色塗り
大梁はタイプ
小梁はタイプ
各種梁はタイプ
各種小梁はタイプ

※等価換算の場合はタイプCとする

タイプA
タイプB
タイプC
タイプD
タイプE (小梁)

(2) 梁筋の長さ
の大梁、基礎梁

②小梁
a. 連続梁の場合

b. 単スパン梁の場合

(3) 定着
①柱への定着
a. 梁の定着

外壁部の場合
一般部 (一般部) (梁上層) (梁上層)
連続したU型筋を用いた場合
一般部 (一般部) (梁上層) (梁上層)
連続部の場合
一般部 (一般部) (梁上層) (梁上層)

(注) 1. 折り上げ筋は柱中心線をもこえた位置とする。
2. 下層筋も下向き定着とする場合、監理者の承認を得る。
3. 柱幅が大きく、監理部にてL2がとれる場合でも柱中心線をもこえて中間折り上げ筋にてフェール長をd以上とする。(右図参照)

b. 基礎梁の定着
一般部 (一般部) (ベタ基礎、布筋礎)

(注) 1. 折り上げ筋は柱中心線をもこえた位置とする。
2. ベタ基礎など地反力を受ける基礎小梁の定着も同様とする。

c. 段差のある場合
e ≤ D/6の場合
一般部 (一般部) (梁上層) (梁上層)
e > D/6の場合
一般部 (一般部) (梁上層) (梁上層)

d. 片持梁と連続する場合
一般部 (一般部) (梁上層) (梁上層)

※印の梁の主筋は半数以上を折上げて定着させる。但し、SRCの場合は全数通し配筋としてよい。

②梁への定着
a. 一般部の場合
A-A矢視
折上り定着してもよい
折下り定着してもよい
折上り定着してもよい
折下り定着してもよい

b. 段差のある場合
e ≤ D/6の場合 e > D/6の場合

(注) eは水平寸法の場合にも適用する。

c. 打ち増し部への定着

d. 基礎小梁の外壁部片持梁への定着
L: 上層筋L2 下層筋L3

(4) 片持梁
①一般部と連続する場合
一般部 (一般部) (梁上層) (梁上層)

②一般部と連続しない場合
一般部 (一般部) (梁上層) (梁上層)

(5) ハンチ梁
① e/a ≤ 1/6の場合 ② e/a ≤ 1/6の場合
L2=L2+5d L2=L2+5d

(6) スターラップの折り付け
折り上げ筋: スターラップ4層、2本巻とする。

(7) 梁筋の折まり

※小梁の接合部は原筋を直さなくてもよい。

(8) スターラップ形状
①スターラップ形状
A B C D E

1) Dの溶接長さLは、両面溶接5d、片面溶接10dとする。(右図参照)
2) Bは大型鋼材とする。

(注) 1. 原筋として、Aとする。スラブと同様に打ち込む形の場合、B、C、L形梁の場合は、Cとすることができる。
2. Aの場合フックの位置は、原筋として交互とする。

②折上りスターラップ形状
特記は色塗り、Cの寸法[B、C]とする。

③各種梁の場合
基礎梁も原筋として①一般部の場合によるが、梁せいの大きい場合は下記の配筋も可とする。

(9) 打ち増し部補強
①上部打ち増し ②下部打ち増し
D10@200 D10@200

※a ≤ 60 : 補強筋不実
60 < a ≤ 300 : ※印はD16
a > 300 : 設計図による

(10) 柱筋と梁筋が同一になる場合の納まり
一般部 (一般部)

※柱主筋は打ち増しスターラップを小さくする。

4. 壁

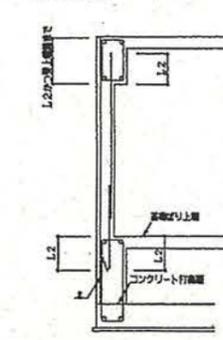
(1) 壁筋の定着
①柱・梁への定着
a. 柱
b. 梁
②折上り筋の折角部、交差部の定着
a. シングル配筋の場合
b. ダブル配筋とシングル配筋の場合
c. ダブル配筋の場合
③スラブへの定着
④壁筋部の定着
a. 耐力壁 (EW, RW) の場合
b. 非耐力壁の場合

参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先して考えて頂きます様、お願い致します。
(R10.07.15 6E)

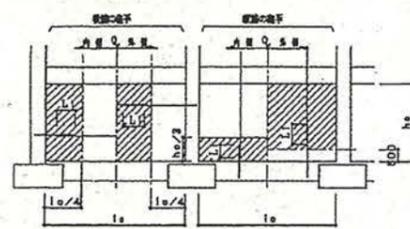
・使用しない項目にはX印を記入する。

④土圧抵抗(RW)の定置及び配筋位置
a. 壁への定置

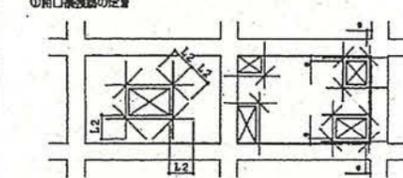


*地下外壁の外側鉄筋の基礎梁への定置長さは、規定長さでよいが、約1mごとに配圧スラブの上層まで下げるなど鉄筋位置確保に有効な工法とする。

b. 土圧抵抗(RW)の配筋位置
配筋の着手可能位置を示す

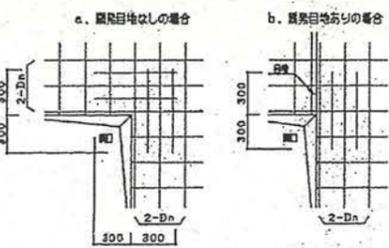
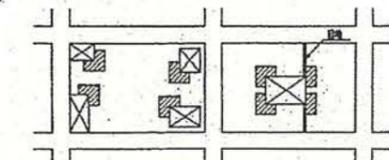


(2) 開口部



(注) 1. ひび割れ防止筋は別に配筋する。
2. $a \leq 200$ の場合は、等価(一)で示した補強筋は不要とする。
3. 壁厚が150でダブル配筋の場合は、斜筋不要とする。
4. 200×200 以下の開口部については、縦筋は開口部をさけて配付した場合、補強筋は不要とする。

⑤ひび割れ防止筋(内壁・外壁共)

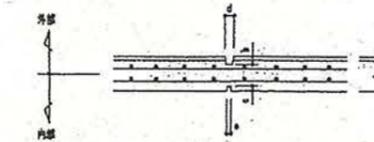


ひび割れ防止筋を示す。

(注) 1. ひび割れ防止筋は、鉄筋の位置に配筋する。径Dは鉄筋と同じとする。交互配筋の場合は太い径とする。
2. ひび割れ防止筋は、壁厚のピッチ1.25以下の場合は不要とする。
3. ひび割れ防止筋は、基礎梁の断面を受け、既製品を用いることができる。(但し、壁厚150mmでダブル配筋の場合は、既製品の使用は不可とする。)

(3) 外壁収縮(乾燥)目地

外壁収縮(乾燥)目地は、縦目地3.0mピッチ程度に設ける。



(注) 1. 内目地を設けられない場合、および、打ち増し厚が20mmを超える場合にも、収縮目地の断面欠損率は、打ち増しを含めた壁厚の20%以上とする。
2. パラペット及び外部手摺も含む。

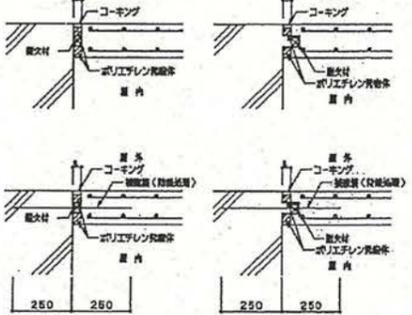
t	a	b	c	d	e	番号
120	20以下	20(15)	10(15)	20以上	20	
150	20以下	20	15	20以上	20	
180	20以下	20	20	20以上	25	

(4) 構造目地

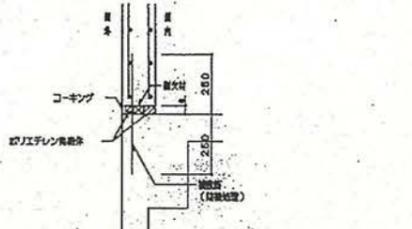
構造目地の場所は設計図書による。スリット材は既製品とする。

①完全スリット型

a. 鉛直スリット



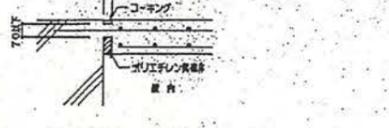
b. 水平スリット



部位	a (mm)	補強筋	番号
鉛直スリット			
水平スリット			

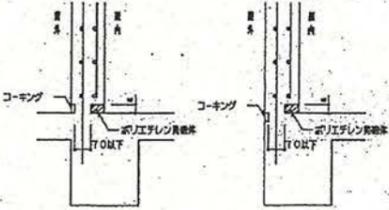
②部分スリット型

a. 鉛直スリット



壁厚	a (mm)	番号
150		
180		
200		

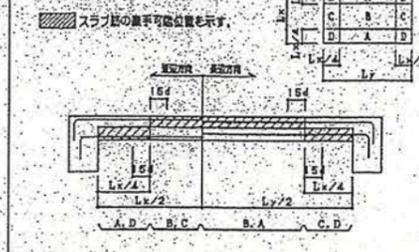
b. 水平スリット



壁厚	a (mm)	番号
150		
180		
200		

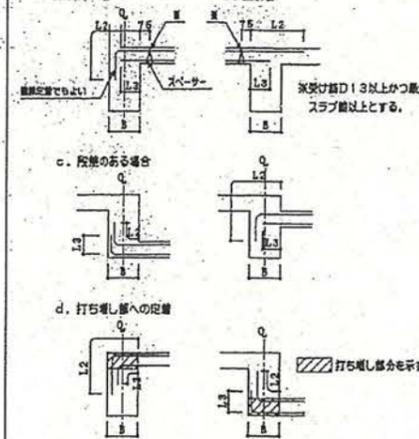
5. スラブ

(1) スラブ厚の余量及び配筋位置



(2) 定置

①開口部

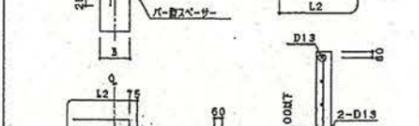


(3) スラブ厚の増減

①厚さ e ≤ t - 80 の場合

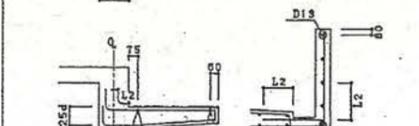


②厚さ e > t - 80 の場合



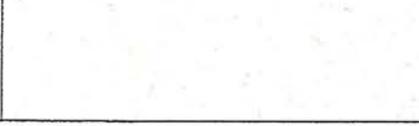
(注) e > 300 の場合は設計図書による。

(4) 配筋と基礎梁の打ち増し補強筋

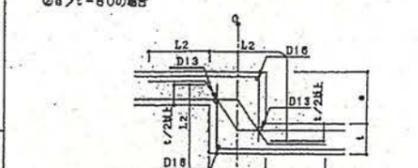
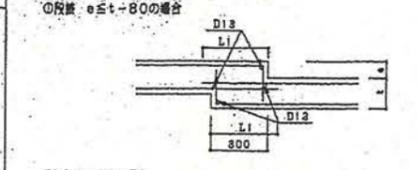


(注) 1. 折り上げ筋は梁中心線を超えた位置とする。
2. スラブ筋のみ折り厚の確保はスペーサー(φ800以下)による。

②片持スラブ

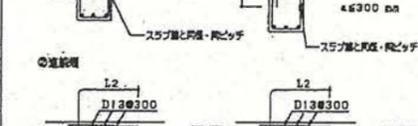


(5) スラブの開口補強



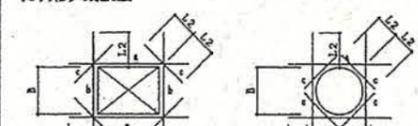
(注) 1. 開口部ピッチは、4,000程度とする。
2. 片持スラブの出寸が変わる場合は、その位置に設ける。
3. コンクリート平すりのある場合には、ある部分にはいっしょに開口部を設ける。

(6) スラブの出入隅部補強(角隅共)



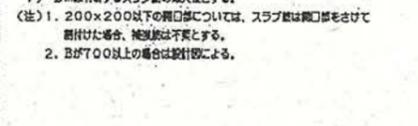
(注) 1. Pはスラブ上層のピッチを示す。
2. P ≤ 1.25 の場合は斜筋不要。
3. 補強筋はスラブ上層と同一とする。

(7) 片持スラブ隅部目地仕様



1. 隅部目地ピッチは、4,000程度とする。
2. 片持スラブの出寸が変わる場合は、その位置に設ける。
3. コンクリート平すりのある場合には、ある部分にはいっしょに隅部を設ける。

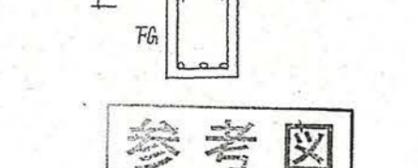
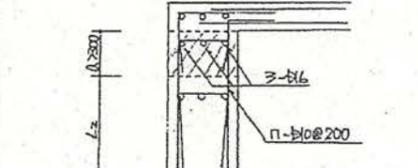
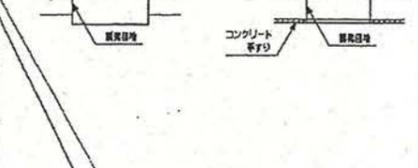
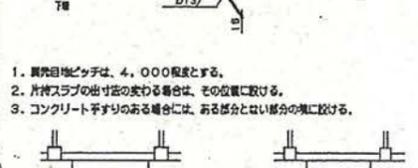
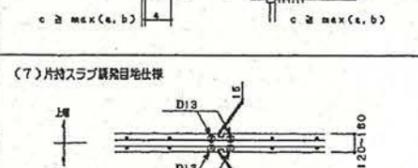
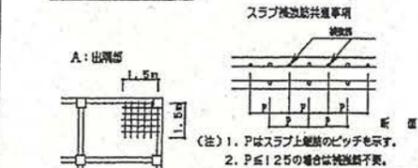
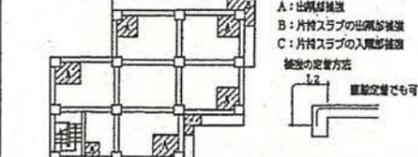
(8) スラブの開口補強



B	スラブ厚(t)	a, b	c
B < 400	200以下	2-Dm ¹⁾	1-D13
B < 400	200以上	3-Dm ¹⁾	2-Dm ¹⁾
400 ≤ B < 700		3-Dm ¹⁾	2-Dm ¹⁾

1) Dmは折断するスラブ筋の最大径とする。
(注) 1. 200x200以下の開口部については、スラブ筋は開口部をさけて配付した場合、補強筋は不要とする。
2. Bが700以上の場合は設計図書による。

参考図



現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します。

使用しない項目にはX印を記入する。

1. 溶接基準

2. 高力ボルトおよびボルトのピッチ・ゲージ

3. デッキプレート

4. S梁貫通補強

5. 頭付きスタッド

6. その他

共通事項

鉄骨標準図

鉄骨組一級建築士事務所

1級建築士事務所

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

TEL 03-5561-1111

FAX 03-5561-1112

URL www.tokai-kenkyu.co.jp

2024.04.01 改訂

参考図

使用しない項目にはX印を記入する。

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します。

川建QLデッキ合成スラブ設計・施工標準

川建QLデッキ合成スラブの設計・施工は、日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」、鋼材協会「デッキプレート床版設計・施工標準」、川建QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料/デッキプレート

デッキプレート種類	規格記号	
鋼QLデッキ	QDL99-50-12 QDL99-75-12	QDL99-50-16 QDL99-75-16
鋼QLセラ	QDC99-50-12 QDC99-75-12	QDC99-50-16 QDC99-75-16
材質	JIS G 3552	S2P1T S2P2 CSDP2 CSDP2G

材料/コンクリート

種類	規格記号	規格記号
設計基準強度	f _{ck} 180	f _{ck} 210
標準(デッキ上)	180 170 160 150 140 130 120	180 170 160 150 140 130 120

材料/溶接金網・鋼材

溶接金網	JIS G 3551	φ5-150x150	φ6-100x100
鋼材	JIS S 3112, 3117	φ10-φ200	φ()

接合

溶接金網	溶接金網	溶接金網
鋼材	鋼材	鋼材

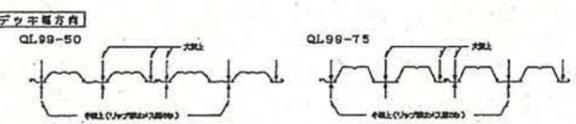
耐火

耐火時間	1時間	2時間
構造支持	RC(重)F1001	RC(重)F2001
非構造支持	RC(重)F1002	RC(重)F2002

特記

その他	RC(重)F1111 (RC(重)F1001+20mm)	RC(重)F2111 (RC(重)F2001+25mm)
-----	------------------------------	------------------------------

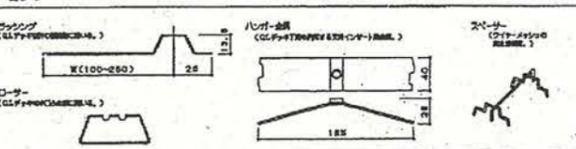
焼結せり波接



デッキスリット



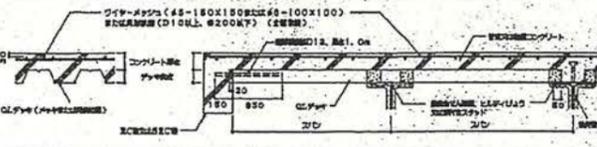
アクセサリ



耐火仕様

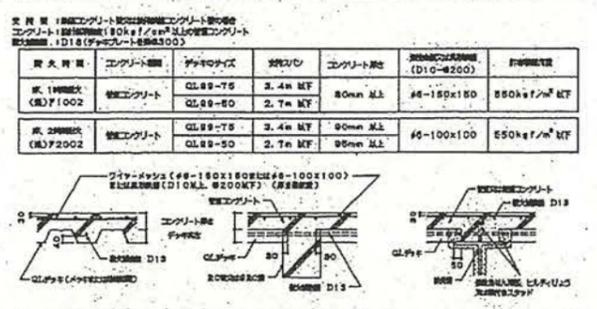
【連続支持合成スラブ】

耐火時間	コンクリート種別	デッキプレート	スリット	スリット幅	スリット間隔	スリット深さ	スリット位置	スリット形状	スリット長さ	スリット幅	スリット間隔	スリット深さ	スリット位置	スリット形状	スリット長さ		
RC(重)F1001	コンクリート	QL99-75	3.0m	MF	80mm	120mm	45-100x100	450kef/m ² MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	
		QL99-50	3.0m	MF	80mm	120mm	45-100x150	550kef/m ² MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	
	コンクリート	QL99-75	3.0m	MF	70mm	120mm	45-100x150	400kef/m ² MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF
		QL99-50	3.0m	MF	70mm	120mm	45-100x100	400kef/m ² MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF



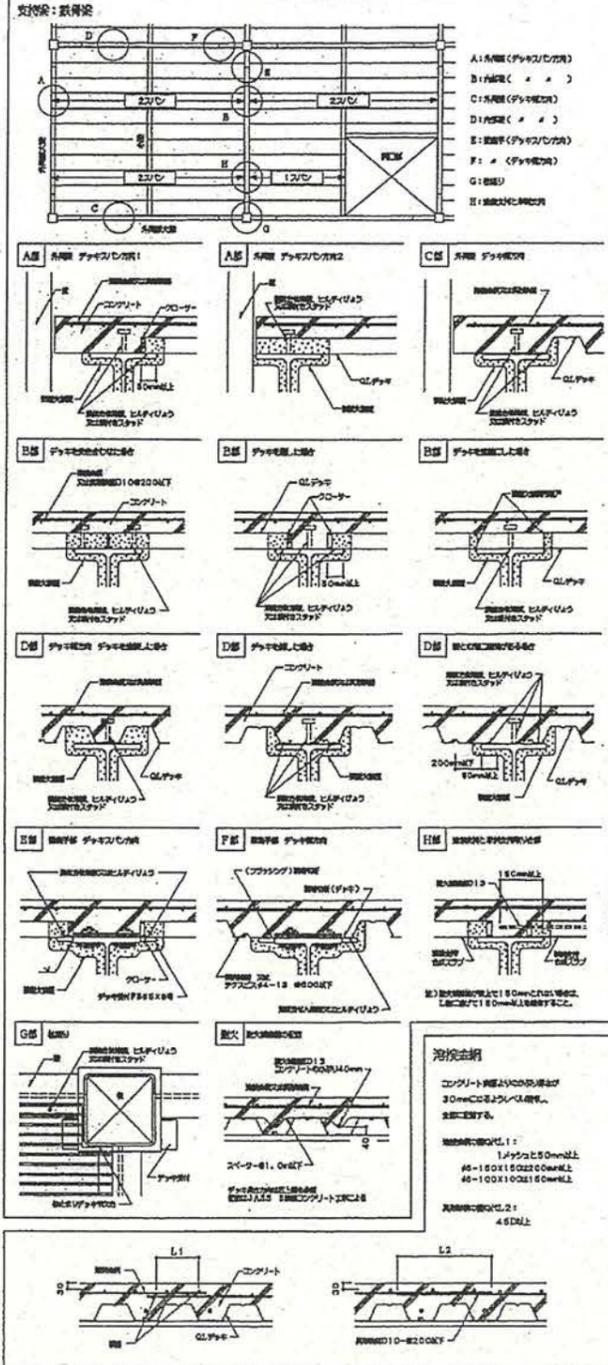
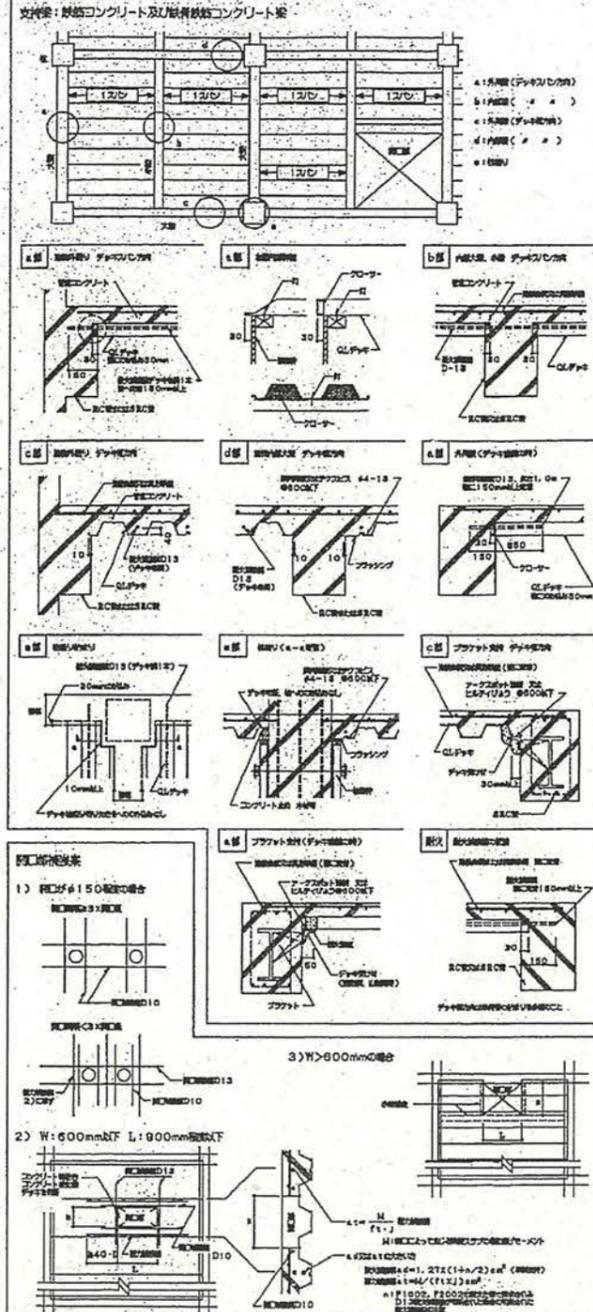
【単断支持合成スラブ】

耐火時間	コンクリート種別	デッキプレート	スリット	スリット幅	スリット間隔	スリット深さ	スリット位置	スリット形状	スリット長さ	スリット幅	スリット間隔	スリット深さ	スリット位置	スリット形状	スリット長さ	
RC(重)F1002	コンクリート	QL99-75	3.4m	MF	80mm	120mm	45-150x150	550kef/m ² MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF
		QL99-50	3.4m	MF	80mm	120mm	45-150x100	550kef/m ² MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF	MF



1) カリシは設計図書に準じて、コンクリートの強度を確保する。
2) カリシは設計図書に準じて、コンクリートの強度を確保する。
3) カリシは設計図書に準じて、コンクリートの強度を確保する。
4) カリシは設計図書に準じて、コンクリートの強度を確保する。

標準納まり



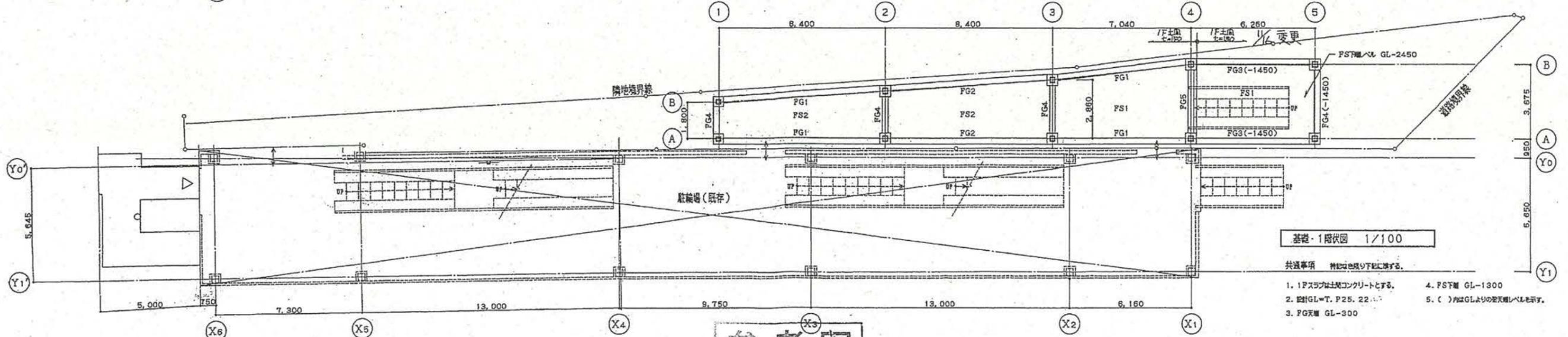
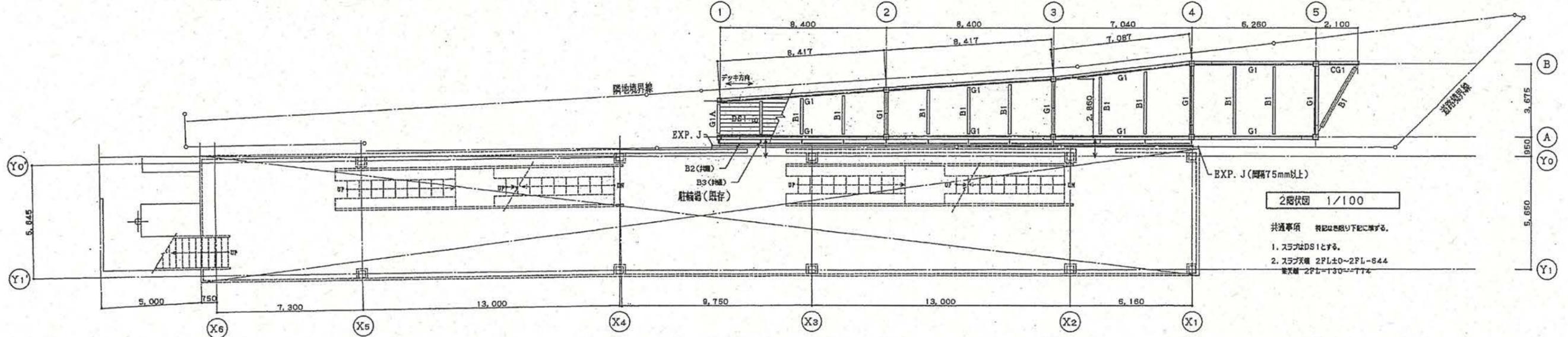
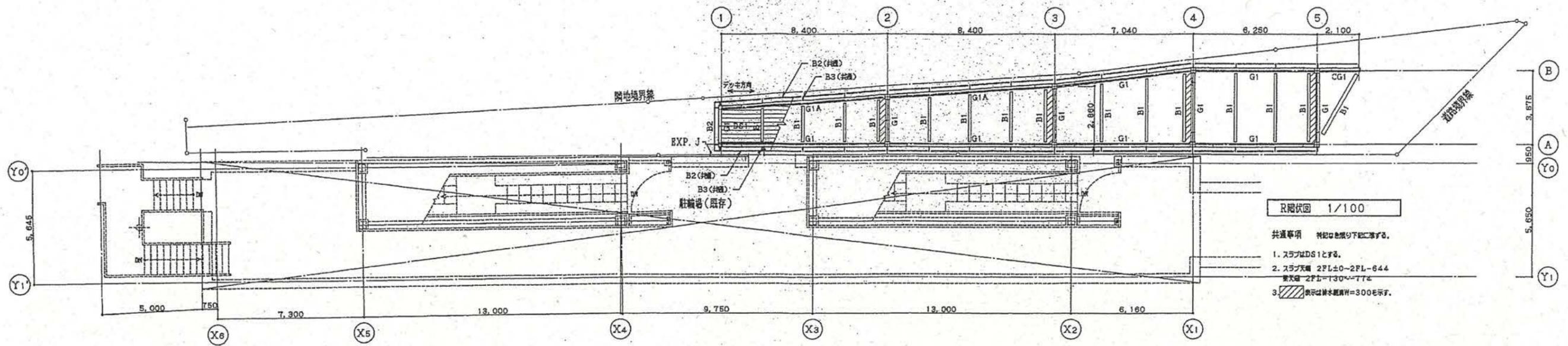
施工順序	要領
1. 出し	1) 設計図書に準じて、コンクリートの強度を確保する。
2. デッキと鋼との接合	2) デッキと鋼との接合は、設計図書に準じて行う。
3. 溶接金網の施工	3) 溶接金網の施工は、設計図書に準じて行う。
4. コンクリート打設	4) コンクリートの打設は、設計図書に準じて行う。

仕様	内容
1. 溶接金網	JIS G 3551 φ5-150x150
2. 鋼材	JIS S 3112, 3117 φ10-φ200
3. コンクリート	f _{ck} 180, f _{ck} 210
4. デッキプレート	QDL99-50-12, QDL99-75-12

検査	内容
1. 溶接金網	溶接金網の規格に準じているか確認する。
2. 鋼材	鋼材の規格に準じているか確認する。
3. コンクリート	コンクリートの強度試験結果を確認する。
4. デッキプレート	デッキプレートの規格に準じているか確認する。

参考図

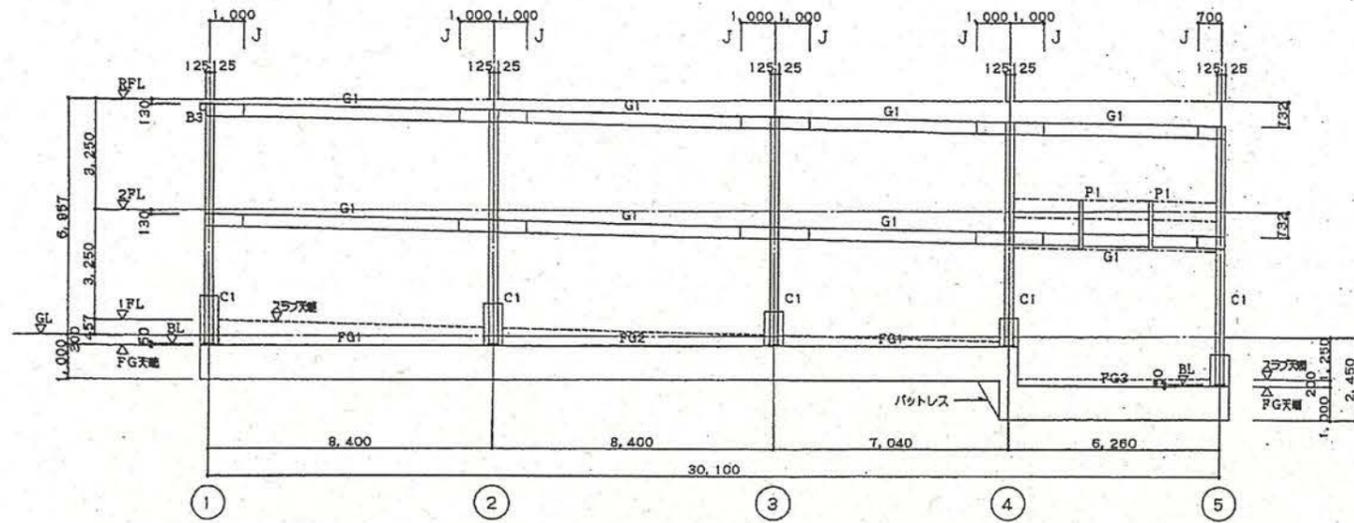
現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先して考えて頂きます様、お願い致します。



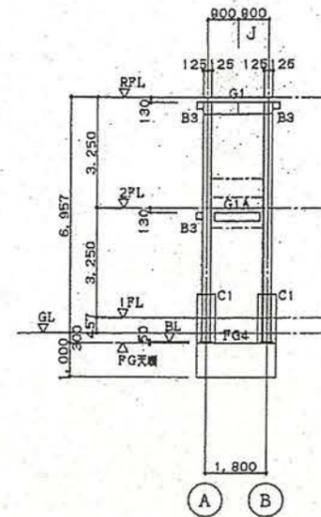
参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します。

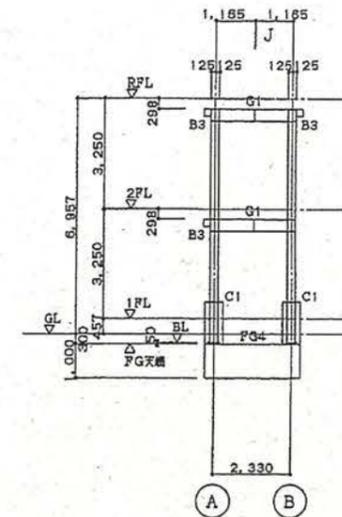
(名称)ニューシティ東戸塚中央駅 第2柱橋増設工事	62-336	S-08
1、2、R階伏図	1/100	
設計者 鎌倉組一級建築士事務所		99.9.30
(代表)鎌倉組一級建築士事務所 鎌倉組 鎌倉		



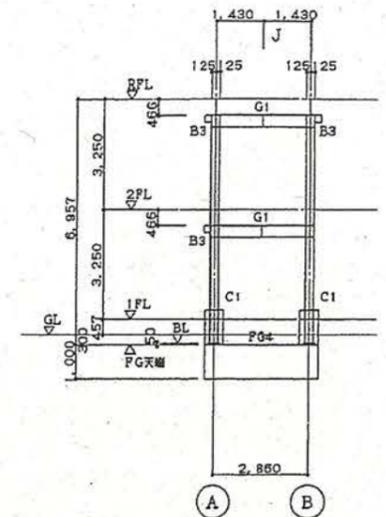
A通り軸組図 1/100



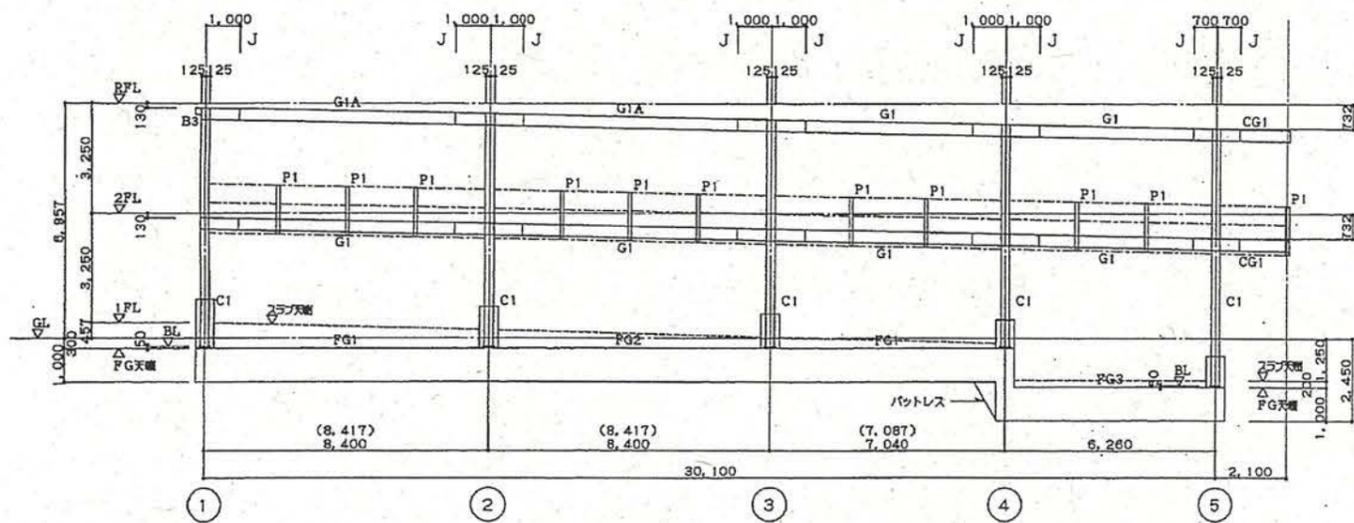
1通り軸組図



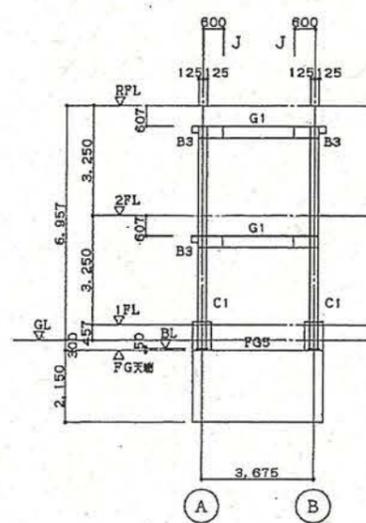
2通り軸組図



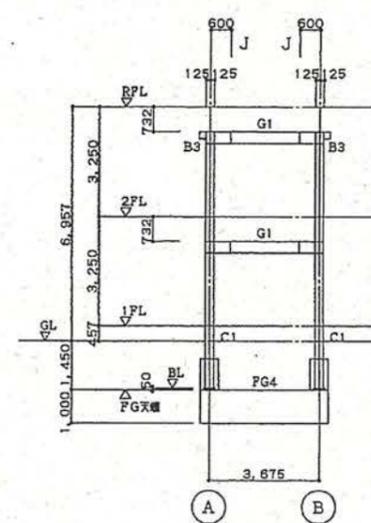
3通り軸組図



B通り軸組図 1/100



4通り軸組図



5通り軸組図

共通事項 斜線は色塗り下地に準ずる。

1. ()内は実尺を示す。
2. BL表示はベースプレート下層を示す。
3. Jはジョイント位置を示す。
4. --- 表示は断面φ800を示す。
5. 本図は 1/100 とする。
6. 1F土質コンクリート下層とFG天棚のレベルは差上り併用とする。
7. 斜線は天棚 1Fスラブ天棚+700とする。

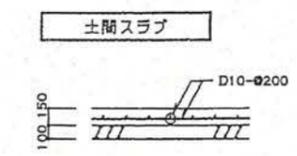
参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します。

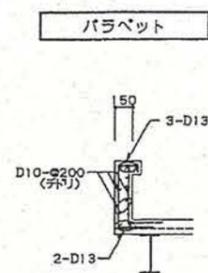
〈仮称〉ニューシティ東戸塚中央街区 第2駐車場増築工事	62-336	S-09
軸組図	1/100	
熊谷組一級建築士事務所 1級建築士登録第 4944 号 熊谷 昭彦		99.9.30

地中梁リスト 1/30		特記なき限り ・補正筋 D10@1,000以内									
梁符号	FG1			FG2		FG3		FG4	FG5		
	1,4 端	中央	2,3 端	両端部	中央	両端部	中央	全断面	全断面		
断面											
B x D	300 x 1000			300 x 1000		300 x 1000		300 x 1000	300 x 2150		
上端筋	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	4-D19	3-D19	3-D19		
下端筋	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19		
STIR	□-D10 @200			□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200	□-D10 @200		
腰筋	4-D10			4-D10		4-D10		4-D10	10-D10		

耐圧版リスト		FSの地盤 500 500 とする							
符号	版厚	位置	短辺方向			長辺方向			備考
			端部	中央	隅部	端部	中央	隅部	
FS1	250	上端筋	D13-@150			D13-@200			モテアミ
		下端筋	D13-@150			D13-@200			
FS2	250	上端筋	D13-@200			D13-@250			モテアミ
		下端筋	D13-@200			D13-@250			
		上端筋							
		下端筋							



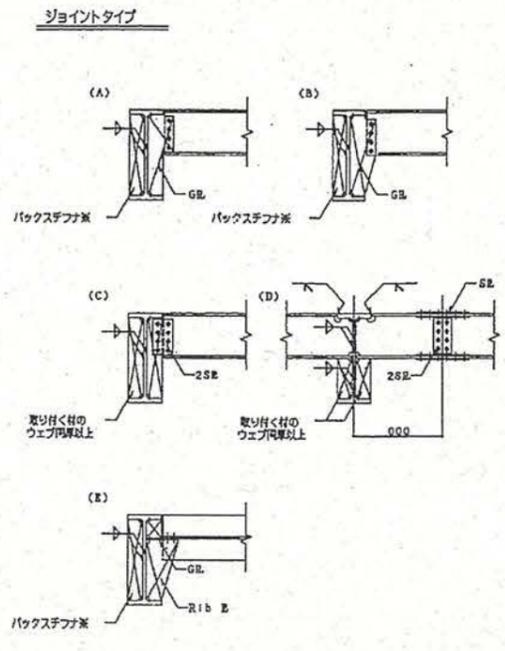
デッキスラブリスト		仕様		備考	
符号	厚さ	位置	仕様	備考	
DS1	50+80	上端筋	46x150x150	川島QLデッキ	デッキプレート
		下端筋		QL-99-50-12 F1001両用品	



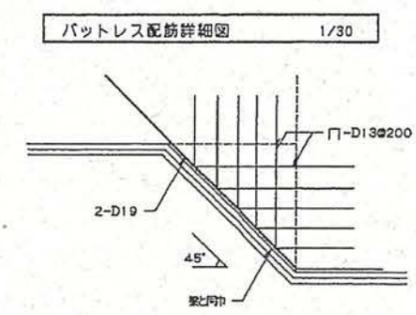
柱リスト 1/30		特記なき限り ・鉄骨主材 BCR295 ・アンカーボルトは二箇ナット締め、フック付とする。	
階	符号	C1	
2 階		□-250x250x16	
1 階		同上	
断面			
スタッドボルト		8x4面-φ19 @200 H=80	
板巻			
BxD		550x550	
主筋		8-D19	
フープ		D10 @100	
備考		柱筋フープ 2-D13	
柱脚			
ベースプレート		B, E-(19)	
アンカーボルト		4-M16 (L=640)	
備考			

大梁リスト		特記なき限り ・鉄骨主材 SS400 ・スタッドボルト φ16 @300(シングル) H=80		
符号	階	位置	部材	継手
G1	R	全断面	H -346x174x 6x 9	フランジ S.E-1 E-9x170x405 S.E-2 2E-9x 65x405 H.T.B 6-M20 ウェブ S.E-3 2E-6x185x220 H.T.B 3-M20
	2	全断面	同上	同上
G1A	R	全断面	H -350x175x 7x11	S.E-1 E-9x170x405 S.E-2 2E-9x 65x405 H.T.B 6-M20 ウェブ S.E-3 2E-6x185x220 H.T.B 3-M20
	2	全断面	H -346x174x 6x 9	ウェブ S.E-3 2E-6x185x220 H.T.B 4-M20
CG1	R	全断面	H -346x174x 6x 9	S.E-1 E-9x170x405 S.E-2 2E-9x 65x405 H.T.B 6-M20 ウェブ S.E-3 2E-6x185x220 H.T.B 3-M20
	2	全断面	同上	同上

部材リスト		特記なき限り ・鉄骨主材 SS400			
符号	部材	ピン接合		備考	
		タイプ	プレート	H・T・B	
B1	H -248x124x 5x 8	A	G, E-6	3-M16	
B2	[-150x 75x6. 5x10	A	G, E-6	2-M16	
B3	[-150x 75x6. 5x10	-	-	-	隅内池板
閉鎖	C-100x50x20x2. 3 @600	-	-	-	取付ピース E-6 取付ボルト・ナット 2-M12
P1	H -100x100x 8x 8	A	G, E-6	3-M16	



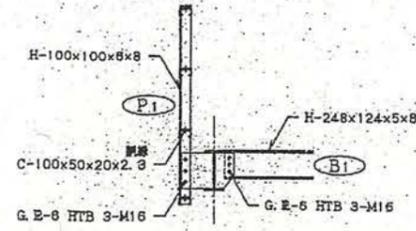
* ボックスステフナーは G 部 両厚とする。且し、200 以内の位置に GE がボックスステフナーにある場合は不要とする。



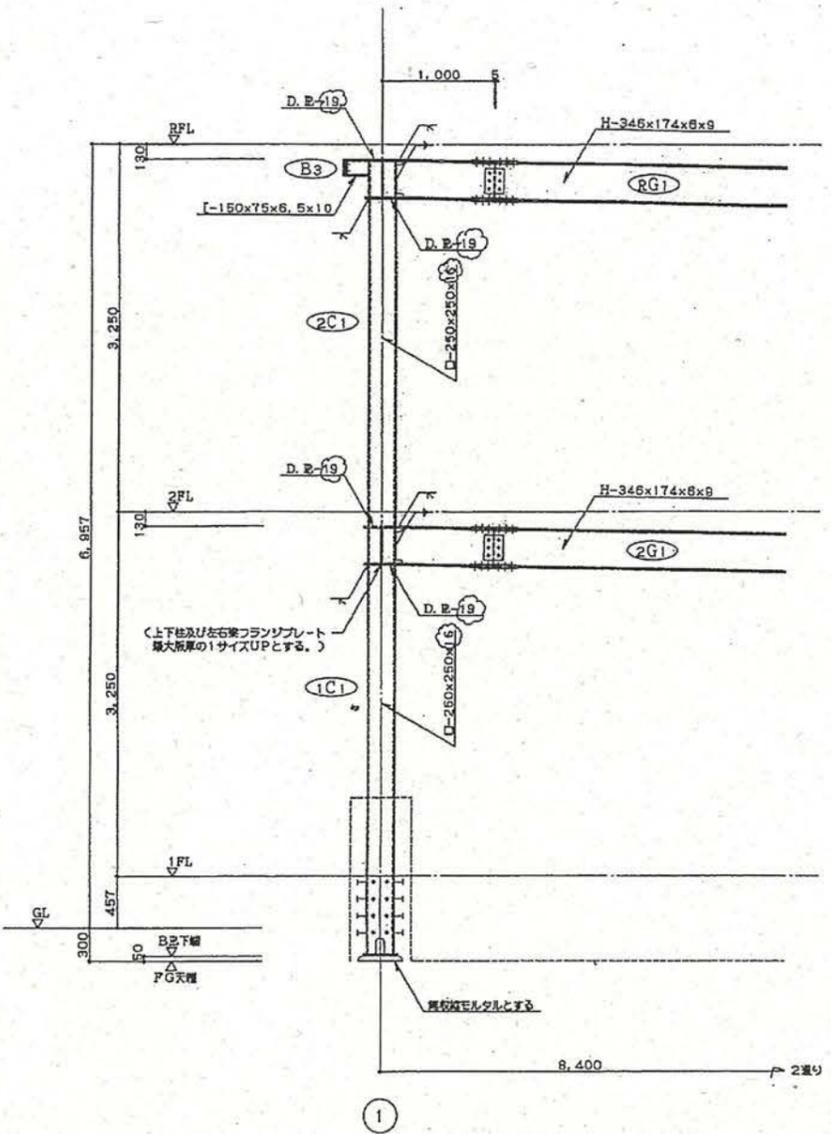
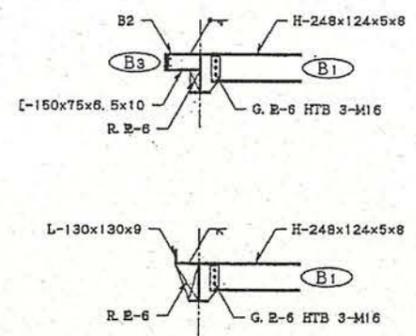
参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します。 12月修正

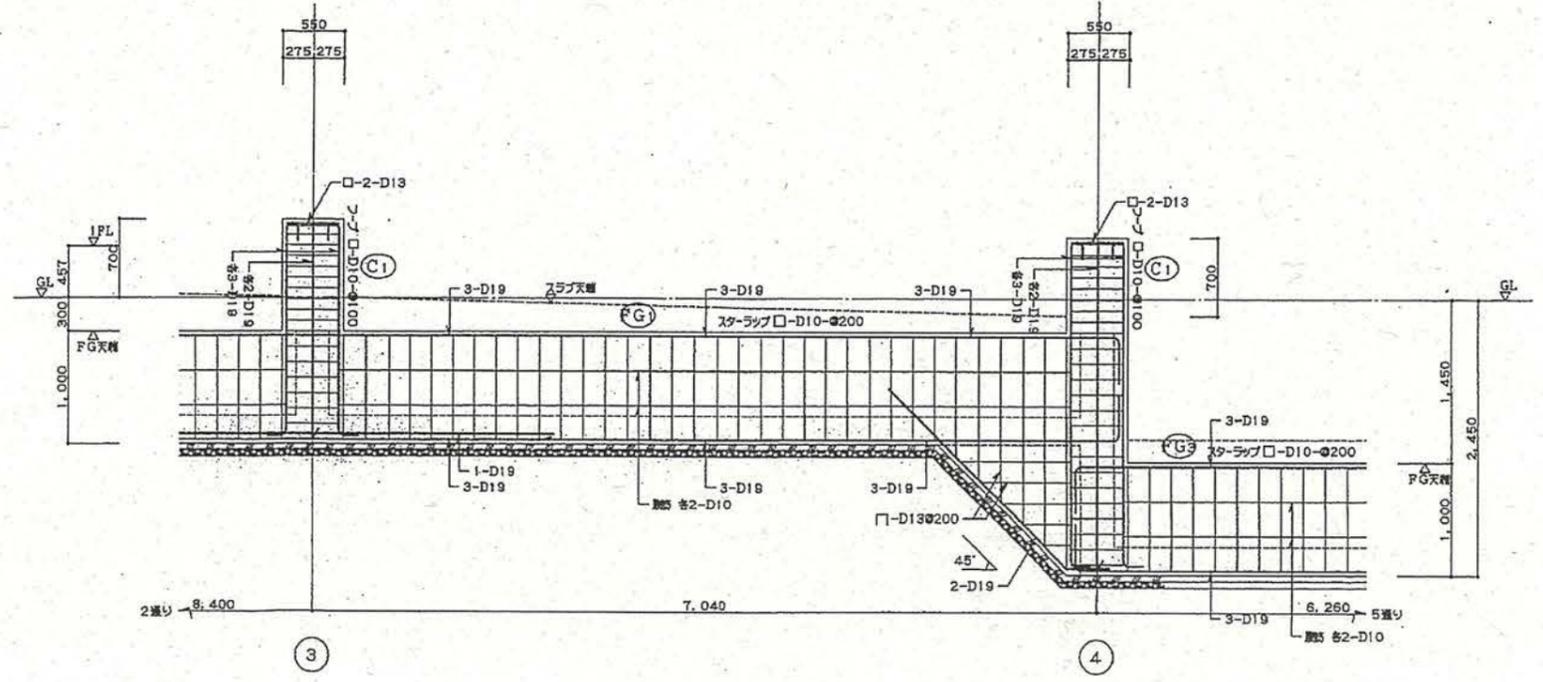
鋼桁パネル納り図 (P.1 詳細) 1/30



ハネ出し床納り図 1/30



A通り鉄骨詳細図 1/30
 特記なし
 鉄骨主材: 種: PCR295
 種: SS400
 ダイアフラム: SN490C



A通りラーメン配筋詳細図 1/30
 特記なし
 鉄骨主材: 種: HOOP
 種: φ-D10-φ150

参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します。 12月17日

(仮称)ニューシティ東戸塚中央地区 第2駐車場増設工事	62-336	S-11
A通り鉄骨詳細図・ラーメン配筋詳細図	1/30	
設計者: 一級建築士事務所 1級建築士 豊田 博 1級建築士 山口 知	99.11.4	

構造設計概要書

工事名称

(仮称) ニューシティ東戸塚中央街区才2 駐輪場増築工事

1999年 9月 日

設計者

熊谷組 一級建築士事務所

1級建築士登録 第65844号 堀口矩道

目 次

§ 1	建築物の概要	P 1 -
§ 2	設計方針と使用材料	P 2 -
§ 3	荷重・外力	P 4 -
§ 4	準備計算	P 6 -
§ 5	応力解析	P 7 -
§ 6	断面算定	P 8 -
§ 7	基礎・地盤	P 8 -
§ 8	層間変形角・剛性率・偏心率等	P 9 -
§ 9	保有水平耐力	P 10 -

§1 建築物の概要

1. 工事名称 (仮称) ニューシティ東戸塚中央街区第2駐車場増築工事

2. 設計者

(1) 事務所名

(2) 設計者氏名

(3) 構造設計者氏名

(4) 電話番号

3. 敷地の位置 横浜市戸塚区品川町516-2

4. 用途 名物 駐輪場

5. 工事種別 新築・増築・改築

6. 規模

(1) 延べ面積 235.56 m² 建築面積 117.78 m²

(2) 階数 地上 2階 地下 0階 塔屋 0階

(3) 高さ 7.76 m

(4) 軒の高さ 6.50 m

7. 構造概要

(1) 構造種別 S造・RC造・SRC造

(2) 骨組形式 X方向 ラーメン構造

Y方向 //

(3) 基礎種別 直接基礎・杭基礎(工法:)

(4) 略図 (基準階伏図)

次頁参照

〔断面図〕

次頁参照

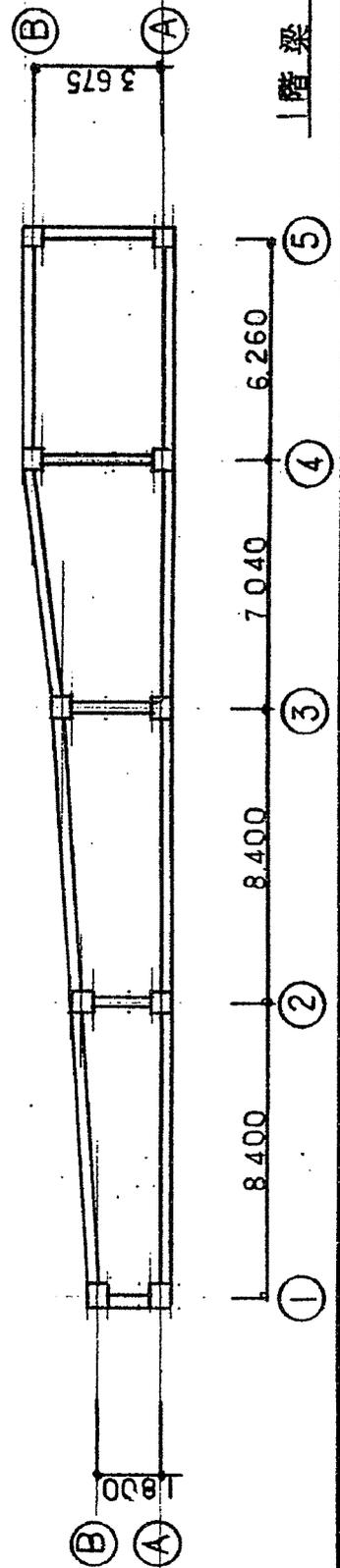
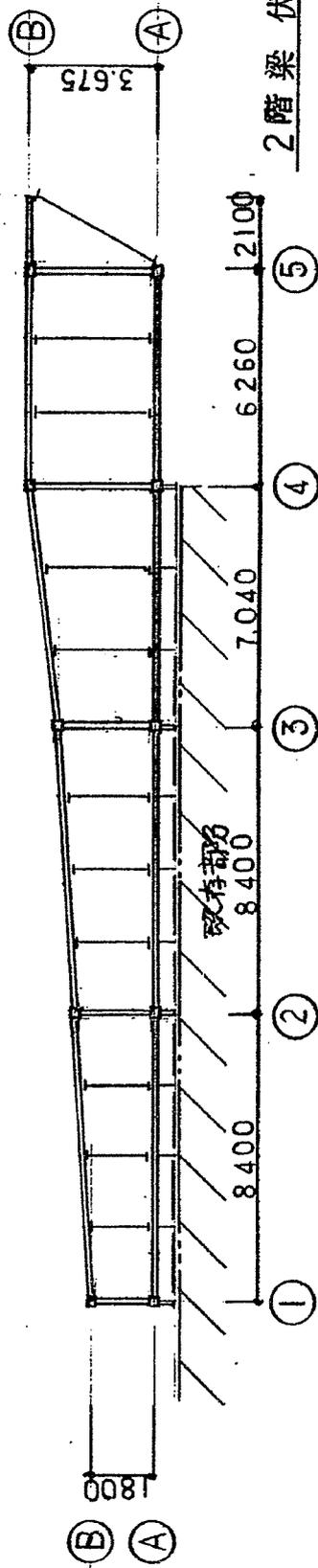
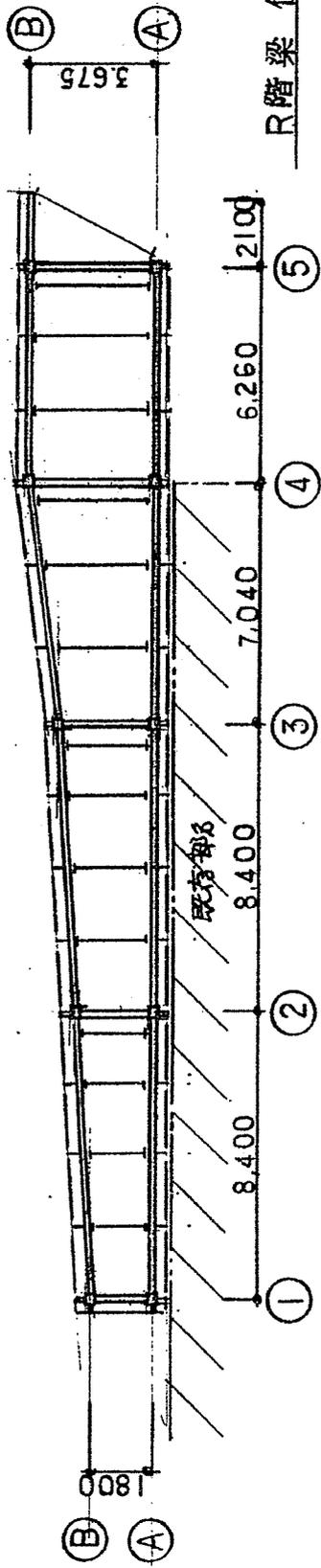
8. その他

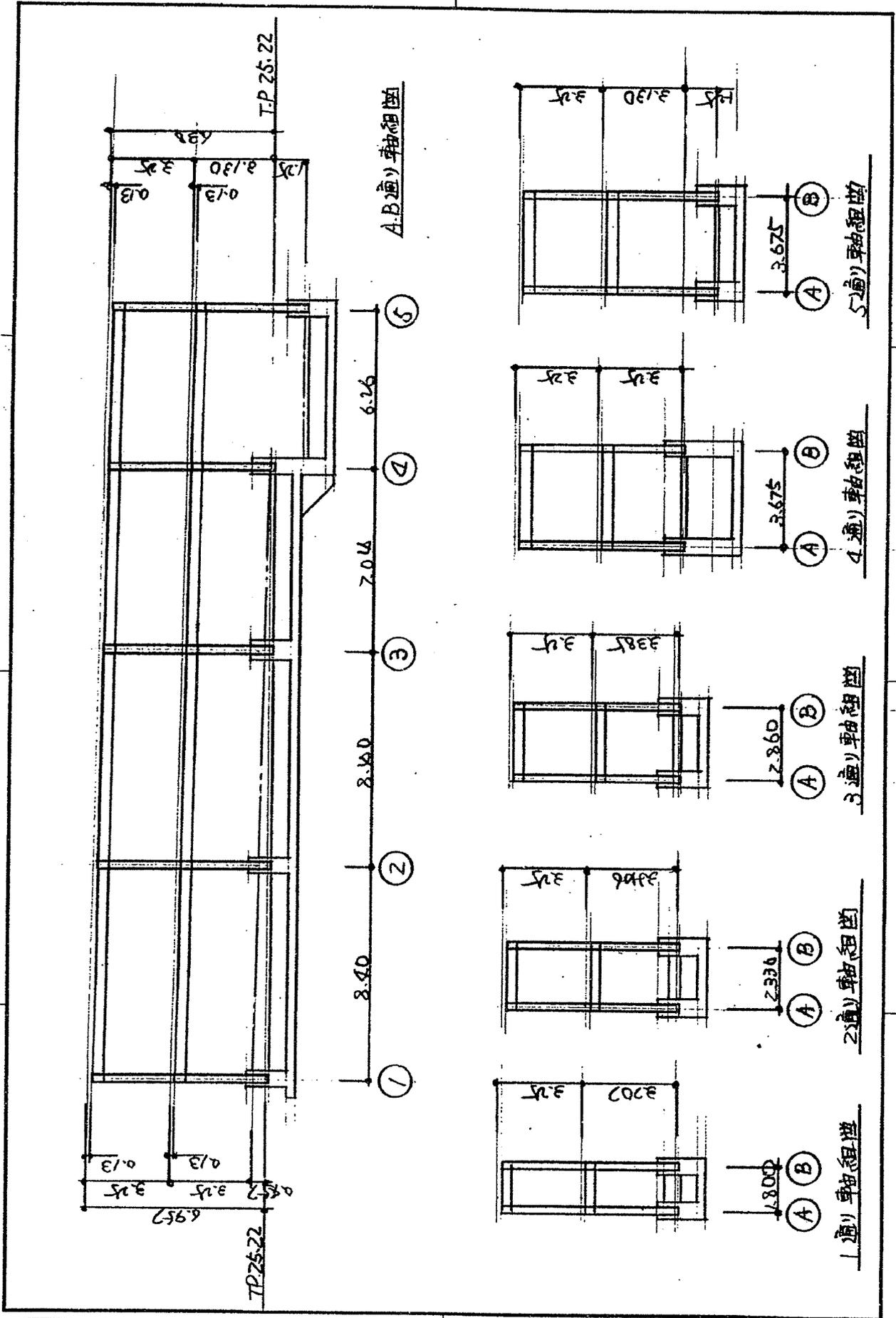
- (1) 増築計画 有・無
- (2) 屋上付属物 有・無
- (3) その他

§ 2 設計方針と使用材料

1. 設計上準拠した指針・規準等

- 建築基準法・同施行令・告示等
- 構造計算指針・同解説（日本建築センター編）
- 鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説
- 鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説
- 鋼構造設計規準
- 建築基礎構造設計規準・同解説
- プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説
- 特殊コンクリート造関係設計規準・同解説
- 鋼構造塑性設計指針
- 建築耐震設計における保有耐力と変形性能
- 建築構造設計指針（東京都建築構造行政連絡会監修）
-
-
-





2. 設計方針

(1) 計算ルート X方向ルート 2 - ()
 Y方向ルート 2 - ()

電 (P. 41)

(2) 壁・柱量の算定 (P.)

[×10³]

方向	階	$\sum \square \square A_w$ (cm ²)	$\sum \square \square A_c$ (cm ²)	$\sum 7A'_w$ (cm)	$\sum \square \square A_w + \sum \square \square A_c$ + $\sum 7A'_w$ (cm)	$\square \square ZW A_i$ (kg)
X						
Y						

(3) その他 (P.)
 無し

(4) コンピューターの使用箇所 (一貫計算 評価番号: ~~BCJ-2136~~ プログラム名: JSJ(改))
 (部分計算 機種:
 計算箇所:

3. 使用材料と使用場所

電 (P. 5)

材 料	種 別	使 用 場 所	備 考
コンクリート	FC21	軽体	$\gamma = 2.50$
			$\gamma =$
鉄 筋 鋼 材	SD295A	軽体 (D10~D16)	$\sigma_t = 3.0 \text{ t/cm}^2$ (1.0F) · 1.1F
	SD345	軽体 (D19)	$\sigma_u = 3.5$ " "
	SD400	梁	$\sigma_t = 2.9 \text{ t/cm}^2$ (1.0F) · 1.1F
	STKR400	柱	" "
	SDC400	胴子	" "
高力ボルト	S10T	各接合部	$T_n = 5000$
溶 接	突合溶接	主要接合部	現場0.9F1.0F, 工場0.9R1.0F
	隅肉溶接	その他接合部	"
そ の 他			

§ 3 荷重・外力

(P. 8)

1. 床 荷 重

(kg/m²)

用 途	種 別	床 用	小ばり用	大ばり・柱・基礎用	地 震 用	備 考
危 殆	D.L.	470	500	500	500	
	L.L.	300	300	225	150	
	T.L.	770	800	765	690	
2階床	D.L.	250	280	320	320	
	L.L.	300	300	225	150	
	T.L.	550	580	545	470	
1階床	D.L.	360	360	360	360	
	L.L.	300	300	225	150	
	T.L.	660	660	585	510	
/	D.L.					
	L.L.					
	T.L.					
/	D.L.					
	L.L.					
	T.L.					

その他広告塔

t. 設備機器 () t

2. 積雪荷重

(P.)

- (1) 最深積雪量 30 cm
 単位重量 2 kg/m² · cm
 (2) 低 減 有・無

3. 水平力

(1) 構造諸元

電 (P. 26)

地震力	地震地域係数	$Z = 1.0$
	地盤種別	第 2 種地盤 $T_c = 0.60 \text{ sec}$
	設計用一次固有周期	$T = 0.195 \text{ sec}$ (略算・精算)
	振動特性係数	$R_t = 1.0$
	標準せん断力係数	$C_0 = 0.20$
	地下震度	$K =$
	風の速度圧	$q = 60 \sqrt{h}$
風の風力係数	$C = (0.8 + 0.6)$	

(2) 層せん断力

地震層せん断力表

電 (P. 26)

階	$W_i (t)$	$\Sigma W_i (t)$	α_i	A_i	$C_0 = 0.20$		$W_i/A (t/m^2)$
					C_i	$Q_i(t)$	
2	92.06	92.06	0.612	1.63	0.232	21.92	6.04
1	58.20	150.30	1.00	1.00	0.20	30.06	0.66

設計用層せん断力表(風圧力の検討及びブレースを使用する場合)

(P.)

階	X 方 向				Y 方 向			
	風 圧 力		$1+0.7\beta$	設計用層 せん断力	風 圧 力		$1+0.7\beta$	設計用層 せん断力
	$P_i (t)$	$\Sigma P_i (t)$			$P_i (t)$	$\Sigma P_i (t)$		
			上表にお					

4. その他

(P.)

780

§ 4 準備計算

1. 計算仮定

(1) 床剛性

(P.)

QLデッキの上にスラブを打設し剛床仮定とする

(2) 壁(ブレース)剛性

(P.)

なし

(3) その他

(P.)

なし

2. 剛性の評価方法

(1) 柱・はり

電 (P. 16)

梁は閉鎖型スラブとし、床の板内中により床剛性を評価する
(計算表内を参照)

$$k = \frac{EI}{L}$$

(2) 耐力壁(ブレース)

(P.)

なし

(3) 雑壁等

(P.)

なし

(4) 地盤・くい

(P.)

なし

3. その他

(1) 柱脚の固定度

(P.)

半固定 (柱脚は根巻形式とする)

(2) 地中梁の剛性

(P.)

$$k = \frac{EI}{L}$$

(3) その他

(P.)

なし

§ 5 応力解析

1. 鉛直荷重時

電 (P. 27)

(1) 解析方法

SDI (CE) による立体解析

(2) その他 (代表フレームとした場合)

2. 水平荷重時

電 (P. 27)

(1) 解析方法

SDI (CE) による立体解析

(2) その他 (代表フレームとした場合)

(3) フレーム・壁 (ブレース) の分担率

電 (P. 35)

方向	階	ΣD_c	ΣD_w	$\frac{\Sigma D_w}{\Sigma D_c + \Sigma D_w}$	設計用 分担率		壁 の r_{max}
					柱の分担率	壁の分担率 (ブレース)	
X	2				100%	0%	
	1				"	"	
Y	2				100%	0%	
	1				"	"	

(4) 偏心等による補正 (有)・無

(P.)

2. 直接基礎

(P. 21)

- (1) 基礎形式 終基礎
- (2) 長期許容地耐力度 5.0 t/m 短期 10.0 t/m
- (3) 深 さ GL- 1.30 m
- (4) 支持地盤の種類 シルト

3. 地盤調査

(P.)

- (1) 調査の有無 有・無
- (2) 調査方法
- (3) 調査地点

4. その他

(P.)

- (1) 地盤改良 有・無
- (2) NFの処理 有・無
- (3) 水平抵抗の検討 有・無
- (4) 引抜き処理 有・無
- (5) その他

§ 8 層間変形角、剛性率、偏心率等

1. 算定表

電 (P. 39/40)

方向	階	Qi (t)	ΣD	δ (cm)	γ (≤1/200, ≥6/10)	Rs	Fs	Re (≤15/100)	Fe	Fes
X	2	21.24		0.614	1/529	1.078		0.018		
	1	30.06		0.790	1/452	0.922		0.013		
Y	2	21.24		0.858	1/377	1.063		0.123		
	1	30.06		0.839	1/426	0.937		0.048		

2. その他

(P.)

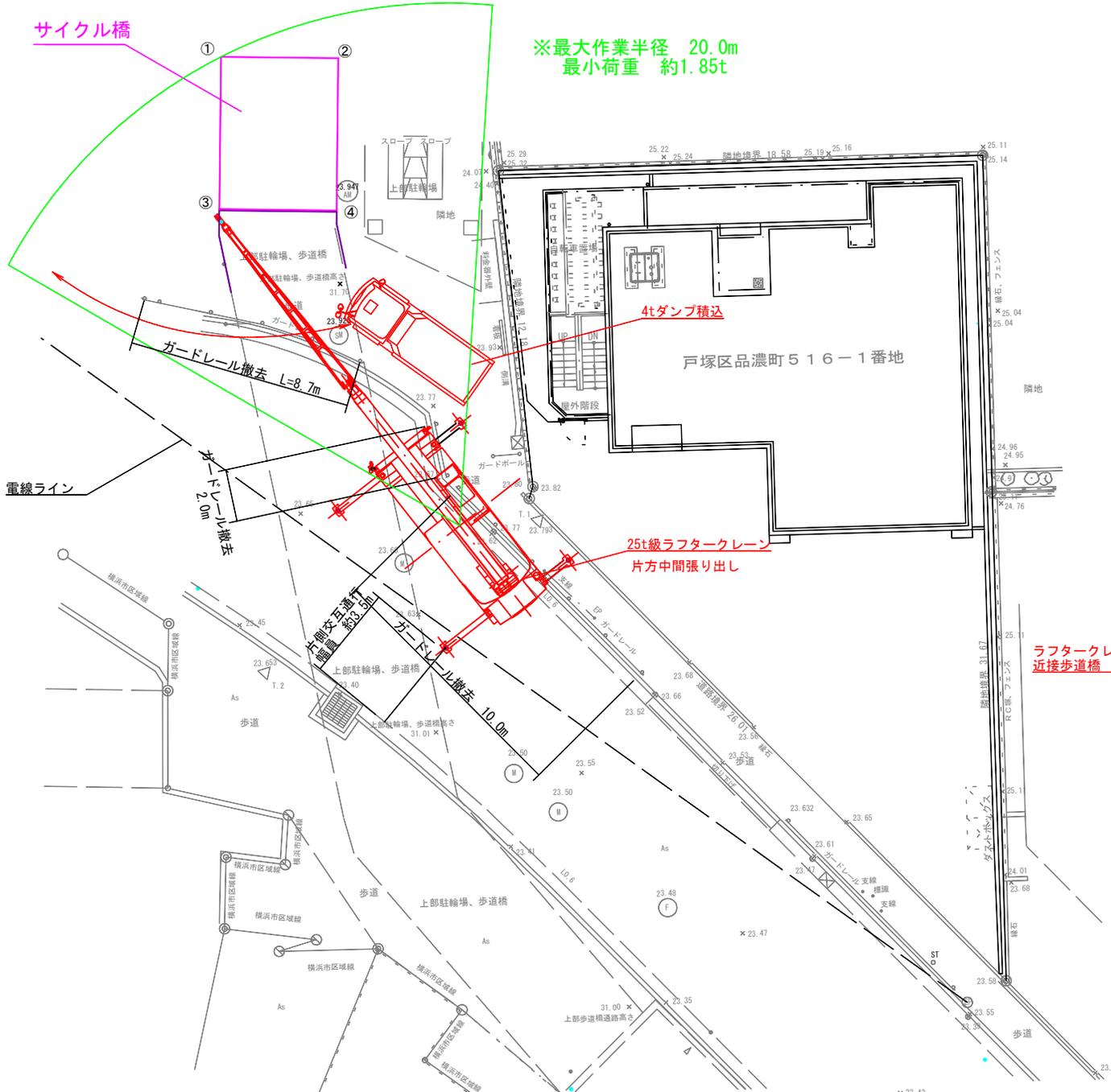
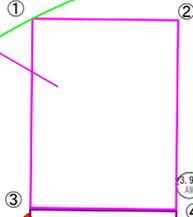
780

平面図

S = 1 / 150

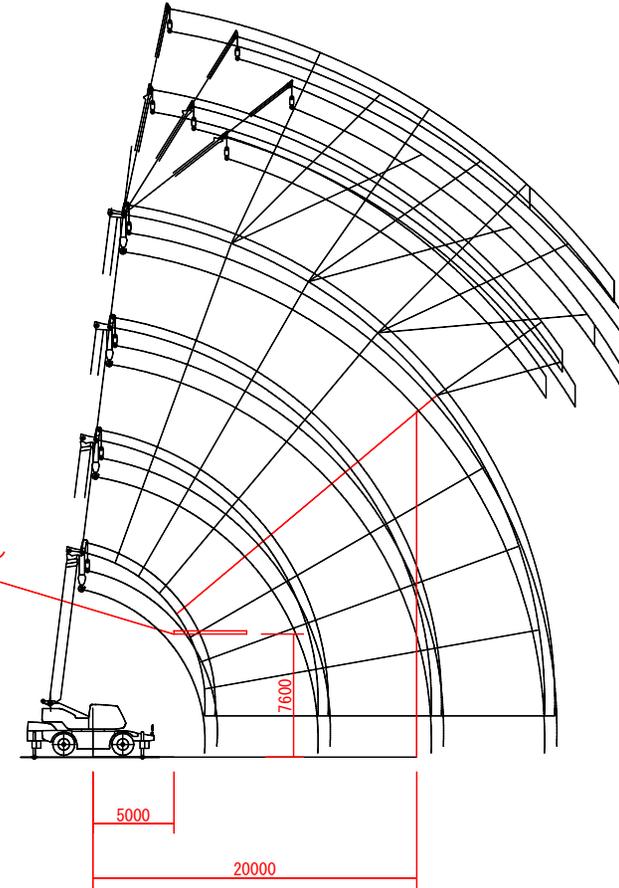
※最大作業半径 20.0m
最小荷重 約1.85t

サイクル橋



性能図

S = 1 / 300



ラフタークレーン
近接歩道橋

- ※・最低吊り角度 20°
- ・30.5mブーム使用
- ・つり荷重 1.85t~4.45t
- ・作業半径 13.0~20.0m